

# 契丹小字新発見資料積読問題

呉 英 喆



日本 東京

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所

2012

# 契丹小字新発見資料積読問題

呉 英 喆 著

松 川 節  
武 内 康 則  
荒 川 慎太郎 校閲

日本 東京

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所

2012

# **Interpretation Problems of the Newly-discovered Khitan Small Script Materials**

Author

WU Yingzhe

Technical reviewers

MATSUKAWA Takashi

TAKEUCHI Yasunori

ARAKAWA Shintaro

Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (ILCAA),  
Tokyo University of Foreign Studies, Tokyo, JAPAN

2012

# 目 次

前書き	1
序論	3
契丹小字「耶律玦墓誌銘」考釈	11
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」考釈	32
契丹小字「蕭胡睹堇墓誌銘」考釈	44
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」考釈	53
語彙索引	68
縦組部分	
契丹小字「耶律玦墓誌銘」基本情報	1 (272)
契丹小字「耶律玦墓誌銘」抄本と釈文	3 (270)
漢字「耶律玦伝」と「耶律敵刺伝」	29 (244)
契丹小字「耶律玦墓誌銘」図版	30 (243)
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」基本情報	36 (237)
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」抄本と釈文	38 (235)
漢字「蕭撻凜伝」と「蕭奥只伝」	49 (224)
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」図版	50 (223)
契丹小字「蕭胡睹堇墓誌銘」基本情報	56 (217)
契丹小字「蕭胡睹堇墓誌銘」抄本と釈文	58 (215)
契丹小字「蕭胡睹堇墓誌銘」図版	79 (194)
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」基本情報	84 (189)
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」抄本と釈文	85 (188)
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」図版	95 (178)

## 前書き

2011年9月1日から2012年6月30日まで、筆者は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の客員研究員として日本に滞在し、同研究所において契丹文字・契丹語の研究を進めた。

大谷大学文学部の松川節教授、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の荒川慎太郎准教授、日本学術振興会特別研究員(大谷大学)の武内康則氏を中心とした日本における契丹文字研究プロジェクト「契丹語・契丹文字研究の新展開」(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題 2010-2012年度)のメンバーとして共同研究を進め、契丹文字の新資料や近年の契丹語研究の成果について東京外国語大学および大谷大学において研究発表を行った。さらに、韓国の檀国大学では契丹大・小字の類型と契丹文字研究の現段階について発表し、一般の人々に向けた講演も行った。

近年、新発見の契丹文字墓誌に関する複数の研究が発表された。しかし、それらには資料の内容の要約に留まり、基礎的なデータとなる拓本やテキストの録文は発表されていないものも存在している。筆者は松川・荒川両先生との相談の上、それら未発表の新資料について日本の研究者と共同研究を進め、今回その成果を上梓することとなった。今後、国内外の研究者により更なる研究が進められることを期待している。

本稿で扱う『耶律玦墓誌銘』の拓本を新州博物館の楊曉明館長から、『蕭回璉墓誌銘』の拓本を北京科挙匾額博物館の姚遠利館長から、『蕭胡睹堇墓誌銘』の拓本を契丹博物館の唐彩蘭館長から、『耶律蒲速里墓誌碑銘』の拓本を敖漢旗博物館の邵国田元館長から頂いた。この場を借りて感謝申し上げる。

本書は未定稿を呉英喆が作成し、松川節・武内康則・荒川慎太郎  
三氏が学術校閲を行った。

呉 英喆

2012年6月 東京

## 序 論

1922年の契丹小字皇帝哀冊の発見以来、契丹文字・契丹語に対する研究は中国・日本を始めとした多くの国で進められ、九十周年を迎えることとなった。現在でも契丹文字資料の内容の多くは未解読であるが、新旧資料の比較、大小字の比較、契漢資料の比較及び契丹語とその親族語の比較研究を通し、契丹文字の字形・字音・字義に関する研究が発展するとともに、契丹大・小字の特徴や契丹語の言語特徴が少しずつ解明されてきた。

契丹語の音声・文法・語彙に関する情報は極めて限られたものであるにも関わらず、契丹文字研究は次々と新たな成果をあげてきた。それは年々増加している新資料と密接な関係がある。新資料の公開は、国内外の契丹文字研究者に基礎を提供するという点で重要な課題と言える。本書では『耶律玦墓誌銘』・『蕭回璉墓誌銘』・『耶律蒲速里墓誌碑銘』など三つの新たに発見された契丹小字墓誌銘の拓本・抄本を初めて公開し、それらの墓誌銘の内容について考察を加える。『蕭胡睹堇墓誌銘』の全文は近年発表されたが、この墓主は『耶律玦墓誌銘』及び『蕭回璉墓誌銘』の墓主と親戚関係にあることから、それらの資料との比較研究を行い、その拓本・抄本及び釈読文を本稿に収めることとした。以上の新資料を本稿では製作された年代に従い、『耶律玦墓誌銘』(1071)・『蕭回璉墓誌銘』(1080)・『蕭胡睹堇墓誌銘』(1091)・『耶律蒲速里墓誌碑銘』(1105)の順で紹介し、内容を検討する。

現在まで発見された契丹小字の資料は、本文で検討される四つの墓誌銘を含めて合計 41 件になる。ここでは、それらに関する情報を、すでに公開したものについては発表された順に、未公開のものについては原石の発見された順に紹介する。( )内は略称である。

(01) 興宗皇帝哀冊(興宗): 遼清寧元年(1055)十一月。哀冊一面、全部 36 行で、約 850 文字が記録されている。1922 年 6 月に、内蒙古赤峰市巴林右旗白塔子の付近にある遼慶陵の永興陵から発見されたが、原石がまだ地下に埋もれており、筆写されたもののみ伝わる。

(02) 仁懿皇后哀冊(仁懿): 遼大康二年(1076)六月。哀冊一合、32 行で、約 575 文字が記録されている。1922 年 6 月に、「興宗」と同じ陵墓から、同時に発見され、原石はまだ地下に埋もれており、筆写されたもののみ伝わる。漢文「仁懿哀冊」も発見されている。

(03) 大金皇弟都統経略朗君行記(朗君): 金天会十二年(1134)十一月十四日、王圭と黄応期によって記された。契丹小字は 5 行 96 文字が記され、漢字は碑額を除き 6 行 108 字が刻されている。漢文は契丹文を翻訳したものである。碑文は陝西省乾県唐乾陵の無字碑中央部に刻まれている。

(04) 道宗皇帝哀冊(道宗): 遼乾統元年(1101)六月に耶律固によって記された。冊蓋と冊石から成り、冊蓋には 6 行 36 原字、冊石には 37 行約 1130 文字が刻まれている。冊文の 9 行は改刻された痕跡が見られる。1930 年、前述した遼慶陵の永福陵から発見され、現在遼寧省博物館に所蔵されている。漢文「道宗皇帝哀冊」も発見されている。

(05) 宣懿皇后哀冊(宣懿): 本哀冊も「道宗」と同じく遼乾統元年(1101)六月に耶律固により記された。冊蓋と冊石から成り、その冊蓋には 4 行 16 原字、冊石には 30 行約 620 字が刻ま

れている。1930年、前述した遼慶陵の永福陵から発見され、現在遼寧省博物館に所蔵されている。漢文「宣懿皇后哀冊」も発見されている。

(06) 蕭令公墓誌銘残石(蕭令公):遼清寧三年(1057)二月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋には文字はなく、誌文には32行で約590文字が残存する。誌蓋と誌石はどちらも破損している。1950年、遼寧省阜新市清河門区の西山村の付近から発見され、現在遼寧省博物館に所蔵されている。

(07) 蕭仲恭墓誌銘(蕭仲恭):金天德二年(1150)九月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋には3行9文字、誌石には50行約2490文字が刻まれている。1942年、河北省興隆県閻杖子公社梓木林子村付近から発見され、現在河北省保定市文物管理処に所蔵されている。

(08) 遼国許王墓誌残石(許国):遼乾統五年(1105)二月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋は漢字が記され、その両側に六字の契丹小字と六字の漢字が刻まれている。誌石の表面と裏面に各30行、左面に4行の契丹字があり、右面に5行の漢字がある。全部で約2750字が残っている。誌蓋と誌石はどちらも破損している。1975年、阜新蒙古族自治县卧風溝郷白台溝村から発見され、現在阜新市博物館に所蔵されている。

(09) 故耶律氏銘石(故耶律):遼天慶五年(1115)四月、耶律固によって記され、漢字の誌蓋と契丹小字の誌石から成る。誌石に25行695字が刻まれている。1962年、赤峰市の翁牛特旗山嘴子毛布拉溝の遼代の墓から発見され、現在赤峰市博物館に所蔵されている。

(10) 大遼国尚父于越宋王墓誌銘(仁先):遼咸雍八年(1072)九月、特免により記された。誌蓋表面に漢字タイトル、裏面に契丹小字が刻まれ、漢字誌文は誌石の表面に記録されている。契丹小字は70行で、約5000字残っている。1983年、遼寧省北票県小塔子郷東山村から発見され、現在遼寧省文物考古研究所に所蔵されている。この墓誌銘の材質は砂岩で、風化が進んでいるが、これまでに発見された契丹文墓誌銘の中では文字数が最も多い。

(11) 海棠山墓誌残石(海棠山):墓誌の製作された年代は不明であり、墓石の大部分が失われているため、その内容も十分には明らかではない。13行300文字が残存する。1991年、阜新蒙古族自治县大板郷摩崖造像群から発見され、現在同県の文物管理所に所蔵されている。

(12) 大契丹国広陵郡王墓誌銘記(宗教):遼重熙二十二年(1053)八月のもので、誌蓋と誌石から成る。漢字タイトルは誌蓋の表面に、契丹小字誌文は誌蓋の裏面に、漢字墓誌銘は誌石にそれぞれ刻まれている。契丹文は全部33行で、約935字ある。1991年、遼寧省北寧市鮑家郷高起村から発見され、現在遼寧省北寧市文物管理処に所蔵されている。本資料はこれまでに発見された契丹小字墓誌銘の中で最も古いものである。

(13) 鎮国上將軍墓誌銘(鎮国):金大定十年(1170)十二月或いはそれ以降に製作された墓誌銘である。文字の記されていない誌蓋と契丹小字誌石から成り、どちらも破損している。契丹文は全部51行で、約1500字が残存する。1993年赤峰市敖漢旗新地郷の老虎溝村から発見され、現在敖漢旗博物館に所蔵されている。



(14) 涿州刺史墓誌残石(刺史):約遼乾統八年(1108)十月前後に製作された資料であり、不完全で破損した誌石だけが残り、誌蓋は発見されていない。契丹小字が26行で、約230文字確認できる。墓誌上部は大きく破損し失われている。1994年、赤峰市巴林左旗三山郷から発見され、現在同旗の遼上京博物館に所蔵されている。

(15) 耶律弘用墓誌銘(弘用):遼寿昌六年(1100)四月に陳団奴によって記される。本墓誌銘は文字の記されていない破損した誌蓋と契丹小字の誌石から成る。契丹文は全部で32行900文字が刻まれている。1996年、内蒙古通遼市扎魯特旗烏日根塔拉農場から発見され、現在同旗の文物管理所に所蔵されている。

(16) 南瞻部洲大遼国故迪烈王墓誌文(耶律迪烈):遼大安八年(1092)七月に耶律固により記される。誌石に契丹文が32行、誌蓋の裏面に9行記され、漢字タイトルは誌蓋の表面に刻まれている。墓誌は破損しているが、合計41行で、約1690文字の字形が確認できる。1995年、扎魯特旗嘎亥図鎮の付近から発見され、現在北京遼金城垣博物館に所蔵されている。

(17) 耶律奴墓誌銘(耶律奴):遼寿昌五年(1099)四月に司家奴によって記される。誌蓋と誌石から成る。契丹文は誌石に24行、誌蓋の裏面に24行刻まれている。合計48行があり、約1270字が確認できる。1999年、阜新蒙古族自治县大板鎮腰衙門村の付近から発見され、現在阜新市博物館に所蔵されている。

(18) 耶律智先墓誌銘(智先):遼大安十年(1094)十一月に耶律固によって記される。この墓誌銘は契丹小字と漢字誌石という二合から成る。誌蓋に関する情報がないが、契丹文は全部27行あり、約1000字が記録されている。1998年遼寧省北票県の小塔子郷の東山村から発見され、現在同省の北票市博物館に所蔵されている。

(19) 耶律永寧朗君墓誌銘残石(永寧):遼大安四年(1088)正月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋は破損し、誌石の右側が失われている。契丹文は合計43行あり、約1060文字が残存している。1995年、赤峰市喀拉沁旗宮営子郷鄭家窩鋪村の付近から発見され、現在喀拉沁旗博物館に所蔵されている。

(20) 韓(耶律)高十墓誌銘(高十):墓誌の製作された年代は不明である。耶律固によって記される。誌石のみが発見された。墓誌銘の内容は不完全であり、誌蓋は発見されていない。契丹文は26行で、約750字ある。1995年、巴林左旗白音烏拉郷の白音罕山の韓氏家族墓誌群から発見され、現在同旗の遼上京博物館に所蔵されている。

(21) 耶律(韓)迪烈墓誌銘(韓迪烈):遼乾統元年(1101)二月、陳団奴によって記される。誌石のみが発見されており、誌蓋は発見されていない。契丹文字は34行で、約1350字がある。1998年巴林左旗の四方城郷から発見され、現在遼上京博物館に所蔵されている。

(22) 蕭図古辞墓誌銘(図古辞):遼咸雍四年(1068)七月に製作されたもので、文字のない誌蓋と契丹文字の誌石から成る。契丹文は26行で、約740文字が刻まれている。2000年、阜新蒙古族自治县太平郷大道村四家子屯の遼墓から発見され、現在遼寧省文物考古研究所に所蔵されている。

(23) 故太叔祖哀冊(太叔祖):遼乾統十年(1110)十一月に耶律固によって記される。15 個の契丹小字原字が刻まれた冊蓋と契丹小字の冊石から成る。冊石には契丹小字が 25 行、約 795 字がある。1997 年、巴林右旗白塔子にある遼慶陵の永興陵の西側の陪陵から発見され、現在同旗の巴林博物館に所蔵されている。漢字の「太叔祖哀冊」も発見されている。

(24) 故宋魏国妃墓誌銘(宋魏):遼乾統十年(1110)、耶律固によって記される。20 個の契丹小字原字が刻まれた冊蓋と契丹小字の冊石から成る。冊石には契丹小字が 24 行、約 642 の文字がある。1997 年、太叔祖哀冊と同じ陵墓から発見され、現在巴林博物館に所蔵されている。漢字の「宋魏国妃墓誌銘」も発見されている。

(25) 蕭太山と永清公主墓誌銘(永清):遼寿昌元年(1095)六月に製作された墓誌碑である。表面に漢字、裏面及び左側に契丹小字が刻まれている。発見時、既に二つに割れていた。契丹小字が合計 32 行で、約 1330 文字が刻まれている。2003 年、阜新蒙古族自治県の平安地郷の阿漢土村の宋家梁屯の付近から発見され、現在本県の文物管理所に所蔵されている。

(26) 蕭特毎と韓氏夫人墓誌銘(特毎):約遼大康四年(1078)正月に製作されたものである。契丹文は二つの石に刻まれ、合計 32 行で約 810 文字が残存する。2004 年、拓本が発見されたものの、原石はいまだに発見されていない。拓本によると、墓誌銘は誌蓋と誌石から成り、原石は破損しているようである。

(27) 耶律迪里姑墓誌銘(迪里姑):遼乾統二年(1102)十二月に陳罔奴によって記される。文字のない誌蓋と契丹小字誌石から成る。契丹文は合計 31 行で、約 1020 文字がある。本墓誌銘の出土した場所と時間は不明で、2002 年、遼上京博物館が収集し、現在同博物館に所蔵されている。

(28) 耶律烏盧本墓誌銘(烏盧本):遼大康八年(1082)八月に胡睹董によって記される。契丹小字が刻まれた誌蓋と誌石から成る。誌蓋には 2 行で 15 文字、誌石には 28 行、約 915 文字がある。1997 年、内モンゴ赤峰市の阿魯科爾沁旗の白音温都蘇木の沙日宝特嘎查の付近から発見され、現在阿魯科爾沁旗博物館に所蔵されている。

(29) 室魯太師墓誌碑(室魯):遼寿昌六年(1100)四月に特免によって記される。表面に「望墳碑記」とあり、裏面に契丹小字が記されている。裏面には碑額として 2 行 6 文字、碑文として 13 行 154 文字ある。2000 年、扎魯特旗の伊和背郷の水泉溝から発見され、現在内モンゴ寧城県の遼中京博物館に所蔵されている。

(30) 耶律副部署墓誌銘(副部署):遼乾統二年(1102)十一月に司家奴によって記される。裏面に契丹小字が記された誌蓋と誌石から成る。契丹文は誌蓋に 27 行、誌石に 24 行あり、合計で約 2000 文字が刻まれている。1996 年、阿魯科爾沁旗の罕蘇木の古日班呼碩嘎查付近の朝克図山から発見され、現在内モンゴ呼和浩特市における内モンゴ博物院に所蔵されている。

(31) 梁国王墓誌銘(梁国王):遼乾統七年(1107)四月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋の表面に漢字タイトル、裏面に契丹小字、誌石に漢字の誌文がそれぞれ刻まれている。契丹文は 29 行で、1280 文字が刻まれている。2001 年、阜新蒙古族自治県の大巴鎮の関山種畜場馬掌洼から発見され、現在遼寧省文物考古研究所に所蔵されている。

(32) 蕭居士墓誌銘(蕭居士): 金大定十五年(1175)十一月に製作されたもので、契丹小字が記された誌蓋と誌石から成る。誌蓋には3行13字、誌文には33行約1350字が刻まれている。2004年、阜新蒙古族自治県の平安地郷の阿漢土村の宋家梁屯の付近から発見され、現在同県の文物管理所に所蔵されている。

(33) 蕭敵魯墓誌銘(蕭敵魯): 遼天慶四年(1114)四月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋に25行で580字、誌石に26行で520字が記されている。本墓誌銘の出土日時及び出土地は不明であるが、阜新蒙古族自治州太平郷の付近から出土されたと推測される。2007年、内蒙古大学に募集され、現在同大学の蒙古学学院に所蔵されている。

(34) 耶律詳穩墓誌(詳穩): 遼大安七年(1091)十月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌石には39行1440字、誌蓋の裏面には9行190字が刻まれており、誌蓋の表面には文字が記されていない。本墓誌銘の出土日時及び出土地は不明である。2007年、内蒙古大学に募集され、現在同大学の蒙古学学院に所蔵されている。

(35) 蕭胡睹堇墓誌銘(胡睹堇): 遼大安七年(1091)九月に製作され、文字の無い誌蓋と誌石から成る。誌石は39行約1480文字が刻まれている。本墓誌銘の出土日時及び出土地は不明であるが、阜新蒙古族自治州太平郷付近から出土したと推測される。現在、内蒙古赤峰市の巴林左旗の契丹博物館に所蔵されている。

(36) 耶律玦墓誌銘(耶律玦): 遼咸雍七年(1071)八月に胡睹堇により記される。誌蓋と誌石から成る。誌蓋は文字が無く破損している。誌石は46行で、約2530文字が刻まれている。本墓誌銘の出土時間と出土地は不明であるが、2004年、敖漢旗から出土したと推測される。現在同旗の新州博物館に所蔵されている。

(37) 耶律蒲速里墓誌碑銘(蒲速里): 遼乾統五年(1105)二月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋の第1行目に15原字、第2行目に11文字、誌石に25行約800文字が刻まれている。本墓誌銘の具体的な出土時期と出土地及び原石の行方などはすべて不明である。

(38) 蕭回璉墓誌銘(蕭回璉): 遼大康六年(1080)八月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋に3行14字、誌石に32行、840文字が刻まれている。本墓誌の具体的な出土時期及び出土地は不明だが、阜新蒙古族自治州太平郷付近から出土したと推測される。現在北京科学匾額博物館に所蔵されている。

(39) 耶律太師墓誌銘(太師): 遼寿昌七年(1101)正月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋に文字が無く、誌石は破損し四つに分かれている。契丹文は26行約1040字ある。本墓誌銘の具体的な出土時期と出土地は不明で、2009年、内蒙古大学に募集され、現在同大学の蒙古学学院に所蔵されている。

(40) 故侍中墓誌銘(侍中): 遼大安七年(1091)正月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋の表面に漢字タイトルがあり、裏面に33行で1700字が刻まれている。本墓誌銘の具体的な出土時期と出土地及び漢字誌石の行方は不明で、2009年、内蒙古大学に募集され、現在同大学の蒙古学学院に所蔵されている。

(41) 耶律斡特懶朗君墓誌銘(斡特懶):遼壽昌五年(1099)七月に製作されたもので、誌石のみが発見され、誌蓋の行方は不明である。誌石には22行で約1000文字が刻まれている。本墓誌銘の具体的な出土時期と出土地は不明で、2009年、内蒙古大学に募集され、現在同大学の蒙古学学院に所蔵されている。

以上挙げられた資料に加え、残石・銅鏡・符牌・コイン・塔壁などの上に書かれた契丹小字の資料も発見されている。一方、現在まで発見された契丹大字の資料は次の通りである。

(01) 大遼大横帳蘭陵郡夫人建静安寺碑(静安寺):遼咸雍八年(1072)に製作されたもので、一面に漢字、一面に契丹大字がある碑文である。契丹大字は40行あるが、碑文はひどく摩滅しており、約70個の字形だけが判明できる。1935年、寧城県の十家子村から発見され、現在遼中京博物館に所蔵されている。

(02) 故太師銘石記(故太師):遼重熙二十年(1051)製作されたもので、漢字が記された誌蓋と契丹大字が記された誌石から成る。契丹文は40行あり、合計1800文字が刻まれている。1939年、瀋陽の古物商店から発見され、偽物と誤認された後、原石の行方は不明となっている。

(03) 蕭孝忠墓誌(蕭孝忠):遼大安五年(1089)十二月製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋の表面に漢字タイトル、裏面に漢字による墓誌銘、誌石に契丹大字による墓誌銘がそれぞれ刻まれている。契丹文は全部18行あり、あわせて約540文字ある。1951年遼寧省錦西県の西弧山から発見され、現在錦州市博物館に所蔵されている。

(04) 耶律延寧墓誌銘(延寧):遼統和四年(986)製作されたものであり、誌蓋には文字がなく、誌石の右上部に契丹大字が19行刻まれており、合計で約271文字ある。誌石の右下部に21行、左部に3行の漢字が刻まれている。このような契丹大字と漢字が一面に併刻されたものは現在までこの墓誌以外には発見されていない。1964年、遼寧省朝陽県西五家子郷柏樹溝村付近から発見され、現在遼寧省博物館に所蔵されている。

(05) 北大王墓誌(北大王):遼重熙十年(1041)製作されたもので、誌蓋と誌石二つの部分から成る。誌蓋の表面には漢字タイトルがあり、裏面には漢字による墓誌銘があり、誌石に契丹大字が27行刻まれており、契丹文字は合計で約780字ある。1975年、阿魯科爾沁旗の昆都郷烏蘇伊合村の沙日温都から発見され、現在阿魯科爾沁旗博物館に所蔵されている。

(06) 故北宰相蕭公墓誌銘(蕭袍魯):遼大安六年(1090)製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋の表面に漢字タイトルがあり、裏面に15行約321字の契丹大字による墓誌銘がある。誌石には漢字が38行刻まれている。1965年、遼寧省法庫県栢家溝郷前山村付近から発見され、現在遼寧省博物館に所蔵されている。

(07) 大横帳節度副使墓誌(習涅):遼天慶四年(1114)製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋の表面に漢字タイトルがあり、裏面に37行で約1630の契丹大字が刻まれている。誌石に26行の漢字による墓誌銘がある。1987年、巴林左旗の烏蘭壩蘇木の浩爾図村から発見され、現在遼上京博物館に所蔵されている。

(08) 大金国郎君墓誌(金代朗君): 金大定十六年(1176)に製作されたもので、誌石の拓本のみ発見されている。契丹大字は 16 行 390 字刻まれている。本墓誌の具体的な出土時期と出土地及び原石の行方などは不明である。1950 年代、古書店から発見された。現在まで発見された資料の中で唯一金代に製作された契丹大字墓誌である。

(09) 故永寧郡公主墓誌銘(永寧郡): 遼大安八年(1092)製作されたもので、漢字タイトルが記された誌蓋と契丹大字の墓誌銘から成っている。契丹文は 36 行あり、合計約 1485 文字が刻まれている。同じ墓から出土した永寧郡公主の夫である蕭興言の漢字墓誌銘が発見されている。2000 年、巴林左旗の王家溝から発見され、現在遼上京博物館に所蔵されている。

(10) 耶律昌允墓誌(昌允): 遼大康十年(1084)六月に製作されたもので、誌蓋と誌石から成る。誌蓋に 3 行で 12 字(現存 8 字)の契丹大字タイトルがあり、誌石に 30 行 870 字が刻まれている。当時出土した耶律昌允の妻である蘭陵郡夫人蕭氏の漢字墓誌銘が発見されている。2000 年、赤峰市元宝山区小五家子回族郷大営子村から発見され、現在元宝山区文物管理所に所蔵されている。

(11) 耶律突里不朗君墓誌碑(突里不): 遼大康七年(1081)に製作されたもので、石碑の両面に刻まれた碑文である。碑文の表面に 15 行約 610 字、裏面に 6 行 177 字がある。本墓誌碑の具体的な出土地・時期などは不明だが、阿魯科爾沁旗の罕蘇木にある耶律羽之墓群から発見されたと推測される。現在阿魯科爾沁旗博物館に所蔵されている。

(12) 耶律祺墓誌銘(耶律祺): 遼乾統八年(1108)製作されたもので、漢字による墓誌銘と契丹大字による墓誌銘から成る。漢字墓誌銘は残片だけ残り、契丹文墓誌銘の誌蓋も破損しているが、3 行で 13 字が復元できる。誌石も不完全であるが、46 行約 2845 字が刻まれている。1993 年、阿魯科爾沁旗の罕蘇木の耶律羽之墓群から発見され、現在内蒙古文物考古研究所に所蔵されている。

(13) 契丹大字木牘(木牘): この資料の製作された年代は不明であり、両面に文字が書かれた木牘と片面に文字が書かれた木牘から成る。両方とも墨書されたもので、両面に文字がある木牘には、片面に 63 行 212 字、もう片面に 67 行で約 236 字ある。片面に文字のある木牘は 1 行で約 26 文字がある。両木牘をあわせて約 470 の契丹大字が書かれている。1999 年内蒙古興安盟科右中旗代欽塔拉蘇木から発見され、現在科右中旗博物館に所蔵されている。

(14) 蒙古国東戈壁省出土石碑(東戈壁): 約清寧四年(1058)に製作された碑文であり、7 行で凡そ 150 契丹大字が刻まれている。これはモンゴル国から発見された初めての契丹文碑文である。2010 年、モンゴル国東戈壁省から発見され、現在モンゴル国国立博物館に所蔵されている。

(15) ロシア科学アカデミー東洋文献研究所所蔵契丹大字写本(写本): 製作された時間は不明で、現在まで唯一無二の契丹大字写本であり、127 ページに 15360 以上の文字が記されている。2010 年、サンクトペテルブルグにあるロシア科学アカデミー東洋文献研究所で契丹大字資料と認定され、現在同研究所に所蔵されている。

(16) 留隱太師墓誌銘(留隱):遼乾統九年(1109)に製作されたものであり、誌石のみが発見され、誌蓋の行方も不明である。契丹大字 25 行、約 800 文字が刻まれている。本墓誌の具体的な出土時期と出土地及び原石の所蔵地などは不明である。この墓誌は現在未公開である。

以上挙げられた契丹大字資料のほか、「清寧二年墓誌」・「痕得隱太傅墓誌」及び、残石・石棺・印章・コイン・銅鏡・断崖及び符牌などに記された資料が発見されている。

本書では内蒙古大学蒙古学学院と内蒙古蒙科立軟件有限責任会社が協力し開発した契丹大字及び小字のフォントを用いる。符号□は破損した契丹文字を、符号○は意味が明らかではない契丹文字を指す。契丹小字データベースは内蒙古大学の契丹文字再研究グループが構築したものであり、序論で紹介した 41 の契丹小字の碑文・墓誌銘・哀冊及び他の史料から構成される。

契丹文字の推定音価は、特に注記していない場合は『清格爾泰文集』第五卷(清格爾泰、赤峰:内蒙古科学技術出版社、2010)から、漢字上古音・中古音及び近代音は『漢字古今音表』(李珍華・周長楫、北京:中華書局、1993)から、遼史に関する記録は『遼史』(元・脱脱等撰、中華書局、1974)及び『契丹国誌』([宋]葉隆礼撰、賈敬顔・林榮貴点校、上海古跡出版社、1985)からそれぞれ引用している。

そのほか、研究者の意見が一致している解読に対しては、本文では逐一注を付けていない。研究者の意見が一致していないもの、或いは新たな見解の積読にのみ説明を加えることとする。

# 契丹小字「耶律玦墓誌銘」考釈

1. 墓誌銘のタイトルと作者
  2. 墓主の先祖
    - 2-1 墓主の出身氏族及び祖先
    - 2-2 墓主の第六代の先祖
    - 2-3 墓主の第五代の先祖
    - 2-4 墓主の第四代の先祖
    - 2-5 墓主の第三代の先祖
    - 2-6 墓主の父と叔父
  3. 墓主と兄弟
  4. 墓主の母
  5. 墓主の叔父とその子供達
  6. 墓主の経歴
  7. 墓主の妻
  8. 墓主の子孫
  9. 葬儀
  10. 墓主に対する評価
  11. 銘文
- おわりに

## 1. 墓誌銘のタイトルと作者

第1行は第2行と比べて、10文字ほど低い所からはじまる。本墓誌銘のようなスタイルで製作された資料として「韓迪烈」・「突里不」・「蕭審密」などが挙げられる。一方、これまでに発見された多くの資料では、最初の行は後続する行と同じ位置からはじまる。

残念ながら、墓主名が示された可能性のある文字が破損しているため、読み取ることができない。その他の文字は次のように読むことができる。

又 令考 兆利 天关 凡安 谷峇 全及 中火 兆 凡亦 凡亮 全哥 凡亦 友用 中哥 凡火 兆和 凡文 □

大。契丹国の故左龍虎軍上將軍貞亮功臣兼

このうち、友用 中哥 は先行研究により「正亮」と解読されたが（愛新覚羅 2011）、『遼史』卷一〇五に見られる「貞亮功臣」の記述を参考にして「貞亮」と解読するのが適当と考えられる。「貞亮」の漢字音と対応する契丹小字の音価も近似している。

	上古音	中古音	近代音	
貞:	tʃeŋ①	tʃeŋ①	tʃiəŋ①	友用 : tʃi-iŋ
亮:	liəŋ③	liəŋ③	liəŋ④	中哥 : l-iəŋ

次の 公 友 孟 凡 兆 中 兆 峇 は「墓誌序併」に相当することが明らかとなっている。続く 天 及 才 奈 网 友 伏 本 は先行研究では「女婿胡睹董製作」と解読されている（愛新覚羅 2011）。愛新覚

羅(2011)は、この墓誌銘の撰者である<sup>才奈伏</sup>胡睹董は契丹小字『蕭胡睹董審密墓誌銘』の墓主であり、耶律玦の長女の夫であり、『遼史』に見られる忽突董であると指摘している。この親族関係に従うならば、<sup>辰及</sup>が「婿」という意味を表すのは妥当である。この語は、他の資料中にも出現しており、『詳穩』第 32 行目の<sup>辰及</sup><sub>币</sub>は「婿」の複数形であり、『太傳』6に見られる<sup>辰及</sup><sub>北</sub>も「婿」を意味すると考えるべきであろう。

## 2. 墓主の先祖

### 2-1 墓主の出身氏族及び祖先

本墓誌銘の 2/1—16<sup>1</sup>では墓主の出身氏族に言及している。

北利 采又 辰及 <sup>采奈</sup><sub>符又</sub> 采奈 采奈 北乃 弱当 采 采各 叔北 辰及 采和 采考 采立 与采 几

○ 契丹の大 孝 大 篤義 ○ 烏 倣穩 所謂 孟 父房の 鮮質 可汗の 後裔

<sup>北乃</sup><sub>州</sub>の意味「篤義」は即実(1996)を参考にし、「烏」は『遼史』卷九一に見られる「耶律玦、字烏展、遥輦鮮質可汗之後」という墓主に関する記述を参考にしている。<sup>采各</sup><sub>采</sub>は『凶古辞』9にも出現し、「倣穩」と解説されている(愛新覚羅 2011)。『遼史・国語解』に「倣穩諸帳下官。亦作常衰、蓋字音相近也。」とあり、「常衰」と解説することもできる。

『故耶律』13の又<sup>几和</sup><sub>又</sub> <sup>采奈</sup><sub>采</sub> <sup>叔北</sup><sub>采</sub>が「嗚呼哀哉」に相当することは以前より知られており、<sup>叔北</sup><sub>采</sub>と<sup>叔北</sup><sub>几</sub>は同じ語幹を持つことから、<sup>叔北</sup><sub>几</sub>を「所謂」或いは「と言う」などの意味を持つと推測する。<sup>与采</sup><sub>几</sub>は「後代、後世の人」或いは「後裔」と推測される。この文の内容から、墓主は遥輦鮮質可汗の後裔で『遼史』卷九一に伝のある耶律玦であることが明らかとなる。したがって、この資料を契丹小字『耶律玦墓誌銘』と命名したい。

2/13—20では耶律玦の先祖である鮮質可汗の出身地について言及している。

采考 采立 采奈 采奈 伏采 又 采余 采化  
采 采 采 采 采 采 采 采

鮮質 可汗 ○ 迭刺 部 大 蔑弧 石烈

このうち、<sup>采奈</sup><sub>采</sub>は<sup>小</sup><sub>采</sub>と同じく「迭刺」を意味する。その発音は telax 或いは delag である。

<sup>采余</sup><sub>采</sub>「蔑弧」は石烈名、即ち郷の名前である(呉英喆 2011)。

次の文では、痕得董可汗の位を霞瀨益石烈耶律彌里の阿保機へ譲位したについて叙述

<sup>1</sup>本稿では、資料における文字の位置を 2/1—16 (第 2 行第 1 字—第 16 字)のように示す。



する。このうち、「位」を表す<sup>又雨</sup>については愛新覚羅（2011）、「移す」を表す<sup>化本</sup>に<sup>万</sup>については即実（1996）、「霞瀬益石烈耶律彌里」を表す<sup>曲立</sup><sup>又化</sup><sup>考全</sup><sup>万本</sup><sup>又化</sup>については  
<sup>中</sup><sup>券</sup><sup>又</sup><sup>火</sup><sup>天</sup>  
 宝玉柱（2006）により解説されている。

## 2-2 墓主の第六代の先祖

3/39—49: <sup>女</sup><sup>公</sup><sup>生</sup><sup>中</sup><sup>考</sup><sup>全</sup><sup>又</sup><sup>中</sup><sup>考</sup><sup>出</sup><sup>及</sup>  
<sup>及</sup><sup>雨</sup><sup>及</sup><sup>火</sup><sup>及</sup><sup>雨</sup><sup>火</sup><sup>及</sup><sup>中</sup><sup>又</sup>  
 第六代の 先祖 合魯隱 敵刺 敵穩 孟 父帳の 敵穩 成った

この文は墓主の第六代の先祖について言及している。愛新覚羅（2011）は、<sup>考</sup><sup>及</sup><sup>全</sup>を  
 『遼史』卷七四に伝のある「合魯隱・敵刺」と解説しているようである。この解説に従うな  
 らば、<sup>考</sup>の音価は漢字「合魯」との対応より hol と推定できる。しかし、この文字の音価に  
 ついては研究者によって意見が異なっている。康鵬（2011）は<sup>考</sup><sup>及</sup>は人名「鐸幹」に対応  
<sup>扎</sup>  
 すると考え、<sup>考</sup>の音価を do とする。<sup>考</sup>の推定音価については hol と do という全く異なった  
 意見が提出されていることになる。ここでは、<sup>考</sup><sup>及</sup>と「合魯隱」の対応は合理的であると  
<sup>雨</sup>  
 考えられるので、<sup>考</sup>の音価を hol と推定したい。

## 2-3 墓主の第五代の先祖

3/50—4/2: <sup>令</sup><sup>公</sup><sup>生</sup><sup>中</sup><sup>列</sup><sup>又</sup><sup>仇</sup><sup>弱</sup><sup>只</sup>  
<sup>及</sup><sup>及</sup><sup>雨</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>夫</sup><sup>卡</sup><sup>弱</sup><sup>及</sup>  
 第五代の 先祖 匣馬葛 郎君 官職 未だ 賜

ここは墓主の第五代の先祖のことを説明している。<sup>只</sup><sup>及</sup>を即実（1996）は「給、賜、  
 奉」という意味をもつと指摘している。この<sup>只</sup><sup>及</sup>にさらに接尾辞が付加される例は見られ  
 ない。本墓誌の第 18 行目の<sup>只</sup><sup>当</sup>は<sup>只</sup><sup>及</sup>と同じ意味を示しており、主語の性別によって現れ  
 る接尾辞が異なっているようである。もし<sup>仇</sup><sup>卡</sup>の意味が「官職」であるならば、<sup>仇</sup><sup>卡</sup><sup>弱</sup>  
<sup>只</sup><sup>及</sup>の意味を「官職を受けなかった」と推測することができよう。

## 2-4 墓主の第四代の先祖

4/3—16: <sup>令</sup><sup>公</sup><sup>生</sup><sup>中</sup><sup>止</sup><sup>全</sup><sup>又</sup><sup>受</sup><sup>中</sup><sup>中</sup><sup>雨</sup><sup>又</sup><sup>力</sup><sup>公</sup><sup>不</sup>  
<sup>及</sup><sup>及</sup><sup>雨</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup><sup>及</sup>  
 第四代の 先祖 ○ 解里 ○ ○ 冬 軍 ○ 居る ○ 落ちた

この文は墓主の第四代の先祖の経歴を語る。その名前は「止力・解里」で、冬軍を率いていたが、どこかに落下(?)したようである。即実（1996）の研究によって、而安が「軍」を示すことが初めて解読された。

2-5 墓主の第三代の先祖

4/17-29: 列帀 公不 生 丰 坊伏 今力 兀关 弓 又当 与丞 兀关 弓 止及 困用 又

第三 代の 祖父 。 三 世 燭 。 。 世 燭 成 った

この人物は墓主の第三代の先祖であり、その名前は「坊伏・三」で「世燭」と成った（愛新覚羅 2011）。『遼史』巻四五には「遥輦九帳大常袞司」の下に「遥輦侍中、一作世燭、太宗会同元年置」との記述がある。この記述から兀关 弓「世燭」と兀 弓 丞「侍中」は同じ意味を表すことが分かる。

劉鳳翥（2011）は契丹文字墓誌でのそれぞれの世代の言及の仕方について論じ、墓主を第一代とすると、第二代を「父」と言う語によって言及し、第三代を「祖父」と言う語によって言及すると言う。そして本文に見られるような「第三代の祖父」という表現は存在しないと言う。しかし、この墓誌の記述から見ると、劉氏の考え方は正確とは言えない。

4/30-48: 生 丰 列女 六丹 今 兀火 今 丞 今 金 兀火 兀 今 拜 兀用 今 出 兀安 今 出 圣 丞 丞 仇卡 只 丞

祖父（人名） 副署再び封ぜられ号使相 景宗 聖宗 二可汗官職賜

ここは墓主の祖父の経歴に関して記している。愛新覚羅（2011）は列女 丞を「合朮隱」と解読しているようである。六丹 丞は「第七」を意味することが知られているが、ここでは人名を示しているようである。しかしながら、この字形は摩滅が進んでおり、判読は困難である。この人物は景宗と聖宗二皇帝の臣であり、子供が二人いた。

2-6 墓主の父と叔父

5/19-7/23 は墓主の父と叔父に関して言及しており、内容はより詳しくなっている。5/19-29 に今 拜 兀火 付列 丞 又及 中丙 今 今 力 公 丞 兀 兀 丞 とあり、その意味は「相公の子供は二人で長男が留隱菩薩奴都監(である)」とある。この記述から、墓主の父の名前が「留隱・菩薩奴」（愛新覚羅 2011）であることがわかる、この名前は『遼史』中にも見られるが墓主の父と同じ人物を指しているか明らかではない。次に 圣 兀 由 今 欠 兀 关 とある。これは留隱の授かった官職の「〇度使」を意味する。契丹文字 圣 兀 由 は「度使」・「觀察」及び「防御使」

などの語の前にも出現するが、意味は明らかではない。

5/40—52: 又安 全出 主王 非朱 又力 舟列 羽和 力半 亦 全用 付用 又力 止及 雨申 又

聖 宗 皇帝の時代 郎君 子供 中の 居る 雲 清の 兵 馬 成った

この人物は聖宗皇帝の時代に「郎君班」や「雲清兵馬」になった（愛新覚羅 2011）。6/12—13 に<sup>全金 全岑</sup><sub>北岑</sub> とあり、留隠は「病気で亡くなった」ことが分かる。これ以外の部分に関しては解説が困難である。

7/12—19: 全天 凡丸 中丙 凡 来去 全天 凡 来去 伏 水 伏 水女

喜隠 高 六 侍 中 喜隠 侍中の

これは墓主の叔父に関する内容である。「喜隠」と言う名前は『遼史』に現れる人名を参考にした。

### 3. 墓主と兄弟

7/24—37: 来各 中丙 丞 凡和 又冬 舟力 雨先 公亦 令用 全考 丞立 丞化 公不 凡 女 伏 余 羽和 羽和 当 来 天 岑 羽

徹穩 留隠 太師の 長 男 ○ 捺鉢 敵輦 鮮質 可汗 第八 代の人

この「徹穩」は墓主を指す。墓主は、「留隠太師」の長男であり、「某捺鉢」の「敵輦鮮質可汗の第八代の人」であることが記されている。ここでは<sup>雨</sup>先 の意味は不明であるが、

<sup>公亦 羽和</sup> が「捺鉢」を意味することは明らかであることから、「某捺鉢の人」という表現が存在することになる。

7/38—54: 羽 扎中 来火 汁 丞 來 曲公 雨天 关化 今金 又及 半和 行 凡才 力半 来本 去火 舟伏 百

弟 烏盧本 猪 糞 太尉 観 察の 号 封ぜられ 孟 父帳の 都 監 居る 昔 故

「弟」は墓主の弟を指す。弟の名は「烏盧本・猪糞」であり「太尉観察」となり「孟父房の都監」であるときに死亡した。次の文、7/55—8/9 では「烏盧本」の死後の状況について述べているようである。解説は困難であるが、その中に「兄」を表す<sup>才么</sup><sub>火</sub> が見られることから、おそらく「烏盧本」と墓主との間にあった出来事についても記されているようである。

#### 4. 墓主の母

8/10-33: <sup>田用</sup> <sup>立力</sup> <sup>出</sup> 百 今考 <sup>中文</sup> <sup>考</sup> <sup>今秀</sup> <sup>伏</sup> <sup>凡安</sup> <sup>和</sup> <sup>又化</sup> <sup>凡又</sup> 酒 仔急 丞 凡 中丙 凡 凡水 <sup>来火</sup> <sup>女</sup> 舟力

生んだ 母 小 連 夫人 国の 梅里急 懿 唐 太 師 劉 十 公 主の 息子

斥 凡 <sup>来水</sup> <sup>舟考</sup> <sup>今秀</sup> <sup>伏</sup> 圣和 <sup>来化</sup> <sup>当</sup> 舟力

敵烈 侍 中 。 夫人 二の 次 女

ここでは生母に言及している。女性の連体修飾語として使われる<sup>田用</sup> <sup>立力</sup> <sup>出</sup> は「鎮国」11の<sup>田中</sup> <sup>立力</sup> <sup>出</sup> と

同じように「生んだ」という意味を表すことは明らかである。「小蓮」、「懿唐」、「劉十」という名前は契丹文字の発音から復元した名前であり、歴史書の記述から確認したものではない。

墓主の外祖母の名前<sup>今中</sup> <sup>舟考</sup> は『耶律奴』44にも見られる。

<sup>来今</sup> <sup>又火</sup> <sup>今舟</sup> <sup>凡水</sup> 「姉副署相公」という記述が続くが、それに関する文の内容については解説が困難である。

9/36-43: <sup>凡只</sup> <sup>火</sup> <sup>凡中</sup> <sup>矢</sup> 可 凡亦 <sup>止尔</sup> <sup>平立</sup> <sup>舟力</sup> <sup>舟利</sup> <sup>叔比</sup> <sup>凡</sup>

人の 語に 。 。 。 子供に 。 と言う

これは明らかに諺の引用である。<sup>凡只</sup> <sup>火</sup> <sup>凡中</sup> <sup>矢</sup> は「人の語に」或いは「人々の言葉に」という意味である。<sup>叔比</sup> <sup>凡</sup> は「と言う」を意味し、「人々の言葉には……と言う」のような呼応関係を持つ文型を構成する。これは母と子に関する諺だと考えられるが、具体的な意味は分からない。

#### 5. 墓主の叔父とその子供達

10/6-17: <sup>来</sup> <sup>今火</sup> <sup>凡</sup> <sup>弓水</sup> <sup>火</sup> <sup>又冬</sup> <sup>舟力</sup> <sup>斥</sup> <sup>中用</sup> <sup>凡水</sup> <sup>又舟</sup> <sup>舟出</sup> <sup>力冬</sup> <sup>全比</sup>

弟 喜隠 侍 中の 長 男 敵烈 令 公の 郎君 。 。

この「喜隠」と言う名前から見ると、墓主の叔父のことを説明しているようである。その長男の名前である「敵烈」は第8行に見られる墓主の外祖父の名前と同一である。この文の具体的な意味は十分に解説することができないが、喜隠侍中には三人の娘がいることが読み取れる。

10/21-32: <sup>又</sup> <sup>乃</sup> <sup>列舟</sup> <sup>尔火</sup> <sup>列空</sup> <sup>力出</sup> <sup>舟和</sup> <sup>引化</sup> <sup>欠尔</sup> <sup>才</sup> <sup>舟女</sup> <sup>圣田</sup> <sup>又舟</sup> <sup>去矢</sup> <sup>及平</sup> <sup>谷当</sup>

大 。 。 娘子 別部 国舅の 宰相の 兄弟の 解里 郎君に 嫁ぐ

劉鳳翥ほか(2009)は<sup>才</sup> <sup>舟女</sup> が「横帳」を意味すると言うが、この墓誌の記述に従うと、国舅別部の中にも「横帳」が存在することになるため、劉氏の見解は再検討する必要がある。

10/33—38: 未化 充九 尔火 丹寺 为半 丙  
当 券

第二 ○ 娘子 ○ ○ 故

次女の名前は<sup>充九</sup>券であり、死亡したとある。第三女に関して次のような記録がある。

10/39—50: 列市 焚考 友关 弱当 全半 凡 未去 凡丙 今雨 雨 北矢 全文  
当 火 火火

第三 ○ ○ ○ 大 師 中 宮の清 隱 寺に居る

愛新覚羅(2011)は、この人物について「幼尼となり、円智只亮大師と号する」と言う。「円智只亮」と言う名に関してはさらに検討する必要があるが、この人物が尼となったという推測は妥当であろう。ここでは契丹文字の発音に従い寺名を「清音寺」とするが、この名が適切であるかどうかは更なる研究が必要である。この文の解読から全文は動詞であり、「居る」という意味を表すと推測される。この文字はこれまでに発見された資料では 24 箇所で見られるが、多くの場合人名「傑」の音写として使われている。

## 6. 墓主の経歴

10/51 から墓主に関する記述が始まる。11/26—30 に<sup>今禾</sup>丙 又及 兮和 兆九 とある。これは

「母夫人大礼/印の文字」という意味になる。この「大礼/印の文字」は契丹大字を示す（之庸ほか 2008）。11/40—43 に又及 尺分 兮和 兆九 とある。これは「契丹大小字」と解読されている（愛新覚羅 2011）。この句は「大副礼/印の文字」と訳しうるが、尺分の 1 つ目の原字が尺であるか尺であるかはっきりとしない。もし、尺分の字形が問題なければ、遼代には契丹小字を「副礼の文字」或いは「副印の文字」と呼んでいたことになる。後続する文章によると、墓主は 20 歳の時「天雲軍」、22 歳の時「女真」と関わったようであり、24 歳の時「印牌司郎君」となった。文中に出現する<sup>尺平</sup>立半 は「補う」という意味をもつと考えられている。その年に「通進」になり、25 歳の時、興宗皇帝の某官になった。

13/28—41: 升分 中立 宅 圣 半矢 未九 又化 今火 今雨 又並 中当 几 刃丙 止及  
为半 和 北 雨半 爻

重熙 十二年に左 院 通 進 ○ ○ 人 ○ 成った

重熙十二年は 1043 年であり、墓主はこの年「左院通進」になった。又並 中当 は漢語からの借用語と考えられるが、語の同定はできていない。

13/42—53: 宅 宅 半矢 小 又化 未安 与 止及 未焚 亦 毛今 屋分  
全 也 凡

十四年に南 院 承 旨 成り ○ ○ ○ 知

重熙十四年は 1045 年である。<sup>未焚</sup>亦 毛今 凡 の意味は明らかではないが、南院承旨の管理

する部署を指すと考えられる。この年、墓主は母の安葬か再安葬を行ったようである。

14/30-32 の市全 臣全 丞丹 止市 及本 は「護衛太保になった」を意味すると推測される。その後、「文班太保」・「興聖同知？」・「小將軍」・「南京の統軍の都監」となった。

15/52-55: 竹 來凡 北 止半 北 夫关 丑本 央平 尺火

礼左司牌子授与。補う

以上の「左司」・「授与」は文脈から推測したものであり、今後検証する必要がある。

16/1-16: 才 方火 行 凡才 方半 尺关 全火 主王 丸亦 存全 羽和 火关 尺和 凡丙 及市 央丞 北方 火北 北 本

〇〇 都監 居る 興宗皇帝の 〇 中の事の山の宮 〇 〇 〇  
この才 方火 は「横帳の都監」あるいは「兄弟の都監」のどちらとも考えても奇妙であるので、「才 方火」を「丞丞 尺凡 曲谷 才 方火 又及 尺分 州欠半和」の省略と考えるべきであろう。この文の具体的意味はまだ解読できていないが、興宗皇帝の陵墓の建設を管理したということかもしれない。次に道宗皇帝が即位した後の耶律玦の経歴に関する記述が続く。

16/17-31: 央 冬本 主王 又雨 全生 百欠 凡凡 丞丹 止及 半么 面伏 曲公 雨央 关化 令金 半谷 百

清寧 皇帝の位 嗣 再び文班太保 成り 処置 観 察の号 封ぜられ

『遼史』に「処置」と「観察」と言う語がしばしば連続して出現することから、<sup>半么</sup> 面伏 は「処置」に相当すると推測したい。清寧皇帝が即位したのは清寧元年のことなので、墓主がこの号に封ぜられたのは1055年以降のことである。

16/32-42: 分 乃乃 臣全 尺庄 百谷 丹冬 圣化 令欠 又关 关化 令金 半谷 百

副 〇 統 〇 〇 又 〇 度 使の号 封ぜられ

ここでも墓主の官職について言及しているが、多くの文字はまだ解読できない。<sup>圣化</sup> 由 は「度使」の修飾語であり、本墓誌では二箇所に見えるが、具体的な意味は明らかではない。

16/43-50: 外列 臣全 半圣 火 屋丞 及子 百寸 止及 方出 才考 羽矢 又 止寸 全

〇 統林牙の事知に 除 遷 成り

愛新覚羅 (2011) は<sup>外列</sup> 方出 臣全 半圣 才考 を「群牧都林牙」と解読しているようである。「群牧」を表す<sup>外列</sup> 方出 はほかの資料には出現しないので、今後さらに検討する必要がある。

16/51—17/3: 全 关 凡 用 小 十 圣 又 方 乃 全 乃 全 卍 中 么 尺 安 为 亦 中 又 相

西 京 南 西 二 地 方 の 疆 場 〇 〇 巡 察

これはこの文の最後の部分である。16-17 以降の動詞語尾に現れている「百・百・全」は副動詞接尾辞である一方、ここに見られる「又」は叙述類の接尾辞である。「全」の「全」は複数を表す接尾辞であり、数詞「二」と一致していることから、「地方」を意味する名詞と推測される。「又」の意味である「巡察」は推測したものであるため、今後検証する必要がある。

17/4—11: 圣 关 主 圣 关 介 火 辰 和 又 雨 及 雨 臣 兮 矢

太 皇 太 后 の 山 の 墓 〇 統

墓主が「太皇太后の山の墓」を統領していたことを述べる。漢字音「太」は「𠂇」と書かれることが多く、ここに出現する「𠂇」の表記は初めて見られるものである。同じ漢字に対して複数の表記が存在するのは、契丹小字の特徴である。

17/20—32: 秀 火 中 圣 才 秀 仇 卡 尺 安 及 安 北 又 及 曲 芬 丞 叔 半 几 又 才 止 及 子 炙 弱

この 烏 林 牙 〇 〇 除 大 帳 可 汗 〇 人 善 成 り

この文の具体的な意味は分からない。「烏林牙」は墓主を示し、「大帳可汗」は道宗皇帝を示す。「叔半」のはじめの原字の字形は摩滅している。新発見の原字の可能性もある。後続する「付」の「火」は城名の音写と推測される。また「上將軍の号」と「漢兒副署」を表す文字が見られる。

18/9—12 に「全」の「乃」 友 安 及 引 乃 相 とある。これは「三〇五〇」と訳し得るが、その具体的な意味は解読できない。

18/53—19/9: 尖 冬 本 无 半 矢 今 火 凡 安 相 非 止 平 帝 为 为 亦 止 市 火 火 中 又 关 支

清 寧 五 年 に 宋 国 の 時 間 閏 〇 巡 察 帰 り 至 り

ここでは耶律玦の政治的な活動について述べている。その詳しい意味は分からないが、宋国に派遣されたようである。

19/10—20: 小 十 邪 无 火 行 凡 才 圣 又 危 今 并 凡 亦 相 火 化 百 止 弱 令 秀 凡 用 相 令 水 今 文 全 止 及 雨 坐 火

南 西 招 討 の 都 監 上 将 軍 の 号 遷 南 京 の 同 簽 成 っ た

この記述は『遼史』の耶律玦伝にある「出為西南面招討都監、歷同簽南京留守事」と一

致している。このうち<sup>全文</sup> <sup>全文</sup>は<sup>全文</sup>の誤刻と考えられる。この複文から、<sup>弱</sup>は副動詞接尾辞であることがわかる。

19/30—45: 小 <sup>及</sup> <sup>化</sup> <sup>中</sup> <sup>全</sup> <sup>上</sup> <sup>及</sup> <sup>未</sup> <sup>化</sup> <sup>中</sup> <sup>全</sup> <sup>为</sup> <sup>立</sup> <sup>为</sup> <sup>方</sup> □ <sup>用</sup> □ □ <sup>火</sup> <sup>今</sup> <sup>雨</sup> <sup>凡</sup> <sup>火</sup> <sup>逐</sup> <sup>杰</sup> <sup>方</sup> <sup>安</sup> <sup>居</sup> <sup>及</sup> <sup>为</sup> <sup>亦</sup> <sup>弱</sup> <sup>矢</sup> <sup>中</sup> <sup>又</sup>

南 院 林 牙 成 り 第 二 林 牙 。 。 。 事 秦 国 大 王 同 知 巡 察

この記述は『遼史』の耶律玠伝にある「南面林牙、皇弟秦国王為遼興軍節度使、以玠同知、多所匡正」と一致する。

19/55—20/8: 突 <sup>冬</sup> <sup>本</sup> <sup>毛</sup> <sup>中</sup> <sup>矢</sup> <sup>凡</sup> <sup>才</sup> <sup>全</sup> <sup>凡</sup> <sup>考</sup> <sup>逐</sup> <sup>未</sup> <sup>和</sup> <sup>关</sup> <sup>化</sup> <sup>令</sup> <sup>金</sup> <sup>中</sup> <sup>全</sup> <sup>百</sup> <sup>未</sup> <sup>考</sup> <sup>余</sup> <sup>安</sup> <sup>今</sup> <sup>又</sup> <sup>火</sup> <sup>出</sup> <sup>及</sup> <sup>子</sup> <sup>符</sup> <sup>又</sup>

清 寧 十 年 に 検 校 太 尉 の 号 封 ぜ ら れ 漢 兒 副 署 成 っ た

清寧十年（1064）に「検校太尉の号に封ぜられた」と記されている。これに相当する内容は『遼史』には見られないが、「漢兒副署」に関しては耶律玠伝の「十年、復為枢密副使」と言う記録と一致する。

20/9—24: 突 <sup>令</sup> <sup>火</sup> <sup>九</sup> <sup>安</sup> <sup>中</sup> <sup>伏</sup> <sup>及</sup> <sup>安</sup> <sup>中</sup> <sup>全</sup> <sup>伏</sup> <sup>圣</sup> <sup>兆</sup> <sup>全</sup> <sup>凡</sup> <sup>火</sup> <sup>未</sup> <sup>雨</sup> <sup>又</sup> <sup>未</sup> <sup>逐</sup> <sup>全</sup> <sup>谷</sup> <sup>又</sup> <sup>考</sup> <sup>符</sup> <sup>及</sup> <sup>火</sup> <sup>关</sup> <sup>化</sup> <sup>令</sup> <sup>金</sup> <sup>中</sup> <sup>全</sup> <sup>百</sup> <sup>中</sup> <sup>又</sup>

咸 雍 元 年 続 け て 二 字 功 臣 守 太 師 少 保 号 封 ぜ ら れ た

この文の解読は容易である。ただし、このうち、<sup>及</sup> <sup>安</sup> <sup>中</sup> <sup>全</sup> <sup>伏</sup>の意味である「続けて」は推測した

ものであるため、今後検証する必要がある。この後に、<sup>今</sup> <sup>弱</sup> <sup>乃</sup> <sup>矢</sup>、「唐の事知」などの表現が見られるが、文全体の意味を理解するのは困難である。

20/39—44: 口 <sup>中</sup> <sup>符</sup> <sup>及</sup> <sup>及</sup> <sup>又</sup> <sup>火</sup> <sup>伴</sup> <sup>公</sup> <sup>臣</sup> <sup>今</sup>

そ の 年 部 署 院 の 続

「その年」は咸雍元年（1065）を指し、「部署院」は「契丹行宮都部署院」或いは「漢兒行宮都部署院」を示す。

20/46—58: 突 <sup>令</sup> <sup>火</sup> <sup>圣</sup> <sup>中</sup> <sup>及</sup> <sup>平</sup> <sup>今</sup> <sup>雨</sup> <sup>凡</sup> <sup>火</sup> <sup>杰</sup> <sup>不</sup> <sup>今</sup> <sup>火</sup> <sup>凡</sup> <sup>丙</sup> <sup>火</sup> <sup>火</sup> <sup>中</sup> <sup>丙</sup> <sup>又</sup> <sup>未</sup> <sup>出</sup> <sup>及</sup> <sup>子</sup> <sup>比</sup>

咸 雍 二 年 冬 秦 国 王 の 西 宮 の 留 守 成 り

この文のほとんどの部分は問題なく解読できる。咸雍二年は 1066 年であり、秦国王は道宗皇帝の弟の耶律弘世を指す。「西宮留守」は「西京留守」の誤りかもしれない。この表現は『遼史』耶律玠伝の「及秦国王為西京留守、請玠為佐、従之」の記録と関係がある。

20/59—65: 今 <sup>又</sup> <sup>火</sup> <sup>为</sup> <sup>立</sup> <sup>为</sup> <sup>方</sup> <sup>令</sup> <sup>火</sup> <sup>出</sup> <sup>及</sup> <sup>采</sup> <sup>和</sup> <sup>符</sup> <sup>公</sup> <sup>为</sup> <sup>艾</sup>

副 署 居 る 通 判 の 。 居 る



これは文末であるが、**芳公** の意味はまだ明らかではない。**为** の**女** は動詞接尾辞と考えるべきであろう。

21/1—15: <sup>采化</sup> <sup>当</sup> <sup>中</sup> <sup>火</sup> <sup>水</sup> <sup>北</sup> <sup>凡</sup> <sup>亦</sup> <sup>又</sup> <sup>急</sup> <sup>全</sup> <sup>并</sup> <sup>凡</sup> <sup>亦</sup> <sup>和</sup> <sup>关</sup> <sup>化</sup> <sup>令</sup> <sup>金</sup> <sup>中</sup> <sup>本</sup> <sup>百</sup> <sup>方</sup> <sup>立</sup> <sup>方</sup> <sup>令</sup> <sup>火</sup> <sup>止</sup> <sup>为</sup> <sup>天</sup> <sup>止</sup> <sup>及</sup> <sup>全</sup>

第二年 左 龍 虎 軍 上 将 軍の 号 封 ぜ ら れ 遷 通 判 成 り

「第二年」は咸雍三年（1067）のことであり、「左龍虎軍上將軍」は本墓誌のタイトルにも含まれていることから、墓主にとって最も重要な官職と言える。

21/16—27: <sup>西</sup> <sup>中</sup> <sup>立</sup> <sup>本</sup> <sup>和</sup> <sup>口</sup> <sup>为</sup> <sup>出</sup> <sup>毛</sup> <sup>中</sup> <sup>矢</sup> <sup>余</sup> <sup>列</sup> <sup>引</sup> <sup>中</sup> <sup>凡</sup> <sup>才</sup> <sup>全</sup> <sup>凡</sup> <sup>考</sup> <sup>巫</sup> <sup>凡</sup> <sup>和</sup> <sup>关</sup> <sup>化</sup> <sup>令</sup> <sup>金</sup> <sup>中</sup> <sup>本</sup> <sup>百</sup>

。 。 一 年 に 第 三 回 検 校 太 師 の 号 封 ぜ ら れ

**引中** の正確な意味はまだ解読されていないが、一年に三回封ぜられ検校太師になったことを意味していると考えられる。**余列** 「第三」と**引中** 「回」の推定は今後検証する必要がある。

21/28—39: <sup>止</sup> <sup>为</sup> <sup>本</sup> <sup>止</sup> <sup>雨</sup> <sup>圣</sup> <sup>矢</sup> <sup>无</sup> <sup>羽</sup> <sup>百</sup> <sup>方</sup> <sup>立</sup> <sup>方</sup> <sup>止</sup> <sup>雨</sup> <sup>圣</sup> <sup>羽</sup> <sup>乙</sup> <sup>六</sup> <sup>谷</sup>

邑 食 二 千 五 百 実 封 食 二 百 五 十 賜

これはこの複文の最後の節である。**止为** **止雨** を、ある学者は「食邑」と解読したが、契丹語の語順に従うならば、「邑食」の順で記されていると考えるのが適当であろう。次に「北院副署」及び「郎君班知」に関する内容が続く。

22/35—42: 一 <sup>采</sup> <sup>化</sup> <sup>今</sup> <sup>又</sup> <sup>火</sup> <sup>止</sup> <sup>及</sup> <sup>全</sup> <sup>又</sup> <sup>为</sup> <sup>六</sup> <sup>谷</sup> <sup>付</sup> <sup>列</sup> <sup>屋</sup> <sup>丞</sup> <sup>出</sup> <sup>弱</sup>

北 院 副 署 成 り 郎 君 ら 子 供 知

これらの称号が与えられた具体的な日付は不明である。次に又**止及** <sup>北</sup> <sup>弱</sup> <sup>和</sup> とあり、「大部」と解読しうる。この表現と「契丹左大部」あるいは「契丹右大部」との関係性を今後検討する必要がある。**采火** **止雨** <sup>采</sup> <sup>火</sup> **止雨** <sup>无</sup> <sup>六</sup> <sup>谷</sup> と続くが、この箇所は「契丹品五漢品五賜」と解読されている（愛新覚羅 2011）。

23/13—18: 毛 <sup>中</sup> <sup>公</sup> <sup>乃</sup> <sup>安</sup> <sup>又</sup> <sup>雨</sup> <sup>令</sup> <sup>文</sup> <sup>考</sup> <sup>和</sup>

四 年 秋 聖 神 殿 の

ここの「四年」は咸雍四年(1068)を示す。「聖神殿」は愛新覚羅(2011)によるが、『遼史』には出現しないため、今後さらに検討する必要がある。

23/49-24/5: 主 丞 介 <sup>止市</sup> 百 <sup>令</sup> 勾 <sup>舟</sup> 力 <sup>又</sup> 券 <sup>来</sup> 欠 <sup>几</sup> 只 <sup>又</sup> 立 <sup>今</sup> 女 <sup>及</sup> 艾 <sup>子</sup> 立 <sup>付</sup> 列 <sup>引</sup> 半 <sup>依</sup> 全 <sup>尚</sup> 朱 <sup>大</sup>

皇太后振り向く 曰 子 今 。 人の 。 。 。 。 。 。

<sup>为</sup> 朱 <sup>又</sup> 及 <sup>曲</sup> 谷 <sup>巫</sup> 舟 <sup>力</sup> <sup>为</sup> 出 <sup>列</sup> 几 <sup>又</sup> 才 <sup>止</sup> 及 <sup>子</sup> 升 <sup>引</sup> 依 <sup>又</sup> 么 <sup>又</sup> 去 <sup>又</sup> 刺 <sup>坐</sup> 谷 <sup>叔</sup> 关

。 大 家 可汗子 偉 人 善 成り。郎君 。 謂う

この箇所は耶律玦伝の「入見皇太后、后顧左右曰：＜先皇謂玦必為偉人、果然＞」と対応すると考えられるが、多くの文字の意味がまだはっきりと分からない。今後さらに検討する必要がある。

24/6-28: <sup>北</sup> 为 <sup>毛</sup> 欠 <sup>来</sup> 考 <sup>引</sup> 化 <sup>余</sup> 谷 <sup>同</sup> 百 <sup>又</sup> 券 <sup>北</sup> 死 <sup>百</sup> 谷 <sup>采</sup> 全 <sup>弱</sup> 相 <sup>火</sup> <sup>来</sup> 考 <sup>弱</sup> 相 <sup>中</sup> 丙 <sup>又</sup> 丙

。 一 人 諸漢児 宰相 。 今 。 。 契丹中の鳥 漢児中の 劉 伸

<sup>又</sup> 刺 <sup>来</sup> 金 <sup>尺</sup> 为 <sup>巫</sup> 舟 <sup>百</sup> 方 <sup>又</sup> 火 <sup>无</sup> 火 <sup>止</sup> 平 <sup>中</sup> 谷 <sup>来</sup> 考 <sup>尺</sup> 谷 <sup>相</sup> 夫 <sup>中</sup> 丙 <sup>又</sup> 丙

。 。 。 。 遷 鳥 彼より 超える

この内容は耶律玦伝の「契丹忠正無如玦者、漢人則劉伸而已。然熟察之、玦優於伸」、『遼史』卷九十七楊績伝「方今群臣忠直、耶律玦、劉伸而已；然伸不及玦之剛介」、『遼史』卷九十八の劉伸伝「今之忠直、耶律玦、劉伸而已」と関係があると考えられる。

24/29-42: 主 又 及 <sup>引</sup> 余 <sup>百</sup> 危 <sup>今</sup> 关 <sup>来</sup> 舟 <sup>券</sup> <sup>来</sup> 舟 <sup>令</sup> 艾 <sup>止</sup> 市 <sup>同</sup> 百 <sup>同</sup> 百 <sup>曲</sup> 谷 <sup>巫</sup> 立 <sup>几</sup> 只 <sup>几</sup> 百 <sup>北</sup> 只 <sup>止</sup> 及 <sup>子</sup> 北

。 大 宰相 楊 績 。 この 。 。 。 。 帳 可汗の人の 。 。 成り

この文に現れる人物は『遼史』卷九十七に伝のある楊績であろう。次に、「宣徽」・「軍」・「酉」・「副署」を表す文字が見られるが、全体の文意を読み取ることは困難である。

26/24-36: 毛 丞 艾 <sup>引</sup> 矢 <sup>来</sup> 各 <sup>止</sup> 女 <sup>子</sup> 立 <sup>令</sup> 方 <sup>几</sup> 用 <sup>中</sup> 丙 <sup>又</sup> 立 <sup>令</sup> 丙 <sup>尺</sup> 券 <sup>丞</sup> 杰 <sup>凡</sup>

十二月に 徹穩 成り 南 京の 留 守 糺隣 于越 大王に

この「十二月」は前述した咸雍四年（1068）を指し、糺隣は『遼史』卷九六に伝のある耶律仁先を指す。仁先が「南京留守」であったことは列伝に記録されている。続いて「苦難」・「官」・「漢児」・「官民」・「二達領」などを表す文字が見られるが、それに関する文の多くの内容が解読できない。

28/15-36: 无 半 及 平 <sup>弱</sup> <sup>为</sup> 半 <sup>来</sup> 北 <sup>一</sup> 十 <sup>伏</sup> 升 <sup>雨</sup> 火 <sup>弱</sup> 相 <sup>又</sup> 立 <sup>出</sup> 关 <sup>为</sup> 本 <sup>比</sup> 只 <sup>百</sup> 立 <sup>雨</sup> 安 <sup>半</sup>

五 年 冬 未だ。平定 北 西 諸部 軍 中の 。 悪 。 。 派遣 軍

<sup>巫</sup> 半 <sup>穴</sup> 谷 <sup>西</sup> 关 <sup>来</sup> 安 <sup>为</sup> 艾

統 官 。 。 居る

この記述は明らかに耶律玦伝の「先是、西北諸部久不能平、上遣玦問状、執弛慢者痛繩之」と言う記録と一致する。「五年冬」は咸雍五年(1069)を指している。

28/37—47: 止市 火火 又火 又火 仲公 穴谷 为安 今为 止百 叔金 雨用  
百 支 又火 又火 和 穴谷 为安 半 只弱 叔金 中又

帰 至り 樞密 院の 官ら同 任 ○ ○ ○

この文のおおよその意味は「戦場から戻り樞密院に勤めた」である。このことは耶律玦伝には記録されていない。

28/61—29/2: 毛 毛 艾 丁 禾 丹 矢 今金 仇卡 止及  
北 北 子 止  
为 北

十 一 月 二十 九 日 に 病 気 ○ 成 り

「(咸雍) 六年冬」と言う意味を表す女 半 及 平 に続いて、この記述がみられる。墓主が病気になった年は 1070 年であることが分かる。

29/3—21: 曲 谷 巫 □□ 今半 中火 亦亦 丞 凡 又为 又矢 丞 凡 亦亦 又冬 今半 火矣 矣火 为亦 仇  
伏 谷 中火 亦亦 丞 凡 又为 又矢 丞 凡 亦亦 余 亦 矣火 为亦 仇

家 可 汗 ○ 太 医 李 春 太 師 馬 十 太 師 及 び 長 太 医 皆 ○ ○ ○

愛新覺羅 (2011) は「上太医李春馬十らを遣して之を視せしむるも」と解説している。この二人の名前は『遼史』に出現する名前ではない、今半 伏 谷 は「太医」の複数で、今半 和 は「太医の」と推測しているようである。

29/44—50: 又 亦 秀 口 今杏 丞 火火 秀安  
矢 凡 凡 凡 凡 凡 凡 凡

大 ○ その 夜 二 更 に 故

火火 凡 凡 の初めの原字の字形の判読は困難であったが「刺史」第 23 行目の火火 凡 凡 の字形により、

復元した。火火 凡 凡 の意味は王未想 (1999) により、「更」と推測されている。これに従うと、

墓主の死んだ時間は「咸雍六年 (1070) 十一月二十九日の夜二更」と言うことになる。墓主の死んだ原因に関しては、耶律玦伝には「因酒病逝」と記述されている。

29/51—63: 雨先 丹伏 今了 火土 又百 辰 午 止卡 又及 火矣 亦伏 止及  
伏 谷 丹 安 杏 谷 支 伏 辰 午 止卡 又及 火矣 亦伏 秀亦

○ 日 太 陽 ○ ○ ○ 山 草 原 ○ 大 皆 白 い 成 り

ここでは墓主が亡くなった後の状況を描写しているようである。丹 「太陽」は推測によるものなので、今後検証する必要がある。辰 の意味が「山」であり、午 の発音が dal であることは以前から知られている。蒙古語では「w:l 山」と「tal 草原」を対にして用いる表現が存

在していることから考えて、**キ** の意味を「草原」と推測する。

### 7. 墓主の妻

30/41—49: **百 几** <sup>中力</sup><sub>天</sub> **中用** <sup>几亦</sup><sub>和</sub> <sup>今季</sup><sub>伏</sub> **关化 几火 几芬**

妻 蘭 陵 郡の 夫人 号 貴 哥

ここでは墓主の妻について記されている。墓主の妻は「蘭陵郡の夫人」であり、名前は「貴哥」である。

31/1—49: <sup>本各</sup><sub>女</sub> <sup>力立</sup><sub>艾</sub> **艾久 斥 几** <sup>本立</sup><sub>火女</sub> **右 今 公系 丞丹 出系 尔火 丞和 丹力**

徹穩 叔父。敵烈 侍 中の 弟 福 奴 太保。○ 娘子 二の 娘

<sup>本背</sup> <sup>本关</sup><sub>系芬</sub> <sup>本各</sup><sub>几</sub> <sup>只平</sup><sub>谷中</sub>  
<sup>伏</sup>

本妻 身分で 徹穩に 嫁ぐ

この記述によると、耶律玦の妻は玦の母の兄弟である「**艾久・敵烈**」の弟「**福奴**」と「**出系 娘子**」夫婦二人の娘であり、耶律玦に「本妻」として嫁いだ。人名「福奴」は『遼史』に見られる「耶律韓福奴」と言う人名を参考にして復元し、<sup>本关</sup><sub>系芬</sub> 「身分」は文脈によって推測したものである。<sup>本各</sup><sub>几</sub> が「徹穩に」を意味することは明らかであり、<sup>本各</sup><sub>女</sub> に位格を表す**几**が付加され<sup>本各</sup><sub>几</sub> となったと考えられる。続く内容の解読は困難であるが、**乙 丞** 「五十二」という表現が見られることから、耶律玦が亡くなる時貴哥は五十二だったと推測することができる。墓主の次妻についての記録は見られないことから、先行研究では「大妻」と解読された<sup>本背</sup> は「本妻」と解読すべきである。

### 8. 墓主の子孫

31/48—51: <sup>本各</sup><sub>女</sub> <sup>今季</sup><sub>伏和</sub> <sup>丹列</sup><sub>出</sub> **无** は「詳穩と夫人の子供は五人」という意味である。息子と

娘がそれぞれ何名であったか明瞭には示されていないが、「性」を示す接尾辞と文脈に注目することで明らかにすることができる。

31/52—32/13: 又 北中伏伏 尔火 列余 力出出茶茶 引化化余余不不 才 方火 才茶茶伏伏 舟舟舟又又

大 烏盧本 娘子 別部 国舅の 宰相の 兄 弟の 胡睹董 帖刺本

丞 凡相 乘化化茶茶 舟力 才茶茶伏伏 又力力夫夫矢矢 只平平茶茶当当

太 師の 第二 息子 胡睹董 郎君に 嫁ぐ

ここで紹介されている人物は耶律玦の長女で「胡睹董」という人物に嫁いだ。この「胡睹董」とは本書で検討されている契丹小字「胡睹董審密墓誌銘」の墓主である胡睹董であり、「耶律玦」の書丹者である。また、この文は才 方火 の具体的な意味についての情報を与えてくれる。前述したように劉鳳翥氏は才 方火 を「横帳」と解釈しているが、本墓誌第 10 と 31 行目の記録に従うと、「横帳」は「国舅別部」に所属されることになるので、この見解は妥当とは言えないであろう。

32/14—19: 乘化化当当 凡充充又又及及 尔火 奕丞 舟舟舟又又 北

第二 ○ 娘子 ○ ○ ○

愛新覚羅 (2011) は「次女はまだ適かず」と解釈している。もしこの解釈が正しいならば、北 は「否定」の意味を表すことになる。

32/20—36: 列市市当当 里及 尔火 才茶茶伏伏 丞 凡相 方 舟舟舟又又 令余余又又

第三 阿古 娘子 胡睹董 太 師の 弟 盆奴 鬲古辞

爾尅尅女女 又冬冬欠欠 余冬冬舟舟又又 舟力 谷用用当当 北 舟凡 只平平茶茶当当

詳穩の 長子 ○ 息子 敵輦 司 徒に 嫁ぐ

この記録によると、墓主の第三女は「鬲古辞」の長男に嫁いだ。鬲古辞の契丹小字墓誌銘はすでに発見され、その中に「敵輦」に関して次のような記録がある。

『鬲古辞』 6/11—22: 爾尅尅女女 又火 凡火 乘火 丞相 舟列列出出 中谷 丞 百令 无 又及 令用用当当

尚 書 公 主 二 の 子 供 男 二 女 五 大 敵輦

ここの「尚書」は鬲古辞を示す。その長男の名前は本墓誌の記録と一致するので、両墓誌銘の内容は信頼できる。

32/37—48: 乘化化茶茶 凡也 凡 又及 令 仇卡 弱 只火 舟相 金相 关化 令金金中中茶茶当当

第四 高 十 少 傅 ○ 未だ 賜 父の 城の 号 封ぜられ

この人物は墓主の第四目の子供であり、唯一の息子である。その名前は**凡 凡** と推測される。

32/49—54: **令亦 凡 凡 中 凡 尔 凡 止 寸 百 文**  
**及 雨**

第五 ○ ○ 娘子 ○ ○

ここでは墓主の幼子について記されている。愛新覚羅（2011）は「第四女永洛、室に居る」と解説しているようである。

32/55—33/16: **凡 凡 凡 及 今 女 百 几**  
**及 及 凡 凡 列 全 力 止 出 凡 州 欠 艾 和 凡 平 今 生 凡 亦**  
**及 出 凡 和 凡 凡 凡 凡**

高 十 少 傅の 妻 ○ 娘子 別部 国舅 小 翁帳の ○ ○ 将 軍  
**里 及 尔 凡 圣 和 付 力**  
阿古 娘子 二の 娘

ここでは墓主の息子の妻の出身について言及している。この記述から、「国舅別部」にも小翁帳が存在していることが確認できる。この記述に続いて**凡 和 今 禾 及 芬 伏 和** とあり、「哀夫人」を意味する。これは墓主の妻「貴哥」を指していると考えられる。

## 9. 葬儀

34/1—13: **口 丰 宅 圣 艾 矢**  
**列 虫 禾 中 止 丰 及 凡 禾 一 禾 化 及 当 凡 全 可 全 止 丰**

その 年 十 二 月 に ○ ○ 山 北 院 ○ ○ 殯

ここでは「咸雍六年（1070）十二月」に墓主が一時的に安葬されたことを示している。その中で**及 凡 及 凡** は山名であるが、その場所の同定はまだなされていない。

34/14—22 に**禾 化 禾 凡 丰 丞 艾 丁 虫 凡 止 及 凡 凡** とある。これは墓主の再安葬された日であり、「咸雍七年（1071）辛亥年八月二十壬申日」である。

34/23—45: **今 禾 凡 凡 凡 凡 付 力 凡 凡 及 凡 禾 及 斗 祭 伏 号 乃 列 尔 凡 公 丰 凡 百 令**  
**伏 伏 凡 伏 凡 凡 凡 凡 凡**

夫人 高 十 彼の 息子 ○ 長女の 夫 胡 睹 董 姉 妹 ○ 娘子 ○ 氏 女

**付 列 凡 凡 凡 凡 及 凡 付 冬 込 □□ 凡 凡 屋 凡**  
**出 付 伏 及 及 及 及 凡 凡 凡 凡**

子供 烏 盧 本 ○ 阿 古 又 多 く ○ ○

ここでは葬礼に参加した人々について言及している。「夫人」、即ち貴哥夫人、息子高十、彼の息子**凡 凡**、墓誌の撰者で長女の夫胡睹董、墓主の姉妹**乃 列 凡** と **公 丰 凡** 及び墓主の娘の

鳥盧本・<sup>入九</sup>又<sup>又</sup> などである。<sup>方</sup>又<sup>tu:n</sup> は第三人称の所属格であり、蒙古語の *tu:ne* と極めて近似している。高十には弟がいないので、<sup>方</sup>又<sup>tu:n</sup> が「弟の」を意味していないことは明らかである。

35/1—13: <sup>舟舟</sup>才<sup>舟</sup>糸<sup>凡又</sup>矢<sup>キ</sup> 丞<sup>凡</sup> 和<sup>力</sup> 弓<sup>一</sup> 及<sup>化</sup> 丞<sup>丞</sup> 八<sup>八</sup> 空<sup>空</sup> 和<sup>和</sup> 天<sup>天</sup> 穴<sup>穴</sup> 立<sup>立</sup> 本<sup>本</sup> 及<sup>及</sup> 子<sup>子</sup> 立<sup>立</sup> 为<sup>为</sup> 又<sup>又</sup>

○ 金で父 太師の ○ 北院二地の ○ 掩閉

ここでは墓主の安葬された場所に言及している。この記述によると、耶律玦は父の留隱菩薩奴の墓の近くに安葬されたようである。

### 10. 墓主に対する評価

35/31—33 に<sup>毛</sup>包<sup>火</sup> 火<sup>火</sup> 化<sup>化</sup> <sup>今金</sup>中<sup>中</sup>空<sup>空</sup> 当<sup>当</sup> とある。これは耶律玦が十三回封ぜられたことを記しているようである。「十三」を表す<sup>毛</sup>包<sup>毛</sup> を一つの文字ブロックとして記しているのが興味深い。

37/9 に<sup>苗</sup>舟<sup>舟</sup> 又<sup>又</sup> とある。『郎君』4 の<sup>苗</sup>舟<sup>舟</sup> が漢文の「与醴陽太守酣飲而帰」に対応することを参考にすると、<sup>苗</sup>舟<sup>舟</sup> は「酒」を意味する可能性がある。本墓誌の<sup>苗</sup>舟<sup>舟</sup> 又<sup>又</sup> も「酒」の意味を表すと推測され、耶律玦の死因について述べているようである。

37/41—46: <sup>毛</sup>舟<sup>舟</sup> 及<sup>及</sup> 平<sup>平</sup> □□ <sup>舟</sup>今<sup>今</sup> 舟<sup>舟</sup> 凡<sup>凡</sup> 今<sup>今</sup> 又<sup>又</sup> 女<sup>女</sup>

十 冬 ○ 礼 文字 ○

<sup>毛</sup>舟<sup>舟</sup> の意味が「十」であるかどうかは引き続き検討する必要がある。<sup>舟</sup>今<sup>今</sup> に先行する文字は判読できないが、契丹大字・小字のことを述べているようである。38/1 には<sup>丞</sup>火<sup>火</sup> 又<sup>又</sup> とある。「太尉に」を意味することは明瞭だが、通常は<sup>丞</sup>火<sup>火</sup> 又<sup>又</sup> のように分かち書きされる。

38/15—19: 冬<sup>冬</sup> 本<sup>本</sup> 包<sup>包</sup> 百<sup>百</sup> 舟<sup>舟</sup> 毛<sup>毛</sup> 又<sup>又</sup> <sup>舟</sup>中<sup>中</sup> 空<sup>空</sup> 百<sup>百</sup>

清 三 川 一 に 流 入

この文は「三つ清い川がひとつに合流する」という意味を表すようだが、<sup>百</sup>舟<sup>舟</sup> の字形及<sup>舟</sup>中<sup>中</sup> 空<sup>空</sup> 百<sup>百</sup> 「流入」の解読については今後も引き続き検討する必要がある。

39/8—9 に<sup>八</sup>又<sup>又</sup> 不<sup>不</sup> 舟<sup>舟</sup> とあり、「地に落とす」を意味する。<sup>八</sup> の字義「地」は即実 (1996) によりはじめて解明された。同じ行に<sup>包</sup>舟<sup>舟</sup> 空<sup>空</sup> 又<sup>又</sup> とあり、「三聖」を意味する。この句から、契丹語には数の一致が見られることがわかる。さらに、複数接尾辞<sup>空</sup> に具格接尾辞<sup>又</sup> が重ね

て使用されているのも興味深い。

40/17—28: <sup>聖</sup>化 <sup>由</sup> 矢 弔 矢 毛 尺 佃 中 伏 田 弱 今 生 百 当 矢 半 相 亦 券 叔 比 爰 弱

○ 五 百 に 一 つ 生 体 未 だ ○ 千 年 の ○ 謂 う

この文は諺のようなのだが、具体的な意味は分からない。本墓誌の第 8 行目に見られる<sup>聖</sup>化<sup>由</sup>

今 欠 爰 爰 「〇度使」に用いられている<sup>聖</sup>化<sup>由</sup> と、ここの<sup>聖</sup>化<sup>由</sup> は同じ意味を持つと考えられる。

41/5—28: 來 各 女 公 存 矢 並 凡 当 斗 祭 伏 矢 岡 伏 引 出

徹 穩 墓 に 誌 胡 睹 董 に 製 作 ○ ○

これは「徹穩の墓誌が胡睹董により製作された」という意味であるようだが、最後の 2 文字は未解読である。同様の表現を持つ文は『宋魏』13 にも見られる。

13/20—25: 公 存 矢 並 凡 当 月 半 岡 伏 引 出

墓 誌 銘 製 作 ○ ○

41/30—32: 凡 込 並 半 承 並 方 引 可 全 列 とあり、「〇山殯」という意味を示す。凡 込 並 半 は墓主の安葬された

山名である可能性がある。

## 11. 銘文

43/21—22 に<sup>並</sup>凡<sup>当</sup> 今 々 とあり、「誌曰」を示す。これから、墓誌の銘文部分に入り、主な内容は墓主に対す賛美の言葉である。

43/23—30: 兩 先 公 亦 列 相 並 並 天 止 矣 全 又 公 次 全 峯 火 並 券 穴

○ 捺 鉢 の 可 汗 の 子 孫 今 の ○ ○ 官

これは墓主の家系について紹介しており、本墓誌の始めの部分とほぼ同じ内容である。

43/31—30: 曲 今 來 矣 亦 全 付 伏 行 凡 矣 矢 □ □ □ 可 百 矣 仍 又 中 峯 半 宅 止 矣 矢

家 で 孝 ○ 国 で ○ ○ ○ 母 に ○ 十 歳 で

銘文の釈読は誌文よりも困難である。これら三句の初めの単語曲 今 ・ <sup>凡</sup>矣<sup>矢</sup> ・ 百 矣 には全て位格 今 或いは 矣 が付加されているのは興味深い。次の行には「地」・「仲」・「虎」・「年」・「代」・「知」・「人」を示す文字が見られるが、具体的な意味は分からない。



45/7-8 に 禾 凡 彖 とあり、先行研究に従うと「白い玉」を意味する。

45/10-13 に 水 女 杰 示 止 女 出 子 及 中 とあり、「鄭王の○になった」という意味を表す。

45/14-18 : 爰 文 舟 凡 水 女 爰 田 万 矢 令 金 万 中 伏

○ 宮の 龍 生まれ 封ぜられ

爰 文 舟 は宮名を表すと考えられるが、解読できていない。この文の具体的な意味も解読は困難である。

45/30-33 に 水 女 符 考 乙 尸 とあり、「歳○五十七」を意味する。この記述は、墓主が死亡時に五十七歳であったことを示しているのかもしれない。

本墓誌銘第 46 行目、即ち最後の行には字形が判読できない部分が多く、内容の解読は困難である。

### おわりに

契丹小字の内容によると、本墓誌の主人は『遼史』巻九十一に伝がある「耶律玦（字吾展）」である。本墓誌では墓主の名前を 火 と表記し、水 各 女 「倣穩」によって墓主を表している。墓主は迭剌部大蔑弧石烈出身で孟父房の 全 考 水 「鮮質」可汗の第八代子孫である。第六代の先祖 水 及 舟 全 田 女 「合魯隱敵刺」倣穩は『遼史』巻七十四に伝がある。第五代の先祖は 水 丕 列 「匣馬葛」郎君であり、第四代の先祖は 止 力 丕 田 「○・解里」であり、第三代の先祖は 水 伏 全 力 乃 「○三」世燭であり、祖父は 水 丕 列 艾 六 舟 丕 副署であり、父は 水 丙 今 全 力 公 丕 「留隱・菩薩奴」都監であり、叔父は 全 火 伏 凡 水 水 丙 「喜隱・高六」侍中である。墓主の母は 全 考 水 文 考 「小蓮」と言い、梅里急部の出身である。耶律玦は留隱都監の長男であり、次男は 水 中 舟 伏 水 火 汁 烏盧本・猪糞太尉である。墓主の叔父喜隱・高六には息子が一人、娘が三人いる。長男は 尸 「敵烈」令公であり、長女は 乃 丕 力 娘子であり、国舅別部の解里郎君に嫁いだ。次女は 水 凡 丕 娘子であり、既に亡くなった。幼女は出家して、中宮の清隱寺にいるようである。

耶律玦は二十歳にして雲軍に参加し、二十四歳で印牌司郎君に補せられ、通進となり、二十五歳で遷任された。重熙十二年（1043）に左院通進になり、重熙十四年（1045）に、南院

承旨になった。続いて、文班太保・興聖同知・小將軍・南京の統軍の都監・興宗皇帝の陵墓の建築に関わったようである。道宗皇帝が即位した後に再び文班太保に封ぜられ・処置觀察・某度使・某林牙となり、西京南西二地方の疆場を巡察した。その後、太皇太后陵墓を統管した。清寧五年（1059）に南西招討都監上將軍・南京の同簽・南院林牙になった。清寧六年（1060）に秦国大王と某事を同知巡察した。清寧十年（1064）に檢校太尉の号が封ぜられ、漢兒副署となった。咸雍元年（1065）には二字功臣守太師少保の号が与えられ、その年に部署院を統べた。咸雍二年（1066）冬秦国王西宮の留守となり、耶律玦は輔佐（通判）となった。咸雍二年（1067）に三回封ぜられ、左龍虎軍上將軍・通判及び檢校太師となった。そして、食邑二千五百実封食二百五十を賜った。その後、北院副署となり郎君班を知る。咸雍四年（1068）に聖神殿で皇太后に会い、十二月に徹穩となった。咸雍五年（1069）冬「未だ平定されない北西諸部軍」へ派遣された。その後、「樞密院同知」となった。咸雍六年（1070）十一月二十九日に病気になり、その夜の二更の時に死亡した。酒が死因である可能性がある。

墓主の妻は妻蘭陵郡の夫人封ぜられ、名前は九火 九芬 貴哥と言う。貴哥は徹穩の叔父父父・序「○・敵烈」侍中の弟分 公及「福奴」太保と出及娘子の娘である。墓主には娘が四人、息子が一人いる。長女北中 符伏烏盧本娘子は国舅別部宰相兄弟帳の胡睹董帖刺本太師の次男胡睹董郎君に嫁いだ。次女は父九 父及娘子と言う。三女は里及阿古娘子であり、胡睹董太師の弟盆奴父用 与古辞詳穩の長男父用 与敵輦司徒に嫁いだ。幼女は火用 中火と言う。息子の名前は九止 九高十と言う。高十の妻は父立 父出と言い、国舅別部小翁帳の父平 父及 令生 父芬將軍と妻の里及娘子二人の娘である。高十には子供が一人おり、名前は九用 九と言う。

耶律玦は咸雍六年（1070）十二月に父火 父と言う山の近くに一時的に埋葬され、咸雍七年（1070）の咸雍七年（1071）辛亥年八月二十壬申日に、父中丙 伏 分 全 公 及留隱・菩薩奴の墓の近くに安葬された。葬礼には墓主の妻貴哥夫人・息子九止 九高十・孫九用 九・長女の夫

胡睹董・叔父の長女<sup>乃列</sup><sub>为</sub>・墓主の長女<sup>扎中</sup><sub>符伏</sub> 烏盧本・次女<sup>火充</sup><sub>又及</sub>・三女<sup>里及</sup> 阿古・身分不明の<sup>公平</sup><sub>关</sub> 兀 など多くの人々が参列した。

耶律玦の伝に見られる「入見皇太后、后顧左右曰：＜先皇謂玦必為偉人、果然＞」、「契丹忠正無如玦者、漢人則劉伸而已。然熟察之、玦優於伸」などに対応する内容は契丹小字墓誌銘にも記録されているようであるが、契丹文字の解読には限界があり、現在は十分は解読することができない。

#### 参考文献

- 愛新覺羅烏拉熙春 2011 「国舅夷離畢帳と耶律玦家族」．『立命館文学』621. 29－58.
- 宝玉柱 2006 「契丹小字<sup>𐰺</sup>及其替換字研究」．『内蒙古大学学报』第1期. 8－12.
- 蓋之庸・齊曉光・劉鳳翥 2008 「契丹小字〈耶律副部署墓誌銘〉考釈」．『内蒙古文物考古』第1期. 81-111.
- 即夷 1996 『謎林問徑—契丹小字解読新程』．瀋陽: 遼寧民族出版社.
- 康鵬 2011 「蕭撻凜家族世係考」．『新亞洲論壇』第4輯. 373－383.
- 劉鳳翥 2011 「再論〈耶律廉寧墓誌〉為贗品」．『中国社会科学報』2011年11月10日. 中国社会科学院.
- 劉鳳翥・唐彩蘭・青格勅 2009 『遼上京地区出土之遼代碑刻彙輯』．北京: 社会科学文献出版社.
- 王未想 1999 「契丹小字〈澤州刺史墓銘〉殘石考釈」．『民族語文』第2期. 78－81.
- 吳英喆 2011 「契丹小字〈迭剌部〉考釈」．『民族語文』第5期. 72－77.

# 契丹小字「蕭回璉墓誌銘」考釈

1. 墓誌蓋
  2. 墓誌のタイトル及び撰者
  3. 墓主の先祖
    - 3-1 墓主の第九代の先祖
    - 3-2 墓主の第八代の先祖
    - 3-3 墓主の第七代の先祖
    - 3-4 墓主の第六代の先祖
    - 3-5 墓主の第五代の先祖
    - 3-6 墓主の第四代の先祖
    - 3-7 墓主の祖父
    - 3-8 墓主の父と叔父
    - 3-9 墓主の母
  4. 墓主本人と兄弟
  5. 墓主の妻と子供
  6. 墓主の経歴
  7. 葬式
  8. 銘文
- おわりに

## 1. 墓誌蓋

墓誌蓋の第 1 行に又  $\frac{\text{公}}{\text{分}}$  𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽  $\frac{\text{九}}{\text{和}}$  とある。これは「大〇〇契丹国の」を意味する。

$\frac{\text{公}}{\text{分}}$  𐰺𐰽 の意味に関しては、研究者の意見が分かれている。

第 2 行に𐰺𐰽  $\frac{\text{力}}{\text{出}}$   $\frac{\text{引}}{\text{欠}}$  𐰺𐰽 𐰺𐰽 とある。これが「別部国舅の宰相の兄弟の」を意味することに関しては研究者の見解が一致している。 $\frac{\text{力}}{\text{出}}$  は本墓誌と『胡睹董』にしか現れない。 $\frac{\text{力}}{\text{出}}$  と書かれるのが普通である。文字の交替は又 と出 の音価が近似している可能性を示唆するが、この問題についてはまだ十分に明らかになっていない。この語は普通「叔父」を意味する。「国舅」は『胡睹董』第 2 行に見られるように  $\frac{\text{九}}{\text{和}}$   $\frac{\text{力}}{\text{出}}$  と書かれるのが普通である。

第 3 行に  $\frac{\text{火}}{\text{当}}$   $\frac{\text{又}}{\text{公}}$   $\frac{\text{又}}{\text{矢}}$   $\frac{\text{公}}{\text{公}}$   $\frac{\text{五}}{\text{矢}}$   $\frac{\text{九}}{\text{当}}$  とある。 $\frac{\text{火}}{\text{当}}$  は墓主の名前で、 $\frac{\text{又}}{\text{公}}$   $\frac{\text{又}}{\text{矢}}$   $\frac{\text{公}}{\text{公}}$   $\frac{\text{五}}{\text{矢}}$   $\frac{\text{九}}{\text{当}}$  は「審密の墓

誌」である。 $\frac{\text{火}}{\text{当}}$  を構成する文字のそれぞれの音価は x/k-uei-ru-gə/ʏə-ən/en であり、

xuirugən 或いは kuiruɣen と読む可能性がある。契丹小字では  $\frac{\text{五}}{\text{公}}$  で長母音 a:・ə を表記する習慣があるので kuiru:n 或いは kuire:n と読む可能性もある。この字形は形動詞として他の資

料でもしばしば用いられ、「着く」・「到る」などの意味を持つ。『遼史』には「回璉」と音写される人名がある。漢字「回璉」の上古音・中古音・近世音は次のとおりである。

	上古音	中古音	近代音
回：	yuəi ①	yui①	hui②
璉：	liən②	lien②	lien③

この2つの漢字の近代音をあわせると huilien となり、kuirun/kuiren に近似する。契丹語の r 子音を含む音節はしばしば l 子音を含む漢字によって音写されることを考えると、l と r の違いは問題とはならない。以上より、墓主の名前は漢字による表記では「回璉」に対応する可能性がある。

## 2. 墓誌のタイトル及び撰者

1/1-14: <sup>谷考</sup>又 <sup>兆利</sup> <sup>天天</sup> <sup>九安</sup> <sup>刈空</sup> <sup>力立</sup> <sup>引化</sup> <sup>才</sup> <sup>方和</sup> <sup>火化</sup> <sup>又</sup> <sup>公存</sup> <sup>五九</sup>  
<sup>会</sup> <sup>兆</sup> <sup>天</sup> <sup>和</sup> <sup>空</sup> <sup>立</sup> <sup>化</sup> <sup>才</sup> <sup>和</sup> <sup>当</sup> <sup>公</sup> <sup>当</sup>

大 ○ ○ 契丹 国 の 別 ( 部 ) 国 舅 宰 相 の 兄 弟 の 回 璉 審 密 の 墓 に 誌  
 以上 の 14 文 字 は、誌 蓋 に 記 録 さ れ て いる 三 行 の 文 字 と 同 じ で あり ます。

1/15-20: <sup>北中</sup> <sup>兆</sup> <sup>兆</sup> <sup>化</sup> <sup>才</sup> <sup>才</sup> <sup>茶</sup> <sup>未</sup> <sup>册</sup>  
<sup>付</sup> <sup>兆</sup> <sup>兆</sup> <sup>化</sup> <sup>才</sup> <sup>伏</sup> <sup>立</sup> <sup>本</sup>  
 序 併 第二 兄 胡 睹 董 撰

「序併」に相当する文字は契丹文字資料のタイトル行下部にしばしば現れる。この記述に従うと、本墓誌は明らかに墓主の兄によって制作されたことになる。

2/1—6: <sup>又</sup> <sup>兆</sup> <sup>兆</sup> <sup>化</sup> <sup>未</sup> <sup>兆</sup> <sup>火</sup>  
<sup>和</sup> <sup>兆</sup> <sup>兆</sup> <sup>化</sup> <sup>当</sup> <sup>兆</sup> <sup>当</sup>

我 の 弟 号 轄 底 第二 名 回 璉

墓誌の撰者は墓主の兄であることを考えると、墓主を<sup>又</sup><sub>和</sub> 為「私の弟」と呼ぶのは自然である。「弟」を示す新原字<sup>兆</sup>は原字<sup>方</sup>の異体字である。<sup>又</sup><sub>和</sub>の字音は m-i-ən、これはモンゴル語の第一人称の所属格形の mini と極めて似ている。Wu (2011) では契丹語の指示代名詞について論じ、契丹語の指示代名詞がモンゴル語と類似していることを明らかにした。以下に、契丹語とモンゴル語の指示代名詞についてまとめておきたい。

契丹小字	字音	意味	同源語（モンゴル語）	単数/複数
𐰺 (𐰺)	ə	これ	ᠡᠨ (ən)	単数
𐰺𐰽	əγ	これ?	ᠡᠨᠬᠤ (ənɣu:)	単数?
令	əd	これら	ᠡᠨᠳᠦ (əd)	複数
𐰺	tə	それ	ᠲᠡᠷ (tər)	単数
令𐰽	təγ	それ?	ᠲᠡᠷᠬᠤ (tərɣu:)	単数?
𐰺令	təd	それら	ᠲᠡᠳᠦ (təd)	複数
𐰺坐	təd	それら?	ᠲᠡᠳᠦ (təd)	複数?

前述したように、契丹語の第三人称代名詞の所属格形は𐰺𐰽 tu:n はモンゴル語の tu:nᠡ と近似している。本墓誌の𐰺𐰽 もモンゴル語とほぼ同じ発音である。これらの例はモンゴル語と契丹語の親族関係を示唆しており大変興味深い。

𐰺𐰽 𐰺𐰽 は墓主の名前であり、その文字の音価はそれぞれ xa-t-i であり、漢字で「轄底」と音写される人名に相当する可能性がある（康鵬 2011）。現在の研究レベルでは、本墓誌銘を適切に命名するのは困難であるが、𐰺𐰽 𐰺𐰽 が『遼史』に見られる人名「回璉」に対応する可能性を考慮し、「蕭回璉墓誌銘」と命名しておきたい。以後の研究の進展によって、必要があれば改訂することとしたい。

### 3. 墓主の先祖

#### 3-1 墓主の第九代の先祖

第九代の先祖に関して、本墓誌と『蕭敵魯』及び『胡睹堇』に以下の記録が見られる。

『蕭回璉』 2/7-18: 𐰺𐰽 𐰺𐰽 公𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽

第九代の 先祖 ○ 胡母里 別部 国舅 統の 父 ○ である

『胡睹堇』 2/8-16: 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽 𐰺𐰽

先祖 ○ 迭刺 部 幹納阿刺 石烈 ○ 彌里の人 ○ 胡母里 ○ である

『蕭敵魯』 2/9-14:  $\begin{matrix} \text{心} & \text{公} & & & & & & & & & \\ \text{忒} & \text{不} & & & & & & & & & \\ \text{忒} & \text{和} & & & & & & & & & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{及} & \text{化} & \text{キ} & \text{几} & \text{只} & \text{列} & \text{行} \\ \text{非} & & & \text{卡} & \text{卡} & \text{全} & \end{matrix}$

第十 代の 先祖 ○ 胡母里

墓主の第九代の先祖の名は「胡母里」であり、「別部国舅」を統領していたようである。これらの記述では、 $\begin{matrix} \text{列} & \text{行} \\ \text{全} & \end{matrix}$  に  $\begin{matrix} \text{几} & \text{只} \\ \text{卡} & \text{卡} \end{matrix}$  或いは  $\begin{matrix} \text{几} & \text{只} \\ \text{卡} & \end{matrix}$  が先行する。どちらも契丹文字資料にしばしば現れることを考えると、「胡母里」の別名ではなく、むしろ契丹語の「人」の形態変化の 1 つと考えるべきであろう。また、 $\begin{matrix} \text{几} & \text{只} \\ \text{卡} & \end{matrix}$  と  $\begin{matrix} \text{几} & \text{只} \\ \text{卡} & \end{matrix}$  は同じ意味を表していることも分かる。「第九」を示す文字  $\begin{matrix} \text{忒} & \text{全} \\ \text{忒} & \end{matrix}$  は『蕭敵魯』に出現するが、本墓誌の  $\begin{matrix} \text{忒} & \text{又} \\ \text{忒} & \end{matrix}$  と同じ発音を表記したものかどうかは明らかではない。

### 3-2 墓主の第八代の先祖

2/19-31:  $\begin{matrix} \text{歪} & \text{公} & \\ \text{化} & \text{不} & \\ \text{忒} & \text{和} & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{生} & \text{キ} & \text{又} & \text{百} & \text{几} & \text{采} & \text{火} & \text{火} & \text{伏} & \text{券} & \text{付} & \text{力} & \text{几} & \text{只} & \text{百} & \text{扎} \\ \text{非} & & & & & \text{火} & \text{非} & \text{火} & & & & & \text{卡} & \text{卡} & \text{余} & \text{余} \\ \text{忒} & \end{matrix}$

第八代の 祖父 大 妻 契丹 ○ ○ 娘 ○ ○

第八代の先祖名は  $\begin{matrix} \text{百} & \text{扎} \\ \text{余} & \end{matrix}$  であり、その「大妻」は「契丹○○娘」である。この人物に関しては『蕭敵魯』にも記録がある。

『蕭敵魯』 2/15-24:  $\begin{matrix} \text{忒} & \text{公} & \\ \text{忒} & \text{不} & \\ \text{忒} & \text{和} & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{及} & \text{化} & \text{キ} & \text{几} & \text{只} & \text{百} & \text{扎} & \text{采} & \text{火} & \text{火} & \text{百} & \text{止} & \text{止} & \text{安} \\ \text{非} & & & \text{卡} & \text{卡} & \text{余} & \text{余} & \text{火} & \text{非} & \text{火} & \text{止} & \text{止} & \text{全} & \text{全} \\ \text{忒} & & & & & & & & & & & & & & \end{matrix}$

第九 代の 先祖 ○ ○ 契丹 ○ 遷 ○

康鵬（2011）は  $\begin{matrix} \text{百} & \text{扎} \\ \text{余} & \end{matrix}$  が漢字音写の「繇古」に対応すると言うが、どの文献を用いて検討したか明らかではない。 $\begin{matrix} \text{火} & \text{火} \\ \text{非} & \text{火} \end{matrix}$  は『蕭敵魯』の第 2 行と第 49 行にも見られるが、その意味は不明である。

### 3-3 墓主の第七代の先祖

2/32-3/5:  $\begin{matrix} \text{火} & \text{公} & \\ \text{丹} & \text{不} & \\ \text{丹} & \text{和} & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{生} & \text{キ} & \text{及} & \text{及} \\ \text{非} & & \text{扎} & \text{去} \\ \text{忒} & & & \end{matrix}$

第七 代の 祖父 合魯 郎君

初めの文字の字形は明瞭ではないが、文脈から「第七」を表す  $\begin{matrix} \text{火} & \text{丹} \\ \text{忒} & \end{matrix}$  が記されていると考えられる。本文に述べた『耶律玦』第 3 行の「合魯隱・敵刺」を表す  $\begin{matrix} \text{及} & \text{及} \\ \text{丹} & \text{丹} \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{公} & \text{用} \\ \text{忒} & \end{matrix}$  を参考にす

ると、<sup>尙</sup>及<sup>北</sup>は「合魯」と音写される人物を指す可能性がある。また、ほぼ同じ意味を表す<sup>至</sup>公<sup>及</sup>化<sup>北</sup> <sup>尙</sup>及<sup>北</sup> <sup>又</sup>及<sup>去</sup>が『蕭敵魯』第2—3行に出現している。

### 3-4 墓主の第六代の先祖

3/6-11: <sup>尙</sup>公<sup>及</sup> <sup>北</sup> <sup>至</sup> <sup>及</sup> <sup>又</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup>

第六代の 祖父 ○ 郎君

墓主の第六代の先祖の名は<sup>又</sup>及<sup>去</sup>である。この人名が漢文資料ではどのように音写されているかは明らかではない。康鵬（2011）は<sup>又</sup>及<sup>去</sup>を漢字で「朶瓜」と音写するが、漢文資料にはこの人名は見られない。この人物に関しては『胡睹堇』第2行に<sup>又</sup>及<sup>去</sup> <sup>未</sup>用 <sup>今</sup>文<sup>去</sup> <sup>至</sup>介<sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>至</sup> <sup>及</sup>とあり、本書で論じたように<sup>又</sup>及<sup>去</sup>郎君は「承天太后の叔祖父」である。『蕭敵魯』には<sup>尙</sup>公<sup>及</sup> <sup>北</sup> <sup>及</sup>化<sup>北</sup> <sup>至</sup> <sup>又</sup>及<sup>去</sup> <sup>又</sup>及<sup>去</sup>とあり、「第七代の先祖○郎君」と解読することができる。

### 3-5 墓主の第五代の先祖

3/12—17: <sup>今</sup>尙<sup>及</sup> <sup>公</sup>尙<sup>及</sup> <sup>北</sup> <sup>至</sup> <sup>及</sup> <sup>又</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup>

第五 代の 祖父 朶魯列 世燭

第五代の先祖名は「朶魯列」で、世燭である。人名「朶魯列」に関しては、「胡睹堇」第3行の解読を参照されたい。『耶律玦』第4行目の<sup>又</sup>及<sup>去</sup> <sup>去</sup>は「世燭」を意味することを考えると、ここの<sup>又</sup>及<sup>去</sup>も「世燭」を意味していると考えべきである。『蕭敵魯』3/9-14には<sup>尙</sup>公<sup>及</sup> <sup>北</sup> <sup>及</sup>化<sup>北</sup> <sup>至</sup> <sup>目</sup>及<sup>去</sup> <sup>又</sup>及<sup>去</sup>とある。これは「六代の先祖朶魯列世燭」と解読しうることから、<sup>又</sup>及<sup>去</sup> <sup>去</sup>と<sup>又</sup>及<sup>去</sup> <sup>未</sup>及<sup>去</sup>は同じ意味を表していることが分かる。この人物については『胡睹堇』3/13-28に詳しい記述がある。

<sup>目</sup>及<sup>去</sup> <sup>至</sup> <sup>未</sup> <sup>及</sup> <sup>今</sup>尙<sup>及</sup> <sup>北</sup> <sup>及</sup> <sup>又</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>几</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>百</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>今</sup> <sup>丙</sup> <sup>才</sup> <sup>左</sup> <sup>去</sup> <sup>今</sup> <sup>安</sup> <sup>至</sup> <sup>未</sup> <sup>及</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup> <sup>及</sup> <sup>去</sup>

朶魯列 太尉 乾亨 中 ○ ○ 多く 諸号 遥里 奚 吐里 太尉 なった

この文の解読については『胡睹堇』の該当箇所を参照されたい。



### 3-6 墓主の第四代の先祖

3/18—25:  $\begin{matrix} \text{令} & \text{化} \\ \text{丞} & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{公} & \text{不} \\ \text{相} & \end{matrix}$  生  $\begin{matrix} \text{キ} \\ \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{生} & \text{不} \\ \text{伏} & \end{matrix}$  午金 丞 杰 とある。これは第四代の先祖で、「駝寧・撻凛大王」と解釈できる。この人物は『遼史』巻八五に伝のある蕭撻凛を指す。『胡睹堇』・『蕭敵魯』・『凶古辞』にも「駝寧」に関する記述がある。共通する部分もあるが、異なっている部分もある。

『胡睹堇』 3/12-17:  $\begin{matrix} \text{又} & \text{平} \\ \text{升} & \text{夾} \\ \text{相} & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{令} & \text{平} \\ \text{丞} & \text{丞} \\ \text{相} & \end{matrix}$  十  $\begin{matrix} \text{令} & \square \\ \text{化} & \text{相} \\ \end{matrix}$  丑令 及北

東 高麗の伐 西 唐古特 統 ○

『凶古辞』 2/22-29: 尤化  $\begin{matrix} \text{又} & \text{平} \\ \text{升} & \text{夾} \\ \text{相} & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{來} & \text{欠} \\ \text{平} & \text{丞} \\ \text{丞} & \end{matrix}$  引丞  $\begin{matrix} \text{令} & \text{欠} \\ \text{化} & \text{相} \\ \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{竹} & \text{中} \\ \text{丹} & \text{又} \\ \end{matrix}$  弱相 及丞

東 高麗の伐 西 唐古特 (奉貢)

$\begin{matrix} \text{又} & \text{平} \\ \text{升} & \text{夾} \\ \text{相} & \end{matrix}$  は「高麗の」を示す(愛新覚羅 2011)。これらとの比較から、 $\begin{matrix} \text{令} & \text{平} \\ \text{丞} & \text{丞} \\ \text{相} & \end{matrix}$  と  $\begin{matrix} \text{來} & \text{欠} \\ \text{平} & \text{丞} \\ \text{丞} & \end{matrix}$  はほぼ同

じ「伐」という意味を持つことが推測される。さらに、 $\begin{matrix} \text{引} & \text{丞} \\ \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{令} & \text{欠} \\ \text{化} & \text{相} \\ \end{matrix}$  との比較から、 $\begin{matrix} \text{十} \\ \end{matrix}$  は  $\begin{matrix} \text{引} & \text{丞} \\ \end{matrix}$  とほぼ同じ意味を持ち、 $\begin{matrix} \text{令} & \square \\ \text{化} & \text{相} \\ \end{matrix}$  は  $\begin{matrix} \text{令} & \text{欠} \\ \text{化} & \text{相} \\ \end{matrix}$  と復元することができ、「唐古特」を意味することが推測できる。

### 3-7 墓主の祖父

3/26-31: 生  $\begin{matrix} \text{キ} \\ \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{丑} & \text{弱} \\ \text{伏} & \end{matrix}$   $\begin{matrix} \text{令} & \text{夾} \\ \text{欠} & \end{matrix}$  丞 杰

祖父 阿古軫 慥古 大王

「阿古軫・慥古」大王は墓主の祖父であり、『契丹国誌』では「奥只・掃古」と記されている(康鵬 2011; 愛新覚羅 2011)。この人物に関しては、『胡睹堇』・『蕭敵魯』・『凶古辞』により詳しい記録がある。

『蕭敵魯』の記述を見ると、この人物の名前は  $\begin{matrix} \text{丑} & \text{弱} \\ \text{伏} & \end{matrix}$  丞 杰  $\begin{matrix} \text{令} & \text{化} \\ \text{余} & \end{matrix}$  (阿古軫大王名慥古)

と記されており、「東宮統軍」・「南宮統軍」などに封ぜられ、病死した。この人物は二人の妻がいる。

### 3-8 墓主の父と叔父

3/34-4/10: <sup>才</sup> <sup>奈</sup> <sup>伏</sup> <sup>舟</sup> <sup>中</sup> <sup>区</sup> <sup>凡</sup> <sup>方</sup> <sup>丰</sup> <sup>今</sup> <sup>女</sup> <sup>丞</sup> <sup>伏</sup> <sup>今</sup> <sup>欠</sup> <sup>支</sup> <sup>又</sup> <sup>雨</sup> <sup>急</sup> <sup>又</sup> <sup>凡</sup>

父 胡睹董 帖刺本 太 師 叔父 盆奴 凶古辞 尚 書

「胡睹董・帖刺本」太師は墓主の父で、叔父は「盆奴・凶古辞尚書」である。凶古辞の契丹小字墓誌銘は 2000 年、阜新蒙古族自治县太平郷大道村四家子屯の遼墓から発見された。『凶古辞』の記述から、墓主の回璉は「凶古辞」の甥であることが分かる。

胡睹董太師に関しては、『胡睹董』の釈讀文で論じたが、『蕭敵魯』に記録によると、彼は「大將軍」・「南院同知」・「塌母城度使」・「上將軍」に封ぜられたようである。

### 3-9 墓主の母

4/18-32: <sup>本</sup> <sup>妻</sup> <sup>百</sup> <sup>几</sup> <sup>本</sup> <sup>矣</sup> <sup>考</sup> <sup>凡</sup> <sup>芬</sup> <sup>今</sup> <sup>禾</sup> <sup>伏</sup> <sup>才</sup> <sup>方</sup> <sup>火</sup> <sup>州</sup> <sup>欠</sup> <sup>丰</sup> <sup>和</sup> <sup>今</sup> <sup>文</sup> <sup>中</sup> <sup>丙</sup> <sup>区</sup> <sup>本</sup> <sup>和</sup> <sup>册</sup> <sup>力</sup>

本 妻 建 哥 夫人 兄 弟の 季 父房の 謝 六 太 尉の 娘

人名「建哥?」及び「謝六」は契丹文字の発音から推測したものであり、漢文資料から確認できたものではない。「建哥」は胡睹董太師の本妻であり、『蕭敵魯』に以下のようなほぼ同様の記述がある。この夫人には一人の息子がいる。

『蕭敵魯』 12/15-27: <sup>又</sup> <sup>本</sup> <sup>矣</sup> <sup>考</sup> <sup>凡</sup> <sup>芬</sup> <sup>今</sup> <sup>禾</sup> <sup>伏</sup> <sup>才</sup> <sup>方</sup> <sup>火</sup> <sup>州</sup> <sup>余</sup> <sup>丰</sup> <sup>和</sup> <sup>今</sup> <sup>文</sup> <sup>中</sup> <sup>丙</sup> <sup>区</sup> <sup>本</sup> <sup>和</sup> <sup>册</sup> <sup>力</sup>

大 建 哥 夫人 兄 弟の 季 父房の 謝 留 太 尉の 娘

『蕭敵魯』 12/28-13/11: <sup>本</sup> <sup>化</sup> <sup>当</sup> <sup>百</sup> <sup>急</sup> <sup>今</sup> <sup>文</sup> <sup>今</sup> <sup>禾</sup> <sup>伏</sup> <sup>才</sup> <sup>方</sup> <sup>火</sup> <sup>尺</sup> <sup>余</sup> <sup>丰</sup> <sup>和</sup> <sup>区</sup> <sup>方</sup> <sup>凡</sup> <sup>火</sup> <sup>引</sup> <sup>化</sup> <sup>册</sup> <sup>力</sup>

第二 楊 節 夫人 兄 弟の 仲 父房の 查 懶 瑰 引 宰相の 娘

この「楊節」は墓主の母で遼代の名臣耶律仁先の妹であり、契丹文字墓誌銘でよく現れる人物である。この夫人には息子二人と娘二人がいる。この人物に関しては、『蕭敵魯』にも記述が見られる。

## 4. 墓主本人と兄弟

4/33-5/1: <sup>册</sup> <sup>力</sup> <sup>毛</sup> <sup>今</sup> <sup>册</sup> <sup>当</sup> <sup>雨</sup> <sup>止</sup> <sup>及</sup> <sup>公</sup> <sup>及</sup> <sup>雨</sup> <sup>急</sup> <sup>又</sup> <sup>关</sup>

息子 一 敵輦 〇 菩 奴 做 史

<sup>雨</sup> <sup>止</sup> <sup>及</sup> <sup>公</sup> <sup>及</sup> に関しては、先行研究では「大仆奴」（康鵬 2011）、「多寶奴」（愛新覺羅 2011）と解説されているが、<sup>雨</sup> の音価は不明であるため検証は困難である。敵輦は建哥夫人の実の息子であり、墓主の腹違いの兄である。この人物を『凶古辞』では「太師」、『胡睹董』では「太尉」として紹介している。彼は「蕭敵魯」の父であり、『蕭敵魯』で詳しく触れられている。「某司徒」、「金肅軍招討」、「泰州觀察」、「貴德州節度使」を歴

任した。

5/16-23: <sup>付列</sup>出 毛 半全 丕 又冬 欠 才奈 伏 未化 茶 丕亦 关

子供 四 男 二 長 胡 睹 董 第二 轄 底

ここでは楊節夫人には子供が四人おり、そのうち男が二人で、長男の名前は胡睹董、次男は<sup>丕亦</sup>关であると記されている。胡睹董は墓主の兄で、敵輦より年下であることから、第二目の兄であることがわかる。同時に、この人物は本墓誌銘の撰者である。

5/24-33: 百令 <sup>付列</sup>出 又冬 夫 支 今文 付子 令金 百茶 丕 未矢 <sup>未平</sup>茶 中 伏

女 の 子供 長 魯 節 別 胥 特 末 里 太 尉 に 嫁 ぐ

この人名「魯節」は漢字文献では確認できないが、<sup>令金</sup>百茶 を『遼史』に見られる人名を参考にし、「特末里」と復元する。<sup>付子</sup> は「梁国王」第 24 行目にも見られる。ここでは「別胥」と解説する。<sup>付子</sup> は p-tʃ/ tʃu 即ち peʃu と読まれる可能性があり、先行研究により解説された「別胥」を示す<sup>付英</sup>金 欠 の音価 p-ue-ts-iu = pe tsu と近似する。

6/1-7: <sup>未化</sup>当 令中 茶 当 <sup>付子</sup> 未矢 凡才 公未 凡 <sup>未平</sup>茶 中 伏

第二 ○ 別 胥 張 家 奴 に 嫁 ぐ

人名<sup>令中</sup>茶 当 に対応する漢字音写は明らかではないが、この人物は「張家奴」に嫁いだことが分かる。張家奴は『遼史・天祚皇帝二』に記録されている耶律張家奴である可能性がある。以上の記録から墓主の二人の妹は「特末里」と「張家奴」に嫁いだことが分かるが、この二人の婿の家系についてははっきりとしない。

『蕭敵魯』には以下のように「魯節」に関する記録がある。

『蕭敵魯』 16/15-17/1: 百全 丕 中全 今文 令中 茶 当 未上 未又 才 乃女 尺分 中 和 <sup>未平</sup>茶 中 伏

女 二 魯 節 ○ ○ 兄弟の 仲父 房 嫁 ぐ

この記述から墓主の二人の妹が嫁いだ「帳」は「兄弟の仲父房」であることが分かるが、二人の婿の名前は記されていない。このように曖昧な表現が用いられることには、二人の婿が政治的に複雑な身分であることと関係していると思われる。

6/33-7/3 に<sup>丕</sup> 伏 茶 <sup>丕</sup> 伏 茶 とあり、「二人の兄弟、二人の姉妹」を意味する。現在まで発見された資料での記録を参考にすると、<sup>才么</sup>伏 茶 は四箇所に見られ、いずれも男性の「兄

弟」のみ表す。伏<sup>ㄨ</sup>考<sup>ㄎ</sup> 伏<sup>ㄨ</sup>岑<sup>ㄘ</sup> は八箇所に見られ、男性と女性の「兄弟姉妹」のどちらも指し得る。

契丹字<sup>伏<sup>ㄨ</sup>考<sup>ㄎ</sup></sup>も男性と女性の「兄弟姉妹」のどちらも示すが、<sup>伏<sup>ㄨ</sup>考<sup>ㄎ</sup></sup>は男性の「兄弟」のみ示す。しかし、<sup>伏<sup>ㄨ</sup>考<sup>ㄎ</sup></sup>は今のところ一箇所しか確認されていないため、女性を示し得るかどうかが十分なデータを得られていない。

## 5. 墓主の妻と子供

7/8-27: 巫<sup>ㄨ</sup>亦<sup>ㄚ</sup> 百<sup>ㄅ</sup> 几<sup>ㄐ</sup> 欠<sup>ㄑ</sup> 用<sup>ㄩ</sup> 九<sup>ㄐ</sup> 岑<sup>ㄘ</sup> 尔<sup>ㄦ</sup> 火<sup>ㄏ</sup> 才<sup>ㄘ</sup> 乃<sup>ㄢ</sup> 火<sup>ㄏ</sup> 州<sup>ㄗ</sup> 欠<sup>ㄑ</sup> 丰<sup>ㄨ</sup> 和<sup>ㄏ</sup> 今<sup>ㄐ</sup> 雨<sup>ㄩ</sup> 杰<sup>ㄐ</sup> 和<sup>ㄏ</sup> 曲<sup>ㄑ</sup> 岑<sup>ㄘ</sup> 和<sup>ㄏ</sup> 令<sup>ㄎ</sup> 亦<sup>ㄚ</sup> 又<sup>ㄚ</sup> 今<sup>ㄐ</sup> 哥<sup>ㄎ</sup> 九<sup>ㄐ</sup> 亦<sup>ㄚ</sup>

轄底の妻 興 哥 娘子 兄弟の 季 父房の 秦 王の家の 拈得 将 軍

伏<sup>ㄨ</sup>行<sup>ㄒ</sup> 欠<sup>ㄑ</sup> 伏<sup>ㄨ</sup> 尔<sup>ㄦ</sup> 火<sup>ㄏ</sup> 圣<sup>ㄕ</sup> 和<sup>ㄏ</sup> 舟<sup>ㄗ</sup> 欠<sup>ㄑ</sup>

涅木袞 娘子 二の 娘

墓主の妻の名は興哥であり、季父房の秦王の帳の拈得將軍と涅木袞娘子の娘である。『遼史』の人名を参考にし、<sup>令<sup>ㄎ</sup>亦<sup>ㄚ</sup></sup>は漢字による音写では「拈得」に相当すると考えたい。

7/28-8/7: 舟<sup>ㄗ</sup> 列<sup>ㄌ</sup> 出<sup>ㄊ</sup> 毛<sup>ㄇ</sup> 丰<sup>ㄨ</sup> 岑<sup>ㄘ</sup> 圣<sup>ㄕ</sup> 又<sup>ㄚ</sup> 冬<sup>ㄊ</sup> 余<sup>ㄩ</sup> 令<sup>ㄎ</sup> 金<sup>ㄐ</sup> 当<sup>ㄊ</sup> 生<sup>ㄕ</sup> 和<sup>ㄏ</sup> 化<sup>ㄏ</sup> 岑<sup>ㄘ</sup> <sup>□□</sup> 平<sup>ㄆ</sup> 立<sup>ㄌ</sup> 舟<sup>ㄗ</sup> 出<sup>ㄊ</sup> 百<sup>ㄅ</sup> 令<sup>ㄎ</sup> 舟<sup>ㄗ</sup> 列<sup>ㄌ</sup> 出<sup>ㄊ</sup> 圣<sup>ㄕ</sup> 又<sup>ㄚ</sup> 公<sup>ㄎ</sup> 夫<sup>ㄈ</sup> 田<sup>ㄊ</sup> 中<sup>ㄓ</sup> 舟<sup>ㄗ</sup> 伏<sup>ㄨ</sup> 和<sup>ㄏ</sup> 化<sup>ㄏ</sup> 当<sup>ㄊ</sup> 田<sup>ㄊ</sup> 当<sup>ㄊ</sup>

子供 四 男 二 長 特免 阿不 第二。 女 子供 二 長女 烏盧本 第二 兀衍

墓主には子供が四人おり、それぞれ「特免阿不」、「烏盧本」、<sup>□□</sup>平<sup>ㄆ</sup>立<sup>ㄌ</sup>舟<sup>ㄗ</sup>出<sup>ㄊ</sup>、「兀衍」という名前である。田<sup>ㄊ</sup>当<sup>ㄊ</sup>と漢字音写「兀衍」の対応については今後検証する必要がある。

## 6. 墓主の経歴

8/8-10 に<sup>又<sup>ㄚ</sup>火<sup>ㄏ</sup></sup>雨<sup>ㄩ</sup> 乃<sup>ㄢ</sup> <sup>巫<sup>ㄨ</sup>亦<sup>ㄚ</sup></sup>火<sup>ㄏ</sup> とある。この句は「私の弟轄底」を意味し、ここから墓主の経歴が記される。「私の」を表す<sup>又<sup>ㄚ</sup>火<sup>ㄏ</sup></sup>雨<sup>ㄩ</sup>は本墓誌の第一行では<sup>又<sup>ㄚ</sup>火<sup>ㄏ</sup></sup>和<sup>ㄏ</sup>として出現している。<sup>又<sup>ㄚ</sup>火<sup>ㄏ</sup></sup>雨<sup>ㄩ</sup>は今まで発見された資料中、七箇所に見られる。そのうち『仁先』65/1-3 の<sup>又<sup>ㄚ</sup>火<sup>ㄏ</sup></sup>雨<sup>ㄩ</sup> <sup>立<sup>ㄌ</sup>九<sup>ㄐ</sup></sup>与<sup>ㄩ</sup>岑<sup>ㄘ</sup>はそれぞれ「地方」・「私の」・「誌」を意味する。この句の意味が「私の地方誌」であるならば、契丹語に「所有代名詞」の形式があることを示す重要な表記と言える。残念ながら、現段階では名言することはできない。墓主の経歴に関する記述は、解読できる部分は少ない。墓主の官職についての記述は見られない。

17/7-22: 又 <sup>令丙</sup> 女 中 包 女 圣 天 矢 百 子 乃 央 平 丞 化 又 公 万 火 全 金 令 公 刃 北 公

大康 六年 三月 二日に ○ 川 ○ 院 ○ ○ 病気で亡くなる  
これは墓主が死亡した日にち「大康六年(1080)三月二日」を意味する。病気で死んだよう  
で、死亡した場所や年齢については不明である。

## 7. 葬儀

19/17-35: <sup>承化</sup> 才 <sup>令中</sup> 万 中 雨 矢 又 火 乃 力 令 田 雨 矢 又 火 又 冬 余 乃 力 令 金 生 乃 冬 公 当

第二 兄 ○ 叔父 尚 書 の 息子 敵 輦 徹 史 長 男 特 免 阿 不 又  
才 万 <sup>承化</sup> 承

兄 弟 親 戚

ここでは葬儀に参加した人達について言及しており、「第二兄<sup>令中</sup>公当」(本墓誌の撰者)・「叔父尚書の子敵輦徹史」・「長男特免・阿不」及び兄弟と親戚の人物が参列したことがわかる。

20/17-35: 口 中 止 平 至 女 毛 天 矢 又 火 乃 力 令 又 承 火 矢 生 ； 中 生 不 丞 杰 示 公 出

その年 閏 八 月 一 日 に ○ ○ ○ 山 で 曾 祖 父 駝 寧 大 王 の  
又 雨 乃 力 又 化 公 中 化 止 乃 出 非 北 久 止 及 子 止 乃 又 矢 火

墓より 南 院 ○ ○ 掩 閉

以上の記録から大康六年(1080)閏八月一日に、<sup>令又</sup>承金 という山の曾祖父である駝寧大王の墓  
の南に掩閉されたことが分かる。

現在、出土した場所が明らかではない墓誌がいくつか存在しており、先行研究によってそれらの出土地が推測されている。上記の記述に見られる墓の所在地を表す山名などを参考にすると、出土地を推定することが可能である。

埋葬された地は、『胡睹董』では<sup>令又</sup>承金、『蕭敵魯』では<sup>令又</sup>承金、『図古辞』では

<sup>令又</sup>承金 と記されている。<sup>令又</sup>承金 と<sup>令又</sup>承金 は明らかに同じ山名の異なった表記であると考えるのが妥当である。蕭敵魯の二人の叔父は胡睹董と回璉であり、図古辞は胡睹董と回璉の叔父であると言う親縁関係を考慮すると、これらの墓誌はすべて同じところから出土したと考えるのが妥当であろう。愛新覚羅(2011)は『胡睹董』は内蒙古自治区通遼市奈曼旗青龍山鎮南溝(八里罕)から発見されたと言うが、『図古辞』は2000年に遼寧省阜新蒙古族自治县太

平郷大道村四家子屯の遼墓から発見されたことがはっきりしているので、『胡睹堇』を含む他の三墓誌も遼寧省から出土したと考えるべきである。

## 8. 銘文

28/1-12: 又 <sup>令丙</sup> <sup>月</sup> 亥 辛 辛 和 <sup>令牛</sup> <sup>丹</sup> 禾 □ 穴 亥 <sup>令号</sup> <sup>令力</sup> 夫 方  
大康 六 年 年の 順序 庚（申） 正 月 乙 酉

28/13-24: 毛 尹 禾 止 及 兮 矣 行 <sup>久</sup> <sup>立</sup> 及 子 <sup>本</sup> 列 毛 尹 关 杏 非  
一 日 庚 申 礼 掩 閉 一 日 の 丑 時

「大康六年（1080）庚（申）正月乙酉一日庚申」が何の行われた日付であるかは不明である。回璉は大康六年(1080)三月二日に死亡している。大康六年の正月に掩閉されたのが誰であるか判断するのは困難である。

墓誌銘の左下角に: 可 <sup>北</sup> <sup>万</sup> <sup>今</sup> <sup>并</sup> <sup>几</sup> <sup>亦</sup> <sup>和</sup> 几 出 及 几 禾 未 公  
○ ○ 将 軍 の 人 ○ 人 白 書 丹  
<sup>未</sup> <sup>土</sup> <sup>几</sup> <sup>用</sup> <sup>屋</sup> <sup>方</sup> <sup>中</sup> <sup>关</sup> <sup>未</sup> <sup>关</sup> <sup>今</sup> <sup>胤</sup> <sup>午</sup> <sup>列</sup> <sup>方</sup> <sup>未</sup>  
中 京 の ○ 李 偉 宗 ○ ○

この記録から本墓誌の書丹者は禾「白」と分かる。中关 未关 今胤 に対応する漢字は不明であるが、ここでは「李偉宗」としておきたい。この人の本墓誌での役割が何か判断するのは困難である。

## おわりに

墓主 <sup>火</sup> <sup>火</sup> <sup>火</sup> 回璉、<sup>未</sup> <sup>亦</sup> <sup>关</sup> 轄底は『遼史』に記録がない。彼らは国舅別部の胡母里の後裔である。蕭回璉は凶古辞の甥で、胡睹堇の弟で、蕭敵魯の叔父である。第九代の先祖は <sup>列</sup> <sup>行</sup> <sup>全</sup> 胡母里、第八代は <sup>万</sup> <sup>北</sup> <sup>余</sup>、第七代は <sup>兮</sup> <sup>及</sup> <sup>北</sup> 合魯郎君、第六代は <sup>又</sup> <sup>欠</sup> <sup>方</sup> 朗君、第五代は <sup>目</sup> <sup>及</sup> <sup>公</sup> 朮魯列世燭である。第四代の先祖は『遼史』八五に伝のある「蕭撻凛・駝寧」であり、この名は契丹小字で <sup>土</sup> <sup>不</sup> <sup>伏</sup> <sup>午</sup> <sup>金</sup> と表記されている。第三代、即ち祖父は <sup>里</sup> <sup>弱</sup> <sup>伏</sup> <sup>今</sup> <sup>央</sup> <sup>欠</sup> 「阿古軫・慥古」大王であり、『契丹国誌』巻之十五に記録のある「蕭奥只」である。墓主の父は <sup>才</sup> <sup>祭</sup> <sup>伏</sup> <sup>舟</sup> <sup>中</sup> 「胡睹

董・帖刺本」太師で、叔父は<sup>今女</sup><sub>及伏</sub> <sup>今欠</sup><sub>及又</sub> 「盆奴・凶古辞」である。「凶古辞」の契丹小字墓

誌銘も既に発見されている。「胡睹董・帖刺本」の大妻は<sup>永女</sup><sub>考</sub> <sup>兀芬</sup> 「建哥(?)）」と言い、

兄弟の季父房の「謝留(?)」太尉の娘である。小妻は<sup>百欠</sup> <sup>今文</sup> 「楊節(?)」夫人と言

い、兄弟の仲父房の查懶瑰引宰相の娘である。蕭回璉は「楊節(?)」夫人の実子であり、

その腹違い兄の<sup>今用</sup><sub>当</sub> <sup>雨</sup> <sup>止及</sup> <sup>公及</sup> 「敵輦・○」敵史、実兄の<sup>才奈</sup><sub>伏</sub> <sup>今中</sup><sub>及当</sub> 「胡睹董・○」がいる。

妹が二人おり、一人は<sup>失</sup> <sup>今文</sup> 「魯節?」と言い、別胥<sup>今金</sup><sub>百芬</sub> 特末里太尉に嫁ぎ、もう一人は

<sup>今中</sup><sub>及当</sub> 別胥と言い、<sup>永欠</sup> <sup>兀芬</sup> <sup>公及</sup> 「張家奴」に嫁ぐ。

蕭回璉の妻は<sup>今用</sup> <sup>兀芬</sup> 「興哥」と言い、兄弟の季父房の秦王の帳の<sup>今亦</sup><sub>又</sub> 「拈得」將軍と

<sup>伏行</sup><sub>欠伏</sub> 「涅木衮」娘の娘である。蕭回璉と興哥は息子二人と娘二人がおり、それぞれ、

<sup>今金</sup><sub>当</sub> <sup>生</sup> 「特免・阿不」、<sup>田中</sup><sub>丹伏</sub> 「烏盧本」、<sup>田当</sup> 「兀衍」と言う。蕭回璉の官職に関する記

録は見られない、大康六(1080)年三月二日に病卒し、その年閏八月一日に<sup>今又</sup><sub>本金</sub> 山で曾祖父の駝寧大王の墓に付近に安葬された。本墓誌銘は蕭回璉の第二の兄により書かれ、<sup>永</sup> と  
言う人物が書丹した。

#### 参考文献

愛新覺羅烏拉熙春・吉本道雅 2011『韓半島から眺めた契丹・女真』。京都: 京都大学学術出版会。

康鵬 2011「蕭撻凜家族世係考」、『新亞洲論壇』第4輯. 373—383.

劉鳳翥 2011「契丹小字〈蕭徽哩輦・汗德墓誌銘〉為贗品説」、『遼金歴史与考古国際学術研究会文集』(下冊)。瀋陽: 遼寧教育出版社. 506—514.

Wu Yingzhe 2011 'Deciphering some demonstrative pronouns in Khitan Small Script', *Altai Hakpo*, No.21. 69-77.;

# 契丹小字「蕭胡睹董墓誌銘」考釈

1. 墓誌のタイトル及び撰者
  2. 墓主の先祖
    - 2-1 墓主の第九代の先祖
    - 2-2 墓主の第六代の先祖
    - 2-3 墓主の第五代の先祖
    - 2-4 墓主の第四代の先祖
    - 2-5 墓主の第三代の先祖
    - 2-6 墓主の第二代の先祖
  3. 墓主
  4. 墓主に対する評価
  5. 墓主の家族
  6. 葬儀
- おわりに

## 1. 墓誌のタイトル及び撰者

第1行目に、墓誌のタイトルと撰者が記されている。これは契丹文字の墓誌の慣例である。始めの10文字は以下のように解読できる。

又 令兮 天关 兀突 刈公 力立 令中 兀又 又雨 立兀  
分 夫 和 公 出又 太当 公 雨 当  
大 ○ 契丹 国の 別(部) 国舅の ○ 審密の 墓 誌

令中太当 は墓主の名前であるが、その第三原字太の音価が不明であるため、この人名の漢字による表記はまだ分からない。兀又公 は「審密の」を意味する(清格爾泰ほか 1985: 590)。『遼史』「營衛誌中」に「二審密：一曰乙室已、二曰拔里、即国舅也」(二つの審密：一つは乙室已、もう一つは拔里、即ち国舅である)とある。これに従うならば、墓主の名字は「蕭」とすべきである。もちろん、国舅別部(別の・国舅)という言葉からも、墓主の名字が「蕭」であることが分かる。なぜならば、遼朝の国舅部に属する人々の名字はいずれも「蕭」であるからである。

2/1-2/4 : 立太 天化 才奈 未化 令中  
夫 伏 当和 太当  
墓主? 号 胡睹董 第二名 ○

このうち立太夫 は「墓主」を意味すると推測される。才奈伏 は墓主の名前である。先行研究に従い、「胡睹董」と読む(劉鳳翥ほか 2009)。次に「第二名」を意味する語が続く。最後の文字は第1行に見られる墓主の別名である。墓誌末尾の銘文35行目に「蕭審密」との記述がみられることから、本墓誌を「蕭胡睹董墓誌銘」と命名する<sup>1</sup>。

<sup>1</sup> 愛新覺羅 2011 はこの墓誌を「大中央契丹国外戚国舅特里堅審密位誌銘」と命名している。



1/22-31: 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤  
 耶律 司 家 奴 撰 第二 子 楊 哲? 書丹

この記述から、本墓誌の撰者は「耶律司家奴」であり、書丹者、即ち朱砂で墓誌銘の文字を石に書いた人物は墓主の次男「楊哲」であることがわかる。

## 2. 墓主の先祖

本墓誌の 2/8-8/37 には、墓主の先祖に関する記述がみられる。先祖の出身地については 2/8-16 に以下の記述がみられる：

𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤  
 先祖 ○ 迭刺 部 斡納阿刺 石烈 ○ 彌里の 人

この記述に従うと、先祖の出身地は「迭刺部斡納阿刺石烈○彌里」である。なお、「部」は「部族」、「石烈」は「県」、「彌里」は「郷」をそれぞれ意味する。𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 は『遼史』營衛志下の六院部に関する記述に見られる「斡納阿刺石烈」と対応する。

### 2-1 墓主の第九代の先祖

墓主の第九代先祖の名前は 𐰚𐰏𐰤 であり、2/18 に見られる。𐰚𐰏𐰤 の発音は y、𐰚𐰏𐰤 は mu、𐰚𐰏𐰤 の発音は不明である。もし 𐰚𐰏𐰤 の発音が li 或いは ri であれば、𐰚𐰏𐰤 は『遼史』「外戚表」にある「胡母里」の発音に近似する。「胡母里」は「忽母里」と音写されることもある。この人物は蕭氏家族の「五世祖」である（康鵬 2011）。同じ人名は『蕭敵魯』第 2 行（Wu and Janhunen 2010: 57）にも見られる。

なお、墓主の第八代の先祖名は本墓誌には記されていないが、『蕭敵魯』の第 2 行に見られる 𐰚𐰏𐰤 であり、第七代の先祖は『蕭敵魯』の第 3 行に見られる 𐰚𐰏𐰤 である（Wu and Janhunen 2010: 57）。この二つの契丹文字に対応する漢字音写はまだ同定されていない。

### 2-2 墓主の第六代の先祖

本墓誌の第 2 行末の三文字 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 は「第三代の子」を意味する。即ち「胡母里」の第三代の子孫であり、3/1-2 の 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 「○郎君」は墓主の第六代の先祖を指すことが分かる。

3/3-9: 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤 𐰚𐰏𐰤  
 承 天 太 后 の 叔 祖 父

この記述から、𐰚𐰏𐰤 は「承天太后」の叔祖父であることが分かる、しかし、この人物の名前は歴史書には見られない。「承天太后」の名前は「蕭綽」であり、幼名は「燕燕」、景宗皇帝の皇后である。統和元年（983）に「承天皇太后」という尊称を得た。

### 2-3 墓主の第五代の先祖

墓主の第五代の先祖のことが 3/13 に書かれており、名前は<sup>日</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>である。この文字の第二原字𐰇の音価は u、第三原字の𐰇は ər または er である。彼は『遼史』「列伝」第十五にある蕭撻凜の父朮魯列である（康鵬 2011）。したがって、<sup>日</sup>𐰇を「術魯」という音写から、jul と推定することができる。これまで研究者は契丹文字資料によく出現する<sup>日</sup>𐰇の意味を「銘」と推測してきたが、発音は不明であった。<sup>日</sup>𐰇を jul と読むことにより、<sup>日</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>を julu と読むことができる。この発音は蒙古語の「詩」julǵ と近似している<sup>2</sup>。従って、<sup>日</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>（『宋魏国妃』

3）は<sup>日</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>の動詞形であり、<sup>日</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>（『仁先』30）julǵ 或いは July は蒙古語の発音 julǵ と一致する可能性がある。

次の文に<sup>令</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>（3/25-26）がある。<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>は「太尉」の音訳であることがすでに知られている。<sup>令</sup>𐰇の意味は未だに不明である。<sup>令</sup>の発音は t（或いは d）、𐰇は ur であるから、合わせて tur となり、この音は『遼史』「百官誌二」にある「吐里太尉」の「吐里」の発音と

近似する。時に「吐里太尉」は「禿里太尉」とも書かれる<sup>3</sup>。したがって、<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup><sup>令</sup>𐰇<sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup>は「〇〇吐里太尉」を意味し、墓主の第五代の先祖術魯列は「吐里太尉」であることが明らかになる。さらに、「吐里太尉」は遼時代の「奚六部」にしか存在しなかったので、<sup>令</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>

<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>に先行する<sup>令</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>は「奚族」の「奚」を意味する可能性がある。加えて、<sup>令</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>に先行する<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>

る<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>（<sup>𐰇</sup>i または j、<sup>𐰇</sup>au、<sup>𐰇</sup>、ər または er は奚六部の一つ「遥里」（部）に対応すると考えられる。

### 2-4 墓主の第四代の先祖

墓主の第四代の先祖は<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>である。この人は「大王」となっており、『遼史』「列伝」第十五にある蕭撻凜を指していることは明らかである。蕭撻凜の別名は「駝寧」であり、<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>の推定音 to-on-on→tonon と近似する。さらに、『遼史』の蕭撻凜の経歴は本墓誌の第四代の先祖の経歴と一致している（康鵬 2011）。この人物に関しては本墓誌の 3/29 から 6/1 に記載されているが、大部分は解読することができない。このうち、4/14-18：<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup>

<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup>が「阻卜の〇達領部都督」と推測される。そして、蕭撻凜の列伝に見られる「中伏

弩卒」という記載から 5/6-8 の<sup>𐰇</sup>𐰇<sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup><sup>𐰇</sup>の意味を「秘密の弩が命中し」と推測することができる。

<sup>2</sup> 契丹語は蒙古語と近い言語と考えられているため、筆者も契丹語と蒙古語の語彙の音形が近いものとみなしている。しかし、契丹語は蒙古語とは全く同じとは考えない。

<sup>3</sup> 愛新覚羅（2011:33）にも「吐里太尉」に関する内容がある。契丹文字が記載されていないが、おそらく<sup>令</sup>𐰇<sup>𐰇</sup>を「吐里」と読んでいるようである。

『蕭敵魯』の3/15-8/14にも蕭撻凜に関する記録があり、その中に<sup>今九</sup>公<sup>及</sup>劣<sup>安</sup>と記されている。おそらく、「弩が命中して死亡」を意味するのであろう。なお「蕭敵魯」中の蕭撻凜に関する記述に、<sup>今杏</sup>劣<sup>火</sup>穴と云う句が出現する。この句の逐語的な意味は「夜日の官」であるが、蕭撻凜の列伝の「保寧初、為宿直官、累任難劇」との記述から、<sup>今杏</sup>劣<sup>火</sup>穴は「宿直官」を意味することが分かる。

## 2-5 墓主の第三代の先祖

墓主の第三代の先祖、即ち墓主の祖父は<sup>王弱</sup>伏<sup>丞</sup>杰阿古真大王（6/6-8）であり、父<sup>今生</sup>及<sup>北</sup>主<sup>王</sup>（6/16-19）乾亨皇帝即ち聖宗皇帝、及び父<sup>米</sup>升<sup>及</sup>北<sup>主</sup>王<sup>雨</sup>非<sup>朱</sup>（6/20-24）重熙皇帝即ち興宗皇帝の在位時、<sup>午</sup>伏<sup>公</sup>安（6/28-29）達領部を管理していたようである。さらに、<sup>大</sup>北<sup>九</sup>九<sup>水</sup>非<sup>和</sup>「六字功臣」（6/32-35）及び<sup>火</sup>火<sup>赤</sup>火<sup>化</sup>「許王」（6/37-39）の号を得た。この人に関しては「蕭敵魯」にも記録があり、阿古真の別名を<sup>今央</sup>余（Wu and Janhunen 2010: 78）とする。これは、『遼史』「列伝」第十五にある蕭撻凜の息子の名前「慥古」に対応すると考えられている（康鵬 2011）。この墓誌によると、阿古真大王は「林牙・夷離畢・東宮統軍使・使相・郡王・南宮統軍使」などの号を得た。

## 2-6 墓主の第二代の先祖

墓主の第二代の先祖、即ち墓主の父の名前は<sup>才</sup>奈<sup>丹</sup>伏<sup>又</sup>（7/4-5）胡睹董・帖里本である。この名は墓主の名前と同じである。契丹人の名前の特徴として、父と子の名前が同じ、或いは似ていることがしばしばみられる。この人物は<sup>山</sup>止<sup>火</sup>赤<sup>又</sup>今<sup>各</sup>火<sup>黄皮室</sup>詳<sup>穩</sup>（7/29-31）<sup>4</sup>・<sup>今</sup>安<sup>丞</sup>米<sup>吐里</sup>太<sup>尉</sup>（7/32-33）・<sup>圣</sup>又<sup>由</sup>今<sup>欠</sup>化<sup>度</sup>使（7/34-36）・小<sup>及</sup>化<sup>右</sup>安<sup>庄</sup>又<sup>弱</sup>火<sup>南院</sup>同<sup>知</sup>（7/38-8/1-2）・<sup>用</sup>非<sup>火</sup>今<sup>欠</sup>又<sup>火</sup>火<sup>应州</sup>度<sup>使</sup>（8/3-6）・一<sup>为</sup>伏<sup>只</sup>北<sup>午</sup>和<sup>今</sup>各<sup>火</sup>坊<sup>公</sup>東<sup>北</sup>部<sup>達</sup>領<sup>詳</sup>穩<sup>院</sup>?（8/7-12）・<sup>大</sup>伏<sup>介</sup>火<sup>今</sup>丙<sup>才</sup>存<sup>丞</sup>赤<sup>非</sup>火<sup>公</sup>六<sup>部</sup>奚<sup>大</sup>王<sup>の</sup>院<sup>?</sup>（8/13-18）・<sup>又</sup>欠<sup>今</sup>非<sup>九</sup>亦<sup>和</sup>上<sup>将</sup>軍（8/22-24）などの号を得て、59歳で死亡した。文中の<sup>山</sup>止<sup>火</sup>赤<sup>又</sup>が「黄皮室」を意味することから、<sup>山</sup>が「黄」を表すことが分かり、契丹語の「十干」はモンゴル語のように五色によって示されていることが証明される。<sup>止</sup>火<sup>赤</sup>又<sup>は</sup>「耶律奴」の43目行にも見られる（石金民ほか 2001: 68）。『遼史』「国語解」によると、「皮室」は契丹語で「金鋼」を意味する。

<sup>4</sup> 愛新覚羅（2011:33）も「黄皮室詳穩」について言及している。論文では契丹文字の字形は示されていないが、おそらく、<sup>山</sup>止<sup>火</sup>赤<sup>又</sup>今<sup>各</sup>火<sup>黄皮室</sup>詳<sup>穩</sup>を「黄皮室詳穩」と読んでいるのであろう。

### 3. 墓主

本墓誌の 8/38 から 16/17 までは、墓主の一生の経歴を記録している。墓主は胡睹董・帖里本太師と楊節夫人の次男である。この楊節夫人が耶律仁先の妹であることは「仁先」（第 8 行）と「智先」（第 13 行）の内容により判断できる。

9/8-19: 突<sup>米分</sup> 为<sup>本</sup> 立<sup>本</sup> 宅 丞 住<sup>仕</sup> 扎<sup>及</sup> 丰 友 艾 宅 包 尹 矢 佃 芬

重熙 十 辛 巳 年 六 月 十 三 日 に 生 ま れ た

この「重熙十年（1041）辛巳六月十三日」は墓主の生年月日である。続く契丹文字<sup>止及</sup><sup>全</sup> 凡<sup>九</sup> 凡<sup>九</sup> 凡<sup>九</sup> 凡<sup>九</sup> 又（9/28-32）は「人となり、詩・文字を作る」を意味することから、墓主は幼い頃から、詩や文字が得意であったようである。<sup>止安</sup> 丁<sup>巫</sup> 矢 二十八歳で（11/1-3）、<sup>止</sup> 丰<sup>北</sup> 相<sup>为</sup> 去 「印牌司の郎君」になり（11/25-28）、その後<sup>来</sup> 凡<sup>又</sup> 为<sup>去</sup> 「左司の郎君」となり（11/42-43）、そして<sup>又</sup> 火<sup>又</sup> 又<sup>月</sup> 「枢密」（11/47-48）に関する仕事に携わった。その後、<sup>来</sup> 止<sup>火</sup>

<sup>凡</sup> 用<sup>相</sup> 中<sup>丙</sup> 又<sup>丙</sup> 止<sup>及</sup> 全 「中京留守となり」（13/18-22）、<sup>无</sup> 卡<sup>中</sup> 止<sup>火</sup> 火<sup>又</sup> 又<sup>火</sup> 又<sup>月</sup> 止<sup>及</sup> 子<sup>北</sup> 丰 「通事枢密と

なった」（13/24-28）。この句に見られる<sup>无</sup> 卡<sup>中</sup> を「通事」と推測し、<sup>火</sup> 火<sup>又</sup> 又<sup>火</sup> 又<sup>月</sup> を「事枢密」と推測する。この官職は『遼史』「百官誌」に見られる「南枢密院通事」に一致すると考えられる。その後<sup>令</sup> 丙<sup>月</sup> 圣<sup>丰</sup> 又<sup>平</sup> 大康二年（1076）の冬（13/29-33）、<sup>力</sup> 止<sup>全</sup> 各<sup>出</sup> 又<sup>火</sup> 「国舅詳穩」となり（13/37-38）、<sup>来</sup> 化<sup>当</sup> 又<sup>平</sup> 中<sup>圣</sup> 为<sup>火</sup> 翌年の冬「林牙」となった（14/4-6）。続いて、<sup>令</sup> 丙<sup>月</sup> 无<sup>丰</sup> 介<sup>安</sup> 大康五年（1079）春との表記が見られるが（15/22-26）、どんな官職に赴任したかは不明である。

16/3-17: 又<sup>米分</sup> 升<sup>及</sup> 雨<sup>南</sup> 屏 丰 圣 艾 宅 友 尹 矢 止 又 止 本 □ 丰 又<sup>化</sup> 矢<sup>火</sup> 尔<sup>火</sup> 劣<sup>安</sup> 中

大安 七 年 二 月 十 六 日 に 。 。 。 馬 から 落 ち 死 ん だ  
上は墓主の亡くなった日である。大安七年は 1091 年であり、享年 50 歳であった。

### 4. 墓主に対する評価

本墓誌の 16/18-26/21 までは、作者の墓主の経歴に関する評価のようである。解読できる部分は限られるが、次のような記述を見ることができる。

16/33-36 の<sup>全</sup> 考<sup>止</sup> 止<sup>引</sup> 矣<sup>中</sup> 止<sup>並</sup> は人名「蕭何」（前 257-前 193）と「張良」（?-前 185）の音写の可能性はある。<sup>全</sup> 考<sup>止</sup> の<sup>全</sup> は s と、<sup>考</sup> は iau を表示することから、<sup>全</sup> 考<sup>止</sup> は siau の音価を持ち、<sup>止</sup> は xa の音価を持つ。漢字「蕭」の中世期の発音は siau①（李珍華等 1993）<sup>5</sup>であり、「何」は ho③あるいは ho④なので、契丹字<sup>全</sup> 考<sup>止</sup> 止<sup>引</sup> 矣<sup>中</sup> の発音は、人名「蕭何」の中世期漢語の発音に極めて似ている。

<sup>5</sup> 本文に引用している中世漢語の発音は全て李珍華等 1993 を参考にした。siau①に見られる数字①は声調を表している。

引矢 の引は tʃ 或いは tʃa、矢は aŋ を表示することから、引矢 は tʃaŋ の音価を持つ。中並 の中は l と、並は iaŋ を表示することから、中並 は liaŋ の音価を持つ。漢字「張」の中世期の発音は tʃiaŋ①であり、「良」は liaŋ②なので、契丹字引矢 中並 の発音も人名「張良」の中世期の発音に極めて似ている。

17/1-4: 百矢 <sup>入丙</sup> 火 劣水 は人名「楊雄」(542-612) と「王通」(584-617) の音写の可能性  
がある。百矢 の百は i または j、矢は aŋ を表示することから、百矢 は iaŋ または jaŋ の音価  
を持つ。<sup>入丙</sup> 火 の火は x または k、丙は iou、水は uŋ を表示することから、<sup>入丙</sup> 火 は xiouŋ また  
は kiouŋ の音価を持つ。漢字「楊」の中世期の発音は iaŋ②、「雄」は hiuŋ②なので、契丹字  
百矢 <sup>入丙</sup> 火 の発音は人名「楊雄」に近似している。

火 は uaŋ を表示する。劣は t' または t'u、水は uŋ を表示することから、劣水 は t'uŋ の音価  
を持つ。「王」の中世期の発音は uaŋ②または uaŋ④であり、「通」は thug①なので、契丹字  
火 劣水 の発音も、人名「王通」の中世期の発音に極めて似ている。

21/7-16: 求 <sup>又只</sup> 凡 <sup>止市</sup> 中列 <sup>地</sup> 止及 <sup>又</sup> 去化 <sup>又</sup> 金又 <sup>叔比</sup> 及弱

○ 書に 帰 ○ である大 ○ 大 ○ と言う

21/17-32: 九安 <sup>又火</sup> 矢 <sup>今夕</sup> 可今 <sup>来在</sup> 用 <sup>火化</sup> 止为 <sup>几只</sup> 火 <sup>着</sup> 今丙 <sup>百谷</sup> 豹 <sup>今去</sup> 豹 <sup>本与</sup> 尖 <sup>着</sup> 火火

經 書に 曰く ○ ○ 号 ○ 人の ○ 康 ○ ○ ○ 天 ○ と言う

以上の二つの文は、何らかの漢語の文献からの引用と考えられるが、内容は不明である。

## 5. 墓主の家族

本墓誌の 26/22-27/26 は墓主の兄弟に関する記述である。

小  
26/22-29 の列本 <sup>才</sup> 毛 雨 止及 公及 丞火 は「?・兄一人○菩奴太尉」という意味で、先頭の  
火

小  
列本 の意味は「(墓主と) 同父異母の」と推測される。なぜなら、「蕭敵魯」第 12 行に「○  
火

菩奴太尉」の母は「胡睹董・帖刺本大師」の先妻 <sup>来焚</sup> 九芬 (建哥?) であり、墓主の母は後  
妻百矢 今文 楊傑であると分かるからである。

27/8-13: 毛 <sup>小</sup> 和 <sup>与</sup> 毛 <sup>巫亦</sup> 又为 <sup>火</sup> 去

同母の弟一人 轄底 郎君

前述したように、本墓主の同母の弟である轄底は『蕭回璉』の墓主であり、蕭回璉の契丹  
小字墓誌銘は胡睹董によって記された。

27/14-25: 伏岑 <sup>伏又</sup> 圣 <sup>中今</sup> 今文 <sup>百</sup> 今中 <sup>尔火</sup> 火 <sup>火矣</sup> 出 <sup>引化</sup> 欠不 <sup>曲令</sup> 矣及

姉妹 二 魯 傑 夫人 ○ 娘子 皆 查懶 宰相の 帳に 嫁いだ

27/27-29/22 は、墓主の妻と子孫に関する記録である。

27/30-43: 百几 <sup>北中</sup> 符伏 尔火 又及 丰和 弱当 央 <sup>爾</sup> 伏 <sup>女</sup> 符力 又秀 去安 乙 毛

妻 烏盧本 娘子 孟 父房の。 姉? 詳穩の 娘 今 歳 五十一  
この文の意味は「墓主の妻烏盧本夫人は、横帳の孟父房の某人の娘。当時の年齢は五十一歳である」である。この女性から二人の息子と二人の娘が生まれた。  
長男は記録によると、

27/47-28/6: <sup>又</sup> 及 <sup>中</sup> 力 巫天 公及 去安 一 毛  
大 羅 漢 奴 歳 三十四

28/7-15: 去及 里及 才 与火 <sup>令丙</sup> 伏 <sup>中丙</sup> 巫 凡和 符力

妻 阿古 兄 弟の (人 名) 太 師の 娘  
この意味は「長男の名は羅漢奴、当時の年齢は三十四歳。彼の妻の名は阿古。彼女は兄弟の(帳の)某太師の娘」である。長男の妻からは、息子二人、娘一人が生まれた。  
次男については、次のような記録がある。

28/26-31: 州欠 百几 令天 去安 毛 巫  
小 楊 哲? 歳 十 八

楊哲は、前述したこの墓誌の書丹者であるが、本人の名前は漢文史料からは確認できない。

二人の娘の名前は、<sup>存中</sup> 并及 と <sup>中</sup> 出 であるが、漢文史料においてどのように漢字で音写されているかは明らかではない。

## 6. 葬儀

29/23-39: <sup>令分</sup> 又 并及 屏 丰 丰和 <sup>令中</sup> 符 禾 圣才 禾 艾 <sup>中</sup> 考 夫 伏力 <sup>北中</sup> 中 一 <sup>令考</sup> 夫 无矢 央  
大安 七 年 歳次 辛 未 九 月 丙 戌 朔 三十 乙 卯 日

「大安七年(1091)九月三十日」は葬儀が行われた日付である。これは胡睹董が死亡して7ヵ月たってから埋葬したことを示している。その葬式に百几 <sup>北中</sup> 符伏 尔火 <sup>符列</sup> 出 <sup>中</sup> 力 巫天 公及 百几 令天 「烏盧本娘子・子供の羅漢奴・楊哲?」(30/1-10)、及び多くの人が参列し、墓の場所は <sup>令天</sup> 金 禾和 某山 (30/25-26) であった。

31/37-32/4: 丁 丰全 <sup>列</sup> 艾 力 才祭 与安 <sup>令</sup> 天 <sup>中</sup> 天 <sup>秀</sup> 来

二十 諸年 苦難 福 と ○  
この文は、墓主の二十年余りの幸福と苦難の経歴を評しているようである。このうち、<sup>列</sup> 艾 力 の発音が yasa なので、この文字は蒙古語「苦難」yasalanj に対応すると推測される。

32/6-13: 用 子水 令谷 <sup>火</sup> 天 雨 与方 屈当 符央 及 又土 安才 天 月全 <sup>公</sup> 丰 禾 秀 天

○ 鐘 子 期の ○ 知 鮑 叔 牙の ○ ○  
この文に見られる「鐘子期」は春秋時代の楚国の人で、「鮑叔牙」は春秋時代の斉国の大夫である。子水 の子は tʃ 或いは tʃu、水 は unj を表示することから、子水 は tʃunj の音価を持つ。

全<sup>ス</sup> 峇<sup>イ</sup> の全は s、峇は i を表示することから、全<sup>ス</sup> 峇<sup>イ</sup> は si の音価を持つ。<sup>ク</sup> 雨<sup>ン</sup> の<sup>ク</sup> は x または k、<sup>ク</sup> は i、雨<sup>ン</sup> は in を表示することから、<sup>ク</sup> 雨<sup>ン</sup> は ki-in の音価を持つ。雨<sup>ン</sup> in は属格を表す。「鐘」の中世期の発音は tʃiuŋ<sup>①</sup>であり、「子」は tsɿ<sup>③</sup>であり、「期」は khi<sup>②</sup>なので、子<sup>ス</sup> 全<sup>ス</sup> <sup>ク</sup> 雨<sup>ン</sup> の発音は人名「鐘子期」の中古音によく似ており、全体として「鐘子期の」を意味する。

<sup>付</sup> 夾<sup>ス</sup> の付は p、夾は au、<sup>又</sup> は u を表示することから、<sup>付</sup> 夾<sup>ス</sup> は pauu の音価を持つ。<sup>又</sup> ㄗ<sup>ス</sup> の<sup>又</sup> は ʃ、ㄗ<sup>ス</sup> は ou を表示することから、<sup>又</sup> ㄗ<sup>ス</sup> は ʃou の音価を持つ。<sup>安</sup> 才<sup>ア</sup> の安は ŋ、才<sup>ア</sup> は ia、<sup>夾</sup> は an を表示することから、<sup>安</sup> 才<sup>ア</sup> は ŋia-an の音価を持つ。このうち、<sup>夾</sup> an は属格を表す。漢字「鮑」の中世期の発音は pau<sup>④</sup>であり、「叔」は ʃiu<sup>③</sup>であり、「牙」の中古音は ŋa<sup>①</sup>、中世期の音は ia<sup>②</sup>なので、<sup>付</sup> 夾<sup>ス</sup> <sup>又</sup> ㄗ<sup>ス</sup> <sup>安</sup> 才<sup>ア</sup> の発音は人名「鮑叔牙」の中古音によく似ており、全体として「鮑叔牙の」を意味する。

「鐘子期」や「鮑叔牙」が引き合いに出されていることから、墓主の評価が高かったことがわかる。

## おわりに

墓主<sup>才</sup> 奈<sup>ナ</sup> 令<sup>リ</sup> 中<sup>チ</sup> 伏<sup>フ</sup> 峇<sup>カ</sup> 与<sup>ユ</sup> (胡睹董・o) は『遼史』に伝がない。契丹国別部国舅の人である。先祖は「迭刺部斡納阿刺石烈<sup>ニ</sup> 彌里<sup>ニ</sup>」の人である。第九代目の先祖は<sup>列</sup> 行<sup>キ</sup> 全<sup>セン</sup> 胡母里<sup>ニ</sup> と言ひ、国舅になった。第八代目と第七代目の先祖に関しては記録がない。第六代目の先祖<sup>又</sup> 欠<sup>ケ</sup> 力<sup>リ</sup> 郎君<sup>ニ</sup> は承天太后の叔祖父である。第五代目の先祖<sup>日</sup> 仄<sup>セ</sup> 莽<sup>マ</sup> 朮魯列太尉<sup>ニ</sup> は遙里奚の吐里太尉となった。第四代目の先祖は<sup>土</sup> 不<sup>フ</sup> 駝寧大王<sup>ニ</sup> と言ひ、景宗皇帝と聖宗皇帝の時代、達領部を掌にし、東高麗、西唐古特及び阻卜の<sup>中</sup> 生<sup>シ</sup> 午<sup>ウ</sup> 部の都督となった。統和二十二年(1004)、澶州で戦死した。第三代目の先祖、即ち墓主の祖父は<sup>里</sup> 弼<sup>ヒ</sup> 伏<sup>フ</sup> 阿古真大王<sup>ニ</sup> と言ひ、達領部を管理し、六字功臣・許王に封ぜられた。父は<sup>才</sup> 奈<sup>ナ</sup> 舟<sup>シ</sup> 舟<sup>シ</sup> 又<sup>ユ</sup> 胡睹董・帖里本<sup>ニ</sup> と言ひ、黄皮室詳穩・吐里太尉となり、<sup>圣</sup> 又<sup>ユ</sup> 由<sup>ユ</sup> 度使・南院同知・応州度使・東北部達領詳穩・六部奚大王の<sup>笏</sup> 公<sup>コウ</sup>、上將軍の号に封ぜられ、59歳の時に死亡した。

墓主は胡睹董・帖里本と楊節夫人の次男であり、重熙十年(1041)辛巳年六月十三日に生まれた。二十八歳で印牌司の郎君になり、その後左司の郎君、中京留守・通事樞密となった。大康二年(1076)の冬「国舅詳穩」になり、翌年の冬、「林牙」になった。大安七年(1091)二月十六日に馬から落ちて死亡した。

墓主の同父異母の兄は<sup>雨</sup> 止<sup>シ</sup> 又<sup>ユ</sup> 公<sup>コウ</sup> 又<sup>ユ</sup> 善奴太尉<sup>ニ</sup> と言ひ、同母の弟一人<sup>巫</sup> 亦<sup>ユ</sup> 夫<sup>フ</sup> 轄底郎君<sup>ニ</sup> と言う。轄底は本文で検討されている「蕭回璉」の墓主である。姉妹は二人おり、<sup>中</sup> 令<sup>リ</sup> 全<sup>セン</sup> 夫<sup>フ</sup> 魯傑夫人<sup>ニ</sup> と<sup>令</sup> 中<sup>チ</sup> 夫<sup>フ</sup> 人<sup>ニ</sup> は查懶宰相の帳の人に嫁いだ。妻烏盧本娘子は孟父房の<sup>弼</sup> 与<sup>ユ</sup> 夾<sup>カ</sup> 詳穩の娘であ

り、墓主が死んだ年には五十一歳であった。胡睹堇には息子が二人、娘が二人いる。長男は 中丙 巫天公爻 羅漢奴と言ひ、三十四歳であった。その妻は阿古夫人と言ひ、令丙 中丙 太師の娘である。九口 九雨、圣中 伏 解領二人の息子と一人の娘 中丙 爻 九雨 がいる。次男は 百念 今爻 楊哲と言ひ、十八歳で、本墓誌の書丹者である。墓主の二人の娘の名前はそれぞれ 存中 卅及 と 平爻 出 雨 である。

墓主は大安七年（1091）年の次辛未九月丙戌朔三十乙卯日に、令爻 金 と言う山に埋葬された。墓誌銘は耶律司家奴により記され、次男の 百念 今爻 楊哲が書丹した。

#### 参考文献

- 愛新覺羅烏拉熙春 2011 「国舅夷離畢帳と耶律玦家族」. 『立命館文学』 621. 29—58.
- 康鵬 2011 「蕭撻凜家族世係考」. 『新亞洲論壇』 第4輯. 373—383.
- 李珍華・周長楫 1993 『漢字古今音表』. 北京: 中華書局.
- 劉鳳翥・唐彩蘭・青格爾 2009 『遼上京地区出土遼代碑刻彙輯』. 北京: 社会科学文献出版社.
- 清格爾泰 2010 『清格爾泰文集』 第五卷. 赤峰: 内蒙古科学技術出版社.
- 清格爾泰・劉鳳翥・陳乃雄・于宝麟・邢復礼 1985 『契丹小字研究』. 北京: 中国社会科学出版社.
- 石金民・於澤民 2001 「契丹小字〈耶律奴墓誌銘〉考釈」. 『民族語文』 第2期. 61—68.
- Wu Yingzhe and Juha Janhunen 2010. *New Materials on the Khitan Small Script: A Critical Edition of Xiao Dilu and Yelü Xiangwen*. Folkestone: Global Oriental.



# 契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」考釈

1. 誌蓋
  2. 墓誌のタイトル・撰者及び墓主名
  3. 墓主の先祖
    - 3-1 墓主の第八代の先祖
    - 3-2 墓主の第七代の先祖
    - 3-3 墓主の第六代の先祖
    - 3-4 墓主の第五代の先祖
    - 3-5 墓主の第四代の先祖
    - 3-6 墓主の第三代の先祖
    - 3-7 墓主の父親と叔父
    - 3-8 墓主の母
  4. 墓主本人
  5. 墓主の妻と子供達
  6. 葬儀
- おわりに

## 1. 誌蓋

拓本によると本墓誌銘の誌蓋には二行の契丹小字が書かれている。第1行目に<sup>父</sup> <sup>本</sup> <sup>并</sup> <sup>及</sup> <sup>北</sup> <sup>禿</sup> <sup>半</sup> <sup>止</sup> <sup>平</sup> <sup>久</sup> <sup>圣</sup> <sup>艾</sup> <sup>丁</sup> <sup>圣</sup> <sup>禿</sup> と小さな字体で刻まれている。これらの文字を通常の契丹小字ブロック状に復元すると次のようになる。

父 本并及  
及北 禿半止平久 圣艾丁圣禿

乾統 五年 閏 二月 二十二日

この年号は遼朝の天祚皇帝の年号で、乾統五年は1105年のことである。「乾統五年閏二月二十二日」は墓主の安葬された日を指していると考えられる。この行の下に、大きな字体で次のような11字が刻まれている。

才 禿女 又及 半和 可伏 圣 今女 又雨 孟凡 止关 月半  
当 雨

兄弟の孟父房の(人名) 太傳の墓誌碑の銘

この記録から、墓主は孟父房の人物であり、名前は<sup>可伏</sup>で、官職は太傳になっていたことが分かる。この石刻は墓誌碑の銘に属する。

## 2. 墓誌のタイトル・作者及び墓主名

1/1-11: 才 禿女 又及 半和 可伏 圣 今女 又雨 孟凡 北中 來容  
当 符伏 北

兄弟の孟父房の(人名) 太傳の墓誌序併

この文の意味は誌蓋とほぼ同じであるが、本資料を墓誌と呼び「墓誌碑の銘」とは記していない。拓本が鮮明ではないので、撰者に関する記述の一部は判読が困難となっている。撰者<sup>朶朶</sup> 生<sup>丕</sup> 公<sup>丞</sup> の名は現存資料中、次のような文脈に現れている。

本墓誌 1/12-25: 朶 丞化 朶 <sup>平空</sup><sub>朶</sub> 虫火 半伏 伏夷 □朶 <sup>又丞</sup><sub>朶</sub> <sup>今平</sup><sub>只平</sub> 朶朶 生丕 公丞 <sup>朶丞</sup><sub>朶</sub>

六 院 六 舍利房の ○ ○ ○ ○ 郎君 蒲速苑 陳 団 奴 撰

『韓迪烈』 1/11-21: 朶 丞化 <sup>圣用</sup><sub>伏</sub> 只公 <sup>曲丞</sup><sub>朶</sub> 朶 <sup>平空</sup><sub>朶</sub> 朶朶 生丕 公丞 <sup>朶丞</sup><sub>朶</sub>

六 院 解領 于越の 帳の六 舍利房の 陳 団 奴 撰

『迪里姑』 1/14-28: 朶 丞化 <sup>圣用</sup><sub>伏</sub> 只公 <sup>曲丞</sup><sub>朶</sub> 朶 <sup>平空</sup><sub>朶</sub> <sup>朶凡</sup><sub>朶</sub> 火朶 <sup>又丞</sup><sub>朶</sub> 朶朶 生丕 公丞 <sup>朶丞</sup><sub>朶</sub>

六 院 解領 于越の 帳の六 舍利房の 文字の 事の 郎君 陳 団 奴 撰

『弘用』 32/1-14: <sup>朶凡</sup><sub>朶</sub> 火朶 <sup>又丞</sup><sub>朶</sub> 朶 丞化 <sup>圣用</sup><sub>伏</sub> 只公 <sup>曲丞</sup><sub>朶</sub> 朶 <sup>平空</sup><sub>朶</sub> 朶朶 生丕 公丞 <sup>朶丞</sup><sub>朶</sub>

文字の 事の 郎君 六 院 解領 于越の 帳の六 舍利房の 陳 団 奴 撰

以上の各記録から、陳団奴は六院解領于越の帳の六舍利房の文字の事の郎君であることが分かる。この人物は『遼史』に伝がない。朶 <sup>平空</sup><sub>朶</sub> を「六舍利房」と解読するのは劉鳳翥ほか(2009)を参考にしている。「郎君」は通常 <sup>又丞</sup><sub>朶</sub> と記されるが、本墓誌では <sup>又丞</sup><sub>朶</sub> と記されている。この事実は、契丹小字<sup>朶</sup>が長母音をあらわす可能性を示している。さらに、陳団奴の契丹名が「蒲速苑」であることも分かる。

2/1-14: 丞 <sup>今火</sup><sub>丞</sub> <sup>朶凡</sup><sub>朶</sub> 关化 <sup>今平</sup><sub>只平</sub> 朶化 <sup>朶化</sup><sub>朶</sub> 可伏 朶化 <sup>土中</sup><sub>丞丞</sub>

太 傳の 幼 名 蒲速里 第二名 (人名) ○ ○

ここは墓主の幼名と第二名が両方出現している。<sup>今平</sup><sub>只平</sub> の発音は遼代漢文石刻に見られる人名、および愛新覚羅ほか(2011)に参考にし「蒲速里」と復元する。愛新覚羅ほか(2011)は<sup>可伏</sup>を「白隠」と読み、この名によって墓誌を命名しているが、本稿では墓主の幼名である蒲速里を根拠とし、本墓誌を「耶律蒲速里墓誌碑銘」と命名する。

### 3. 墓主の先祖

#### 3-1 墓主の第八代の先祖

2/15—27: <sup>奚化</sup> <sup>令用</sup> <sup>伏行</sup> <sup>化凡</sup> <sup>奚</sup> <sup>主</sup> <sup>王兩</sup> <sup>岡力</sup> <sup>才</sup> <sup>半</sup> <sup>田</sup> <sup>至</sup> <sup>奚才</sup>  
<sub>半</sub> <sub>当</sub> <sub>余</sub> <sub>和</sub> <sub>天</sub> <sub>帝</sub> <sub>の</sub> <sub>伯</sub> <sub>父</sub> <sub>体</sub> <sub>八</sub> <sub>。</sub>

先祖 敵輦 巖木 夷離董 天 皇 帝の。 伯 父 体 八 。

<sup>令才</sup> <sup>小</sup> <sup>伏介</sup> <sup>化凡</sup> <sup>奚化</sup> <sup>列化</sup> <sup>及子</sup>  
<sub>余</sub> <sub>列</sub> <sub>夷</sub> <sub>和</sub> <sub>奚</sub> <sub>列</sub> <sub>奚</sub>

○ 迭刺 部 夷離董 号に 三回 受ける

後続する内容から、敵輦・巖木は墓主の第八代の先祖であることが分かる。ここでは人名 <sup>伏行</sup> <sub>余</sub> の音価を nə-mu-g と復元する。母音附加することがある契丹小字の表音方法を考慮すると(呉英喆 2007b)、この人名は enmug と読みうる。漢字「巖木」の上古音・中古音・近代音の音価はそれぞれ次のようになる。

	上古音	中古音	近代音
巖:	ŋeam①	ŋəm①	iam②
木:	mək④	muk④	mu④

巖木の発音は中古音・近代音を参考にすると ŋəmmuk 或いは iamuk となり、<sup>伏行</sup> <sub>余</sub> enmug と近似する。愛新覚羅ほか (2011) は敵輦・巖木に関して「身長八尺、三たび陶猥思迭刺部 夷離董に任された」と解説している。『遼史』「皇子表」には敵輦・巖木について「身長八尺」と記されていることに基づくと、<sup>田</sup> <sup>至</sup> <sup>奚才</sup> <sub>カ</sub> は「身長八尺」に対応する可能性がある。『迪里姑』3/13—15 に近似した表現があり、<sup>目</sup> <sup>至</sup> <sup>奚才</sup> <sub>カ</sub> と記されている。このことから、<sup>田</sup> と<sup>目</sup> は同じ意味「体」を表すことが分かる。<sup>至</sup> の意味は「八」であり、<sup>奚才</sup> <sub>カ</sub> は漢語借用語「尺」の音写である。

	上古音	中古音	近代音
尺:	tʃiak④	tʃhiek④	tʃhi③
	ʧi①	ʧi①	ʃi①
<sup>奚才</sup> <sub>カ</sub> :	tʃ/tʃʰ - ia - x = tʃʰ iax		

漢字「尺」には 2 種の発音がある。<sup>奚才</sup> <sub>カ</sub> の字音 tʃʰ iax は「尺」の中古音 tʃhiek④に対応する可能性がある。この音価は、契丹文中の漢語借用語には入声韻尾の痕跡が保存されている

ことを示している（呉英喆 2007a, 呉英喆 2011）。しかし、他の資料から<sup>来才</sup>カ の意味を確認することができないため、今後さらに検討する必要がある。

『遼史』「皇子表」の「三為迭刺部夷離董」という記述から、<sup>列化</sup>列 は「三たび」・「三回」を意味することが分かる。<sup>列</sup>は「回数」を示す接尾辞である可能性があるが、この字形は摩滅がすすんでいることから、更なる検討が必要である。

2/28-3/7: <sup>牟分</sup>父 <sup>升平</sup>□ □ <sup>毛卡</sup> <sup>来牟</sup> <sup>九火</sup> <sup>赤不</sup> <sup>火化</sup> <sup>令金</sup> <sup>中谷</sup> <sup>本</sup>

重熙 ○ ○ ○ 楚 国 王 の 号 封 ぜ ら れ た

この敵輦・巖木が「楚国王」に封ぜられたとの記述は『遼史』「皇子表」に見られる、「敵輦・巖木」が重熙中に「蜀国王」に追封されたという記録と一致しない。この問題に関して、愛新覚羅ほか(2011)は「最初蜀国王で、のちに楚国王に改められた」と推測している。

3/8-15: <sup>又公</sup> <sup>才</sup> <sup>为火</sup> <sup>又及</sup> <sup>牟和</sup> <sup>伏</sup> <sup>引才</sup> <sup>止及</sup> <sup>列天</sup>

今 の 兄 弟 の 孟 父 房 の ○ ○ である

敵輦・巖木の子孫は孟父房に属することから、この文は「現在の兄弟の孟父房の人の祖先である」を意味すると推測されるが、3/13-14の意味ははっきりとは分からない。<sup>止及</sup>の字音はbo/buであり、モンゴルのbolai「である」に似ている。

### 3-2 墓主の第七代の先祖

3/16-32: <sup>又尺</sup> <sup>九火</sup> <sup>赤</sup> <sup>令用</sup> <sup>百</sup> <sup>九</sup> <sup>圣和</sup> <sup>令化</sup> <sup>舟力</sup> <sup>九火</sup> <sup>又币</sup> <sup>化九</sup> <sup>和伏</sup> <sup>及</sup> <sup>和</sup>

署 国 王 敵 輦 妻 ○ 二 人 の 第 四 息 子 国 隠 末 掇 夷 離 董

<sup>令本</sup> <sup>小</sup> <sup>伏介</sup> <sup>化九</sup> <sup>止及</sup>  
<sup>全</sup> <sup>列</sup> <sup>安</sup> <sup>和</sup> <sup>雨半</sup>  
<sup>又</sup>

○ 迭 刺 部 夷 離 董 成 っ た

<sup>令用</sup>当 と <sup>令用</sup>岑 はどちらも同じ名前「敵輦」を表記したものである。墓主の第七代の先祖は敵輦・巖木の第四子である。『遼史』「皇子表」には敵輦・巖木には、二人の子「胡古只」・「末掇」がいると記されており、少なくとも二人の子供があることが推測される。そして第七代の先祖の名前は<sup>九火</sup> <sup>又币</sup> <sup>和伏</sup> <sup>及</sup> であることが明らかとなる。同様の意味を持つ記述は『迪里姑』にも見られる。



ここでは墓主の第六代の先祖の経歴について記している。同様の表現が『迪里姑』にも見られる。

4/20—31: <sup>九火</sup><sub>和焚</sub> <sup>化九</sup><sub>和</sub> <sup>又火</sup> <sup>也才</sup><sub>余</sub> <sup>又化</sup><sub>九</sub> 百 圣和 舟力 <sup>今平</sup><sub>伏</sub> <sup>又火</sup> <sup>中同</sup><sub>女</sub> 至今

国隠 夷離董 ○ ○ ○ 妻 二の子 蒲領 ○ 令穩 統

4/32—5/9: <sup>毛今</sup><sub>九</sub> <sup>中今</sup><sub>芬</sub> <sup>令不</sup><sub>关</sub> □ <sup>及和</sup><sub>安</sub> <sup>化九</sup><sub>和</sub> <sup>止及</sup><sub>全</sub> 叔中 今 安关 劣火 <sup>今力</sup><sub>乃</sub> 止

以前 年 ○ ○ 部 夷離董 成り 開 府 儀 同 三 司

5/10—19: <sup>九圣</sup> <sup>九考</sup> <sup>丞</sup> <sup>九</sup> <sup>九文</sup><sub>圣</sub> <sup>友同</sup> <sup>九</sup> <sup>中同</sup><sub>和</sub> <sup>关化</sup> <sup>今金</sup><sub>中芬</sub>  
<sup>中又</sup>

検 校 太 師 兼 政 事 令 の 号 封 ぜ ら れ た

この二つの墓誌はどちらも陳団奴によって撰ぜられた。そのためにこのように似た表現が現れるのであろう。両文の比較から、『迪里姑』に見られる「国隠」示す<sup>九火</sup><sub>和焚</sub>の最後の原字<sup>焚</sup>は<sup>伏</sup>の誤刻で可能性があることがわかる。国隠の妻の名前は<sup>又火</sup> <sup>也才</sup><sub>余</sub> <sup>又化</sup><sub>九</sub>であり、その息子の名前は<sup>今平</sup><sub>伏</sub> <sup>又火</sup> 令穩である。『遼史』の人名を参考にすると、<sup>今平</sup><sub>伏</sub>を蒲領と復元し得るが、<sup>又火</sup>に関しては更なる研究が必要である。この令穩は<sup>今平</sup><sub>伏</sub> <sup>令不</sup><sub>关</sub> <sup>中同</sup><sub>和</sub> <sup>令不</sup><sub>关</sub> □ <sup>及和</sup><sub>安</sub> 部の夷離董に成った。その後、「開府儀同三司検校太師兼政事令」となった。

### 3-4 墓主の第五代の先祖

4/31—36: <sup>今平</sup><sub>伏</sub> <sup>中同</sup><sub>女</sub> <sup>伏本</sup><sub>余伏</sub> <sup>今平</sup><sub>伏</sub> 圣和 舟列 包

蒲領 令穩 涅魯袞 夫人 二の子供 三

これは第七代の先祖には子供が三人いることを示している。全く同じ表現が『迪里姑』5/20—25にも見られる。この三人の子供に関して、本墓誌と『迪里姑』の記録はほぼ同じである。

4/37—5/12: <sup>又及</sup> <sup>今平</sup> <sup>又止</sup><sub>去</sub> <sup>亦化</sup><sub>芬</sub> 舟力 <sup>今去</sup><sub>列</sub> <sup>又止</sup><sub>去</sub> <sup>列化</sup><sub>芬</sub> 舟力 <sup>又平</sup><sub>伏</sub> <sup>止币</sup> 劣火 九亦

長 蒲魯 郎君 第二 息子 ○ 郎君 第三 子 烏古鄰 頗得 統 軍

『迪里姑』5/26—37: <sup>又及</sup> 舟力 <sup>今平</sup> <sup>又力</sup><sub>去</sub> <sup>亦化</sup><sub>芬</sub> <sup>今去</sup><sub>列</sub> <sup>又力</sup><sub>去</sub> <sup>余芬</sup> <sup>又平</sup><sub>伏</sub> 止币 劣火 又亦

長 息子 蒲魯 郎君 第二 ○ 郎君 第三 烏古鄰 頗得 統 軍

後続する内容から、次男の<sup>令六</sup>列郎君が墓主の第五代の先祖であることが分かる。人名<sup>令六</sup>列と<sup>夕平</sup>伏を劉鳳翥ほか（2009）は「德里赫」・「菩里寧」、愛新覺羅ほか（2011）は「撻里葛」と漢字で音写しているが、いずれも『遼史』には見られず、同時代のどの史料を参考にしたか不明である。劉鳳翥ほか（2009）では、軍を表す<sup>凡亦</sup>を<sup>又亦</sup>と書き写しているが、拓本よれば、それは<sup>凡亦</sup>の誤りのようである。

### 3-5 墓主の第四代の先祖

5/12—33: <sup>令六</sup>列 <sup>又亦</sup>夫 <sup>忝凡</sup>关 <sup>伏央</sup>余 <sup>尔火</sup> <sup>圣相</sup> <sup>又及</sup> <sup>付力</sup> □□ <sup>止火</sup> <sup>今各</sup> <sup>当</sup> <sup>又</sup> <sup>女</sup>

○ 郎君 乙室已 ○ 娘子 二人の長 子 北衍 蒲奴 詳穩

<sup>令大</sup> <sup>夕力</sup>出 <sup>丰今</sup> <sup>凡安</sup>又 <sup>几卡</sup> <sup>只火</sup> <sup>朶凡</sup>相 <sup>及化</sup> <sup>止关</sup> <sup>今各</sup> <sup>又</sup> <sup>女</sup> <sup>止及</sup> <sup>困中</sup> <sup>又</sup>

保寧 諸年 中 ○ ○ 左 院 皮室 詳穩 成った

この記述から、墓主の第四代の先祖は□□<sup>当</sup> <sup>止火</sup> <sup>又</sup>「○・蒲奴」詳穩であり、保寧中（景宗年号：969—979）「左院皮室詳穩」（愛新覺羅ほか 2011）となった。『迪里姑』にも同様の記述が見える。

6/1—22: <sup>令六</sup>列 <sup>又力</sup>夫 <sup>忝凡</sup>关 <sup>伏央</sup>欠 <sup>尔火</sup> <sup>圣相</sup> <sup>又及</sup> <sup>付力</sup> <sup>止万</sup> <sup>止火</sup> <sup>今各</sup> <sup>当</sup> <sup>又</sup> <sup>女</sup>

○ 郎君 乙室已 ○ 娘子 二人の長 子 北衍 蒲奴 詳穩

<sup>令大</sup> <sup>夕力</sup>出 <sup>凡安</sup>又 <sup>几卡</sup> <sup>及火</sup> <sup>朶凡</sup>相 <sup>及化</sup> <sup>止关</sup> <sup>忝又</sup> <sup>今各</sup> <sup>又</sup> <sup>女</sup> <sup>止及</sup> <sup>困中</sup> <sup>又</sup>

保寧 中 ○ ○ 左 院 皮 室 詳穩 成った

これらの記述を比較することによって、<sup>忝凡</sup>关が「乙室已」を示し（即実 1996）、第五代の先祖の妻は乙室已の人物であることが分かる。『迪里姑』の記述より、破損した文字□□<sup>当</sup>を<sup>止万</sup>と復元し、第四代の先祖の名前は「北衍・蒲奴」（愛新覺羅ほか 2011）と推測できる。

### 3-6 墓主の第三代の先祖

第三代の先祖に関しては本墓誌と『迪里姑』の内容はほぼ同じである

5/34—6/13: 止百 今各 止存 □□ 百 圣相 舟力 又安 又止 几卡 只安 沙 及本  
当 女 又

北衍 詳穩 拔里 妻 二の 子 聖 郎君 ○ ○ 未だ ○

止安 レ 禾矢 今峇  
中又

歳 三十 九で 死亡

『迪里姑』6/23—39: 止百 今各 止存 里及 百 圣相 舟力 又安 又为 几卡 及安 沙 及本  
当 女 又 夫

北衍 詳穩 拔里の 阿古 妻 二の 子 聖 郎君 ○ ○ 未だ ○

止安 乙 禾矢 □峇  
化又

歳 五十 九で 死亡

両文の比較を通し、第四代の先祖の妻は「拔里」氏であり、『迪里姑』の記述から、その名前は里及であることが分かる。第三代の先祖は聖郎君であり、「三十九歳」（或いは五十九）で亡くなったことが分かる。

### 3-7 墓主の父親と叔父

墓主の祖父と祖母の子供に関しても、本墓誌と『迪里姑』にはほぼ同じ記述が見える。

6/14—22: 又安 又止 又矢 今女 又出 尔火 圣相 舟列 圣  
夫 又

聖 郎君 尚 父の ○ 娘子 二の 子供 二

『迪里姑』7/2—8: 又安 又为 又矢 今女 又出 尔火 圣相  
夫

聖 郎君 尚 父の ○ 娘子 二の

以上から、墓主の祖母の名前は又出であり、子供が二人いることが分かる。その長男に関しては次のような記述がみられる。

6/14—32: 又及 舟力 今生 尺平 今祥 几火 又 今丙 圣 中矢  
及雨 井及 中

長 男 撒不椀 鐸魯幹 相 公 大康 二 年に

小 十 弔 无 今为 止安 乙 斥矢 劣安  
中

南 西 招 討 居り 歳 五十七で 死亡

この人物は墓主の叔父である。劉鳳翥（2009）はこの名前を「希不噢・鐸魯幹」と漢字で音写しているが、「希不噢」と言う表記は漢文史料には見られない。ここでは『遼史』の人



名を参考にし、「撒不椀・鐸魯幹」と復元する。この人物の次男は<sup>今丙</sup>月、即ち契丹小字『迪里姑』の墓主耶律迪里姑である。

6/33—7/13: 州欠 丹力 今卡 〇〇 又並 几卡 沙 只公  
 只当 〇〇 夫

幼 男 蒲速苑 ○ 郎君 ○ 未だ 賜

又 今和 无 半矢 去安 口 不黍 今金 今公  
 矢 比公 公

寿昌 五 年に 歳 七十 ○ 病気で 死亡

この人物は墓主の父であり、道宗皇帝の寿昌五年（1099）に七十歳で死亡した。この人物は耶律迪里姑の叔父だが、『迪里姑』には彼に関する記録が見られない。

### 3-8 墓主の母

7/14—8/3: 百 几 今和 今黍 刈公 力並 州欠 女和 去 〇〇 今 又为 百 几 又用 几券  
 〇 伏 出公 夫 夫 夫

妻 ○ 夫人 別部 国舅 季 父房 王 ○ 駙 馬の 妻 興 哥

几太 衣火 无 升乃 丞 坐和 力冬 佃当 丹力 关儿 又安 今金 今金 今黍 止及  
 和 乃 全北 当 夫 全公 北 中谷 中谷 伏 子丹  
 伏

公 主の 弟 ○ 太 尉の ○ 生まれ 子供の 諸号 ○ 封ぜられ 封ぜられ 夫人 成った

拓本の質が良くないために、<sup>今和</sup>・<sup>〇〇</sup>・<sup>升乃</sup>・<sup>又安</sup>の字形ははっきりと確認できないが、

この記述から墓主の母は<sup>升乃</sup> 太尉の娘であり、この太尉は興哥公主の弟であることがわかる。興哥公主は聖宗の第十四女であり、その夫は「王五」と推測されている（愛新覚羅ほか2011）。7/41—8/3 に同じ文字が出現するようであるが、今後優れた拓本に依って、校勘する必要がある。

### 4. 墓主本人

8/4—12: 丞 今 今卡 又並 生列 今黍 圣和 伏券 丹力  
 只当 夫 夫 伏

太 傅 蒲速苑 郎君 阿不固 夫人 二の ○ 息子

ここからは墓主本人に関して紹介しており、母の名前は<sup>生列</sup>である。『遼史』に見られる「阿不固」・「阿不葛」・「阿不割」などの人名を根拠にし、「阿不固」と音写しておきたい。<sup>生列</sup>の前に、<sup>今卡</sup> <sup>又並</sup>とあり、「蒲速苑郎君と阿不固夫人二人の○息子」という意味で

ある。<sup>伏券</sup>は他の史料にも5回出現するが、その具体的な意味はまだ分からない。

8/13—12: 矣 冬 本 屯 半 宅 毛 艾 宅 尹 矣 佃 谷

清寧 四 年 十 一 月 十 日 に 生 ま れ た

清寧四年は道宗皇帝の年号であり、1058年のことである。契丹小字墓誌銘の内容から、迪里姑と墓主蒲速里は従兄弟であることが明らかにされている（愛新覚羅 2011a）。迪里姑は「清寧七年九月十二日」に生まれた為、墓主より年下と考えるべきであろう。後続する文は解読することができない。

8/38—9/8: 又 令 丙 丕 半 矣 去 矣 宅 禾 矣 几 卡 穴 谷 及 奈 公 关 又 立 仍 中 又

大 康 二 年 に 歳 十 九 で 。 賜 。 女 古 郎 君 。

大康二年は 1076 年であり、この年に墓主は十九歳で「女古郎君」となった。仍中又は動詞

で、『許王』49 に 又 力 付 力 仍 中 又 とあることからみれば、止及 関 中 又 と同じように「成る」と言う意味を持つと推測される。続く文では大康四年（1078）と大安二年（1086）のことを語っており、愛新覚羅ほか（2011）は「護衛」と「心腹の官」と解読している。田 中 中 九 が「護衛」を意味することは即実（1996）が初めて解読したが、前述したように田 が「体」を意味するのであれば、この解読は説得力を持つ。

9/28—40: 包 半 矣 今 杏 尹 关 穴 止 及 関 中 又 屯 半 矣 巫 立 今 关 帝 力 本 令 奈 方 方 中 又

三 年 に 夜 日 の 官 成 っ た 四 年 に 。 。 。 。 。

「三年」は大安三年（1087）のことであり、墓主は「夜日の官」になった。「夜日の官」とはすなわち「宿直官」のことだと考えられている。次の年、即ち 1088 年に封ぜられた官職は「河西使者接伴使」と解読されている（愛新覚羅ほか 2011）。巫立 今关 は漢字

「河西」の音写であるかどうか深く検討すべきである。『迪里姑』11 に見られる巫力 今关 矣 は巫立 今关 と同じ意味を持つと考えられるが、前述したように契丹字巫が長母音を表記する可能性を考えると、巫立 と巫力 は契丹語の語彙である可能性もある。

10/1—14: 巫 半 及 平 又 矣 立 矣 今 禾 止 及 関 中 又 今 和 九 矣 半 矣 令 金 谷 冬 冬 止 及 関 中 又

八 年 冬 稍 瓦 部 副 使 成 っ た 寿 昌 元 年 に 。 太 尉 成 っ た

「八年」は大安八年（1092）のことであり、墓主は「稍瓦部の副使」となった。「詳穩」

11/15—16 に 又 矣 伏 只 矣 とあり、その意味は「稍瓦部」である（Wu & Janhunen 2010）。本

墓誌では巫によって他の墓誌では力 で表記される音を記す習慣があるので、巫 矣 矣 矣 は明らかに

又央  
为艾 に所属格<sup>和</sup>を付けたものであり、「稍瓦部の」という意味を持つと推測される。寿昌

元年（1095）に「某太尉」となった。<sup>令金</sup><sub>北</sub>の意味は明らかではないが、愛新覚羅ほか  
（2011）は「北剋」と推測している。

10/15—30: 丕 半矢 未考 帝为 今大 □天 为□ 包 半矢 □用 又用 凡丙 今 凡丙 凡 止及  
欠安 本 中又 水女 水女 子北

二年に漢児 ○ ○ ○ ○ 三年に ○ 興 宮の副宮使 成った  
「二年」は寿昌二年（1096）を指す。「漢児」のどのような官職に就いたのかは解読する  
ことができない。三年（1097）は「○聖宮の副宮使」となった。□用 又用 凡丙 初の原  
水女  
字が破損しているが、愛新覚羅ほか（2011）は「興聖宮」と解読しているようである。用  
の音価は in であることや『遼史』に見られる「興聖宮」の興の発音（hīŋ—hīŋ—hīŋ）を参  
考にすれば、□用 は「興」の音写である可能性がある。続く 又平 杰  
半安 不 は「高麗王の」と解読  
されている（愛新覚羅ほか 2011）。

11/1—9: 小 又化 国 中中 丕 付和 火 坊公 屋公  
凡 九

南 院 護 衛 太 保の事 ○ 知  
墓主が「南院護衛太保の事」を掌中にしたのは寿昌三年（1097）のことである。このうち、  
坊公 の意味は明らかではない。同じ年の冬「高麗王府」から帰ってきたようである。

11/19—28: 未化 毛 半 弓 □ 国 中中 丕 付 □ □ 止及  
当 凡 九 水女 水女 全

第二四年 夏 護 衛 太 保 ○ 成り

「第二四年」は「第二年寿昌四年」（1098）の略語であり、墓主は「護衛太保」となった。  
「夏」を表す文字 弓 □ の一つの原字は破損しており、その字形は火 かどうか分からない。

続く内容は寿昌五年（1099）の秋の出来事で、半和 伏 <sup>令金</sup><sub>北</sub> 止伏 の記述から、墓主の父が死  
亡したことがわかるが、その他の内容は十分に解読できない。愛新覚羅ほか（2011）は「幹  
魯朶統軍漢児諸（宮）行在に居た父が病卒した」と解読しているが、「統軍漢児」に適應す  
る契丹文字は見られない。続く 12/13-18 に「崇徳宮の宮使となった」を意味する 雨 免 令 百

凡丙 凡丙 止及  
水女 水女 子北  
又 が見える。これも 1099 年に封ぜられた官職と思われる。

12/19—26: 女 半矢 凡火 来<sub>女</sub> 曲<sub>公</sub> 雨<sub>天</sub> 关<sub>化</sub> 今<sub>金</sub> 中<sub>谷</sub> 中<sub>又</sub>

六年に 帰州の 觀察の号 封ぜられた  
これは墓主が寿昌六年（1100）に「帰州の觀察」に封ぜられたことを示している（愛新覚羅ほか 2011）。『遼史』には「貴州」と「帰州」など凡火 来<sub>女</sub> に対応しうる複数の地名が存在するが、ここでは後者のほうがより適当と考えられる。

12/27—13/13: 矢 本<sub>并</sub> 及<sub>北</sub> 九<sub>安</sub> 半 子<sub>女</sub> 曲<sub>公</sub> 巫<sub>立</sub> 天 又<sub>雨</sub> 矢 及<sub>口</sub> 口<sub>女</sub> 口<sub>谷</sub> 今<sub>存</sub> 谷

乾統 元 年 夏 家 可汗の 位 。 。 。 。

来<sub>凡</sub> 和 及<sub>化</sub> 九<sub>又</sub> 安<sub>及</sub> 巫<sub>立</sub> 今<sub>存</sub> 九<sub>亦</sub> 和 关<sub>化</sub> 今<sub>金</sub> 中<sub>谷</sub> 谷

左 院 金 吾 衛 将 軍の 号 封ぜられた

乾統は天祚帝の年号で、乾統元年は 1101 年のことであり、その年に墓主は「左院金吾衛將軍の号」に封ぜられた。

13/14—27: 包 半 及<sub>平</sub> 及<sub>安</sub> 中<sub>谷</sub> 今<sub>比</sub> 今<sub>又</sub> 由 今<sub>天</sub> 用 凡<sub>才</sub> 危 凡<sub>亦</sub> 今<sub>文</sub> 行<sub>及</sub> 中<sub>丙</sub> 列<sub>女</sub> 关<sub>化</sub> 今<sub>金</sub> 中<sub>谷</sub> 百

三年 冬 。 。 静 江 軍 節 度 留 後 の 号 封ぜられた

「三年」とは乾統三年（1103）のことであり、「静江軍節度留後の号」を得た。中<sub>丙</sub>

列<sub>女</sub> が「留後」を意味することが明らかになった（愛新覚羅ほか 2011）。

13/28—38: 来<sub>化</sub> 当 屯 半 女 女 圣 天<sub>矢</sub> 今<sub>口</sub> 券 弱<sub>和</sub> 关 今<sub>金</sub> 比<sub>谷</sub> 劣<sub>安</sub> 中

第二 四 年 六 月 二 日 に 。 中 の 病 気 で 亡 っ た

第二四年は「第二年の乾統四年（1104）」で、この年の六月二日に病気で亡くなった。

今<sub>口</sub> 券 弱<sub>和</sub> 关 は病名を示す可能性があるが、現段階では「○中の」病気としか解読できない。

### 5. 墓主の妻と子供達

14/14—28: 百<sub>令</sub> 止<sub>本</sub> 圣 又 百 凡 今<sub>生</sub> 百<sub>当</sub> 今<sub>禾</sub> 伏 今<sub>丙</sub> 立<sub>本</sub> 口<sub>比</sub> 伏 巫<sub>立</sub> 天 曲<sub>公</sub> 和 矣 王<sub>禾</sub> 凡<sub>和</sub> 符<sub>力</sub>

妻 二 大 妻 撻<sub>不</sub> 衍 夫 人 。 。 可 汗 の 帳 の 。 。 娘

墓主には妻が二人いる。大妻は「撻不衍夫人」であり、「某可汗の帳」のある人の娘であ

る。王<sub>禾</sub> 凡<sub>和</sub> は明らかに官職名を示すが、具体的な意味はわからない。続く 14/29—34 に 符<sub>列</sub> 出

矣 中<sub>谷</sub> 包 百<sub>令</sub> 圣 とあり、墓主の大妻には「子供五人、男三人、女二人」いることが記され

ている。

14/35—15/19: 半谷 包 又及 舟力 全关 ち安 丁 包 来化 舟力 北化 ち安 毛 巫

男 三 大 息 子 。 歳 二 十 三 第 二 息 子 。 歳 十 八

全谷 舟力 □ ち安 □□ 毛 又来 止只 来

第 三 息 子 。 歳 。 四 全 て 。 。

長男<sup>全关</sup>は二十三歳、次男<sup>北化</sup>十八歳である。幼男の名前を示す文字は破損しているが、年齢は十四歳だと推測される。

15/19—32: 百令 圣 又公 令金 口北 巫巫 曲谷 冬本 至禾 只平 ち安 丁 毛矢 令谷 当

女 二 長 特 免 。 可 汗 の 帳 の 阿 撒 里 。 嫁 ぐ 歳 二 十 四 で 死 亡 し た 墓 主 の 大 妻 から 生 ま れ た 長 女 特 免 は 「 某 可 汗 の 帳 の 阿 撒 里 」 に 嫁 ぎ 、 二 十 四 歳 で 死 亡 し た 。

15/33—16/5: 全夫 田中 来行 田 中中 只伏 全并 凡亦 只平 ち安 丁 毛矢 令谷 当

幼 烏 盧 本 初 魯 得 護 衛 鐸 盤 将 軍 に 嫁 ぐ 歳 二 十 四 で 死 亡 し た 墓 主 の 大 妻 から 生 ま れ た 次 女 烏 盧 本 は 「 初 魯 得 護 衛 鐸 盤 将 軍 」 に 嫁 ぎ 、 二 十 四 歳 で 死 亡 し た 。 墓 主 の 二 人 の 娘 は ど ち ら も 24 歳 で 死 亡 し た こ と に な る 。 <sup>来行</sup> 「 初 魯 得 」 は 愛 新 覺 羅 ほ か (2011) を 参 考 に し 、 人 名 只 伏 の 漢 字 音 写 「 鐸 盤 」 は 『 遼 史 』 の 人 名 を 参 考 し た 。

16/6—18: 全夫 百 几 □□ 令禾 只伏 □ 及化 ち又 引化 曲来 久平 田中 舟力 伏谷 余币 相 伏 相

幼 妻 。 夫 人 院 。 宰 相 ら 諸 家 の 烏 古 鄰 夷 離 畢 の 娘 墓 主 の 小 妻 の 名 前 を 示 す 文 字 は 破 損 し て いる 。 彼 女 は 「 某 宰 相 帳 の 烏 古 鄰 夷 離 畢 」 の 娘 で あ る 。 次 に こ の 人 物 に 関 す る 記 述 が あ る が 、 解 読 は 困 難 で あ る 。

### 6. 葬儀

16/19—17/8: 全 本 舟 毛 半 舟 全 全 令 出 圣 住 〇〇 □ □ 天 及 北 舟 夫 舟 力 久 艾 及 〇〇 □ □ 天

乾 統 五 年 の 順 序 乙 酉 閏 二 月 巳 。 。 。 日

これは墓主が安葬された日付、即ち乾統五年（1105）の二月である。「日」を示す契丹字の前の文字が破損しており、具体的な日付はわからない。しかし、この部分を誌蓋に刻まれている「乾統五年閏二月二十二日」と比較することで、葬式の日付は「乾統五年閏二月二十二日」だと推測される。

墓誌の最後の数行はひどく磨滅しているため、葬儀に参列した人々の名前は明らかではない。安葬地は<sup>又</sup><sub>今</sub> 厩相 という山のようなものである。

17/34—18/1 : 又 百 几 <sup>今</sup><sub>生</sub> <sup>今</sup><sub>禾</sub> 又 雨 伏 中 久 並 及 子  
<sub>厩</sub> <sub>当</sub> <sub>伏</sub> <sub>相</sub> <sub>厩</sub> <sub>火</sub> <sub>本</sub> □

大妻 撻不衍 夫人の墓 開き 掩閉

これから、死体は大妻撻不衍の墓を開けて安葬されたようである。愛新覚羅ほか（2011）

は<sup>伏</sup><sub>厩</sub> <sup>中</sup><sub>火</sub> を「開いて」と解説している、年号「開泰」を表す<sup>又</sup><sub>今</sub> <sup>伏</sup><sub>厩</sub> <sup>中</sup><sub>火</sub> を参考にすると、その意見は妥当であると考えられる。

次には墓主に関する評価と銘文が続くが、拓本の状態は極めて悪く、詳しく検討することはできない。

### おわりに

この碑銘の墓主は「兄弟帳の孟父房」の人。名前は<sup>又</sup><sub>今</sub> 伏 で、幼名は<sup>今</sup><sub>卡</sub> <sup>厩</sup><sub>火</sub> （蒲速里）である。『遼史』に伝はない。蒲速里の第八代の先祖は<sup>今</sup><sub>用</sub> <sup>伏</sup><sub>行</sub> <sup>厩</sup><sub>余</sub> （敵輦・巖木）夷離董、遼太祖耶律阿保機の伯父で、迭刺部夷離董号を三回受けた。第七代の先祖は敵輦・巖木の第四目の息子<sup>几</sup><sub>火</sub> <sup>又</sup><sub>厩</sub> <sup>厩</sup><sub>及</sub> （国隠・末掇）夷離董であり、迭刺部夷離董となった。第六代の先祖は国隠・末掇の息子<sup>今</sup><sub>平</sub> <sup>又</sup><sub>厩</sub> （蒲領・○）令穩で、某部の夷離董・開府儀同三司・檢校太師兼政事令の号に封ぜられた。蒲領には<sup>今</sup><sub>平</sub> （蒲魯）郎君・<sup>今</sup><sub>六</sub> <sup>厩</sup><sub>列</sub> 郎君・<sup>久</sup><sub>平</sub> <sup>厩</sup><sub>伏</sub> <sup>止</sup><sub>厩</sub> （烏古鄰・頗得）の三人の息子がおり、このうち<sup>今</sup><sub>六</sub> <sup>厩</sup><sub>列</sub> 郎君が墓主の第五代の先祖である。<sup>今</sup><sub>六</sub> <sup>厩</sup><sub>列</sub> 郎君の長男<sup>止</sup><sub>厩</sub> <sup>止</sup><sub>厩</sub> （北衍・蒲奴）は第四代の先祖であり、保寧中「左院皮室詳穩」となった。第三代の先祖は<sup>又</sup><sub>今</sub> 火 （聖）郎君であり、三十九歳で死亡した。聖郎君は子供二あり、長男撒不椀・鐸魯幹相公は大康二年（1076）に南西招討になり、五十七歳で死亡した。幼男は<sup>今</sup><sub>卡</sub> □□ <sup>厩</sup><sub>当</sub> □□ （蒲速苑・○）郎君、寿昌五年（1099）に七十歳で死亡した。蒲速苑郎君は墓主の父である。墓主の母は<sup>今</sup><sub>六</sub> <sup>厩</sup><sub>列</sub> 夫人で、国舅別部季父房の「王○」駙馬の妻興哥公主の弟<sup>几</sup><sub>火</sub> <sup>厩</sup><sub>及</sub> 太尉の娘である。

蒲速里太尉は清寧四年（1058）十一月十日に生まれ、大康二年（1076）に、十九歳で女古郎君となった。大安二年（1086）に護衛、三年「夜日官」（宿直官）、八年（1092）に稍瓦部副使と成った。寿昌元年（1095）に「<sup>今</sup><sub>金</sub> <sup>厩</sup><sub>火</sub> 太尉」、三年（1097）に興聖宮の副宮使とな

り、高麗王とある関係が発生し、南院護衛太保の事を掌中にした。四年（1098）夏護衛太保となり、五年（1099）に崇徳宮の宮使になり、六年（1100）帰州の觀察の号が封ぜられた。乾統元年（1101）夏に左院金吾衛將軍の号が封ぜられ、三年（1103）に静江軍節度留後の号が封ぜられた。乾統四年（1104）六月二日に病気で亡くなった。

蒲速里太尉の大妻は撻不衍と言い、<sup>金</sup> <sup>天</sup> <sup>々</sup> <sup>々</sup>・<sup>北</sup> <sup>化</sup> 及びもう一人の息子と、<sup>金</sup> <sup>当</sup>（特免）・<sup>田</sup> <sup>中</sup> <sup>丹</sup> <sup>伏</sup>（烏盧本）の二人の娘が生まれた。<sup>金</sup> <sup>当</sup> は某可汗の帳の阿撒里に嫁ぎ、二十四歳で死亡した。烏盧本は初魯得護衛鐸盃將軍に嫁ぎ、二十四歳で死亡した。小妻は某宰相帳の烏古鄰夷離畢の娘である。死体は乾統五年（1105）閏二月二十二日に、<sup>兀</sup> <sup>天</sup> <sup>分</sup> という山で、大妻の墓を開き、安葬された。墓誌銘は「六院解領于越の帳の六舍利房の蒲速苑・陳团奴」によって記された。

#### 参考文献

愛新覺羅烏拉熙春・吉本道雅 2011『韓半島から眺めた契丹・女真』。京都: 京都大学学術出版会。

即実 1996『謎林問徑—契丹小字解読新程』。瀋陽: 遼寧民族出版社。

劉鳳翥・唐彩蘭・青格勅 2009『遼上京地区出土之遼代碑刻彙輯』。北京: 社会科学文献出版社。

呉英喆 2007a「契丹小字中之漢語入声韻尾の痕跡」。『漢字文化』第3期。26—29。

呉英喆 2007b「契丹小字中の元音附加法」。『民族語文』第4期。40—51。

呉英喆 2011「再論契丹文中之漢語入声韻尾の痕跡」。『北方文化研究』(韓国) 第3期。85—90。

Wu Yingzhe and Juha Janhunen. 2010. *New Materials on the Khitan Small Script: A Critical Edition of Xiao Dilu and Yelü Xiangwen*, Folkestone: Global Oriental.

## 語彙索引

以下は、本文に検討された四つの契丹小字資料に見られる語彙索引である。これらの資料には、字体が破損しているものを含めて、2477 個の契丹小字が出現する。出現箇所に見られる JU は「耶律玦墓誌銘」を、KC は「蕭回璉墓誌銘」の蓋を、KL は「蕭回璉墓誌銘」を、HU は「蕭胡睹堇墓誌銘」を、PC は「耶律蒲速里墓誌碑銘」の蓋を、PU は「耶律蒲速里墓誌碑銘」を示す。符号-の前の数字は行数を、符号-の後の数字はその行での文字の位置を示す。

番号	契丹字	出現数	出現箇所
1.	一	7	JU28-21, JU35-7, JU22-35, JU34-9, HU8-7, HU11-36, PU17-31
2.	一 火	1	HU39-8
3.	丁	17	JU34-20, JU9-18, JU13-11, JU12-56, JU28-64, JU12-43, JU12-37, JU35-25, HU22-19, HU11-2, HU31-37, HU10-6, HU4-25, PU18-32, PU16-3, PU15-31, PC1-13
4.	万 丰	1	HU9-35
5.	万 本	3	KL12-16, JU6-23, PU8-35
6.	万 火 火	1	KL17-20
7.	禾	7	JU45-7, JU34-15, KL28-7, KL31-8, KL28-15, HU9-11, HU29-29
8.	禾 伏	1	JU29-62
9.	禾	6	JU33-22, JU34-8, JU29-57, JU41-31, HU39-26, HU39-17
10.	禾 和	6	JU16-12, JU17-8, JU45-2, HU30-26, HU37-30, PU17-28
11.	禾 反	2	JU34-31, JU1-27
12.	禾 矢	1	KL20-26
13.	禾 用 □	1	JU31-31
14.	禾 斗	2	JU31-21, HU37-6
15.	禾 斗 中 谷 当	1	JU21-57
16.	禾 斗 火	1	JU27-47
17.	禾 □ 当	1	KL16-23
18.	歪	6	PU10-1, PU15-10, PU2-21, JU34-18, KL20-19, HU28-31
19.	歪 矢	2	JU9-19, HU11-3
20.	歪 儿 谷	2	KL2-18, JU7-35
21.	夹	8	KL15-26, KL2-16, KL24-22, KL30-1, JU38-34, JU9-44, JU39-24, PU23-7



22.	□ 采	1	PU10-20
23.	采 东	1	JU44-11
24.	采 关	1	HU15-30
25.	臣 升 凡	1	JU44-45
26.	臣 令	17	JU16-34, JU15-28, JU20-44, JU17-11, JU14-31, JU16-44, JU39-30, JU20-33, JU18-7, JU28-32, KL15-15, HU4-24, HU5-30, HU4-11, HU4-34, PU16-22, PU4-8
27.	臣 令 凡	1	HU17-11
28.	臣 令 化	1	HU10-40
29.	臣 令 化 中	1	HU18-30
30.	臣 令 化	1	KL2-14
31.	臣 令 坐 采	1	JU44-10
32.	臣 令 化 符 伏	1	JU44-33
33.	羽	7	JU21-37, JU19-12, JU21-33, PU6-35, HU11-12, HU17-9, HU14-23
34.	羽 矢	1	JU40-19
35.	羽 化	2	JU27-26, JU22-19
36.	羽 平 立 方	1	HU11-19
37.	羽 平 立 平	4	JU6-6, JU25-42, HU8-30, HU11-7
38.	羽 平 立 平	2	JU42-38, HU33-2
39.	□ 雨 彖 羽	1	PU18-7
40.	雨	2	KL4-36, HU26-25
41.	雨 北	4	KL27-2, JU17-56, HU2-27, HU5-34
42.	雨 子 北	1	HU19-26
43.	雨 子 中	1	JU22-48
44.	雨 子 付 爻	1	JU20-38
45.	雨 行	1	JU11-14
46.	雨 企	11	JU30-10, JU25-39, JU14-14, JU6-5, KL17-4, KL23-21, PU14-9, PU12-1, HU24-37, HU34-1, HU19-22

47.	雨田 巾爻	1	JU28-47
48.	雨斗 付伏	1	PU22-1
49.	雨	1	JU10-48
50.	丙	3	JU42-28, JU10-38, HU29-9
51.	百土 豹	2	JU19-20, HU12-40
52.	百土 化谷 百	1	JU2-39
53.	百北 余	4	JU27-14, JU27-13, HU34-19, HU35-24
54.	百北 余	1	KL2-30
55.	百北	1	KL14-28
56.	百火 爻火	1	HU1-22
57.	百口 存谷	1	KL24-21
58.	百方 立方	4	JU13-13, JU21-12, JU16-49, JU21-34
59.	百方 立方 相	1	JU24-25
60.	百火	1	JU18-21
61.	百火 爻火	1	JU2-44
62.	百火	4	JU45-37, HU38-16, HU22-14, HU32-18
63.	百火 爻	1	HU18-15
64.	百火 谷	1	JU41-37
65.	百火 平付 伏	1	KL18-4
66.	百相	1	HU10-13
67.	百子 火	1	HU39-11
68.	百子 欠	1	KL17-15
69.	百火	2	KL6-12, JU25-47
70.	百火 立为 出	1	PU20-33

71.	百 □ 央 立 勿 出	1	HU22-10
72.	百 及 相	1	HU22-25
73.	百 及 雨	6	JU45-22, JU39-13, JU43-13, HU22-27, HU31-4, HU33-5
74.	百 央 勿 出	1	KL27-4
75.	百 央 火	1	HU36-33
76.	百 央 谷	1	HU3-23
77.	百 平 立 央	1	HU19-1
78.	百 平 立 牛	3	JU28-30, HU16-45, HU18-2
79.	百 欠 火	1	JU16-22
80.	百 急	8	JU24-32, HU26-31, HU9-2, HU28-27, HU17-1, HU30-9, HU1-29, KL5-5
81.	百 急 央	1	HU38-35
82.	百 余 火	1	KL19-1
83.	百 中 及 化	1	HU14-21
84.	百 么 存 当	1	JU30-15
85.	百 么 余	1	JU26-51
86.	百 火 女	1	JU17-37
87.	百 丹	2	KL22-13, HU38-17
88.	百 文	4	JU32-54, JU36-7, PU23-14, PU16-30
89.	百 文 存 及 弱	1	HU9-36
90.	百 文 存 及 女	2	HU20-31, HU16-30
91.	百 文 存 火 女	1	HU5-38
92.	百 关	1	HU30-21

93.	百	25	PU16-7, PU17-35, PU14-18, PU16-19, PU6-1, PU7-14, PU4-2, PU3-20, PU7-26, KL2-23, KL17-26, KL4-19, KL7-9, KL5-3, JU11-26, JU8-11, JU33-1, JU9-15, JU13-56, JU30-41, HU27-30, HU27-18, HU28-22, HU26-30, HU30-1
94.	百 奈 中 奈 百	1	HU32-16
95.	百 和	1	JU36-19
96.	百 和	1	JU38-17
97.	百 矢	5	KL8-17, JU43-38, JU8-2, JU12-2, HU22-34
98.	百 令	12	KL8-1, KL5-24, KL4-15, JU34-38, HU28-41, HU31-35, HU24-22, HU25-41, HU36-5, PU15-20, PU14-33, PU14-14
99.	百 公	5	JU26-41, KL8-23, HU27-5, HU23-7, PU20-32
100.	百 奈	26	JU31-26, JU22-54, JU12-28, JU12-33, JU24-13, JU42-33, JU21-51, JU16-36, JU36-17, JU22-21, KL6-14, KL21-24, KL22-2, HU20-8, HU37-11, HU10-25, HU17-29, HU16-43, HU24-32, HU25-13, HU20-39, HU19-5, HU14-29, HU32-30, HU22-7, HU21-27
101.	百 奈 和	1	KL14-20
102.	百 奈 奈	2	JU6-48, HU31-1
103.	百 奈	3	JU9-14, HU38-20, HU31-22
104.	百 奈 和	1	HU17-33
105.	百 奈 矢	2	JU40-5, JU45-38
106.	百 安	6	JU28-31, JU12-40, JU4-12, JU25-10, JU41-13, JU24-63
107.	百 和	1	HU4-33
108.	百 弱	1	JU5-11
109.	百 化 关	2	JU14-22, JU14-6
110.	百 火	1	KL16-25
111.	百 火 当	1	JU28-24
112.	百 平 立 平	1	KL18-2
113.	百 立 方	1	JU11-33
114.	百 及 弱	1	JU30-36
115.	百 及 弱	1	JU15-41
116.	百 力 方	2	JU42-42, JU25-12

117.	面伏	1	JU16-27
118.	面小 立本 相	1	JU21-16
119.	面小 立为 本相	1	JU28-11
120.	面小 爻	2	JU14-43, JU22-44
121.	面小 伏	1	JU35-41
122.	面关	3	JU15-50, JU28-34, HU12-15
123.	毛	19	KL28-21, KL20-21, KL28-13, JU18-49, JU21-18, JU27-40, JU6-53, JU28-62, PU8-18, HU28-23, HU20-21, HU27-8, HU18-3, HU38-22, HU25-7, HU37-12, HU30-37, HU27-43, HU35-6
124.	毛升 火坐 谷	1	KL10-23
125.	毛列	1	PU24-9
126.	毛欠	1	JU24-7
127.	毛火 本小 爻	1	JU11-48
128.	毛爻	1	JU38-18
129.	毛今 几	6	JU11-46, JU34-47, JU39-17, JU13-52, PU23-19, PU4-9
130.	毛今 几谷	1	HU31-29
131.	毛关	1	JU35-21
132.	毛关 相与	1	PU16-21
133.	毛火 本小 爻	1	JU37-48
134.	毛	4	KL4-34, HU27-11, HU26-24, HU22-11
135.	毛火	1	JU40-20
136.	爻火 分	1	PU17-27
137.	爻火 谷	1	PU24-21
138.	爻雨	2	JU24-20, JU23-17
139.	爻丙	1	HU13-21
140.	爻禾 相	1	HU10-29

141.	丕 头	1	JU31-37
142.	丕 去	9	PU9-7, PU8-7, PU7-1, PU6-15, PU6-5, PU5-14, PU5-2, PU5-6, PU1-20
143.	丕 东 付 坐	1	HU33-7
144.	丕 艾	6	JU28-26, JU23-58, JU17-52, PU8-36, HU19-23, HU6-14
145.	丕 刺 及 弱	1	HU22-4
146.	丕 刺 中 容 券	1	JU24-21
147.	丕 刺 中 容 万	1	JU5-18
148.	丕 刺 中 容 谷	1	HU12-38
149.	丕 刺 中 容 当	1	JU9-17
150.	丕 刺 关	1	JU10-1
151.	丕 刺 坐 谷	1	JU24-4
152.	丕 坐	1	JU13-37
153.	丕 土	6	JU6-16, JU20-57, JU26-32, JU20-18, PU8-34, HU32-12
154.	丕 土 比	1	HU14-10
155.	丕 土 今	2	HU10-38, PU21-16
156.	丕 土 今 谷	1	PU22-22
157.	丕 土 平 及 弱	1	JU38-31
158.	丕 土 平 爻	1	JU39-2
159.	丕 土 平 付 伏	1	JU7-56
160.	丕 考	1	JU46-45
161.	丕 考 关	1	JU25-16

162.	爻 扎 余 火 券 杂	1	JU27-17
163.	爻 升 火 出 勿 出	1	JU15-19
164.	爻 安	3	KL10-7, JU41-27, HU12-29
165.	爻 □ 方 出 本	1	JU18-31
166.	爻 方 全	4	JU42-30, HU33-6, HU31-5, HU31-28
167.	爻 方 全 空 相	1	JU16-56
168.	爻 方 全 谷	1	KL19-14
169.	爻 亦 中 列 爻	1	KL15-12
170.	爻 谷 中 谷 马 矢	1	HU14-35
171.	爻 谷 谷	1	JU7-3
172.	爻 又 券	1	HU35-14
173.	爻 又 公	4	KL1-12, KL29-14, KC3-2, HU1-8
174.	爻 相 爻	1	JU26-18
175.	爻 相 伏	1	HU32-17
176.	爻 夹 出 艾 相	1	PU10-4
177.	爻 夹 安 出 艾 相	1	JU30-38
178.	爻 夹 勿	1	PU19-1
179.	爻 夹 勿 火	3	KL12-19, KL12-26, JU6-36
180.	爻 勺 全	1	JU41-33
181.	爻 欠 勿	3	KL3-10, HU3-1, HU3-10
182.	爻 反	2	JU32-57, JU32-40

183.	丕 为 头	1	HU31-23
184.	丕 为 头 列	1	HU38-10
185.	丕 为 夫	10	KL9-18, KL3-5, KL3-11, JU13-2, JU3-55, JU10-15, HU11-28, HU11-43, HU27-13, HU3-2
186.	丕 为 夫 相	1	HU3-11
187.	丕 为 夫 矢	4	JU10-31, JU32-12, HU29-21, HU29-6
188.	丕 为 夫 谷	2	JU5-44, JU22-40
189.	丕 为 矢	6	PU6-16, JU19-16, JU1-11, JU21-7, JU17-57, HU8-22
190.	丕 为 矢	1	JU29-12
191.	丕 任 几 全	1	HU19-17
192.	丕 化 全	1	HU19-36
193.	丕 化 券	3	HU2-13, JU2-42, JU2-24
194.	丕 化 券 券	1	JU37-29
195.	丕 化 券 当	1	JU25-64
196.	丕 化	1	HU13-6
197.	丕 化 平	1	KL21-23
198.	丕 化 平 券	1	KL16-10
199.	丕 化 只 圣	1	JU21-46
200.	丕 化 立 为 本	1	JU42-32
201.	丕 化 王	1	KL21-21
202.	丕 化 爻	1	HU23-37
203.	丕 化 爻 当	1	JU8-47
204.	丕 化	6	PU6-4, PU6-14, JU5-40, JU4-43, JU23-16, HU3-38
205.	丕 化 谷	1	JU14-39



206.	丕么	1	HU12-26
207.	丕么 央	1	JU23-47
208.	丕么 夫	1	JU24-3
209.	丕么 方 出	1	JU35-52
210.	丕么 东 巾	2	HU30-15, HU14-12
211.	丕么 □□ 勿出	1	JU39-36
212.	丕么 条	2	KL19-6, JU15-23
213.	丕么 父	1	JU39-6
214.	丕么 业 爻	1	JU17-16
215.	丕么 火	1	HU23-36
216.	丕火	14	JU4-35, JU20-42, JU22-38, JU20-60, JU23-43, JU28-39, JU20-7, JU25-53, JU8-36, KL9-15, KL6-27, HU13-27, HU11-47, HU15-18
217.	丕火 矢	1	HU21-18
218.	丕火 女	2	KL19-23, JU18-1
219.	丕用 升 只 当	1	HU35-27
220.	丕用	1	PU10-25
221.	丕爻 符	1	JU45-14
222.	丕才	13	JU23-71, JU17-31, JU8-6, JU25-45, JU17-47, JU40-42, JU6-18, JU9-8, JU25-19, JU13-25, PU8-33, KL22-23, HU27-4
223.	丕关	6	JU4-23, JU4-27, JU5-39, KL5-1, KL19-27, HU8-6
224.	丕关 雨	1	JU16-40
225.	丕关 又	3	KL29-19, KL29-20, PU24-15
226.	丕关 爻 平 几	1	JU25-15
227.	丕关 当	1	KL3-17

228.	丕咨 爻	1	JU12-16
229.	丕考 爻	1	JU20-21
230.	丕平 爻 爻 安	2	PU10-31, PU11-12
231.	丕平 爻 爻 安 相	1	HU4-7
232.	丕平 爻 伏	1	JU39-44
233.	丕平 爻 中 咨 当	2	JU41-43, KL9-1
234.	丕平 爻 几	1	JU44-28
235.	丕平 爻 几 全	1	HU35-31
236.	丕只 爻	2	PU3-16, KL4-10
237.	丕只 爻 凡	1	HU21-8
238.	丕血 爻 扎	2	JU4-13, JU4-9
239.	丕	18	JU18-55, JU31-51, JU46-37, JU23-11, JU28-15, JU40-18, JU23-8, JU21-32, KL16-5, PU16-35, PU11-29, PU14-30, PU7-7, PU6-36, HU15-24, HU19-3, HU36-8, PC1-6
240.	丕禿 爻 相	1	HU25-40
241.	丕卡 爻 爻 杏	1	KL11-20
242.	丕卡 爻 爻 弱	1	KL26-2
243.	丕卡 爻 爻 反 雨	1	KL24-8
244.	丕卡 爻 爻 火	7	JU23-27, JU40-41, JU24-55, JU43-10, JU12-59, JU5-34, PU3-2
245.	丕卡 爻 爻 平 列	2	JU33-24, KL18-11
246.	丕卡 爻 中 立 平	3	JU22-3, JU19-28, HU13-25
247.	丕夆 爻 力	1	HU29-38
248.	丕化 爻 列	1	JU28-13

249.	无中 谷	1	HU26-5
250.	无火	1	HU15-41
251.	无火	1	JU19-13
252.	无火 列	1	JU24-27
253.	禾	4	JU3-6, JU28-65, HU29-31, HU39-6
254.	□ 禾	1	HU23-22
255.	康 禾	1	JU40-15
256.	□ 禾 立为 出	1	PU18-18
257.	禾 又 谷	1	KL2-6
258.	禾 矢	3	PU9-2, PU6-12, HU8-36
259.	禾 中 几	1	PU24-8
260.	禾 舟	1	JU24-34
261.	禾 几 关	1	PU5-15
262.	禾	3	JU4-49, JU42-5, JU39-18
263.	比	2	JU1-9, JU21-5
264.	比 弱 相	1	JU22-47
265.	比 利	4	JU1-3, JU2-1, KC1-3, KL1-3
266.	比 化	1	PU15-7
267.	比 化 只当	1	JU23-1
268.	玉	2	JU13-20, HU6-19
269.	玉 雨	2	PU2-16, HU6-23
270.	玉 禾 几 相	2	PU15-28, PU14-27
271.	斤 方	1	JU44-17
272.	斤 方 相	1	JU25-56
273.	斤 禾	1	JU24-67
274.	斤 禾 谷	1	JU41-29
275.	十	6	JU16-54, JU28-22, JU19-11, HU39-18, HU4-9, PU6-34
276.	□ 卡	1	JU39-46
277.	止 为	2	JU4-7, HU7-9

278.	出为出	1	JU8-1
279.	出为出相	1	JU39-1
280.	出关	1	JU28-27
281.	屯	1	JU6-11
282.	有万与	1	HU37-32
283.	有万当	1	HU22-15
284.	有升火	2	HU16-31, HU20-32
285.	有爻	1	JU27-43
286.	有爻弱	1	PU12-5
287.	有爻比	1	JU36-44
288.	有爻	1	JU6-2
289.	有杂相	1	PU25-2
290.	有全	3	JU15-18, JU15-27, JU14-30
291.	有口当	1	KL10-26
292.	有万	2	HU7-17, HU5-22
293.	有爻弱	1	JU38-30
294.	有爻	1	KL26-14
295.	有为本	1	JU6-40
296.	有为出	2	JU26-58, HU29-14
297.	有中直中	1	JU12-24
298.	有中直为本	1	KL8-18
299.	有中列火	1	JU11-8
300.	有出	1	HU23-33
301.	有爻	1	JU16-15
302.	有爻比	1	PU16-32
303.	有爻女	2	JU29-32, PU9-25

304.	夾 平 关	1	HU34-22
305.	夾 火 住 符 伏	2	JU5-10, KL21-19
306.	夾 火 坐	2	JU43-8, JU3-8
307.	夾 关	1	JU42-35
308.	立 万	1	KL14-24
309.	□ 立 万	1	PU22-13
310.	□ 立 万	1	PU11-27
311.	□ 立 万 □ □	1	PU22-23
312.	□ 立 平	1	KL13-23
313.	立 平 关	2	JU37-27, JU25-63
314.	□ 立 火	1	JU42-31
315.	立 券	9	HU34-13, HU9-33, HU34-3, HU16-21, HU17-31, HU2-24, JU6-24, JU11-21, JU24-45
316.	立 券 和	1	PU20-19
317.	立 券 和	2	HU18-18, HU21-34
318.	立 券 和	1	HU24-4
319.	立 券 和	9	HU24-13, HU28-32, HU8-38, HU31-20, HU36-14, HU12-11, HU25-28, HU36-34, HU2-1
320.	立 券 和 关	1	HU30-36
321.	立 券 和 关	1	HU27-27
322.	立 券 全	1	HU35-18
323.	立 几	1	HU5-18
324.	立 几 叉	2	HU13-9, HU32-34
325.	立 几 伏	1	JU5-4
326.	立 几 中	1	JU41-26

327.	五几 芬	4	JU7-23, JU43-20, KL7-7, HU33-8
328.	五几 当	13	KL27-11, KL1-14, HU31-11, HU33-9, HU1-10, PU22-25, PU21-26, PU1-9, JU1-24, JU41-7, JU43-21, PC2-9, KC3-4
329.	五芬	5	JU43-29, JU31-32, JU40-37, KL12-20, PU19-35
330.	五谷 和	2	KL26-8, JU42-20
331.	五谷 和	1	HU22-28
332.	五谷 和	1	HU22-6
333.	五谷 矢	1	JU39-16
334.	五	9	JU2-18, JU23-23, JU17-28, JU2-31, JU29-4, JU17-49, JU30-9, JU23-67, HU16-34
335.	五采	2	HU30-7, HU28-2
336.	五立	1	PU9-36
337.	五立 采	12	JU2-36, JU2-14, JU24-40, JU7-34, JU3-21, JU43-25, KL10-8, HU34-28, HU5-15, PU12-33, PU15-25, PU14-24
338.	五立 尔芬	1	JU4-46
339.	五立 冬	2	JU44-25, PU24-23
340.	五立 穴	4	JU43-42, JU18-25, JU36-38, KL8-29
341.	五尔 及弱	1	JU42-14
342.	五尔 关	4	KL2-3, KL5-23, KL8-10, HU27-12
343.	五尔 关和	1	KL7-8
344.	五冬 和	1	PU24-17
345.	五为 采	1	JU14-21
346.	本与	1	HU21-29
347.	本中 立为 本	3	JU11-55, JU38-3, HU28-36
348.	本中 立为 出	1	JU11-34
349.	本中 升弱	1	JU9-13
350.	本关	3	JU39-27, JU11-4, HU17-30

351.	本当	1	HU18-35
352.	类行	1	KL19-12
353.	类行 和	1	KL12-8
354.	类行 谷	1	KL28-18
355.	剂	1	HU20-42
356.	杏	2	KL28-23, JU12-8
357.	杏余	4	PU8-25, JU40-8, JU41-22, KL22-21
358.	杏余 弱	1	HU19-21
359.	杏余 不	1	JU29-23
360.	杏余 凡□	1	KL8-11
361.	杏余 朱	2	JU11-6, HU9-20
362.	杏余 伏	1	KL18-8
363.	杏余 和	1	JU9-26
364.	司	5	JU9-38, JU43-37, KL31-1, HU37-8, HU6-11
365.	司黍	5	JU7-4, JU41-39, HU8-32, HU13-11, HU32-31
366.	司黍 矢	1	JU37-10
367.	司黍 中谷 伏	1	PU20-20
368.	司和	4	JU6-44, JU46-42, JU34-54, KL11-6
369.	司矢	1	HU14-1
370.	司伏	3	PU2-7, PU1-5, PC2-5
371.	司凡 爻	1	KL10-10
372.	司今	1	HU21-20
373.	司今 关	1	HU37-16
374.	司今 女	1	JU27-52
375.	司今 正方 列	1	JU41-32
376.	司今 正平	1	JU34-13

377.	可用 列示	1	JU17-17
378.	可用 列示	1	PU22-10
379.	可 示	2	KL9-3, JU41-45
380.	示	5	PU23-11, PU21-30, PU24-22, HU21-7, HU24-7
381.	示 中 示 示	1	JU43-5
382.	示 示 示	1	KL5-2
383.	示	1	JU39-5
384.	示 行	1	JU34-50
385.	示 示	5	JU38-48, JU11-7, JU8-46, HU37-15, HU9-21
386.	示 示	1	HU8-26
387.	示 示	1	HU10-18
388.	示 示 示	1	JU38-11
389.	示 示 示	2	HU2-7, PU2-9
390.	示 示 示	1	HU2-29
391.	示 示	1	JU29-59
392.	示 示 示	1	JU29-39
393.	示 示	1	JU10-5
394.	示 示 示	1	JU7-7
395.	示 示	2	JU11-39, HU20-24
396.	示 示	20	KL22-12, JU45-30, JU3-24, PU16-24, PU15-8, PU15-2, PU15-30, PU16-2, PU15-14, PU6-38, PU6-10, PU8-42, PU7-9, HU28-4, HU24-8, HU8-28, HU11-1, HU28-29, HU27-41, HU8-34
397.	示 示 示	1	JU43-41
398.	示 示 示	1	KL16-20
399.	示 示 示	1	JU25-66
400.	示 示 示	1	JU31-42
401.	示 示	1	HU27-29
402.	示 示 示	1	PU16-13



403.	土 筑 谷	1	JU19-55
404.	土 伏	5	KL12-7, KL13-7, JU26-46, JU36-20, PU12-10
405.	土 化	9	JU39-43, JU38-44, JU11-11, JU36-12, JU6-1, HU31-31, HU21-6, HU37-18, PU19-21
406.	土 化 谷 当	1	HU21-13
407.	土 火	5	JU27-31, JU7-54, JU33-48, JU33-44, HU6-15
408.	土 平	3	JU4-11, JU12-39, HU10-36
409.	土 平 谷 万	4	JU11-13, HU14-38, HU18-6, HU18-36
410.	土 平 几	3	KL8-24, KL17-24, HU5-36
411.	土 平 几 和	2	KL15-13, PU21-41
412.	土 平 几 弱	1	HU24-36
413.	土 平 几 矢 关	1	KL15-19
414.	土 平 谷 万	4	JU35-22, KL10-15, KL15-4, HU12-22
415.	地 几	15	KL14-7, KL21-13, KL13-10, KL12-15, JU37-45, JU11-30, JU11-43, JU35-50, HU28-34, HU10-30, HU9-31, HU10-20, HU6-33, HU19-13, HU34-25
416.	地 几 和	1	HU12-45
417.	地 几 和	2	JU14-35, JU16-23
418.	地 几 矢	3	JU42-44, JU39-22, KL13-13
419.	地 几 谷	1	JU20-15
420.	去 中 直 为 出	1	JU36-5
421.	去 中 升 平 列	1	HU15-6
422.	去 关	13	JU15-57, JU29-42, KL22-25, KL16-12, KL10-4, HU6-36, HU22-8, HU16-27, HU18-1, HU17-39, HU17-23, HU20-33, HU36-32
423.	去 谷	1	HU21-43
424.	去 谷	5	JU21-39, JU23-12, JU27-44, JU10-53, JU23-48
425.	去 谷	1	KL32-5

426.	杰	8	HU17-3, HU6-8, HU3-35, PU7-22, PU3-18, KL3-25, KL3-31, JU19-43
427.	杰 和	1	HU19-8
428.	杰 和	1	KL7-19
429.	杰 尔	2	JU20-53, KL21-4
430.	杰 尔	9	JU45-11, HU6-38, HU8-17, HU7-2, HU29-18, HU6-4, PU10-32, PU11-13, PU3-5
431.	杰 凡	1	JU26-36
432.	为	5	HU8-8, HU39-13, HU4-6, KL16-13, KL23-8
433.	考 全	1	JU2-43
434.	卉 为 火 关	1	KL14-32
435.	卉 为 艾	1	JU27-39
436.	卉 中	1	KL4-2
437.	卉 丹 叉	2	JU32-6, HU7-5
438.	卉 斗	1	JU21-54
439.	卉 斗 夹	1	JU41-18
440.	主	7	JU23-49, JU23-34, JU17-5, JU13-19, PU2-15, HU6-22, HU6-18
441.	主 王	2	JU3-18, JU3-3
442.	主 王 雨	3	JU5-42, JU16-19, JU16-8
443.	主 王 矢	1	JU2-49
444.	北	3	JU32-19, HU28-40, PC1-5
445.	北 万	2	JU24-12, JU18-28
446.	北 万	3	HU20-3, HU36-19, HU32-29
447.	北 万 北	1	JU29-29
448.	北 万 关	1	JU25-62
449.	北 万 谷	1	KL31-2
450.	北 万 坐 谷	1	JU37-33
451.	北 万 当	1	JU30-24
452.	北 北	1	KL24-23

453.	北及 卡几	1	JU44-30
454.	北及 弱	3	JU12-35, JU37-5, JU37-40
455.	北及	1	HU39-29
456.	北及	3	JU41-1, JU39-3, PU19-10
457.	北及 采	5	JU5-30, JU11-35, JU42-22, JU24-6, KL8-25
458.	北及 尔	2	JU42-23, JU2-33
459.	北及 本	1	JU16-16
460.	北及	5	KL11-23, JU42-26, HU8-29, HU13-14, HU10-7
461.	北及 中	1	HU29-35
462.	北及 符伏	9	PU1-10, JU1-25, JU34-40, JU7-39, JU31-53, HU27-32, HU30-3, HU1-11, KL1-15
463.	北及 中几 和	1	JU30-23
464.	北及	1	JU22-14
465.	北及 丰谷	1	JU26-44
466.	北及 州	1	KL13-19
467.	北及 币	1	JU21-43
468.	北及 州	2	JU2-6, JU37-38
469.	北及 北和	1	JU7-57
470.	北及	2	HU15-5, HU21-10
471.	北及 和	1	JU27-8
472.	北及 谷矢	1	JU44-34
473.	北及 杏	1	HU15-28
474.	北及 安	1	JU17-51
475.	北及	1	KL25-13
476.	北及	1	KL26-1
477.	北及 采	1	KL23-10

478.	比 只 比	1	JU28-29
479.	比 只 弱	1	JU24-43
480.	比 只 谷	1	JU27-15
481.	比 只 平 几	1	KL24-15
482.	艾	15	JU34-19, JU28-63, JU46-34, KL20-20, KL17-12, KL11-7, KL28-10, PU21-8, PU13-32, PU17-3, PU8-19, HU29-32, HU16-8, HU9-15, PC1-12
483.	艾 矢	2	JU34-5, JU26-26
484.	艾 全	1	PU16-28
485.	艾 考	1	JU10-40
486.	比	7	JU32-34, JU15-54, JU15-56, HU30-33, HU31-17, HU1-23, PU4-21
487.	比 和	1	HU11-27
488.	比 矢	2	JU10-49, HU12-42
489.	比 谷	1	JU27-55
490.	存 小 升 反 雨	2	HU28-45, HU17-20
491.	存 小 列	4	JU26-2, JU42-27, JU21-49, JU18-36
492.	存 小 □ 火	1	HU35-8
493.	灰	11	PU13-31, PU12-19, PU1-12, KL17-9, KL28-3, JU28-48, HU29-1, HU9-14, HU8-13, HU16-10, HU6-32
494.	灰 谷	2	KL3-6, JU3-39
495.	灰	1	PU1-14
496.	灰	1	JU18-10
497.	灰 禾 中	1	JU44-7
498.	灰 充 中	1	PU23-21
499.	灰 用	3	JU1-14, PU4-27, HU38-12
500.	灰 兴	1	JU10-41
501.	充 谷 百	1	HU31-36
502.	充 谷 中 谷 中 爻	1	JU6-52
503.	充 谷 中 谷 中 几	1	HU24-31

504.	充几券	1	JU10-34
505.	充券	1	KL26-3
506.	卅	1	PC1-3
507.	<input type="checkbox"/> 卅安当	1	JU46-51
508.	卅马中虫牛	1	KL18-18
509.	卅马中虫牛	1	JU30-13
510.	卅局	1	PU7-33
511.	卅反北	1	KL12-27
512.	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 卅反北	1	KL13-25
513.	卅矢	1	JU28-1
514.	卅分中虫牛	1	JU13-29
515.	巧反北	1	KL3-4
516.	巧反雨	1	JU3-43
517.	巧平列	1	KL25-14
518.	尤	2	JU39-10, HU24-35
519.	尤安	10	JU39-11, JU20-11, KL30-5, KL9-8, KL21-26, KL17-23, HU36-6, HU5-9, PU12-29, PU10-9
520.	尤安坐	1	JU5-17
521.	尤久	1	HU21-2
522.	尤夕火	1	KL23-14
523.	亥关	1	JU2-40
524.	<input type="checkbox"/> 安	4	JU14-49, JU14-44, PU18-24, PU23-22
525.	<input type="checkbox"/> 安 <input type="checkbox"/>	1	JU46-52
526.	安券	1	HU36-31
527.	安彖	5	JU9-4, JU9-9, JU32-17, HU27-25, HU28-7
528.	安爻	1	KL12-21
529.	安牛	1	JU6-21

530.	方万	1	HU12-27
531.	方並本	1	JU11-47
532.	方及相	1	HU10-3
533.	方及弱	4	JU30-32, JU33-21, JU33-26, HU11-17
534.	方及	3	JU9-31, HU33-4, HU28-39
535.	方列子	1	PU22-20
536.	方为	1	HU4-21
537.	方为本	1	JU37-47
538.	方为出	3	KL6-18, JU35-36, HU22-36
539.	方矢	1	HU36-25
540.	方余火	1	JU37-20
541.	方小并弱	1	KL22-9
542.	方小及	1	JU26-14
543.	方小列	1	KL9-25
544.	方关	4	JU14-4, JU25-41, KL12-17, HU9-37
545.	□东百谷	1	JU36-13
546.	东并坐	1	JU30-12
547.	与及	1	JU3-11
548.	与及伏	1	JU3-7
549.	与及伏相	1	JU27-33
550.	与及火	2	JU4-26, JU2-15
551.	与	14	JU31-7, JU7-38, JU11-49, JU32-26, JU10-6, KL20-6, KL19-20, KL4-5, KL6-24, KL8-9, HU27-10, HU3-7, PU17-19, PU7-32
552.	与安	10	JU14-40, JU19-44, JU14-10, JU28-43, HU32-3, HU39-28, HU24-14, HU8-1, PU21-11, PU21-28
553.	与相	2	KL1-10, KC2-5
554.	与凡	2	JU36-30, HU22-42
555.	与凡关	1	HU23-10

556.	为矢	1	JU3-23
557.	为女	14	JU10-29, JU34-27, JU16-2, JU32-4, KL7-15, KL4-25, KL5-9, PU1-2, PU3-10, HU28-10, HU9-1, HU29-16, HU26-35, PC2-2
558.	为凡	2	KL18-5, HU28-37
559.	为伏	1	JU4-21
560.	为化 谷与	1	KL15-3
561.	为公	7	JU20-64, JU25-5, JU13-9, JU18-2, HU8-12, HU8-18, PU11-8
562.	为余 公矣	1	HU5-31
563.	大□	1	PU19-30
564.	大东 百券 矣	1	JU27-48
565.	大和	1	JU23-41
566.	□矣	2	HU24-6, PU23-24
567.	矣和	1	PU21-37
568.	矣矣	1	PU8-37
569.	券	2	JU17-20, HU26-18
570.	券坐 伏	1	JU12-34
571.	矣又 与	1	JU46-25
572.	矣	18	HU12-9, HU26-16, HU9-24, HU30-19, HU3-21, JU17-34, JU36-33, JU25-2, JU22-57, JU5-2, JU22-6, JU34-44, KL26-9, KL22-1, PU14-12, PU20-7, PU20-37, PU16-27
573.	矣和	1	HU17-16
574.	矣为	1	KL11-26
575.	矣矢	2	KL10-20, HU25-14
576.	矣矢 矣	1	HU18-24
577.	矣及 矣	1	HU23-16
578.	矣	1	HU36-18
579.	矣杏 矣	1	KL19-5
580.	矣安	1	JU17-2
581.	矣安 矣弱	1	JU46-21
582.	矣安 矣	4	PU5-27, HU7-20, HU3-18, JU44-14

583.	尺 列 夹	1	KL23-24
584.	尺 弱	1	JU22-28
585.	尺 反 相	1	JU42-43
586.	尺 为 平	1	HU15-2
587.	尺 为 本	3	JU33-47, JU33-43, HU31-8
588.	尺 为 出 谷	1	JU24-23
589.	尺 反	1	JU23-46
590.	尺 伏	3	JU17-44, PU19-11, PU15-39
591.	尺 化 中 列	1	JU33-30
592.	尺 分	4	JU11-41, KL5-10, HU26-36, HU9-6
593.	尺 尖	2	KL14-4, JU25-13
594.	尺 尖 当	1	JU41-47
595.	尺 必 反	1	JU30-19
596.	尺 平 升 反 扎	1	PU6-26
597.	尺 平 升 反 雨	1	JU33-9
598.	尺 平 升 尖	1	JU36-31
599.	尺 反 当	1	KL18-3
600.	尺 册 立 为 本	1	KL1-20
601.	平	67	JU20-12, JU28-16, JU20-40, JU35-3, JU34-2, JU28-49, JU44-29, JU20-49, JU4-20, JU21-2, JU23-14, JU3-42, JU3-53, JU3-30, JU4-6, JU4-31, JU34-17, JU8-50, JU13-5, JU13-55, JU44-4, JU40-38, KL8-16, KL3-34, KL8-22, KL4-11, KL6-25, KL28-4, KL6-21, KL4-6, KL3-3, KL2-21, KL3-9, KL3-15, KL2-15, KL3-21, KL21-1, KL2-9, KL20-17, KL3-27, KL17-10, KL19-21, PU13-30, PU21-7, PU11-30, PU12-30, PU13-15, PU11-21, PU10-2, PU23-8, PU8-16, PU2-19, HU11-4, HU10-9, HU22-33, HU23-6, HU11-31, HU13-33, HU17-10, HU11-13, HU15-25, HU29-26, HU16-6, HU9-13, HU3-9, HU5-16, PC1-7
602.	平 □	1	PU2-32



603.	□ 丰	1	HU16-14
604.	丰 万	1	HU19-6
605.	丰 升 丰 爻	1	JU9-32
606.	丰 相	21	JU32-45, JU7-49, JU40-26, JU2-12, JU3-47, JU26-40, KL28-5, KL22-11, KL4-27, KL7-17, KL5-11, PU11-37, PU12-7, PU16-36, PU3-12, PU1-4, HU26-37, HU27-35, HU29-27, HU20-14, PC2-4
607.	丰 爻	1	HU33-1
608.	丰 杂	2	JU27-3, HU23-28
609.	丰 勿	1	HU31-14
610.	丰 爻	19	JU13-32, JU13-44, JU36-40, JU19-59, JU19-1, JU21-19, JU22-2, PU10-23, PU9-29, PU10-16, PU9-35, PU9-10, PU10-10, PU12-20, PU9-21, PU6-32, PU7-8, PU8-41, HU4-27
611.	丰 爻 爻	1	JU11-24
612.	丰 化 全 比	1	HU15-21
613.	丰 全	8	PU18-34, PU5-26, JU9-33, JU25-21, KL9-29, HU15-36, HU31-38, HU20-18
614.	丰 全 相	1	HU19-37
615.	丰 全 爻	4	JU27-16, PU20-17, PU4-10, HU25-37
616.	丰 全 爻 爻	1	KL16-6
617.	丰 全	9	KL5-18, KL6-9, KL26-24, KL8-26, KL7-30, HU27-44, HU28-17, PU14-31, PU14-35
618.	丰 全 升 安	1	KL13-1
619.	丰 全 升 弱 相	1	KL12-3
620.	丰 全 相	2	PU1-15, HU35-19
621.	丰 全 中 立 本	1	JU18-37
622.	丰 全 中	1	JU38-20
623.	丰 全 符 坐	1	JU30-21
624.	丰 中 升 杏	1	KL25-8
625.	丰 中 升 及 雨	2	JU39-19, KL23-15

626.	中 叉	1	KL24-10
627.	中 用 列	1	PU24-10
628.	中 谷	1	JU36-9
629.	本	1	PC1-2
630.	□ 本	1	JU25-50
631.	□ □ 本	1	HU4-13
632.	本 万	1	KL12-24
633.	本 升 弱	1	JU46-1
634.	本 升 及 扎	2	PU16-34, PU12-28
635.	本 升 平 直 为 本	1	KL9-2
636.	本 及	2	KL14-31, JU41-17
637.	本 及 弱	1	JU27-38
638.	本 列 火	1	HU12-44
639.	本 为	1	JU24-66
640.	本 为 火	1	PU21-40
641.	不 香 矢	1	PU7-11
642.	□ 及	1	JU22-7
643.	及 安	4	JU20-27, JU20-28, PU11-14, PU10-33
644.	及 安 中 谷 伏	1	JU20-13
645.	及 安 中 谷 全 北	1	PU13-17
646.	及 安 只 火	2	KL20-14, JU41-34
647.	及 谷	1	JU36-10
648.	及 谷 火 中 几	1	KL18-10
649.	及 叉 中 谷 伏	1	JU18-4

650.	及弱	1	HU12-19
651.	□□ 及弱	1	JU38-43
652.	□及弱	1	HU25-35
653.	及局 相	1	PU10-36
654.	及化	22	PU11-2, PU17-17, PU16-12, PU17-32, PU13-6, PU5-31, PU1-13, KL21-7, KL17-18, KL2-8, JU22-36, JU13-34, JU34-10, JU35-8, JU14-9, JU44-48, JU19-31, JU13-46, HU7-40, HU11-37, HU29-2, HU1-17
655.	及化 平	2	HU2-8, PU2-10
656.	及化 伏	1	KL6-8
657.	及必	4	KL17-25, KL16-24, KL26-23, JU23-21
658.	及平	9	JU37-42, JU28-17, JU28-50, JU20-50, HU7-13, HU13-34, PU11-11, PU10-3, PU13-16
659.	及平 谷中 伏	2	KL5-33, KL6-7
660.	及平 谷当	1	JU10-32
661.	又刃	1	HU31-6
662.	又	2	JU26-8, KL25-2
663.	□又	1	JU39-48
664.	又而 及	1	PU3-26
665.	又雨	14	HU25-21, HU12-39, HU11-39, HU31-10, HU1-9, JU16-20, JU2-38, JU30-35, PU24-7, PU21-25, PU21-19, PU17-39, PU1-8, PC2-8
666.	又雨 矢	3	JU17-9, HU11-34, PU12-34
667.	又雨 矢关	2	KL21-5, HU14-32
668.	又雨 谷	2	JU31-41, HU12-17
669.	又万 去伏	1	JU29-56
670.	又万	1	JU23-30
671.	又卡 关	1	HU24-23
672.	又卡 当	1	KL12-6

673.	又立 东 坐	1	HU10-39
674.	又立 冬	2	JU29-36, PU11-33
675.	又立 艾	7	JU36-6, JU8-8, JU14-53, JU6-45, PU19-25, PU20-23, PU22-5
676.	又扎	1	JU41-19
677.	又丈	1	PU3-35
678.	又刃	2	HU11-48, HU13-28
679.	又刃 友	7	JU18-26, KL6-31, KL27-5, KL19-16, PU21-3, HU32-33, HU7-27
680.	又刃 相	2	KL9-16, HU15-19
681.	又相 秀	1	JU22-26
682.	又弱 火 关	1	KL23-23
683.	又央 矢	1	JU34-7
684.	又央 杏 矢	1	KL11-12
685.	又央 丈	1	KL5-26
686.	又央 欠	3	JU34-30, JU32-30, KL5-20
687.	又央 欠 □	1	JU20-29
688.	又央 余	6	JU7-28, JU10-10, JU29-16, KL22-17, KL19-28, KL7-32
689.	又反	29	JU2-11, JU3-46, JU37-2, JU5-23, JU2-5, JU2-3, JU3-29, JU23-65, JU7-48, JU24-30, JU37-37, JU17-26, JU11-28, JU30-2, JU11-40, JU29-60, PU14-37, PU9-26, PU4-39, PU6-23, PU5-19, PU1-3, PU3-11, HU27-34, HU34-9, HU25-5, HU38-31, HU16-19, PC2-3
690.	又反	1	HU27-47
691.	又反 反 弱 相	1	KL15-23
692.	又反 全	1	JU15-34
693.	又反 雨 矢	1	KL24-14

694.	又反 安立 为出	1	JU33-3
695.	又反 安及 为弱	2	JU36-16, JU39-38
696.	又反 安及 为相	2	JU30-39, PU19-12
697.	又反 安及 为均	1	PU20-24
698.	又为	3	KL8-14, JU29-11, JU5-51
699.	又为 央	1	PU7-25
700.	又为 走	1	JU41-4
701.	又化 相	1	JU22-23
702.	又化 安	1	JU35-53
703.	又化 关	1	HU16-15
704.	又化 几	1	PU4-1
705.	又化 几及	1	JU8-16
706.	又化 关	2	JU2-45, HU2-15
707.	又化 谷	1	JU29-33
708.	又余 币伏	1	JU43-14
709.	又余 北并 火	1	JU17-12
710.	又余 子并 平列	1	JU42-7
711.	又余 火	1	JU2-23
712.	又公 交	3	KL8-4, HU28-44, PU15-22
713.	又金 矢	1	JU46-27
714.	又火	1	PU4-6

715.	又出 又	5	JU41-14, JU6-35, PU19-2, PU6-18, KL12-25
716.	又用 又	1	JU6-37
717.	又九 又	1	JU27-27
718.	又九 又	1	JU15-47
719.	又九 又	1	JU44-32
720.	又九 又	1	JU27-51
721.	又九 又	1	KL25-1
722.	又九 又	1	JU39-4
723.	又关	1	JU28-40
724.	又关 又	1	KL8-8
725.	又关 又	1	KL2-1
726.	又发 又	1	PU7-40
727.	圣	36	PU14-34, PU14-16, PU13-33, PU17-2, PU15-21, PU9-20, PU10-15, PU8-40, PU6-31, JU31-46, JU29-48, JU20-48, JU20-14, JU28-9, JU4-45, JU26-25, JU13-31, JU34-4, JU16-55, JU35-9, JU21-36, JU39-31, JU21-30, HU13-32, HU16-7, HU27-15, HU31-21, HU28-43, HU4-26, HU5-25, KL8-3, KL7-2, KL4-17, KL17-13, PC1-11, PC1-14
728.	圣相	14	JU9-25, JU33-15, JU8-31, JU31-13, KL7-26, KL6-28, PU8-10, PU4-3, PU3-22, PU4-36, PU6-2, PU6-20, PU5-18, HU9-5
729.	圣相 又	1	HU16-1
730.	圣矢	1	JU12-44
731.	圣	8	KL5-19, KL5-33, KL7-31, JU15-32, JU5-22, PU6-22, HU28-18, HU27-46
732.	□□ 又	1	HU14-25
733.	又百 又	2	JU13-40, PU10-39
734.	又百 又	1	JU3-13
735.	又相 又	1	KL24-5

736.	刃中 谷当	1	KL12-5
737.	刃舟 直本	1	KL27-1
738.	刃坐	1	JU37-14
739.	力直 出又	5	KC2-2, HU13-38, HU2-32, KL1-7, KL2-13
740.	力直 出又 相	1	HU1-6
741.	力直 出谷	1	PU7-19
742.	力直 出谷 相	2	JU32-1, JU33-6
743.	力直 艾	1	JU31-2
744.	力方 直半	1	HU36-16
745.	力方 列	2	KL20-24, JU35-6
746.	力半 谷	1	HU31-3
747.	力冬 直半	1	KL14-8
748.	力冬 全北	2	PU7-36, JU10-17
749.	力冬 舟伏	1	KL29-15
750.	力冬 关	1	JU12-6
751.	力出 谷相	1	JU10-26
752.	□相	2	PU19-20, PU23-30
753.	□□ 相	1	PU9-24
754.	□相 谷	1	JU3-37
755.	斥	4	JU45-33, JU35-18, HU16-5, HU29-25
756.	斥矢	1	PU6-40
757.	斥关	1	HU14-20
758.	斥	3	JU10-12, JU8-26, JU31-4
759.	屋爻 弱	3	JU22-42, JU14-41, JU14-11

760.	屋及相	2	JU20-37, HU10-42
761.	屋及矢	2	JU16-47, JU19-45
762.	屋及关	1	HU8-2
763.	屋及	3	JU6-56, HU12-6, HU25-1
764.	屋列	2	JU44-40, HU18-22
765.	屋列条	3	JU39-28, HU35-23, HU36-2
766.	屋列条相	1	JU11-5
767.	屋伏	1	JU11-16
768.	屋令	2	KL13-4, HU23-18
769.	屋令关	1	KL15-7
770.	屋空弱	1	PU19-7
771.	屋中并为火关	1	KL10-21
772.	屋中及	1	JU30-7
773.	屋中列	2	KL15-11, HU21-5
774.	屋关	4	JU15-24, JU23-4, HU14-28, HU19-24
775.	屋空	8	JU46-8, JU13-53, JU34-46, KL18-20, KL20-8, HU30-17, HU25-3, PU11-9
776.	屋坐空	1	JU17-53
777.	屋当	2	JU4-56, HU32-10
778.	及	3	KL11-5, PU23-1, HU29-3
779.	□及	1	PU23-28
780.	及券	7	JU17-43, JU23-55, JU24-11, KL25-12, PU20-21, PU16-26, HU27-40
781.	□□及券	1	PU23-33
782.	及券公	1	JU23-25
783.	及公	3	JU43-27, PU21-21, PU3-8
784.	及公相	1	JU6-26
785.	及关	2	JU11-36, PU22-15



786.	爻谷	2	KL17-19, HU19-2
787.	爻券	3	JU40-29, PU20-26, PU20-16
788.	爻当	3	JU4-25, JU6-8, JU34-11
789.	了	1	JU44-3
790.	了相	1	KL22-14
791.	了	76	JU15-43, JU42-46, JU7-2, JU26-21, JU22-10, JU40-23, JU43-1, JU26-13, JU28-18, JU26-9, JU26-15, JU36-4, JU37-28, JU24-48, JU11-3, JU37-1, JU4-1, JU9-30, JU25-26, JU33-49, JU32-43, JU26-3, JU5-5, JU35-35, JU6-33, JU7-22, JU7-10, JU33-45, JU38-36, JU40-11, JU39-47, JU39-26, JU37-32, JU12-17, JU12-13, JU37-36, KL15-5, KL14-29, KL7-6, KL15-10, KL15-24, KL14-14, KL14-26, KL14-22, KL14-19, KL14-17, KL23-2, KL12-12, KL12-10, KL11-28, KL10-5, KL22-4, KL24-11, KL25-9, HU38-32, HU33-3, HU24-20, HU24-16, HU34-6, HU32-35, HU10-41, HU20-34, HU25-11, HU25-15, HU31-24, HU20-41, HU25-2, HU10-43, HU25-19, HU38-7, HU16-23, HU21-37, HU17-38, HU26-9, HU26-13, HU17-44
792.	了列	1	JU35-34
793.	了矢	1	PU14-7
794.	了	4	JU4-24, JU12-10, JU4-28, HU39-10
795.	了□	1	PU11-22
796.	了女	1	PU12-31
797.	了太女	1	JU10-9
798.	□子	1	HU24-1
799.	子太	1	HU32-6
800.	升	1	JU25-35
801.	升□	1	PU17-9
802.	升禾升火	1	KL20-15
803.	升立方	1	HU24-17
804.	升扎立为出	1	JU36-26
805.	升方	1	HU29-40
806.	升方立方列采	1	PU3-14
807.	升方立平	2	JU13-59, HU34-12

808.	引方 立为 出	4	JU6-55, HU21-4, HU14-27, HU37-19
809.	引方 立为 出	1	HU38-25
810.	引方 又	2	JU3-34, JU28-14
811.	引方 为	1	JU3-32
812.	引中	5	JU30-30, JU21-21, JU29-30, JU37-18, JU36-25
813.	引中 及弱	1	JU27-30
814.	引中 又	3	JU23-37, JU13-22, JU17-19
815.	引中 今	1	JU23-61
816.	引中 立为 立本	1	JU14-54
817.	引中 立为 中	1	HU7-28
818.	引中 中列	1	JU27-56
819.	引中 关	1	JU18-27
820.	引中 坐谷	1	JU17-35
821.	引本 立为 出	1	PU23-13
822.	引冬	1	HU37-23
823.	引冬 比	1	JU25-43
824.	引乃	1	JU18-33
825.	引乃 相	1	JU18-12
826.	引乃 口立 中	1	HU20-27
827.	引为 方	1	JU29-22
828.	引念	1	HU16-35
829.	引儿 欠尔	6	KC2-3, KL5-14, KL1-8, JU10-27, HU27-23, HU26-40

830.	引化余	1	JU24-31
831.	引化余币	1	PU16-14
832.	引化余不	1	JU32-2
833.	引化余化谷	1	JU24-9
834.	引化余	1	JU18-38
835.	引化关	1	JU14-15
836.	引化谷	1	JU22-29
837.	引化当	1	KL18-24
838.	引出	3	KL22-7, JU42-12, JU41-11
839.	引关升火	1	JU22-25
840.	引谷	1	JU22-50
841.	引	2	JU44-52, PU20-22
842.	引币谷	1	JU4-17
843.	引币当	2	JU10-39, JU32-20
844.	引土女	1	PU13-25
845.	引夫牛升弱	1	HU12-20
846.	引扎爻	2	JU21-45, KL20-12
847.	引本	1	KL8-15
848.	引未	1	HU30-39
849.	引冬方	2	JU27-50, JU27-7
850.	引冬方相	1	JU7-55
851.	引乃平直冬北	1	KL16-14
852.	引乃平直勿出	1	KL23-9

853.	列反子	1	HU12-35
854.	列为	1	JU10-23
855.	列矢 黍升 火	1	HU20-44
856.	列行 立为 □	1	PU19-14
857.	列行 扎反 弱相	1	JU41-3
858.	列行 扎关	1	HU35-3
859.	列行 州	1	KL24-19
860.	列行 全	2	HU2-18, KL2-11
861.	列化 列	1	PU2-28
862.	列化 茶	1	PU5-7
863.	列茶 寺	1	KL13-24
864.	列茶 列	1	JU3-54
865.	列业	3	JU30-18, JU44-13, KL10-16
866.	列业 黍升 安	1	KL9-21
867.	列业 矢	2	JU12-49, HU20-19
868.	列业 仍	1	KL29-10
869.	列业 空券 符	1	HU12-24
870.	列小	3	PU2-24, PU3-29, HU2-10
871.	列业 黍升 平伏	1	HU38-33
872.	列雨	1	JU11-31
873.	列虫	1	JU30-37
874.	列虫 黍升 安	1	JU38-6

875.	列虫 黍升 火	1	HU4-29
876.	列虫 黍及 药	1	JU24-61
877.	列虫 黍中 虫	1	JU34-6
878.	列斗	1	JU8-48
879.	列关 黍升 及相	1	HU35-21
880.	列发	1	JU38-9
881.	列坐	1	PU20-31
882.	列艾 升及 扎	1	HU38-2
883.	列艾 及杏	1	JU4-32
884.	列艾 列	1	KL10-25
885.	列艾 为	2	HU32-1, HU23-24
886.	列艾 为木 爻	1	JU46-19
887.	药	1	HU26-20
888.	□□ 药	1	HU4-4
889.	药及 药相	1	KL15-1
890.	药相	13	KL29-4, JU28-25, JU44-18, JU24-15, JU24-18, JU40-36, JU16-10, JU5-46, HU37-7, HU7-11, HU30-22, PU18-12, PU20-34
891.	药相 关	1	PU14-2
892.	药朱 来	1	PU14-13
893.	药空	1	JU18-45
894.	□药 谷	1	JU36-49
895.	药 相	1	JU25-60
896.	药当	3	JU10-42, JU2-7, HU27-36
897.	不列 丰	2	KL23-18, KL18-23

898.	丕 本	1	JU33-23
899.	丕 为	1	JU39-9
900.	丕 为 为	1	HU2-12
901.	丕 为 本	1	HU38-28
902.	丕 中 爻	1	JU4-16
903.	丕 关	1	HU16-16
904.	乙	6	JU31-45, JU45-32, JU21-38, PU6-39, HU8-35, HU27-42
905.	乚	2	HU16-38, HU17-6
906.	乚 爻 化	1	JU12-5
907.	爻	9	KL25-15, KL30-6, KL28-14, JU29-53, JU34-23, PU17-8, PU21-18, HU29-39, PC1-15
908.	爻 爻	7	KL20-22, KL17-14, PU13-34, PU8-21, JU28-66, HU16-11, HU9-18
909.	爻 伏 爻	1	JU29-52
910.	爻 关	4	KL28-22, JU12-51, HU13-3, PU9-31
911.	丑 立 方	1	HU13-10
912.	丑 中	1	HU20-20
913.	丑 本	2	JU15-58, PU11-40
914.	丑 爻 伏	1	PU21-14
915.	丑 爻 中 爻	1	JU21-50
916.	夬	2	JU8-34, HU27-37
917.	夬 安	1	JU28-35
918.	夬 欠 爻	1	JU23-33
919.	夬 为	2	JU7-9, KL15-21
920.	夬 为 本	1	JU38-7
921.	夬 为 爻	1	KL10-12
922.	夬 为 爻 关	1	HU8-33
923.	夬 夬 中 爻 弱	1	JU33-32
924.	夬 伏	1	HU13-1

925.	夾火	2	JU29-19, KL15-9
926.	夾火 中並 方列	1	HU24-30
927.	夾火 中並 半	1	HU17-17
928.	夾火 谷	1	JU46-28
929.	夾平 並安	1	HU7-12
930.	夾平 並方 又	1	KL9-19
931.	夾平 並半	4	JU18-35, JU13-3, HU17-8, PU19-6
932.	夾平 並本	1	KL11-21
933.	夾平 並為 本	1	JU37-15
934.	夾平 並為 出	2	JU45-36, JU26-20
935.	夾平 并弱	1	JU44-46
936.	夾平 又	2	KL17-17, JU8-42
937.	夾平 只火	1	JU15-59
938.	□夾	1	HU27-3
939.	□□ 夾□	1	JU23-2
940.	康夾	1	KL14-11
941.	夾夾 特	1	JU28-2
942.	夾雨	1	JU20-17
943.	夾百	1	KL27-6
944.	夾卡 中又	1	JU27-45
945.	夾卡 中谷 百	1	JU38-19
946.	夾並 西	1	JU34-53
947.	夾土	6	KL19-15, HU38-19, HU36-12, HU31-33, HU36-37, PU17-22

948.	和土 凡	1	HU4-42
949.	和土 矢	1	KL9-12
950.	和土 女	3	PU12-22, HU8-4, HU14-16
951.	和土 水	5	KL32-1, JU7-17, JU10-45, JU8-28, HU13-18
952.	和土 水女	2	JU7-20, JU31-6
953.	和土 平爻	1	JU38-26
954.	和北	1	HU31-7
955.	和北 谷弱	1	JU28-20
956.	和焚 考	1	KL4-21
957.	和焚 吐	1	JU13-50
958.	和存 □爻 弱	1	KL15-20
959.	和存 为关	1	PU23-12
960.	和存 火伏	1	JU39-37
961.	和存 用	1	HU21-21
962.	和存 火升 弱	1	JU44-42
963.	和东	1	JU12-27
964.	和东 □	1	PU23-17
965.	和东 百券 和	1	JU15-31
966.	和东 百谷	1	KL18-15
967.	和东 百当	1	KL13-2
968.	和东 列爻	1	JU15-26
969.	和谷 北	3	JU18-16, HU17-43, HU1-12



970.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	JU9-7
971.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	KL20-9
972.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	HU30-30
973.	ㄨㄛ	5	HU29-8, HU27-28, HU1-13, JU7-53, JU15-21
974.	ㄨㄛ	3	JU1-17, PU1-22, HU6-35
975.	ㄨㄛ	2	HU16-37, HU17-5
976.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	JU29-15
977.	ㄨㄛ	5	JU23-56, JU26-48, JU14-24, JU26-6, HU25-12
978.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	PU17-29
979.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	3	JU4-55, JU44-26, JU35-24
980.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	3	JU27-41, JU36-43, JU3-27
981.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	JU43-7
982.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	JU37-21
983.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	HU7-10
984.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	3	JU28-7, JU19-52, KL10-3
985.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	HU12-8
986.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	JU31-17
987.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	15	JU7-24, JU31-1, JU36-8, JU9-22, JU35-14, JU10-51, JU3-45, JU42-16, JU26-27, JU31-48, JU3-48, JU5-31, JU26-56, JU41-5, JU2-9
988.	ㄨㄛ	1	JU46-22
989.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	HU4-14
990.	ㄨㄛ	2	KL6-4, HU38-30
991.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	PU15-36
992.	ㄨㄛ ㄨㄛ ㄨㄛ	1	JU37-8

993.	杂化 谷	11	KL7-35, KL5-22, KL1-17, KL19-17, PU15-5, PU5-3, JU45-28, JU32-9, JU39-39, JU7-12, HU1-27
994.	杂化 当	12	JU8-32, JU21-1, JU32-14, JU10-33, JU34-14, JU19-34, JU31- 28, KL8-6, KL6-1, PU13-28, PU11-19, HU14-4
995.	杂化 当和	3	HU2-4, KL2-4, PU2-6
996.	杂分	1	PU3-3
997.	杂余 火	1	KL11-15
998.	杂空 中立 半	1	HU15-33
999.	杂金 和	1	JU24-22
1000.	杂安	3	JU45-10, JU13-47, PU18-9
1001.	杂火	2	JU11-50, JU7-40
1002.	杂火 和	1	PU7-31
1003.	杂火 女	1	JU8-24
1004.	杂背	3	KL4-18, KL19-13, JU31-15
1005.	杂用	1	HU3-3
1006.	杂交 考	2	JU44-15, HU4-41
1007.	杂交 考并 火关	1	JU30-17
1008.	杂交 考谷	3	JU40-2, JU45-35, PU20-11
1009.	杂交 存及 弱矢	1	HU14-2
1010.	杂交 欠伏	1	JU11-20
1011.	杂交 化	1	JU30-34
1012.	杂亦	1	JU29-8
1013.	杂几	1	JU15-53
1014.	杂几 过和	1	HU11-42
1015.	杂几 和	4	PU13-5, PU5-30, JU13-33, HU1-16
1016.	杂牙 存	1	JU30-5

1017.	和斗力	2	KL21-14, PU2-22
1018.	和关香	15	JU31-29, JU25-37, JU46-10, JU9-6, JU12-19, JU27-4, KL20-7, KL8-19, KL24-6, KL18-25, KL10-27, PU20-35, PU17-21, HU30-13, HU23-23
1019.	和关香和	2	JU18-13, KL16-15
1020.	和关香矢	2	KL14-16, JU36-34
1021.	和关香空又	1	JU38-45
1022.	和关香空申	3	KL13-20, HU9-40, HU22-31
1023.	和关香空付又	3	JU37-3, JU2-4, HU19-31
1024.	和关香空付伏	7	JU12-32, JU8-3, JU43-32, JU40-30, JU9-2, HU36-20, HU19-9
1025.	和关香空	2	JU31-16, JU8-40
1026.	和空	21	JU8-9, JU35-30, JU26-4, JU24-65, JU11-2, KL15-25, KL9-30, KL31-9, HU23-21, HU22-40, HU18-23, HU22-21, HU24-11, HU36-13, HU10-5, HU37-1, HU2-22, HU6-1, HU1-31, PU25-6, PU22-6
1027.	和空	1	HU10-44
1028.	和水	1	JU41-35
1029.	和空比	5	JU1-26, KL1-16, KL15-2, PU1-11, HU17-34
1030.	□和空券	1	JU46-20
1031.	和当	6	JU33-41, JU14-50, JU8-53, HU29-12, HU27-7, PU23-10
1032.	和考空安	2	JU18-47, JU17-62
1033.	和考空支	2	JU24-17, JU24-8
1034.	和考空火	3	JU23-9, HU10-19, HU28-33
1035.	和考空欠安	1	PU10-17
1036.	和考空余安	1	JU20-5
1037.	和平空出	1	KL9-9

1038.	夨	1	KL24-4
1039.	包	17	PU15-4, PU23-3, PU13-14, PU10-22, PU9-28, PU4-38, JU35-26, JU22-1, JU35-39, JU10-20, JU38-16, JU33-34, JU39-34, KL17-11, HU29-11, HU9-17, HU39-1
1040.	包	2	PU14-36, PU14-32
1041.	反方 並方 方	1	HU39-5
1042.	反为 出	1	HU32-22
1043.	反今	1	KL26-5
1044.	久並 丰	1	HU30-31
1045.	久並 丰 並丰	1	JU18-17
1046.	久並 丰	5	KL28-19, KL21-10, JU14-2, PU22-11, PU17-41
1047.	久並 丰 关	1	HU13-43
1048.	□□ 久伏	1	PU14-10
1049.	久丹 矢	1	HU24-27
1050.	久	1	PC1-10
1051.	久局	1	PU18-6
1052.	久平	2	HU13-7, HU14-5
1053.	久平 伏	2	PU16-16, PU5-9
1054.	久丰	1	JU12-9
1055.	冬丰	7	JU19-57, JU18-54, JU16-18, JU38-15, PU15-27, PU8-14, HU18-29
1056.	冬由 丹 火	1	HU10-21
1057.	列列 为出	1	JU16-43
1058.	列欠	1	KL14-1
1059.	列为 出	1	JU28-12
1060.	列空	8	KL1-6, KL2-12, HU1-5, JU10-25, JU31-55, JU33-5, KC2-1, PU7-18
1061.	列	1	HU2-14
1062.	几	47	JU2-16, JU29-65, JU12-29, JU27-53, JU33-2, JU17-45, JU22-30, JU7-37, JU37-23, JU30-42, JU13-39, JU23-40, JU41-20, JU44-44, JU30-20, JU23-70, JU17-30, PU16-8, PU21-5, PU14-

			19, PU23-29, PU17-36, PU7-27, PU7-15, PU8-29, KL5-4, KL17-27, KL18-16, KL2-24, KL31-5, KL31-7, KL4-20, KL7-10, HU24-12, HU30-2, HU26-17, HU34-14, HU30-20, HU13-35, HU36-10, HU18-9, HU36-30, HU15-13, HU9-28, HU27-31, HU2-16, HU2-23
1063.	几卡	13	PU5-28, PU6-6, PU9-3, PU7-2, KL20-10, KL9-27, KL2-10, HU11-9, HU7-21, HU15-31, HU11-22, HU10-1, HU3-19
1064.	几卡 只安	1	HU22-35
1065.	几火 安	1	HU31-34
1066.	几水	2	HU19-15, HU10-23
1067.	几水 安	1	HU4-28
1068.	几平 关	3	HU19-14, HU10-26, HU15-15
1069.	几平 谷谷	1	JU6-46
1070.	几只 卡	3	KL9-5, KL2-29, HU2-17
1071.	几只 尼	2	JU36-14, KL11-2
1072.	几只 页	1	HU12-25
1073.	几只 女	31	KL13-21, KL14-3, KL13-26, KL13-16, KL11-17, JU26-17, JU21-56, JU40-39, JU10-4, JU6-50, JU23-57, JU8-51, JU26-45, JU11-38, JU9-36, JU17-50, JU24-41, PU21-13, PU19-36, HU17-32, HU7-16, HU23-26, HU16-22, HU22-12, HU21-35, HU21-24, HU17-28, HU16-42, HU20-38, HU36-24, HU34-4
1074.	几只 平中 谷页	1	HU25-31
1075.	几只 平关	2	KL11-16, HU23-35
1076.	尼	1	PU8-26
1077.	尼	27	JU6-15, JU7-19, JU10-44, JU29-14, JU8-22, JU8-20, JU7-16, JU29-10, JU4-39, JU34-26, JU32-56, JU32-39, JU8-27, JU10-8, JU31-5, JU34-37, KL4-4, KL6-23, PU12-17, PU10-29, PU4-25, PU4-28, HU8-41, HU7-7, HU10-11, HU7-37, HU9-30
1078.	尼和	9	JU35-5, JU21-25, JU22-13, JU32-25, JU32-8, JU7-27, KL4-14, HU11-6, HU28-14
1079.	尼和	1	HU18-38
1080.	凤	2	HU25-39, HU10-28
1081.	屋为 出	1	HU26-38
1082.	屋	1	JU19-26

1083.	乃	1	JU10-22
1084.	乃列 为	1	JU34-34
1085.	乃今	2	JU15-2, JU16-57
1086.	乃谷	1	JU35-51
1087.	乃	4	JU33-27, KL17-16, HU39-27, HU39-12
1088.	乃升 及雨 矢	1	HU25-20
1089.	反	1	PC1-4
1090.	反□	1	PU13-1
1091.	□反	3	JU46-39, JU46-47, PU10-38
1092.	反币 北	1	JU16-14
1093.	反北	3	HU5-10, HU4-12, JU13-10
1094.	反谷	21	PU9-13, PU9-5, PU6-9, JU18-23, JU18-3, JU12-47, JU26-61, JU23-19, JU14-34, JU24-53, JU44-5, HU17-18, HU13-5, HU20- 29, HU34-26, HU24-19, HU20-2, HU11-24, HU11-35, HU5-5, KL9-7
1095.	反谷 爻	1	JU36-45
1096.	反谷 谷	1	JU46-11
1097.	反子	1	JU18-22
1098.	反子 □	1	PU18-1
1099.	反子 重牛	4	JU38-28, JU14-3, KL26-18, HU30-32
1100.	反子 重牛	1	HU11-11
1101.	反子 重为 牛	1	JU26-49
1102.	反子 重为 出	1	PU22-12
1103.	反子 重为 艾	2	JU35-13, KL21-11
1104.	反子 爻	4	KL10-6, JU16-48, JU3-14, PU2-29
1105.	反子 列	2	KL28-20, HU5-11
1106.	反子 伏	1	JU4-52

1107.	反企 峇朥	1	KL6-15
1108.	反企 峇	1	JU22-58
1109.	反雨	3	JU45-6, JU17-10, PU16-23
1110.	反发 北	1	JU17-25
1111.	反	5	JU38-25, HU18-7, HU20-25, HU17-14, HU35-1
1112.	□州	1	JU45-54
1113.	州井 药	1	HU8-27
1114.	州井 平列 火	1	JU41-36
1115.	州欠	9	PU6-42, PU7-20, KL4-26, KL7-16, JU14-45, JU33-7, HU25-4, HU28-26, HU24-9
1116.	州中 立冬 北	1	JU22-18
1117.	□为	1	JU25-48
1118.	反为 □	1	KL27-8
1119.	□为 采	1	PU1-19
1120.	为立 为方	3	JU19-36, JU20-61, KL10-18
1121.	为方	4	JU33-31, HU10-4, HU32-9, HU27-6
1122.	为方	1	HU19-39
1123.	为方 立方	1	JU43-19
1124.	为方 立冬	1	JU26-52
1125.	为方 列	6	KL18-21, JU24-46, HU30-24, HU12-28, HU15-3, PU17-25
1126.	为方 中反	1	PU9-40
1127.	为东	1	JU29-20
1128.	□为 东伏	1	HU25-36
1129.	为东 中□	1	HU27-26
1130.	为东 中反	4	JU17-3, JU19-46, JU19-7, JU20-30

1131.	为 中	15	HU8-21, HU13-42, HU12-18, HU4-36, JU34-48, JU22-15, JU36-22, JU5-47, JU10-37, JU25-23, JU7-52, JU4-14, JU16-5, JU25-54, JU12-50
1132.	为 中 中 列	1	KL11-1
1133.	为 中 中 谷	2	HU14-11, HU30-14
1134.	为 中 尺 弱	1	JU28-19
1135.	为 本	10	KL32-8, JU17-42, JU37-7, JU8-55, JU44-2, HU12-1, HU34-20, HU14-7, HU19-30, PU21-12
1136.	<input type="checkbox"/> 为 本	1	HU35-29
1137.	为 本 北	1	KL23-12
1138.	为 本 和	1	JU28-28
1139.	为 本 又	3	JU32-18, KL24-20, HU14-36
1140.	为 本 谷	2	PU21-9, PU21-23
1141.	为 乃	1	HU38-34
1142.	为 乃 伏	2	JU25-14, JU8-39
1143.	为 朱	1	JU23-64
1144.	为 <input type="checkbox"/> 中 又	1	PU10-21
1145.	为 圣 方	1	KL26-10
1146.	屈 为 火	1	JU43-18
1147.	为 出	11	KL6-13, KL12-4, KL6-10, JU43-9, JU10-16, JU40-40, PU10-35, PU22-21, PU21-39, PU21-15, PU11-36
1148.	<input type="checkbox"/> 为 出	1	JU21-17
1149.	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 为 出	1	KL3-33
1150.	屈 为 出	2	KL5-12, HU27-22
1151.	为 出 列	1	JU23-69
1152.	为 并 中	1	HU19-35
1153.	为 并 谷	1	HU23-5



1154.	为升 中 方 列	1	JU39-33
1155.	为升 中 升 药	1	JU44-38
1156.	为艾	7	JU20-65, JU17-13, JU28-36, HU14-18, HU20-28, PU12-2, PU11-16
1157.	岳为 艾	1	KL32-3
1158.	刳	1	KL25-19
1159.	刳采	1	JU35-11
1160.	丸	4	KL7-4, JU11-54, JU27-54, JU38-2
1161.	丸平 彖 火	1	KL14-13
1162.	丸平 尺 火	1	PU12-6
1163.	丸	1	PU3-21
1164.	丸东	3	JU9-39, HU34-11, HU37-14
1165.	丸东 存 今 比	1	JU16-9
1166.	丸东 关	2	JU46-3, JU10-52
1167.	丸艾	1	JU33-35
1168.	空	3	JU23-29, KL24-27, HU34-29
1169.	午	5	JU29-58, JU24-57, HU6-28, HU4-1, HU4-16
1170.	午和	1	HU8-10
1171.	午列	1	KL32-7
1172.	午列 方 列	1	HU5-2
1173.	午列 丰	2	KL27-9, HU4-40
1174.	午列 丰 及 药	1	JU38-22
1175.	午列 火	1	HU13-16
1176.	午今 谷	6	KL22-27, JU28-10, HU16-24, HU18-11, PU20-4, PU24-13
1177.	午金	1	KL3-23
1178.	午金 谷	1	JU6-57
1179.	生	15	KL7-34, KL2-20, KL3-2, KL3-20, KL20-3, KL3-26, KL20-27, KL3-8, KL3-14, JU4-5, JU4-19, JU3-41, JU4-30, JU3-52, HU3-8

1180.	全列	1	PU8-8
1181.	全用 並力 出	1	PU19-26
1182.	劣	2	PU23-20, HU38-26
1183.	劣卡	2	HU36-23, HU23-19
1184.	劣安 中	4	PU14-4, PU6-41, HU8-37, HU16-17
1185.	劣安 付又	1	JU29-50
1186.	劣凡	1	JU32-35
1187.	劣火	5	PU4-19, PU5-11, JU13-7, JU15-12, HU17-4
1188.	矢込 井及 雨	1	KL13-8
1189.	矢込 井及 州	1	HU22-20
1190.	□□ 矢	2	KL9-22, PU9-15
1191.	矢	4	JU40-25, JU45-23, JU21-31, HU20-13
1192.	矢突	3	HU10-24, HU38-18, HU19-16
1193.	矢赤	1	JU22-31
1194.	矢	3	JU45-16, KL5-27, HU38-36
1195.	尔安	2	JU38-13, JU27-24
1196.	尔仄	3	JU40-4, HU38-1, HU23-32
1197.	尔仄 本关	1	HU7-15
1198.	尔化 井火	1	JU42-47
1199.	尔化 中並 力本	1	JU18-42
1200.	尔火	17	PU6-19, PU5-17, KL7-13, KL7-25, JU32-52, JU10-24, JU31-54, JU33-14, JU32-16, JU10-35, JU31-12, JU34-35, JU32-22, JU33-4, HU27-33, HU27-20, HU30-4
1201.	尔火 相	1	KL17-30
1202.	尔中	1	JU30-33
1203.	尔丹	1	HU7-14
1204.	ㄥ	6	PU6-11, JU35-17, JU33-33, HU10-17, HU29-36, HU28-5
1205.	ㄥ 相	1	HU37-17

1206.	ㄣ ㄩ ㄉ ㄉ	1	JU37-19
1207.	ㄣ ㄨ	2	HU11-8, HU11-15
1208.	ㄣ ㄨ	7	KL17-5, JU6-7, HU8-31, HU34-21, HU17-19, HU17-13, HU20-36
1209.	ㄣ ㄩ	1	PU1-23
1210.	ㄣ ㄩ ㄨ	4	KL3-22, KL21-2, HU3-33, HU6-2
1211.	ㄣ ㄩ ㄉ	1	JU35-12
1212.	ㄣ ㄩ □ ㄨ	1	KL2-31
1213.	ㄣ ㄩ ㄨ	1	JU4-33
1214.	ㄣ ㄨ	1	JU15-38
1215.	ㄣ ㄨ	1	JU42-8
1216.	ㄣ ㄩ ㄉ ㄉ	1	JU18-52
1217.	ㄣ	18	KL19-11, KL21-17, KL28-17, JU31-20, JU21-42, JU12-60, JU25-33, JU38-49, JU15-52, JU37-49, HU37-10, HU19-11, HU12-14, HU34-24, HU11-25, HU36-1, HU10-34, HU23-2
1218.	ㄣ ㄨ	2	JU11-29, JU11-42
1219.	ㄣ ㄩ ㄨ	1	PU5-25
1220.	ㄣ ㄨ ㄨ	1	KL18-12
1221.	ㄣ ㄨ ㄨ	1	JU37-44
1222.	ㄣ ㄨ ㄨ	1	JU27-32
1223.	ㄣ ㄩ ㄩ ㄩ	1	HU14-34
1224.	ㄣ ㄨ ㄨ	1	JU29-27
1225.	ㄣ ㄨ ㄨ	1	JU46-4
1226.	ㄣ ㄨ	1	JU37-26
1227.	ㄣ ㄩ ㄨ ㄨ ㄨ	1	JU35-20
1228.	ㄣ ㄨ	1	JU25-58
1229.	ㄣ	1	JU43-33
1230.	ㄣ ㄩ ㄨ ㄨ	1	JU42-6

1231.	行州	1	KL29-23
1232.	行发	3	KL24-7, JU41-46, HU32-23
1233.	伏丑 冬	1	JU45-5
1234.	伏艮	1	PU9-14
1235.	伏艮 全冬	4	KL18-22, JU33-37, HU38-15, PU22-19
1236.	伏艮 全冬 冬	1	KL20-13
1237.	伏升 亥	1	JU24-58
1238.	伏升 化	1	JU28-23
1239.	伏秀	3	JU36-29, PU8-11, HU18-37
1240.	伏秀 全	1	HU39-22
1241.	伏本	1	JU45-4
1242.	伏本 余伏	1	PU4-34
1243.	伏本 只火	1	PU23-5
1244.	伏夬	1	JU27-34
1245.	□伏 刃火	1	JU46-36
1246.	伏夬 余	1	PU5-16
1247.	伏为	1	HU29-34
1248.	伏欠 子	1	PU24-24
1249.	伏冬 全冬	1	KL23-17
1250.	伏行 欠	1	KL25-21
1251.	伏行 欠伏	1	KL7-24
1252.	伏行 余	1	PU2-12
1253.	伏余 丰	1	PU24-18
1254.	伏余 子	1	KL29-6
1255.	伏介 扎	2	HU4-2, HU4-17

1256.	伏介 安	4	PU3-30, PU4-13, PU2-25, JU2-21
1257.	伏介 亥	1	HU8-14
1258.	伏介 北	1	HU14-24
1259.	伏介 安	1	HU6-29
1260.	伏介 升及 雨	1	HU35-22
1261.	伏介 只 央	3	KL13-9, PU17-40, PU20-3
1262.	伏介 芬	2	JU37-16, HU11-40
1263.	伏介 芬	1	KL2-27
1264.	伏介 芬 爻	1	HU27-14
1265.	伏介 芬 爻	2	JU34-33, KL7-3
1266.	伏介 只 北	1	HU8-9
1267.	伏介 只 安	1	HU2-11
1268.	伏介 只 雨	1	HU30-27
1269.	仕介 爻	1	JU15-39
1270.	仕介 公	1	HU39-24
1271.	仕介 北 及	2	HU9-12, PU17-4
1272.	仕介 爻 弱	7	JU21-47, JU30-8, JU19-53, KL25-11, HU17-27, HU16-41, HU20-37
1273.	仕介 爻 弱 全	1	HU34-23
1274.	仕介 爻 弱 全 芬	1	JU39-35
1275.	仕介 中 几	1	JU3-15
1276.	付	4	JU17-36, JU22-17, JU23-31, HU26-2
1277.	付 列	1	JU23-60
1278.	付 雨	1	JU5-50
1279.	仲	3	KL14-6, JU39-20, HU39-19
1280.	仲 公	1	JU20-43

1281.	俾公 相	1	JU28-41
1282.	俾当	1	JU29-43
1283.	俾	22	JU9-46, JU30-6, JU25-36, JU17-33, JU23-3, JU9-16, JU25-49, JU3-31, JU41-10, JU29-21, JU17-40, JU23-62, JU29-31, JU24-2, JU3-33, JU14-12, KL26-6, PU12-8, PU3-13, HU15-14, HU11-18, HU31-15
1284.	俾久 伏	1	KL22-8
1285.	俾全	1	JU25-40
1286.	俾几	7	JU36-51, JU39-25, JU38-35, JU24-47, JU42-9, JU37-35, HU25-34
1287.	俾	1	KL24-16
1288.	俾立 亦	1	HU30-12
1289.	俾方 及弱	2	JU21-48, JU19-54
1290.	俾方 中	1	JU27-35
1291.	俾方 中相	1	JU15-40
1292.	俾本	2	KL22-19, KL24-28
1293.	俾及	1	HU17-35
1294.	俾及 本	1	HU15-27
1295.	俾久	1	JU44-39
1296.	俾久 中只 □相	1	HU23-20
1297.	俾乃 久	3	JU20-32, JU16-33, JU18-6
1298.	俾久	1	JU8-18
1299.	俾久 相	2	JU20-35, HU37-25
1300.	俾本	1	HU34-30
1301.	俾立 天	1	JU15-17
1302.	俾中 中	1	JU36-28
1303.	俾天	1	PU1-18
1304.	俾方 立为 出	1	KL25-24

1305.	伙中 升弱	1	KL21-27
1306.	伙中 爻	1	JU42-13
1307.	伙坐	1	JU27-28
1308.	伙	2	JU6-38, KL12-2
1309.	伙百	2	JU5-12, JU3-20
1310.	伙矢	1	JU28-59
1311.	伙中 伏	1	JU35-23
1312.	伙关	2	HU11-21, HU4-35
1313.	伙谷	1	KL16-21
1314.	伙	1	HU38-6
1315.	伙卡	10	JU3-56, JU4-47, JU35-15, JU33-20, JU32-42, JU34-51, JU12-3, JU17-23, JU29-1, JU12-45
1316.	伙卡 矢	3	JU41-40, JU36-24, JU14-17
1317.	伙平 谷百	1	JU12-21
1318.	伙平 谷当	1	JU31-34
1319.	伙爻 中谷 全北	1	HU25-16
1320.	伙爻 中只 弱	1	HU20-4
1321.	伙和	1	HU9-23
1322.	伙爻 中谷 中爻	1	JU36-36
1323.	伙爻 中谷 谷	1	JU43-39
1324.	伙爻 中谷 当	3	JU35-44, JU45-34, JU40-1
1325.	伙爻 中只 弱	1	HU36-3
1326.	伙为	1	PU8-28
1327.	伙中 爻	1	PU9-8
1328.	伙关	2	HU7-23, HU14-26

1329.	仍关 弱	1	HU12-43
1330.	仍谷	4	JU45-43, JU12-42, HU11-44, HU11-29
1331.	化	6	JU13-24, JU17-55, HU5-32, HU2-26, KL21-16, KL16-7
1332.	化立 亦和	1	JU27-2
1333.	化券	1	HU2-20
1334.	化九 和	6	PU2-13, PU2-26, PU3-27, PU3-31, PU3-34, PU4-14
1335.	化关	1	PU23-6
1336.	化反 火	1	JU22-22
1337.	化	5	JU16-3, JU15-14, JU7-50, JU19-14, JU5-28
1338.	化反	1	PU13-23
1339.	化反	1	JU28-52
1340.	化反 火	1	JU45-17
1341.	化券 亦	1	JU10-18
1342.	化中 立亦	3	HU16-25, HU34-8, HU2-30
1343.	化中 伏	4	KL25-22, KL22-26, JU40-21, HU35-17
1344.	化中 九和	1	KL19-2
1345.	化用 立为 出	1	JU8-10
1346.	化用 伏	2	PU18-11, PU20-10
1347.	化关	2	PU19-37, HU34-15
1348.	化谷	2	PU8-22, HU9-19
1349.	化当	9	PU24-5, PU7-37, PU8-32, KL12-9, KL15-16, JU6-17, HU38-23, HU37-13, HU30-38
1350.	化当 和	1	JU6-54
1351.	化	4	JU44-12, JU27-22, JU15-37, HU5-3
1352.	化卡 反	1	JU24-59
1353.	化和	1	KL13-3
1354.	化反	2	JU39-8, HU20-26
1355.	化谷 和	1	JU35-10



1356.	八 谷 谷	1	JU22-20
1357.	宅	17	JU13-42, JU28-61, JU19-58, JU26-24, JU13-30, JU34-3, JU43-40, PU15-9, PU9-1, PU8-17, PU8-20, HU9-16, HU20-17, HU16-9, HU28-30, HU9-10, HU15-34
1358.	宅 包	1	JU35-31
1359.	宅 村	1	JU37-41
1360.	宅 村 及 平	1	KL22-20
1361.	分	14	JU18-5, JU20-6, JU25-52, JU20-59, JU22-37, JU5-25, JU8-35, JU4-34, JU17-63, JU32-41, JU23-42, JU31-8, JU16-32, JU20-31
1362.	分 禾	1	PU10-5
1363.	分 禾 伏	20	JU31-19, JU34-24, JU8-14, JU8-30, JU30-46, JU8-43, JU40-32, JU11-27, KL4-23, KL5-7, PU20-28, PU16-10, PU17-13, PU14-21, PU4-35, PU8-2, PU8-9, PU7-17, HU26-33, HU9-4
1364.	分 禾 伏 和	4	JU33-18, JU31-49, JU42-10, PU17-38
1365.	分 禾 伏 关	1	JU13-57
1366.	分 长 尺 谷	1	PU2-5
1367.	分 长 尺 当	2	PU6-44, PU8-6
1368.	分 长 尺 平 谷 当	1	PU1-21
1369.	分 女	6	KL19-4, PU2-2, PU1-7, PU6-17, JU32-58, PC2-7
1370.	分 女 及 杏	1	JU32-27
1371.	分 女 及 伏	1	KL4-7
1372.	分 平	1	PU5-1
1373.	分 平 伏	2	PU4-5, PU4-32
1374.	余	5	PU10-27, PU4-17, PU8-24, PU8-5, PU7-24
1375.	余 女	3	PU20-9, PU20-30, PU18-23
1376.	矣	30	HU9-8, HU18-19, HU6-16, HU21-30, HU6-20, HU34-10, HU21-40, HU16-20, HU7-18, HU4-23, HU1-14, HU3-16, HU5-33, HU5-29, JU13-28, JU3-16, JU2-47, JU20-46, JU3-1, JU19-56, JU16-17, JU20-9, JU18-53, PU16-33, PU12-27, PU2-30, PU2-14, PU8-13, KL22-6, PC1-1
1377.	全 雨	5	JU19-40, JU13-36, JU20-51, KL7-18, HU29-17
1378.	全 雨 和	1	JU13-8

1379.	全杏	3	JU29-47, KL11-8, PU9-30
1380.	全土 北	2	JU36-3, JU39-12
1381.	全土 安又	1	KL29-21
1382.	全考 来	3	JU2-17, JU2-13, JU7-33
1383.	全扎 立方 列	1	KL13-12
1384.	全扎 立半	1	KL13-11
1385.	全扎 立为 半	1	HU10-22
1386.	全扎 升弱	1	JU15-36
1387.	全焚 女	2	JU37-46, JU11-44
1388.	全焚 迎	1	JU25-3
1389.	全存 又	2	JU44-35, HU31-25
1390.	全存 全	2	HU18-10, PU13-4
1391.	全升 安当	1	KL29-24
1392.	全升 火中 列	1	JU40-33
1393.	全升 平又	6	KL23-13, KL20-11, KL26-12, JU36-23, JU30-4, HU39-25
1394.	全升 平又 谷	1	JU34-52
1395.	全升 平全	1	KL18-1
1396.	全尤	7	KL13-14, JU7-8, JU31-27, JU37-12, JU22-55, HU15-40, HU18-21
1397.	全尤 矢	2	HU5-7, JU21-52
1398.	全尤 化	1	HU37-9
1399.	全尤 化谷 谷	1	HU29-20
1400.	全方 安又	1	HU37-27

1401.	全 <input type="checkbox"/> 列 火 关	1	KL10-13
1402.	全 大	1	PU10-19
1403.	全 奈	2	JU45-1, HU20-9
1404.	全 <input type="checkbox"/> 奈 <input type="checkbox"/> 火	1	KL12-28
1405.	全 中	2	JU44-20, HU10-31
1406.	全 中 立 亦 奈	1	JU46-29
1407.	全 中 相	2	HU5-21, JU29-17
1408.	全 中 伏 奈	2	JU29-37, JU29-6
1409.	全 及 矢	1	HU18-20
1410.	全 相	4	PU10-8, PU7-6, JU20-26, HU12-2
1411.	全 相 <input type="checkbox"/>	1	PU7-16
1412.	全 相 相	4	KL16-19, JU25-67, HU15-17, HU13-17
1413.	全 又	1	HU20-7
1414.	全 又 由	1	PU13-18
1415.	全 又 凡 又	1	JU42-25
1416.	全 又 凡 中 奈 奈	1	JU36-18
1417.	全 央 欠	2	KL3-29, JU45-3
1418.	全 欠 凡 万	1	HU34-18
1419.	全 冬 付 又	1	JU32-31
1420.	全 各 女	6	PU5-36, PU5-33, PU5-23, HU8-11, HU13-39, HU7-31
1421.	全 用	1	KL32-6
1422.	全 乃 <input type="checkbox"/> 立 方 列	1	KL12-11
1423.	全 乃 <input type="checkbox"/> 立 方 方	1	KL16-22

1424.	全反	2	JU1-7, JU21-3
1425.	全反 子立 本	1	JU23-59
1426.	全州 立为 谷	1	PU9-17
1427.	全州 升火 当	1	HU18-25
1428.	全为	1	JU5-26
1429.	全为 立方	1	JU24-54
1430.	全为 立为 方	1	JU12-58
1431.	全为 方立 平	1	JU15-25
1432.	全为 方列 夹	1	KL24-18
1433.	全为 方列 火关	1	JU23-32
1434.	全为 方列 谷	1	JU42-45
1435.	全为 立立 为本	1	KL27-10
1436.	全为 平	5	JU6-10, JU28-44, KL17-6, KL12-29, PU6-37
1437.	全为 本	3	JU23-5, HU35-20, HU30-28
1438.	全为 乃	3	PU4-20, JU4-22, JU18-9
1439.	全为 艾	1	JU28-57
1440.	全生	1	JU40-35
1441.	全生 坐列 药	1	HU5-13
1442.	全生 反扎	2	HU6-17, HU3-17
1443.	全生 反雨	1	PU6-25

1444.	全生 全北	1	JU16-21
1445.	全生 火	1	HU16-44
1446.	全生 茶□	1	PU14-6
1447.	全生 尘升 及扎	1	KL14-30
1448.	全尔 及雨	3	HU31-27, HU9-26, HU35-26
1449.	全住	1	HU37-5
1450.	全住 关	1	PU11-35
1451.	全空	1	JU28-51
1452.	全金 北	5	JU14-18, JU28-67, JU29-26, KL17-1, PU11-38
1453.	全金 北茶	5	JU6-12, PU14-3, PU12-9, PU7-12, KL17-21
1454.	全金 茶火	1	KL23-22
1455.	全金 茶水	1	PU14-5
1456.	全中 国	1	JU46-18
1457.	全中 村	4	KL11-10, KL28-6, PU16-37, HU29-28
1458.	全茶	1	KL14-10
1459.	全刘 页	1	HU19-25
1460.	全用	1	JU10-47
1461.	全用 和	1	JU5-49
1462.	全村 伏	1	JU29-28
1463.	全村	2	JU38-21, HU23-11
1464.	全村 百全 北	1	JU11-25
1465.	全村 百关	1	JU13-58
1466.	全村	16	PU13-10, PU15-40, PU6-27, KL7-22, KL31-3, JU21-8, JU17-58, JU33-11, JU19-17, JU5-19, JU8-37, JU1-12, JU15-6, JU4-40, HU8-23, HU1-19

1467.	全辟安	1	JU38-32
1468.	全雨欠	1	HU9-22
1469.	全雨余	1	PU8-27
1470.	全文	9	KL5-32, KL5-6, KL4-28, KL5-28, JU10-50, HU9-3, HU27-17, HU26-32, PU13-22
1471.	全文劣	1	JU24-56
1472.	全文圣	1	JU19-24
1473.	全关	7	JU24-33, JU16-51, JU20-54, HU28-28, HU30-10, HU1-30, PU9-37
1474.	全关伏	3	JU10-7, JU7-18, JU7-13
1475.	全关同	1	PU13-19
1476.	全太	4	JU16-7, JU19-2, JU13-18, HU5-14
1477.	全口券	1	PU14-1
1478.	全谷	2	JU20-20, HU32-7
1479.	全出	7	JU4-42, JU38-39, JU5-41, JU4-44, JU19-50, HU3-37, HU4-30
1480.	全出弱	3	JU10-56, JU45-48, HU18-26
1481.	全出弱谷	1	JU6-42
1482.	全出弱	1	HU21-28
1483.	全出女	1	HU3-39
1484.	全考	3	JU8-12, JU15-5, HU16-33
1485.	全考交	4	KL29-11, KL28-11, PU16-38, HU29-37
1486.	全平升火	1	HU19-28
1487.	全升中当	1	JU46-24
1488.	全分升及雨	2	HU29-24, PU9-19
1489.	全分升平直本	1	PU2-31

1490.	令分 中立 本	1	HU20-40
1491.	令升 □	1	HU25-24
1492.	□余	1	JU26-5
1493.	令	4	HU8-19, HU36-27, HU36-7, HU15-42
1494.	令币 立亦	3	JU31-30, JU12-20, KL8-20
1495.	令币 立本	4	JU8-56, JU33-29, JU27-29, HU26-11
1496.	令币 立本 和	1	PU19-17
1497.	令币 关	1	PU4-11
1498.	令丙	2	KL25-10, JU42-34
1499.	令丙 页	1	HU24-18
1500.	令丙 升 谷	1	JU45-55
1501.	令丙 刃	13	JU44-51, JU6-47, PU6-30, PU8-39, KL28-2, KL17-8, HU34-16, HU37-28, HU6-9, HU13-31, HU21-26, HU35-4, HU15-23
1502.	令丙 刃 伏	1	JU26-33
1503.	令丙 伏	1	HU28-11
1504.	令丙 谷	1	HU21-38
1505.	令丙	1	PU12-14
1506.	令丙 立 本	1	PU14-22
1507.	令丙 斗 存 关	2	HU8-15, HU3-24
1508.	令庚 中 爻 弱	1	JU33-46
1509.	令庚 中 爻 弱	1	PU22-3
1510.	令庚 中 谷 丙	4	JU43-16, KL16-26, KL16-18, PU22-18
1511.	令庚 中 谷 北	1	KL25-17

1512.	令 夾 关	1	JU24-36
1513.	令 夫 爻 关	1	KL14-23
1514.	令 夫 列	2	PU5-13, PU5-5
1515.	令 扎 矢	1	HU12-36
1516.	令 旁	3	JU19-21, JU26-29, JU15-10
1517.	令 安	3	HU7-32, HU3-25, PU12-4
1518.	令 安 中 峇 伏	1	JU40-6
1519.	令 安 爻 灼	1	PU24-1
1520.	令 安 中 峇 伏	1	JU45-39
1521.	令 安 爻 灼	1	HU34-7
1522.	令 安 爻 灼	1	HU38-27
1523.	令 东 爻	1	KL7-21
1524.	令 东 及 扎	2	KL3-12, JU3-50
1525.	令 东 及 雨	1	JU32-49
1526.	令 与	1	HU11-30
1527.	令 大	1	PU5-24
1528.	令 泰	1	PU23-16
1529.	令 泰 □	1	PU9-39
1530.	令 泰 今	3	PU3-28, PU2-23, HU2-9
1531.	令 泰 当	1	HU23-8
1532.	令 泰 爻	1	HU24-39
1533.	令 泰 爻	1	HU15-35
1534.	令 泰 中 泰 百	1	HU5-19



1535.	令 忝 忝 忝	1	HU32-4
1536.	令 忝 忝 忝	1	HU18-12
1537.	令 忝	1	HU24-26
1538.	令 忝 忝	1	JU13-12
1539.	令 忝 忝	1	HU10-8
1540.	令 忝	5	JU10-55, JU41-41, JU38-50, JU45-20, JU38-38
1541.	令 忝 忝	1	PU23-18
1542.	令 忝 忝	1	JU38-27
1543.	令 忝 忝	1	JU30-25
1544.	令 忝 忝	1	KL20-25
1545.	令 忝 忝	2	HU30-25, HU39-16
1546.	令 忝	5	JU23-53, JU43-22, KL27-12, HU33-10, HU21-19
1547.	令 忝 忝	1	JU46-35
1548.	令 忝 忝	2	KL28-12, PU16-39
1549.	令 忝	4	JU5-38, JU16-39, HU7-36, HU8-5
1550.	令 忝 忝	1	KL4-8
1551.	令 忝 忝	4	JU25-29, KL8-12, KL13-15, HU20-11
1552.	令 忝 忝	7	JU45-46, JU19-27, JU30-28, JU29-34, JU13-6, PU24-12, HU31-32
1553.	令 忝 忝	1	JU44-16
1554.	令 忝 忝	3	KL16-17, JU11-17, JU41-48
1555.	令 忝 忝	1	JU27-23
1556.	令 忝 忝	1	JU12-23
1557.	令 忝 忝	1	JU6-3

1558.	令生 百爻	1	KL11-22
1559.	令生 百伏 爻 关	1	JU40-10
1560.	令生 百关	5	JU15-20, HU17-37, HU16-28, HU16-40, HU20-16
1561.	令生 百谷	3	JU30-1, JU42-18, JU33-10
1562.	令生 百当	7	JU40-24, JU5-15, PU14-20, PU17-37, PU19-33, HU22-37, HU27-2
1563.	令生 □直 为方	1	HU24-21
1564.	令生 方直 本	1	JU37-30
1565.	令生 方直 本	1	JU12-31
1566.	令生 方直 为半	1	HU10-16
1567.	令生 方升 弱	2	JU6-4, KL17-3
1568.	令生 与	1	PU17-26
1569.	令生 为本	1	HU23-25
1570.	令生 半直 本	1	HU25-33
1571.	令伏 空券 火关	1	KL15-22
1572.	令住 冬□ 火	1	HU19-4
1573.	令住 令北	1	HU39-14
1574.	令□ 化相	1	HU4-10
1575.	令化 谷	3	KL3-18, JU4-3, PU3-23
1576.	令余 爻爻	1	JU32-28
1577.	令空	3	HU5-27, JU26-57, JU30-27

1578.	令金 万	2	JU43-2, KL25-7
1579.	令金 万 伏	1	JU45-18
1580.	令金 万 芬	1	KL5-30
1581.	令金 芬 券	1	PU24-2
1582.	令金 芬 券 万	6	JU20-4, JU21-11, JU7-47, JU21-27, JU17-61, HU7-38
1583.	令金 芬 券 万 又	2	JU20-24, HU6-40
1584.	令金 芬 券 当	1	JU35-33
1585.	令金 芬 券 券 券 券	1	KL6-16
1586.	令金 芬 券 万	6	JU16-42, JU15-9, JU16-31, PU13-27, PU8-1, PU7-41
1587.	令金 芬 券 万 又	2	PU12-26, PU4-31
1588.	令金 芬 券 芬	3	PU13-13, PU3-7, JU32-48
1589.	令金 芬 券 当	2	JU5-35, JU4-37
1590.	令金 芬	1	PU10-11
1591.	令金 当	3	KL20-2, KL7-33, PU15-23
1592.	令芬 券 当	1	HU27-19
1593.	令芬 券 当	2	HU2-5, HU1-7
1594.	令芬 券 当 相	1	HU35-15
1595.	令芬 券 券	1	JU8-29
1596.	令芬 券 由	1	HU19-33

1597.	令 小 峇 及 弱 和	1	KL26-13
1598.	令 小 峇 欠	1	HU13-13
1599.	令 小 峇 当	2	KL6-2, KL19-19
1600.	令 小 峇 当 和	2	KL23-7, KL16-8
1601.	令 圣 茶	2	JU5-1, PU20-6
1602.	令 圣 茶 欠	1	HU25-29
1603.	令 么 尔	1	HU4-37
1604.	令 么 火	1	HU7-8
1605.	令 业	1	HU26-1
1606.	令 业 由 业 半	1	KL23-19
1607.	令 业 欠	1	JU44-49
1608.	令 用 峇	1	PU3-19
1609.	令 用 当	4	PU2-11, KL19-25, KL4-35, JU7-32
1610.	令 □ 符 峇	1	JU18-51
1611.	令 升 关	1	JU22-27
1612.	令 文 考	2	JU22-12, HU3-4
1613.	令 文 考 和	1	JU23-18
1614.	令 文 考 全	1	HU4-20
1615.	令 文 存 全	1	HU39-3
1616.	令 文 劣	1	JU24-51
1617.	令 斗	2	HU6-12, HU14-8
1618.	令 关 全	1	HU19-7
1619.	令 火	4	JU20-10, JU20-47, HU12-32, HU4-18

1620.	令火坐	1	HU16-2
1621.	令火	4	JU20-62, JU21-13, JU19-23, JU13-35
1622.	令谷万	1	JU4-36
1623.	令谷又	1	PU18-33
1624.	令谷中只弱	1	JU33-38
1625.	令谷中又	1	PU6-13
1626.	令谷谷	4	KL24-3, KL17-22, PU20-18, PU7-13
1627.	令谷和	1	KL19-9
1628.	令谷当	6	JU42-21, PU16-5, PU20-5, PU19-31, PU15-33, PU19-23
1629.	令火口	1	HU11-14
1630.	令号	1	PU25-4
1631.	令号分	2	HU1-2, JU1-2
1632.	令平安	1	JU42-37
1633.	令平安火	1	HU4-38
1634.	令平安谷	1	HU4-8
1635.	令平安当	1	JU5-14
1636.	令平安只北	2	JU15-35, JU25-31
1637.	令平安只谷	1	JU13-23
1638.	令口只北	1	KL10-22
1639.	令灯关	1	JU26-11
1640.	令灯火	1	JU29-54
1641.	令夫	4	HU31-30, HU29-13, PU16-6, PU15-34
1642.	介	1	JU23-51
1643.	介安	3	HU15-26, HU39-2, PU23-4

1644.	介女	3	JU17-7, JU23-36, HU3-6
1645.	介平 中出	1	HU22-17
1646.	公扎 叉	1	HU37-26
1647.	公存	2	KL29-16, PU21-20
1648.	公存 相	2	JU43-17, KL27-7
1649.	公存 矢	5	KC3-3, KL1-13, JU1-23, JU46-46, JU41-6
1650.	公升 安	1	PU21-10
1651.	公东	1	JU28-54
1652.	公东 列	1	HU38-5
1653.	公东 列相	3	JU7-31, JU3-5, JU43-24
1654.	公泰 升及 扎	1	KL14-2
1655.	公平 走	1	HU5-20
1656.	公平 升火	1	KL11-25
1657.	公平 及 相	1	PU22-4
1658.	公平 和 与 谷	1	HU32-15
1659.	公平 和 中 升 弱	1	JU9-1
1660.	公平 和 中 列	1	HU23-1
1661.	公平 和 中 和	1	HU5-28
1662.	公平 和 谷	5	KL8-21, JU36-32, HU22-32, HU9-41, HU19-32
1663.	公平 和 当	3	HU19-10, HU19-38, HU36-22
1664.	公平 伏 谷	1	PU14-11

1665.	公平 化立 平	2	HU5-8, HU5-4
1666.	公平 化立 勿出	3	JU35-27, JU44-27, KL21-8
1667.	公平 化与	1	HU35-32
1668.	公平 化谷	1	JU10-3
1669.	公平 化与	4	KL15-8, KL14-15, HU19-18, HU23-34
1670.	公平 化列	1	KL26-15
1671.	公平 化与 矢	1	HU24-25
1672.	公平 化	1	JU34-36
1673.	公平	10	HU31-19, HU29-5, HU28-3, HU30-8, HU26-27, HU1-25, PU1-24, JU31-9, JU5-27, KL4-38
1674.	公平 化	1	KL6-6
1675.	公平 化	1	HU30-35
1676.	公平 化	1	HU38-24
1677.	公平 化	1	PU23-15
1678.	公平 化	1	PU20-36
1679.	公平 化	3	HU30-16, HU32-21, HU23-17
1680.	公平	2	JU27-18, JU43-3
1681.	公平 化	12	JU3-40, JU3-51, JU7-36, JU4-4, JU4-18, KL3-7, KL3-13, KL3- 19, KL3-1, KL2-19, KL2-7, HU2-35
1682.	公平 化	2	HU35-2, HU17-15
1683.	公平 化	1	JU2-30
1684.	公平 化	1	JU44-37
1685.	公平 化	1	KL26-26
1686.	公平 化	1	PU21-36

1687.	公冬当	1	HU12-37
1688.	公乃安	3	JU23-15, HU39-7, PU11-31
1689.	公反	2	JU40-31, JU46-14
1690.	公反和	1	JU27-12
1691.	公反反	1	JU21-55
1692.	公介北	1	HU5-17
1693.	公企	1	JU26-50
1694.	公企弱	1	HU23-3
1695.	公企来又	1	HU24-5
1696.	公企来伏	1	KL25-16
1697.	公企仿	1	JU12-15
1698.	公企全	1	HU30-11
1699.	公企火	1	KL14-18
1700.	公么尼	1	JU31-33
1701.	公关勺	1	HU22-29
1702.	公关勺	8	JU12-48, KL16-2, KL9-10, KL22-29, PU9-6, HU15-11, HU18-27, HU11-33
1703.	公化来	1	JU7-11
1704.	公尔矢	1	JU41-2
1705.	公尔全	1	JU25-22
1706.	公田	1	PU21-29
1707.	□公	2	JU3-26, PU13-3
1708.	公雨	1	JU31-23
1709.	公丙当	1	JU31-38
1710.	公卡当	1	JU38-23



1711.	全 卡 几	1	JU33-36
1712.	全 土 页	1	HU37-20
1713.	全 存 力	1	JU2-20
1714.	全 泰 今	1	JU2-19
1715.	全 券 付	1	JU35-29
1716.	全 中	1	JU10-43
1717.	全 爻	1	JU44-22
1718.	全 化 茶	1	JU32-37
1719.	全 圣	1	JU33-40
1720.	全 么 亦	1	JU5-13
1721.	全 么 火	1	JU4-15
1722.	全 业 □	1	JU45-49
1723.	全 用 欠	1	JU3-44
1724.	全 用 当	1	JU32-33
1725.	全 关 勺	1	PU15-1
1726.	全 火	1	KL29-5
1727.	全 卷 茶	2	JU6-13, JU1-6
1728.	全 考 命	2	KL1-2, KC1-2
1729.	□ 全	1	JU27-1
1730.	□ 全 □	1	JU45-45
1731.	全	1	HU14-9
1732.	全	2	HU5-1, PU23-34
1733.	全 和	7	JU35-37, JU17-38, JU32-46, JU9-27, JU22-5, JU19-47, KL9-26
1734.	全 和 茶	1	JU11-1
1735.	全 爻	2	JU18-50, HU21-15
1736.	全 今	1	HU4-39

1737.	企 谷 谷	1	KL15-17
1738.	企 谷 谷	1	PU24-6
1739.	企 谷	1	HU38-9
1740.	企 列	1	JU21-20
1741.	企 谷	3	HU2-34, PU15-11, PU18-28
1742.	企 化	1	JU12-57
1743.	中 丙	10	JU26-31, JU20-56, JU24-19, JU7-15, JU8-21, KL4-29, PU25-5, PU13-24, HU13-20, HU28-12
1744.	中 丙 及	1	HU28-24
1745.	中 丙 伏	2	JU5-24, JU7-25
1746.	□ □ 中 直 平	1	HU12-10
1747.	中 直	1	HU16-36
1748.	中 及 □ □ 火	1	JU28-3
1749.	中 列 夹	1	JU11-32
1750.	□ 中 列 夹	1	HU25-17
1751.	中 夹	1	JU32-51
1752.	中 夹 余 化 谷	1	PU11-34
1753.	中 夹 当	1	JU46-9
1754.	中 为	2	HU30-6, HU28-1
1755.	中 为 夹	1	JU30-43
1756.	中 生	2	JU42-17, HU4-15
1757.	中 生 相	1	KL12-23
1758.	中 生 欠	2	KL10-28, HU6-30
1759.	中 生 仿	1	PU22-7
1760.	中 生 余	1	JU42-2
1761.	中 生	1	HU27-16

1762.	中 丕 列 刃	2	JU19-35, JU19-32
1763.	中 丕 刃	1	HU14-6
1764.	中 丕 才 考	2	JU16-45, JU17-22
1765.	中 么 条	2	JU16-26, JU17-1
1766.	中 火 水	2	JU21-4, JU1-8
1767.	中 用	2	JU10-13, JU30-44
1768.	中 用 和	1	PU4-29
1769.	中 用 火	2	PU4-7, PU4-33
1770.	中 斗	1	JU1-15
1771.	中 斗 升 安 矢	1	JU30-22
1772.	中 斗 全	5	KL26-19, KL25-5, HU38-14, HU14-31, HU18-14
1773.	中 文 考	1	JU8-13
1774.	中 火	2	KL32-4, JU29-7
1775.	中 火 雨	1	JU14-5
1776.	中 出	1	JU13-38
1777.	中 考 存	1	HU9-42
1778.	中 考 文	1	HU29-33
1779.	中 考 谷	1	JU33-25
1780.	火	38	HU26-29, HU7-25, HU10-33, HU10-14, HU18-4, HU26-19, HU24-33, HU12-7, HU12-4, HU12-16, HU20-22, HU21-3, HU5-35, HU4-3, KL15-18, KL11-18, KL6-20, KL13-6, KL6-11, JU25-57, JU12-52, JU15-45, JU34-16, JU30-31, JU18-20, JU19-48, JU46-30, JU5-9, JU38-4, JU19-39, JU16-46, JU20-36, JU40-43, JU36-1, PU19-5, PU11-7, PU19-27, PU24-3
1781.	火 口	1	PU18-3
1782.	口 火	1	KL9-13
1783.	火 万 火	1	JU9-5
1784.	火 焚	1	JU22-4

1785.	火相	3	KL11-11, JU46-17, HU11-38
1786.	火爻	1	JU14-1
1787.	火矢	5	JU14-52, JU7-1, HU13-37, HU13-4, PU19-3
1788.	火矢 关	1	HU15-38
1789.	□火 空 中 爻	1	HU38-8
1790.	火田	3	JU6-41, JU38-14, HU32-25
1791.	火田 伏	1	JU19-51
1792.	火关	5	JU16-11, JU19-29, PU12-12, PU22-9, HU13-26
1793.	火谷	2	HU22-3, PU21-38
1794.	□火 谷	1	PU18-31
1795.	火火 中	1	KL26-7
1796.	火	7	HU7-34, HU3-27, HU3-15, JU7-43, JU9-24, PU10-13, PU13-9
1797.	火相	5	HU3-31, JU11-53, JU20-2, PU7-35, KL4-31
1798.	火矢	1	KL5-32
1799.	安爻	3	JU18-11, JU18-32, PU13-8
1800.	安爻 中 几 相	1	KL11-14
1801.	安爻 关	1	HU32-13
1802.	安爻 谷	1	HU29-4
1803.	安关	1	PU4-18
1804.	安	1	PU14-26
1805.	安 立 为 出	1	PU18-20
1806.	义相	1	JU39-42
1807.	圣	2	JU44-36, PU24-14
1808.	圣□	1	PU17-12
1809.	圣方	1	HU24-15
1810.	圣爻 由	1	HU7-35
1811.	圣化	1	KL23-4
1812.	圣化 由	2	JU16-38, JU5-37

1813.	圣化虫	1	KL18-19
1814.	圣化券	2	JU40-17, JU45-25
1815.	圣公关	1	JU27-6
1816.	圣中伏	1	HU28-21
1817.	圣用	2	JU10-30, JU4-8
1818.	圣坐	1	JU33-50
1819.	圣坐比	1	JU26-47
1820.	圣坐爻	1	JU40-45
1821.	圣坐关	1	HU25-9
1822.	圣	2	JU3-38, PU15-19
1823.	圣方	1	HU25-25
1824.	圣	2	JU3-9, HU23-27
1825.	圣黍列	2	JU23-20, KL11-13
1826.	圣存	1	KL24-13
1827.	圣和	1	JU42-4
1828.	圣和	1	JU44-19
1829.	圣和和	1	HU10-32
1830.	圣公券□	1	JU46-16
1831.	圣斗	1	HU29-30
1832.	女	1	JU44-24
1833.	列为本	1	JU38-29
1834.	□女	1	HU30-40
1835.	□□女	1	JU19-38
1836.	么中□ 中	1	HU26-21
1837.	非	5	JU19-4, JU40-9, KL28-24, HU16-26, HU17-36
1838.	非币 非中	1	JU38-46
1839.	非币 与	1	JU3-10

1840.	扑 扎	1	KL21-9
1841.	扑 扎 相	1	HU10-37
1842.	扑 示	1	KL11-9
1843.	扑 朱	9	JU21-41, JU13-16, JU18-44, JU12-26, JU5-43, JU26-59, KL9-20, HU6-24, HU11-46
1844.	业	2	JU45-41, JU46-5
1845.	业 □	1	KL14-25
1846.	业 万 关	1	PU11-18
1847.	业 相	1	HU36-17
1848.	业 爻	1	HU16-12
1849.	业 谷	1	HU6-13
1850.	叔 万	1	HU31-9
1851.	叔 万 比	1	KL23-25
1852.	叔 比 爻 弱	10	KL9-17, KL22-28, KL22-16, KL22-22, KL25-4, KL25-6, JU40-28, JU39-29, HU21-16, HU22-1
1853.	叔 比 伏	1	JU17-54
1854.	叔 比 九	2	JU9-43, JU2-10
1855.	叔 比 九 相	1	JU25-28
1856.	叔 比 谷 谷	1	JU26-53
1857.	叔 比 尺 弱	1	KL23-5
1858.	叔 比 尺 弱	1	PU20-25
1859.	叔 丰	2	PU4-16, JU17-29
1860.	叔 金	11	JU35-40, JU36-27, JU22-43, JU14-13, JU25-38, JU28-46, JU30-29, JU14-42, JU15-49, JU35-49, PU14-8
1861.	叔 金 九	1	HU12-41
1862.	叔 金 相	1	JU12-53
1863.	叔 金 谷	1	HU14-14
1864.	叔 关	1	JU24-5
1865.	叔 坐 谷	3	JU13-27, JU26-23, JU12-36
1866.	叔 当	4	JU37-4, JU37-39, PU17-10, HU29-41

1867.	上充	4	JU29-38, JU25-9, JU4-53, HU13-2
1868.	上充 □ 壺 □	1	PU18-25
1869.	山	3	KL29-9, HU39-23, HU7-29
1870.	山	2	JU2-48, JU3-2
1871.	生本 壺 卮	1	JU22-11
1872.	生艾	4	JU14-29, JU44-9, HU13-23, HU14-3
1873.	中及	1	JU6-31
1874.	中及	2	JU11-9, HU24-28
1875.	中中 几	5	PU11-4, PU15-38, PU9-12, PU9-23, PU11-24
1876.	火	5	JU17-21, JU24-26, JU24-16, JU2-8, JU8-45
1877.	□□ 火	1	PU16-29
1878.	火百 关	1	JU28-60
1879.	火及	1	HU38-29
1880.	火为 本	1	JU27-11
1881.	火为 出	3	JU18-39, JU18-15, JU35-19
1882.	火用	1	JU32-50
1883.	出及	1	JU31-11
1884.	水	2	JU25-32, HU39-30
1885.	水谷	1	HU34-2
1886.	水及 笱	1	PU16-25
1887.	水中 卮 平 列	1	KL11-27
1888.	小	11	JU14-8, JU13-45, JU19-10, JU19-30, JU16-53, JU6-20, PU21-6, PU11-1, PU6-33, HU7-39, HU9-39
1889.	小 和	1	HU27-9
1890.	小 关本 列	1	HU26-22
1891.	业	1	PC1-8
1892.	业□	1	KL30-2
1893.	业而 百	3	JU23-52, JU24-37, JU28-37

1894.	业币 为出	1	JU25-59
1895.	业币 为方	1	KL9-14
1896.	业币 为出	1	KL23-20
1897.	业币 全北	1	JU14-23
1898.	业币 全北	1	JU14-7
1899.	业币 中列	1	HU21-9
1900.	业币 中为 关	1	HU5-12
1901.	业币 关	8	KL14-9, JU19-8, JU14-33, HU11-32, HU13-36, HU13-24, PU12-11, PU11-17
1902.	业雨	9	JU23-10, JU21-29, JU27-19, JU23-7, JU21-35, JU43-4, JU31-40, HU26-7, HU23-13
1903.	业雨 生丹	1	JU6-32
1904.	业雨 关	1	HU30-29
1905.	业币 中	1	HU2-19
1906.	业币 当	1	PU5-35
1907.	业币 只弱	1	JU28-45
1908.	业币 存当	2	JU8-5, JU18-29
1909.	业卡 及矢	1	PU17-33
1910.	业卡 及	1	HU14-19
1911.	业□ 业为 出	1	JU28-4
1912.	业卡 关	1	HU15-16
1913.	业□ 去及	1	JU46-15
1914.	业为	1	HU21-23
1915.	业考 为	1	JU31-22



1916.	业扎 木	1	KL22-15
1917.	业存	1	HU39-15
1918.	业存 叉	1	PU5-37
1919.	业升 火及 弱	1	JU25-27
1920.	业安 全	3	JU43-26, JU31-35, KL7-5
1921.	业安 全 和	2	JU25-8, HU7-24
1922.	业安 坐 谷	1	JU36-42
1923.	业方	1	JU32-53
1924.	业方 全 谷	1	KL21-12
1925.	业方 关	1	KL14-5
1926.	业东 叉	1	JU9-29
1927.	业方	1	PU5-10
1928.	业方 矢	2	JU45-29, PU18-29
1929.	业秀 火 北	1	PU19-9
1930.	业秀 火 谷 谷	2	HU18-31, HU37-3
1931.	业床	1	HU39-20
1932.	业平	4	JU15-55, KL11-19, HU11-26, PU24-4
1933.	业平 北 和	1	JU13-1
1934.	业本	3	KL4-16, HU16-13, PU14-15
1935.	业本 直 方 叉	1	JU37-25
1936.	业本 矢	1	PU12-3
1937.	业及	11	HU21-11, HU14-15, HU36-35, HU26-26, HU36-15, HU2-21, JU22-46, KL2-17, KL4-37, KL16-1, PU3-15
1938.	业及 支 谷	1	HU24-24
1939.	业及 女	1	KL27-3

1940.	业刃 穴	1	JU14-47
1941.	业丩	2	JU7-21, PU21-35
1942.	业丩 谷	1	JU3-25
1943.	业反	1	KL28-16
1944.	业反 子 立 丰	5	JU26-10, JU26-28, JU14-19, KL17-2, KL25-20
1945.	业反 子 立 本	1	JU23-44
1946.	业反 子 立 勿 北	1	JU29-2
1947.	业反 子 立 勿 丰	1	HU19-12
1948.	业反 子 立 勿 本	1	JU30-26
1949.	业反 子 北	1	PU10-30
1950.	业反 子 升 弱	2	JU25-20, JU24-1
1951.	业反 子 反 弱	2	JU17-32, JU13-26
1952.	业反 子 反	2	JU31-44, HU23-12
1953.	业反 子 中	1	JU45-13
1954.	业反 子 付 反	3	JU13-14, JU20-8, PU12-18
1955.	业反 子 付 本	1	HU2-33
1956.	业反 子 付 伏	2	JU40-16, PU8-3
1957.	业反 子 关	1	HU24-29
1958.	业反 子 北	5	HU13-29, HU4-19, JU20-58, JU24-44, JU24-62
1959.	业反 反	1	JU34-22

1960.	业反 企	17	JU14-37, JU22-39, JU9-11, JU19-33, JU13-49, JU15-30, JU3-12, JU16-25, JU16-50, JU21-15, JU9-21, PU11-28, PU4-15, PU8-30, HU9-29, HU26-6, HU13-22
1961.	业反 闲中 爻	14	JU13-41, JU27-37, JU5-52, JU3-49, JU15-16, PU10-6, PU10-14, PU9-33, PU9-27, PU5-34, PU3-32, HU26-15, HU1-21, HU3-28
1962.	业反 闲中 伏	1	JU21-58
1963.	业反 闲用 爻	1	JU4-29
1964.	业反 闲坐 泰	1	JU29-63
1965.	业反 闲坐 否	1	JU19-25
1966.	业为 爻	2	JU21-14, PU23-35
1967.	业为 爻和	1	JU20-63
1968.	业为 去北	1	KL25-18
1969.	业为 去中 列	3	JU33-19, JU40-34, JU14-16
1970.	业为 去关	1	HU25-10
1971.	业为 东	1	JU15-51
1972.	业为 东和	1	JU37-13
1973.	业为 本	2	JU21-28, HU35-10
1974.	业□ 爻	1	JU39-40
1975.	业爻	1	KL29-12
1976.	业尔 平直 平	1	JU9-40
1977.	业伏 否	2	PU20-14, PU20-38
1978.	业住 非	2	KL18-13, JU41-44
1979.	业行	1	JU8-49

1980.	业化 和	2	KL24-2, PU19-22
1981.	业令	1	HU20-5
1982.	业公	1	HU19-19
1983.	业火 系	1	PU5-22
1984.	业出 中 立 为 艾	1	JU27-21
1985.	业用	1	PU19-15
1986.	业用 仍	1	JU9-10
1987.	业口 几	1	KL24-25
1988.	业关 雨	2	KL6-29, PC2-10
1989.	业关 系 又	2	PU5-32, HU7-30
1990.	业关 充	1	KL26-21
1991.	业关 化 谷	2	JU41-23, HU13-8
1992.	业谷	1	HU15-9
1993.	业券	1	KL26-4
1994.	业当	1	KL21-15
1995.	业考 立 方 艾 为	1	PU21-17
1996.	业平 系 弱	1	HU32-19
1997.	业平 欠	4	JU46-26, JU19-5, KL20-18, PU17-1
1998.	业平 欠 弱	2	JU18-30, JU30-16
1999.	业平 欠 局	1	HU31-2
2000.	业平 全 关	1	HU21-42
2001.	业平 关	1	JU24-28
2002.	业只 卡	1	HU15-39
2003.	业只 安	4	JU14-28, PU15-18, HU37-2, HU15-8

2004.	业仄伏	1	HU6-27
2005.	业艾	1	JU45-12
2006.	出爻	4	KL31-6, JU23-39, JU12-22, JU21-53
2007.	尚立本	1	PU22-8
2008.	尚子	1	PU18-10
2009.	尚子立本	1	PU21-4
2010.	尚子立为本	1	JU6-27
2011.	尚子立为出	1	JU42-1
2012.	尚尔	1	PU11-39
2013.	尚朱爻	1	KL23-11
2014.	尚朱中列	1	JU29-64
2015.	尚朱爻	4	JU17-41, JU23-63, KL9-4, KL19-3
2016.	尚朱当	2	KL8-13, PU18-16
2017.	尚	6	JU18-41, HU35-9, HU21-25, HU21-31, HU21-41, HU21-36
2018.	尚和	1	JU6-29
2019.	口	2	JU35-38, PU7-10
2020.	用	2	JU41-21, HU32-5
2021.	用中	1	HU1-18
2022.	用中右	1	PU16-17
2023.	用	2	HU10-27, HU8-3
2024.	□用	2	JU19-37, PU10-24
2025.	用中爻	1	HU16-32
2026.	用百伏	1	JU17-39
2027.	用百	9	JU42-36, JU24-38, JU24-10, JU23-38, KL10-24, HU12-23, HU15-1, HU17-7, HU32-20
2028.	用百爻和	1	JU26-38
2029.	用北	1	JU42-15

2030.	网全北	2	HU21-33, HU17-26
2031.	网	1	JU41-9
2032.	网直本	1	PU1-25
2033.	网北	1	KL23-6
2034.	网叉	3	JU24-64, JU25-11, HU9-32
2035.	网力	1	PU2-17
2036.	网力夹	1	JU12-11
2037.	网力本	2	HU1-26, JU1-29
2038.	网力出	1	HU22-16
2039.	网矢	1	JU12-41
2040.	网全北叉	1	KL22-10
2041.	网全北	1	KL26-17
2042.	网小直本	1	PU21-27
2043.	网小并弱相	1	HU31-13
2044.	网关	2	JU25-34, KL19-7
2045.	田	17	JU25-65, JU40-22, JU12-12, PU9-11, PU9-22, PU11-23, PU11-3, PU19-16, PU15-37, PU8-31, PU2-20, KL25-23, HU37-34, HU38-21, HU34-5, HU25-26, HU35-16
2046.	田列	1	HU16-18
2047.	田矢	1	PU19-8
2048.	田小北	1	HU20-35
2049.	田小系弱	1	KL21-25
2050.	田小叉	1	JU38-8
2051.	田小并伏	7	KL23-3, KL6-19, KL8-5, JU45-40, JU40-7, HU34-17, PU15-35
2052.	田火小几	1	JU25-17
2053.	田当	5	JU39-45, JU44-50, JU26-22, KL8-7, HU17-25
2054.	田容小叉	1	JU29-35

2055.	册卷九全	1	KL19-10
2056.	册	1	PU11-26
2057.	□□ 册	1	JU45-53
2058.	册丙 存及 弱	1	JU24-49
2059.	册丙 存及	1	JU36-39
2060.	册卷 矢	1	JU5-32
2061.	册卡	1	HU9-27
2062.	册木	1	HU25-23
2063.	册刺 及弱	1	JU9-42
2064.	册卷 及	3	KL25-25, KL18-9, KL10-1
2065.	册卷 卷	6	JU22-53, JU14-48, JU41-42, JU22-59, JU39-49, HU12-33
2066.	册庚	1	HU12-31
2067.	册土 弱	1	JU9-45
2068.	册存 及	1	HU35-13
2069.	册存 才余	2	JU35-1, JU46-43
2070.	册方	3	JU9-28, JU10-36, JU8-54
2071.	册卷 卷	1	JU28-58
2072.	册卷 全北	1	HU5-24
2073.	空册 □半	1	JU24-24
2074.	册半 中立 半	1	HU11-41
2075.	册号 卷	7	JU26-54, JU2-32, JU28-6, JU45-31, JU45-9, JU22-32, HU2-25
2076.	册号 与	1	JU31-47
2077.	册及	2	JU35-43, JU45-24
2078.	册及 安	1	JU26-39

2079.	符及及	1	JU20-41
2080.	符及化	1	JU18-46
2081.	符及女谷	1	JU38-37
2082.	符及女	1	JU20-22
2083.	符及女谷	2	JU10-54, HU12-34
2084.	符刃爻	1	HU23-9
2085.	符刃及化	1	JU37-6
2086.	符刃火	1	HU12-30
2087.	符刃关	2	HU22-24, HU22-26
2088.	符刃与	1	HU32-27
2089.	符和	1	PU11-6
2090.	符子	2	KL5-29, KL6-3
2091.	符列出	21	KL8-2, KL7-28, KL5-16, KL5-25, KL18-7, JU46-12, JU5-45, JU22-41, JU34-39, JU31-50, JU10-19, JU5-21, PU14-29, PU17-14, PU6-21, PU4-37, HU30-5, HU27-45, HU29-10, HU28-16, HU28-42
2092.	符列出谷	1	JU9-12
2093.	符列出谷关	1	HU9-25
2094.	符及及	1	HU32-11
2095.	符力	48	HU7-3, HU26-41, HU27-39, HU9-7, HU28-15, HU2-36, HU3-32, HU1-28, HU6-5, HU3-12, JU23-68, JU30-11, JU23-54, JU32-10, JU32-32, JU3-17, JU31-14, JU8-25, JU34-28, JU41-16, JU9-3, JU8-44, JU8-33, JU7-29, JU33-16, JU10-11, PU15-6, PU14-38, PU14-28, PU16-18, PU15-12, PU6-43, PU5-20, PU4-4, PU5-8, PU3-24, PU8-12, PU6-24, PU5-4, PU6-3, KL22-18, KL20-1, KL2-28, KL5-15, KL19-24, KL7-27, KL4-33, KL4-32
2096.	符力爻	2	JU9-41, JU12-30
2097.	符力火	3	JU36-46, JU38-47, HU26-12
2098.	符力关	8	JU11-10, JU36-11, JU18-14, JU31-36, PU16-20, PU16-31, PU7-38, PU2-3



2099.	符冬	10	KL20-4, KL11-4, JU22-49, JU10-2, JU16-37, JU35-46, JU14-27, JU34-43, JU26-43, HU36-21
2100.	符乃	1	JU40-12
2101.	符及子关	1	HU34-27
2102.	符及平北	1	HU22-5
2103.	符九	1	JU22-52
2104.	符朱和	1	JU28-53
2105.	□符伏	1	JU31-24
2106.	符伏叉	1	HU31-26
2107.	符伏谷	1	HU21-39
2108.	符行关	1	KL10-14
2109.	符化	4	HU2-6, PU20-27, PU19-19, PU2-8
2110.	符空伏	1	HU6-25
2111.	符中谷百	1	HU17-40
2112.	符业本	4	JU6-39, KL12-22, KL21-18, HU10-35
2113.	符火压	1	KL16-9
2114.	符用仍	4	JU9-20, JU46-13, JU31-43, JU12-1
2115.	符丹及局	1	HU26-14
2116.	符虫本	1	JU11-12
2117.	符坐	1	HU12-5
2118.	□□符当	1	KL24-26
2119.	符只困中列□关	1	HU15-7
2120.	符只困当矢	1	HU17-21
2121.	符艾	1	JU25-1
2122.	符丹火	1	HU25-22

2123.	符目 夾	1	JU4-54
2124.	□ 符	1	JU46-23
2125.	符夾	5	JU35-28, JU45-44, JU41-25, HU22-39, HU35-5
2126.	符夾 夾	1	JU8-7
2127.	符夾 平夾	1	JU11-23
2128.	標及 札	1	JU2-46
2129.	目	14	KL24-24, JU43-15, JU26-62, JU36-48, JU6-19, JU31-25, JU38-33, HU9-38, HU14-33, HU25-38, HU38-3, HU15-10, PU22-17, PU17-20
2130.	目及 卷	1	KL3-16
2131.	目夾	1	HU22-13
2132.	目公 化	1	KL6-30
2133.	目夾	1	JU28-55
2134.	目當	3	HU18-5, PU18-13, PU18-15
2135.	月令	1	HU32-14
2136.	月令	5	KL11-24, JU38-12, PU22-26, PC2-11, HU31-12
2137.	月令 凡	1	HU13-41
2138.	要百	1	HU14-30
2139.	要力 存平 夾	1	JU4-10
2140.	要力 存	1	JU33-39
2141.	要卷	1	HU37-21
2142.	曲求 相	1	PU16-15
2143.	曲令	3	JU43-31, HU19-29, HU27-24
2144.	曲令	2	HU26-8, HU37-35
2145.	曲公	2	JU16-28, JU7-44
2146.	曲公	1	PU12-23
2147.	曲卷	13	JU17-48, JU23-22, JU23-66, JU31-39, JU24-39, JU14-20, JU18-24, JU17-27, JU29-3, KL29-22, HU23-14, HU10-12, PU12-32
2148.	曲卷 相	4	KL7-20, HU29-19, PU14-25, PU15-26

2149.	由爻	7	JU27-46, JU23-24, JU9-35, JU6-25, JU39-21, PU19-32, PU20-15
2150.	由谷 与	1	JU44-23
2151.	由尘	1	HU37-22
2152.	由尘 及和	1	HU18-33
2153.	由尘 关	1	HU17-12
2154.	由立 丰	1	JU2-41
2155.	由列	1	JU2-35
2156.	由穴	2	JU34-21, PU1-16
2157.	由行 全	2	JU27-9, JU27-10
2158.	由谷	1	HU12-12
2159.	由尘 全列	1	JU44-31
2160.	由尘 中列 关	1	HU23-29
2161.	由尘 关	1	KL15-14
2162.	口	13	JU13-54, JU21-40, JU3-35, JU13-4, JU12-25, JU20-39, JU18-43, JU13-15, JU29-46, JU34-1, KL20-16, HU11-45, PU11-10
2163.	口比 伏	2	PU15-24, PU14-23
2164.	口比 比	1	HU32-36
2165.	口比 及弱	1	JU41-38
2166.	口比 中及 弱	1	JU5-6
2167.	由才 余	1	PU3-36
2168.	文谷	1	HU31-16
2169.	文及 弱	1	JU42-29
2170.	文爻	1	JU30-14
2171.	文由 立丰	5	JU15-4, JU5-8, HU6-31, HU4-5, HU4-22
2172.	文由 立丰 谷	1	JU44-6

2173.	文中 出	1	JU40-3
2174.	文中 出 矢	1	HU38-11
2175.	文公	1	JU46-7
2176.	文口	1	KL26-22
2177.	主	8	JU24-50, JU24-29, JU26-55, JU21-44, KL12-1, KL12-14, HU39-9, HU19-20
2178.	亦	2	JU13-51, JU5-48
2179.	亦与	1	JU26-64
2180.	亦券	2	HU20-15, PU18-8
2181.	亦券 矢	2	JU29-66, JU29-45
2182.	亦爻	1	JU38-5
2183.	亦中 爻弱	1	JU41-28
2184.	亦中 付伏	2	JU17-14, JU25-44
2185.	亦券	4	JU45-19, JU40-27, KL23-26, PU23-9
2186.	亦坐	1	JU25-30
2187.	亦当	15	KL10-11, KL26-16, KL16-3, KL22-24, JU8-52, JU26-7, JU6-30, JU43-11, JU38-24, HU26-3, HU12-21, HU18-28, HU22-30, HU35-28, HU32-26
2188.	亦当 和	1	HU15-12
2189.	亦艾	1	JU35-45
2190.	穴券	1	HU2-28
2191.	穴公	1	HU14-22
2192.	穴券	1	JU33-42
2193.	穴	10	JU27-42, JU18-48, JU43-30, JU22-24, JU6-43, JU36-2, KL28-9, PU24-25, PU9-32, PU23-32
2194.	穴和	3	JU37-17, JU23-45, JU30-3
2195.	穴北	1	JU29-24
2196.	穴杂 全	1	HU36-26
2197.	穴为 出	1	KL16-11
2198.	穴矢	1	KL14-21
2199.	穴全	4	JU27-20, JU28-33, JU23-26, JU28-42

2200.	穴 谷 谷	2	JU13-21, JU17-18
2201.	九 口	2	JU46-61, HU28-19
2202.	九 几	2	JU6-22, HU22-18
2203.	九 雨	2	HU28-20, HU28-25
2204.	九 丙 水	2	PU12-16, PU10-28
2205.	九 丙 水 几	2	JU24-52, JU16-13
2206.	九 丙 水 女	4	JU10-46, JU20-55, PU12-15, PU10-26
2207.	九 万	4	JU24-42, JU25-24, HU25-30, HU25-32
2208.	九 土	5	JU32-38, JU32-55, JU34-25, KL12-18, HU9-34
2209.	九 安	5	JU3-19, JU25-55, HU38-4, HU4-31, KL8-28
2210.	九 安 相	10	JU36-37, JU1-5, JU8-15, JU19-3, KC1-5, KL1-5, HU38-13, HU12-3, HU2-31, HU1-4
2211.	九 安 水	1	HU25-27
2212.	九 安 矢	1	JU43-34
2213.	九 安 今	1	HU5-26
2214.	九 太	1	PU7-30
2215.	九 芬 生	1	JU11-18
2216.	九 爻	2	JU45-8, HU37-31
2217.	九 爻	3	KL29-3, HU39-4, PU13-7
2218.	九 爻 矢	1	JU35-2
2219.	九 相 爻 安	1	KL24-9
2220.	九 相 爻	4	KL25-3, HU35-11, HU21-1, HU18-16
2221.	九 相 爻 芬	2	JU46-6, HU18-17
2222.	九 相 爻 芬	2	KL29-17, JU33-17
2223.	九 相 谷	1	HU32-24
2224.	九 夬	1	JU7-14
2225.	九 夬 比	1	JU25-18
2226.	九 夬	7	PU12-21, PU3-17, PU3-4, JU20-52, JU30-48, JU19-41, HU5-39

2227.	凡火雨	1	HU26-39
2228.	凡火相	1	KL5-13
2229.	凡火相伏	2	PU3-25, PU3-33
2230.	凡火伏	1	HU4-32
2231.	凡火火	1	HU14-17
2232.	凡火火关	1	HU15-29
2233.	凡安	1	HU21-17
2234.	凡女	1	PU24-19
2235.	凡用凡	1	JU34-29
2236.	凡用	4	HU37-29, HU3-36, JU16-52, JU4-41
2237.	凡用相	4	JU19-22, JU26-30, KL32-2, HU13-19
2238.	□□凡雨	1	JU46-60
2239.	凡交□	1	JU1-18
2240.	凡交圣	2	PU4-22, PU4-26
2241.	凡亦	8	JU21-6, JU33-12, JU1-13, JU1-10, HU1-20, KL7-23, PU13-21, PU5-12
2242.	凡亦相	9	JU17-59, JU19-18, JU21-9, JU30-45, JU15-7, JU15-13, KL31-4, PU13-11, HU8-24
2243.	凡亦矢	1	PU15-41
2244.	凡才	4	HU30-34, HU31-18, HU1-24, KL6-5
2245.	凡才念	1	PU13-20
2246.	凡才圣	7	JU16-4, JU5-29, JU21-22, JU7-51, JU19-15, JU15-15, JU19-60
2247.	凡水	6	JU1-16, JU8-38, JU8-23, JU20-16, PU6-28, HU6-34
2248.	凡水女	3	JU45-15, JU5-20, JU10-14
2249.	凡券	5	PU7-29, KL7-12, KL17-29, KL4-22, JU30-49
2250.	凡当	1	HU37-33
2251.	凡考	3	PU4-23, JU21-23, JU19-61
2252.	才	23	KL1-9, KL7-14, KL5-8, KL1-18, KL19-18, KL20-5, KL4-24, PU17-18, PU1-1, PU3-9, PU2-18, JU16-1, JU32-3, JU3-22, JU10-28,

			KC2-4, HU22-41, HU26-34, HU8-42, HU26-23, HU29-15, HU28-9, PC2-1
2253.	□斗	1	JU27-5
2254.	斗出 支	1	PU21-33
2255.	斗存	2	JU45-42, HU39-21
2256.	斗余	1	JU42-3
2257.	斗么 平	1	JU26-65
2258.	斗么 伏谷	1	KL7-1
2259.	斗么 火	1	JU8-4
2260.	斗釜	1	JU44-1
2261.	斗釜 本中 立本	1	JU33-28
2262.	斗釜 本当	1	JU45-47
2263.	斗祭	1	HU32-2
2264.	斗祭 伏	13	JU32-23, JU34-32, JU1-28, JU32-11, JU41-12, JU32-5, KL5-21, KL4-12, KL4-1, KL1-19, HU7-4, HU8-39, HU2-3
2265.	斗祭 伏炙	1	JU41-8
2266.	斗	13	PU19-13, PU22-14, PU18-14, PU20-12, PU18-19, PU6-8, PU7-3, HU19-34, HU16-39, HU13-15, HU11-16, HU11-20, HU22-9
2267.	斗关	1	PU18-27
2268.	酒	1	JU8-17
2269.	□□ □关	1	PU18-26
2270.	关化	34	JU16-30, JU15-8, JU21-10, JU3-28, JU11-22, JU18-18, JU4-38, JU6-28, JU32-47, JU35-32, JU5-36, JU45-26, JU35-47, JU21-26, JU19-19, JU20-3, JU14-46, JU30-47, JU7-46, JU17-60, JU20-23, JU16-41, KL10-2, KL2-2, KL10-19, HU6-39, HU21-22, HU2-2, PU13-12, PU13-26, PU12-25, PU3-6, PU2-4, PU4-30
2271.	关化 炙	8	JU26-60, JU7-5, JU26-42, JU40-13, JU4-51, JU36-21, PU2-27, HU7-26
2272.	关化 炙关	1	HU15-20
2273.	关化 全	3	KL6-17, JU43-6, JU18-34
2274.	关化 全谷	4	HU8-20, HU3-22, JU22-56, PU7-39
2275.	关化 谷	1	HU8-25

2276.	火 夹	5	JU15-46, JU6-51, PU15-17, PU24-11, HU23-4
2277.	火 夹 杏 和 杏	1	JU25-46
2278.	火 丙 水	1	HU17-2
2279.	火 杏 杏 杏 余	1	JU29-55
2280.	火 杏 和	1	HU14-13
2281.	火 杏 弱	1	JU15-48
2282.	火 杏 平 爻	1	JU12-7
2283.	火 无 □ □	1	PU21-32
2284.	火 无 杏 万	2	JU8-41, HU17-42
2285.	火 无 杏 与	1	HU20-43
2286.	火 无 杏 杏	1	JU6-34
2287.	火 无 杏 当	3	HU24-10, HU32-32, HU18-34
2288.	火 无 杏 当 雨	1	HU37-24
2289.	火 无 爻 爻	2	JU32-15, JU34-41
2290.	火 无 杏 万	3	JU42-11, JU29-40, HU28-35
2291.	火 无 杏 当	5	KL23-1, KL22-3, KL21-22, HU13-12, PU18-17
2292.	火 夬 夬 夬 夬	1	JU29-49
2293.	火 夬	1	KL26-20
2294.	火 夬	16	JU39-14, JU5-3, JU29-61, JU29-18, JU35-42, JU27-36, JU36-35, JU37-24, HU36-36, HU17-22, HU10-15, HU15-4, HU19-27, HU25-6, HU36-11, HU27-21
2295.	火 夬 杏 和	1	HU24-34
2296.	火 夬 万 爻 弱	1	HU26-10



2297.	艮 山 中 及 弱	1	JU11-37
2298.	艮 山 关	1	JU46-44
2299.	艮 山 相 公	1	HU5-6
2300.	艮 山 未	3	JU15-1, JU44-21, JU24-60
2301.	艮 山 夕	1	HU13-44
2302.	艮 山 生 北	1	JU29-41
2303.	艮 山 矢 几 伏	1	JU2-34
2304.	艮 山 今	2	JU22-16, KL18-14
2305.	艮 山 今 泰 中	1	HU36-4
2306.	艮 山 今 泰 火	2	HU25-18, HU18-32
2307.	艮 山 今 泰 坐 伏	1	HU3-40
2308.	艮 山 今 相	1	JU6-49
2309.	艮 山 今 矢	1	JU34-12
2310.	艮 山 今 中 相	1	HU30-18
2311.	艮 山 今 由 泰 泰	1	JU37-22
2312.	艮 山 今 泰 中	2	HU24-38, HU15-37
2313.	艮 山 今 泰 火	5	JU5-16, JU43-28, JU45-21, HU22-38, HU22-23
2314.	艮 山 今 泰 火 爻	1	PU19-34
2315.	艮 山 今 泰 坐 泰	2	JU44-41, JU39-32
2316.	艮 山 今	2	HU36-29, HU36-9
2317.	艮 山 中 为 出 泰	1	JU46-2
2318.	艮 山 今 矢	1	JU9-37

2319.	火 九 爻	1	KL9-23
2320.	火 六 爻	1	HU25-8
2321.	火 六 爻	1	JU25-4
2322.	火 六 爻	3	JU28-38, JU19-9, JU22-34
2323.	火 六 爻	1	HU37-4
2324.	火 六 爻	1	HU28-38
2325.	火 六 爻	1	JU37-11
2326.	火 六 爻	1	JU28-8
2327.	火 六 爻	1	HU23-30
2328.	火 六 爻	1	PU22-16
2329.	火 六 爻	1	KL24-1
2330.	火 六 爻	1	JU5-33
2331.	火 六 爻	3	KL18-6, KL12-13, JU7-6
2332.	火 六 爻	1	JU9-34
2333.	火 六 爻	4	KL1-11, KL29-13, KL2-5, KC3-1
2334.	火 六 爻	2	JU14-26, JU45-27
2335.	火 六 爻	3	JU39-41, PU18-30, PU20-13
2336.	火 六 爻	1	JU40-14
2337.	火 六 爻	1	JU15-44
2338.	火 六 爻	1	HU6-37

2339.	火 非 关	1	KL2-26
2340.	火 用	3	KL7-11, KL17-28, PU7-28
2341.	火 用 相	1	JU15-11
2342.	火 交 考	1	JU44-43
2343.	火 交 考 相	1	JU42-24
2344.	火 关	1	HU21-32
2345.	火 关 雨	1	HU32-8
2346.	火 关 充	1	KL10-17
2347.	火 关 全□ 比	1	JU28-5
2348.	火 关 用	2	JU16-6, JU13-17
2349.	火 交	1	HU22-22
2350.	火 压	1	JU16-35
2351.	火 压 百 伏	1	JU25-25
2352.	火 压 百 谷	3	JU18-8, JU20-45, JU20-34
2353.	火 压 百 当	2	JU15-22, JU17-15
2354.	□ 谷	3	JU25-51, JU44-47, HU12-46
2355.	□ □ 谷	2	JU34-45, HU9-43
2356.	亩 今 中 几	1	KL15-6
2357.	亩 村 叉	1	JU37-9
2358.	亩 今 谷 谷	1	JU26-16
2359.	火 叉 谷 百	1	JU12-14
2360.	火 用 火	1	PU23-2
2361.	火 交 交	1	HU20-10
2362.	水 卡	4	JU25-61, JU37-31, KL14-12, HU20-12

2363.	水卡 芬	1	HU12-13
2364.	芬	3	JU24-35, JU26-19, HU22-2
2365.	芬坐 叉	1	JU39-7
2366.	芬坐 伏	1	JU36-15
2367.	□芬 □	2	PU21-1, PU20-1
2368.	芬相 芬	2	JU37-34, JU36-50
2369.	芬叉 关	1	JU43-12
2370.	□芬 中凡	1	JU25-7
2371.	□□ 芬芬	1	JU26-12
2372.	芬中	1	KL24-12
2373.	安□	1	KL13-28
2374.	安芬 及豹 相	1	HU14-37
2375.	米升	1	PU11-32
2376.	米升 凡	1	JU14-25
2377.	米升 及扎	2	HU6-21, HU7-19
2378.	米升 凡	1	JU22-33
2379.	米升 为立 本	1	HU9-9
2380.	米升 及雨	1	HU16-4
2381.	米中 芬芬	1	PU21-22
2382.	康坐	1	JU36-47
2383.	坐刃 关	1	KL13-5
2384.	坐为 全	1	JU38-10
2385.	坐为 全升 中弱	1	PU18-21

2386.	生为 生谷 比	1	JU23-28
2387.	半安 及火	1	JU18-40
2388.	半弱 矢	1	JU15-42
2389.	半弱 中谷 又	1	JU11-45
2390.	半弱 关	1	KL11-3
2391.	半伏	1	PU1-17
2392.	□□ 当	1	PU5-21
2393.	□□ 当谷	1	PU18-5
2394.	带为 东	1	JU28-56
2395.	带为 本	4	JU19-6, HU5-23, PU10-18, PU9-38
2396.	带为 出相	1	JU35-48
2397.	∩	2	KL21-6, KL18-17
2398.	∩ 相	1	KL26-11
2399.	∩ 谷	1	KL16-16
2400.	采又 关	2	JU2-2, JU12-18
2401.	采全	1	JU24-14
2402.	采关	6	KL2-25, KL1-4, JU23-6, JU1-4, KC1-4, HU1-3
2403.	平	2	JU17-46, PC1-9
2404.	□□ 平立 为出	1	KL7-36
2405.	□平 相	1	PU4-12
2406.	□□ 平又	1	JU46-50
2407.	采	1	JU14-38
2408.	屯	14	JU13-43, JU23-13, JU2-29, KL16-4, KL5-17, KL7-29, PU13-29, PU15-16, PU9-34, PU11-20, PU9-9, PU8-15, HU28-6, HU36-28
2409.	屯矢	2	PU16-4, PU15-32

2410.	形百	1	JU22-9
2411.	形为 □	1	JU16-58
2412.	形为 夹	1	HU1-15
2413.	形为 亦	4	JU5-7, JU22-8, JU44-8, HU6-26
2414.	形为 亦芬	1	JU27-49
2415.	形为 火	4	JU15-3, KL10-9, HU20-1, HU13-40
2416.	形为 出	1	HU20-23
2417.	形册 列	1	KL22-5
2418.	只卡 比	1	JU2-50
2419.	只安	10	KL9-6, JU17-24, JU12-46, JU12-4, PU11-15, PU10-34, PU6-7, HU10-2, HU11-23, HU7-22
2420.	只和 矢	1	HU11-10
2421.	只全 百芬	1	JU12-55
2422.	只全 矢	1	JU6-9
2423.	只火	7	KL13-22, KL13-27, KL19-8, KL13-17, PU5-29, JU32-44, HU3-20
2424.	只沟 矢关	1	HU15-32
2425.	只芬	4	JU4-48, JU4-2, PU9-4, PU7-4
2426.	只芬	1	JU26-34
2427.	只芬 来	2	JU35-16, KL9-28
2428.	只当	1	JU18-19
2429.	只平 芬与	1	HU29-22
2430.	只平 芬中 伏	3	HU29-7, PU16-1, PU15-29
2431.	只平 九芬	1	HU23-15
2432.	□只 平关	1	KL13-18
2433.	只平 芬中 伏	1	JU31-18

2434.	仄平 峇峇	1	JU30-40
2435.	仄平 峇当	2	JU32-36, JU32-13
2436.	又	36	JU2-37, JU2-22, JU10-21, JU31-52, JU29-44, JU14-51, JU1-1, JU22-45, JU41-24, JU34-49, JU4-50, HU16-29, HU18-13, HU16-3, HU17-41, HU17-24, HU29-23, HU15-22, HU13-30, HU21-14, HU21-12, HU20-30, HU5-37, HU1-1, PU17-34, PU10-7, PU9-18, PU14-17, PU7-5, PU6-29, PU8-38, KL1-1, KL2-22, KL17-7, KL28-1, KC1-1
2437.	又杂	1	JU22-51
2438.	又么 关	1	HU32-28
2439.	仄	56	PU11-25, PU20-8, PU10-12, PU18-22, PU11-5, PU20-29, PU4-24, PU1-6, PU7-34, PU8-4, PU2-1, PU8-23, KL5-31, KL3-24, KL6-22, KL3-30, KL4-13, KL4-3, KL21-3, KL4-30, JU32-24, JU8-19, JU32-7, JU7-26, JU20-1, JU9-23, JU11-52, JU29-9, JU21-24, JU6-14, JU19-42, JU29-13, JU7-42, JU23-35, JU23-50, JU35-4, JU20-25, JU20-19, JU26-35, HU8-40, HU7-1, HU6-7, HU10-10, HU28-13, HU7-6, HU26-28, HU11-5, HU8-16, HU7-33, HU6-3, HU3-34, HU3-30, HU3-26, HU3-5, HU3-14, PC2-6
2440.	仄 关 矣	1	JU38-1
2441.	仄 丹	5	JU14-36, JU31-10, JU14-32, JU16-24, JU15-29
2442.	仄 丹 和	1	JU29-25
2443.	仄 丹 全 和	1	JU15-33
2444.	仄 关	2	JU17-4, JU17-6
2445.	雨 关	3	JU16-29, JU7-45, PU12-24
2446.	雨 矣	6	KL4-9, KL19-22, KL6-26, KL19-26, KL4-39, PU12-13
2447.	雨 矣 关	2	JU32-29, HU27-38
2448.	雨 先	5	JU3-4, JU39-15, JU7-30, JU43-23, JU42-19
2449.	雨 先 伏	1	JU29-51
2450.	里 矣	1	HU28-8
2451.	里 弱 伏	3	KL3-28, HU6-6, HU6-41
2452.	里 反	3	JU32-21, JU34-42, JU33-13
2453.	、	10	KL29-18, KL20-28, JU11-19, JU11-15, HU35-12, HU35-25, HU35-30, HU20-6, PU24-16, PU24-20
2454.	不 秀	1	PU22-2

2455.	丌 禾 矢	1	JU12-38
2456.	丌 禾	3	KL21-20, KL23-16, JU3-36
2457.	丌 丹	1	HU23-31
2458.	巾 禾	1	HU26-4
2459.	□ 艾	1	PU13-2
2460.	艾 禾	3	PU17-11, PU7-21, JU33-8
2461.	艾 夕	1	JU31-3
2462.	艾 夕 化	5	KL8-27, KL20-23, KL26-25, PU17-24, HU30-23
2463.	艾 夕 化 禾	1	JU41-15
2464.	艾 今 谷	1	JU27-25
2465.	凡 达 立 牛	1	JU41-30
2466.	目 北	1	PU19-29
2467.	目 今	1	JU19-49
2468.	目 只 谷	2	HU3-29, HU3-13
2469.	肖 丹	1	JU26-63
2470.	□ 立	1	JU46-40
2471.	金	1	PU21-24
2472.	灯	1	PU19-24
2473.	与	1	JU13-48
2474.	汁	2	JU7-41, JU11-51
2475.	汁 矢	2	JU12-54, KL24-17
2476.	关 关	1	JU39-23



# 目次

## 縦組部分

契丹小字「耶律玦墓誌銘」基本情報……………	1
契丹小字「耶律玦墓誌銘」抄本と釈文……………	3
漢字「耶律玦伝」と「耶律敵刺伝」……………	29
契丹小字「耶律玦墓誌銘」図版……………	30
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」基本情報……………	36
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」抄本と釈文……………	38
漢字「蕭撻凜伝」と「蕭奥只伝」……………	49
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」図版……………	50
契丹小字「蕭胡睹董墓誌銘」基本情報……………	56
契丹小字「蕭胡睹董墓誌銘」抄本と釈文……………	58
契丹小字「蕭胡睹董墓誌銘」図版……………	79
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」基本情報……………	84
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」抄本と釈文……………	85
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」図版……………	95

## 横組部分

前書き……………	1
序論……………	3
契丹小字「耶律玦墓誌銘」考釈……………	11
契丹小字「蕭回璉墓誌銘」考釈……………	32
契丹小字「蕭胡睹董墓誌銘」考釈……………	44
契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」考釈……………	53
語彙索引……………	68

## 契丹小字「耶律玦墓誌銘」基本情報

この墓誌銘は、2008年に内蒙古赤峰市敖漢旗にある新州博物館に収集され、現在同博物館に所蔵されている。青い花崗岩でできており、誌石と誌蓋の二石からなる。原石の形状はほぼ正方形で、辺長は約90センチメートルである。誌蓋の裏面のサイズは誌石と同じで、正面には斜面があり、その上に十二属相神像が刻まれている。中央台面に花の模様があり、文字はない。誌石は46行で、約2500文字が刻まれている。誌石の最初の2行の数字と最後の行の多くの文字の字形ははっきり読み取ることができない。

第1行目に墓主の名前が書かれているはずだが、破損しており読み取ることができない。第2行目の火は墓主の名前で、その発音は□である。墓主の官職・経歴などから、墓主は『遼史』巻九十一に記録されている「耶律玦」だと同定されている。その伝では「耶律玦」の「字」を「吾展」とする。契丹文字で記された火と漢字「吾展」の最初の音節の発音は近似している。したがって、火と「吾展」は同じ名前を指す可能性がある。現在の段階では、本人の『遼史』での記述に基づき、この資料を「耶律玦墓誌銘」と命名する。

具体的な出土地と時期は不明だが、2004年、敖漢旗から出土したと推測される。この墓誌銘に山名が数か所出現するが、それによっては墓の位置が確認できない。

第1行目に<sup>及</sup>奈<sup>伏</sup> <sup>禾</sup>才<sup>网</sup> <sup>力</sup>本とあり、「女取胡睹董撰」と訳しうる。この記述から、本墓誌銘の作者は耶律玦の女取であることがわかる、そしてこの人物は本文で検討される「蕭胡睹董墓誌銘」の主人である。

第34行目に<sup>化</sup>与<sup>禾</sup> <sup>火</sup> <sup>辛</sup> <sup>丑</sup> <sup>艾</sup> <sup>丁</sup> <sup>火</sup> <sup>及</sup> <sup>丑</sup> <sup>止</sup> <sup>及</sup> <sup>丑</sup>とある。これは「翌(第二年)辛亥年八月二十壬申日」を意味する。「第二年」とは咸雍七年、すなわち葬式が行われた年であることから、この墓誌は1071年に製作されたと考えられる。

墓主耶律玦(1014—1070)は遥輦鮮質可汗の后裔であり、その第六代の先祖から本人までの世系は  
及 内 ・ 用 夕 (○・敵魯) ↓ 列 列 (匣馬葛) ↓  
止 力 ・ 用 (○・解里) ↓ 坊 力 ・ 乃 ↓ 列 系 ↓ 中 伏 今 力 系 (留隱・菩薩奴) ↓ 火 (烏展・玦) である。墓誌は本人の経歴及び子孫のことを詳  
しく述べており、遥輦氏に関する極めて重要な資料と言える。

「愛新覚羅・烏拉熙春「国舅夷離畢帳と耶律玦家族」、『立命館文学』2003年3月、29—58頁。





多く

事

令 丞 込 又 丞 伏 巧 口 中 弱 邦 亦 文 立 火 火 付 伏 雨 伎 谷 亦 令 又 令 百 火 谷 尤 坐

相 公の 子供 二人 大 留 隠 菩 薩 奴 都 一 監 敵 穩 至 り 封 ぜ ら れ

利 谷 百 将 火 女 舟 出 丞 及 丙 伏 今 舟 及 付 九 才 九 丞 北 火 各 女 舟 丞 火 今 北 火 今 金 谷 当

号 度 使 聖 宗 皇 帝 の 時 代 郎 君 子 供 中 の 居 る 雲 清 の 兵 馬 成 っ た

化 化 由 欠 火 安 出 王 雨 朱 舟 全 列 出 舟 舟 亦 用 舟 及 中 又 □ □

歳

病 気 で

故

太 師

生 ま れ る

南

化 又 生 百 生 舟 舟 全 平 半 火 当 今 矢 舟 半 七 金 谷 谷 谷 丞 凡 出 舟 又 舟 又 目 小 安 中

文字

今

号

未 だ

狩

鳥

凡 本 秀 又 公 舟 子 舟 本 化 舟 当 及 雨 舟 巧 九 谷 出 又 火 火 用 谷 丞 伏 舟 存 舟 本 火 用

官

康

人 の

一 人

生 ま れ た

知

半 谷 穴 舟 立 又 艾 平 谷 丙 舟 谷 谷 今 舟 只 女 火 谷 谷 又 七 舟 当 舟 舟 出 又 金 谷



孝子

成り子供

女

公 半 中 弱 关 空 伏 力 及 百 关 关 关 夫 中 弱 才 及 用 仍 及 全 列 空 中 弱 空 百 仅 利 空 当

二十八に 成り 敬穩 太尉 二人の 城の 諸年 至り 人の 語に

丁 矢 用 仍 及 全 各 女 空 空 利 余 利 利 才 亦 及 仍 又 升 又 全 火 空 百 又 只 女 中 矢

子供に と言う

可 亦 尔 立 平 力 矢 利 弱 比 九 采 才 弱 仅

又 人の 弟 喜隠 侍 中の 長 男 敵烈 令 公の 郎君 生まれた 子供

一〇 利 关 冬 中 空 只 女 杏 才 关 伏 元 水 冬 余 力 斥 用 水 女 为 夫 出 冬 比 秀 利 出

三 大 娘子別(部) 国舅の宰相の 兄弟の 解里 郎君に 嫁ぐ 第二 娘子 故 第三

包 又 乃 列 尔 列 力 空 列 欠 才 与 空 元 夫 及 空 水 当 九 秀 尔 丹 为 才 丙 列 当 决 秀 关

大 師 中 宮の 清 隱 寺に 居る 敬穩の

弱 当 空 半 元 水 丙 火 用 雨 北 矢 文 各 女 亦 关 夫 丹 女 令 全 弱



書く未だ

知

息子の

亡くなる

哀 哀

二 金 木 本 屋 冬 杏 朱 土 北 中 火 又 刀 关 土 他 虫 存 ち 杏 雨 ； 居 令 立 九 芬 坐 ；

号

年より

母

夫人

大

礼之文字

文 伏 秀 化 及 矢 矢 关 丹 平 半 关 今 百 北 百 今 秀 伏 及 相 九 雨 列 列 立 方 中 为 出 北 为 关 至 中 弱 未 夕 立 关 丹 平 半 关 今 百 北 百 今 秀 伏 及 相 九 雨 列 列 立 方 中 为 出 北 为 关 至 中 弱

人の

大 副礼の文字

弟 猪 糞

太尉の孫？

几 只 必 北 及 分 相 九 焚 女 半 弱 杏 又 今 九 立 本 尺 中 矢 与 未 汁 尽 米 丸 中 为 本 几 只 必 北 及 分 相 九 焚 女 半 弱 杏 又 今 九 立 本 尺 中 矢 与 未 汁 尽 米 丸 中 为 本

製作

未だ

未だ 契丹の血

二 用 仍 百 仇 只 尺 毛 凡 冬 关 土 又 杏 半 为 冈 矢 国 了 又 百 金 何 杏 又 了 又 关 关 未 用 仍 百 仇 只 尺 毛 凡 冬 关 土 又 杏 半 为 冈 矢 国 了 又 百 金 何 杏 又 了 又 关 关 未

その時

人 子に

孝

二十

币 东 平 百 及 乃 火 中 半 口 朱 东 杏 几 刀 矢 生 立 未 关 空 伏 杏 坐 伏 及 弱 叔 坐 杏 丁 令 立 仇 杏 山 令 为 半 立 口 朱 东 杏 几 刀 矢 生 立 未 关 空 伏 杏 坐 伏 及 弱 叔 坐 杏 丁

雲 軍隊

二十二

女真

日事

二十四

不 矢 平 奕 矢 杏 丁 圣 仇 只 及 公 勺 列 立 矢 为 丹 关 火 叔 金 相 汁 矢 生 杏 丁 令 化 为 为 方 卡 火 不 矢 平 奕 矢 杏 丁 圣 仇 只 及 公 勺 列 立 矢 为 丹 关 火 叔 金 相 汁 矢 生 杏 丁 令 化 为 为 方 卡 火

牌司の郎君補われその年通進二十五年で成ったその時に興宗皇

13. 中相 為夫 平中 口 中 今 北 水 雨 相 公 北 丁 考 令 方 方 及 丹 又 口 朱 关 同 水 主 出 北 又 夫 夾 出 口 中 今 北 劣 今 相 坊 及 丁 令 令 百 出 出 子 又 口 非 又 同 今 主

帝 官 成った 重熙 十二年に左院通進 人

王 空 空 引 又 平 空 化 才 及 及 弱 坐 空 尖 分 出 本 毛 圣 矢 九 相 化 水 雨 並 出 几 穴 空 引 又 令 尺 化 又 出 子 弱 叔 空 尖 井 中 为 毛 圣 中 相 及 令 今 又 中 几

成った十四年に南院承旨成り 知その父母夫人より

百 北 及 中 又 毛 毛 矢 小 化 安 与 及 空 焚 出 亦 今 九 空 口 中 百 秀 矢 关 丹 关 方 中 出 閑 又 毛 毛 中 小 及 和 与 出 空 和 出 亦 毛 九 居 口 中 百 今 伏 关 今 百 引 出

掩 閉 軍 成った南院と知 宰相

14. 及 出 本 子 中 关 关 雨 化 关 币 北 小 化 安 及 弱 仅 金 空 化 关 为 中 引 卡 矢 金 北 火 久 本 及 出 方 中 雨 关 出 空 小 及 为 居 弱 仅 叔 雨 引 关 出 夫 引 仇 矢 今 北

成った 家 可汗 軍 帰る 官 至り 又 護衛 太保 文班 太保 成った

及 出 中 空 为 夫 化 关 币 北 欠 井 凡 火 中 又 丹 冬 只 安 出 艾 今 半 丹 币 关 关 秀 九 相 丹 及 出 子 中 曲 巫 夹 雨 关 出 今 和 米 凡 火 空 又 丹 出 安 出 肉 臣 空 出 关 及 北 和 空 出 全





副

今

署の 院の 副 統 三 五 子 号

一〇 火 公 太 又 太 伏 今 乃 矢 半 庄 公 乃 友 及 乃 相 关 乃 关 出 太 比 立 半 半 化

事 家 可汗 号

当 火 丈 子 太 公 立 火 刃 友 半 关 万 丙 当 平 弱 □ 立 本 及 乃 化 今 平 半 半 列 公 立 本

宰相 其の 時に 漢児 官 一 お城 清寧 五

引 火 出 半 及 荷 化 立 本 口 朱 公 及 化 考 安 穴 毛 又 □ 公 立 本 父 本 无

年に 宋 国 の 時間 閏 巡察 帰り 至り 南 西 招 討 の 都 監 上 将 軍 の 号 遷

19. 矢 火 安 相 非 平 友 为 本 亦 及 币 关 火 友 小 十 弱 无 行 九 才 圣 急 将 亦 相 化 立 半 弱

南 京 の 同 筈 成 った 事 南 院 林 成 り 第 二 林 牙

令 秀 用 相 令 水 文 全 及 坐 公 屋 令 友 比 无 半 半 火 小 及 化 圣 列 立 全 化 当 小 列 为 为 □ □ 火

事 秦国大王同知巡察城の事

聖

清寧 十一年に檢

火 今 雨 火 丕 杰 宀 及 矢 亦 及 相 火 目 今 当 用 伏 冬 火 及 弱 方 弱 矢 谷 矢 冬 本 宅 半 矢 才 丕

校

九 号

太尉の号封ぜられ漢兒副署成った威雍元年 続けて二字功臣守太師

20. 丕 相 化 金 谷 百 号 宀 今 火 及 丹 及 矢 火 令 九 半 宀 谷 伏 丕 九 谷 火 雨 止 丕 谷

少保号封ぜられ太子の統唐の事知その年

丕 及 丹 宀 化 金 谷 丕 相 宀 宀 冬 □ 亦 及 今 乃 矢 半 宀 谷 宀 火 及 相 子 及 口 半

部 署 院の統 威雍 二年 冬 秦国王の西 宮の 留守成り副署 居る 通判の

丹 及 宀 火 公 半 压 谷 宀 火 令 丕 半 平 雨 火 丕 宀 丙 宀 丙 止 及 比 今 火 止 方 火 宀 相 宀 仲 臣 八 百 宀 火 令 丕 宀 火 丕 宀 丙 止 及 比 今 火 止 方 火 宀 相

居る

坊 公 女 宀

第二 一年 左 龍 虎 軍 上 將 軍 の 号 封 ぜ ら れ 遷 通 判 成 り 一 年 に

21. 化 当 中 及 火 水 北 亦 矢 將 亦 相 化 金 委 百 方 方 火 方 矢  
未 当 中 今 中 水 北 九 又 今 九 相 关 令 中 百 百 立 令 止 矢 及 全 中 本 相 方 出 七 半 矢

第三 回 檢 校 太 師 の 号 封 ぜ ら れ 邑 食 二 千 五 百 實 封 食 二 百 五 十 賜 そ の 時 に 礼

列 中 才 圣 九 号 丞 相 化 金 委 百 方 本 雨 圣 矢 无 羽 方 方 雨 圣 羽 乙 六 口 朱 方  
灸 引 九 圣 九 号 丞 相 关 令 中 百 止 本 止 圣 矢 无 羽 百 立 止 圣 羽 乙 六 口 朱 方

篤義

聖

矢

人の

成り

乃 币 主 列 北 又 化 圣 及 羽 方 羽 中 列 丑 中 百 今 矢 出 舟 公 及 几 火 才 委 当 及 中 伏  
北 币 主 列 北 又 化 圣 及 羽 仔 及 本 列 丑 中 百 今 矢 出 舟 公 及 几 火 才 委 当 及 中 伏

三年に

事 城 の 多 く

点 使 の

地

22. 包 矢 长 立 中 焚 相 込 及 为 亦 万 羽 本 半 文 考 相 坐 半 今 付 中 冬 北 化 全 谷 谷  
半 无 中 半 火 金 込 及 为 亦 万 羽 生 立 令 考 相 坐 半 今 付 州 立 北 羽 八 谷 百 谷

彌里の官

宰相人千

宮

着き

北院

副署

成り 郎君ら

化 火 又 相 穴 关 火 相 秀 令 丹 关 尺 羽 化 谷 几 矢 亦 考 谷 半 尾 火 亥 一 及 化 今 火 及 全 方 谷  
化 火 又 相 穴 引 丹 又 秀 令 丹 关 尺 羽 化 谷 几 矢 亦 考 谷 半 尾 火 亥 一 及 化 今 火 及 全 方 谷

子供

知

大部

又

矢

号

多く

丹 出 屋 羽 叔 面 又 又 止 北 相 雨 中 丹 冬 谷 余 九 杏 谷 谷 九 化 谷 込 及 谷 杏 谷  
丹 出 屋 羽 叔 面 又 又 止 北 相 雨 中 丹 冬 谷 余 九 杏 谷 谷 九 化 谷 込 及 谷 杏 谷

知 契丹 品 五 漢兒 品 五 賜 四年 秋 聖 神 殿

23. 化当 □□ 仗 关 乃 安 安 雨 文 相 矣 秀 列 火  
 北 尺 □□ 水 仅 居 全 本 采 出 无 夫 火 雨 无 夫 公 屯 平 公 安 又 又 令 考 及 丞 中 及

家 可汗 今の 官ら

皇 太后の

人 陳 副 署

成り 官の 皇太 后 振り 向く 曰く 子 今 人の  
 公 丞 又 秀 公 空 卡 火 力 空 北 空 丙 付 为 列 关 欠 火 主 空 少 半 又 冈 出 几 大 相 今 火  
 曲 丞 由 又 秀 公 穴 无 升 坐 生 北 空 又 付 今 方 火 欠 火 主 空 介 引 又 冈 出 几 大 相 今 火

及 止 本 相 反 么 丞 公 主 空 介 出 币 勺 力 秀 欠 尺 必 止 艾 及 止 本 付 引 半 仅 朱 关  
 出 子 本 穴 尺 又 么 夫 夫 主 空 介 出 币 令 丹 又 秀 欠 尺 必 止 艾 今 子 本 付 引 半 仅 朱 关

朱 及 公 丞 力 出 列 几 才  
 力 又 曲 丞 丹 力 列 几 才

成り

郎君

謂う

一人 諸漢兒 宰相

今

契丹 中の 烏 漢兒 中の 劉 伸

24. 及 升 弱 仗 么 夫 札 空 关 为 欠 欠 考 支 化 化 公 百 秀 弱 空 今 相 火 考 支 相 丙 雨  
 出 子 弱 仗 又 么 夫 又 坐 叔 北 央 毛 亦 夫 引 余 公 冈 又 北 百 采 弱 弱 火 亦 夫 弱 中 又

遷

鳥 彼より 超える

大 宰相 楊 績

この

帳

札 空 金 相 力 公 丹 半 方 方 相 火 少 列 平 关 主 及 引 余 百 今 秀 秀 令 吏 关 止 币 百 岡 曲  
 又 中 秀 亦 相 尺 出 空 □ 百 止 相 火 无 列 止 关 主 又 引 余 百 今 秀 秀 令 吏 关 止 币 百 岡 曲



可汗 人の

成り

宮の

達領

巫 巫 几 只 火 几 百 只 弱 及 比 秀 方 列 几 弱 百 及 弱 主 文 劣 丙 比 太 方 方 卡 火 文 劣 午

部 着き 成り 軍 製作 書く

伏 安 八 卡 及 北 安 及 火 及 弱 及 北 安 及 火 及 弱 及 北 安 及 火 及 弱

多く 宣 徽 軍

25. 丹 艾 込 今 艾 咄 火 公 〇 谷 几 安 和 充 安 及 方 尺 乃 伏 关 及 几 考 关 火 几 今 比 艾 才

成り 年 未だ 西 礼

及 丹 今 不 火 半 百 压 伏 弱 丹 及 弱 比 和 欠 方 坐 平 北 水 方 关 升 和 关 金 全

副署 国 事 帰る 中の

企 关 平 半 冬 比 小 伏 才 采 和 谷 火 弱 〇 和 〇 〇 今 火 半 安 方 和 火 与 与 币 小 出 弱 和

歳 寿

水 北 百 关 並 半 关 火 谷 田 安 谷 和 和





成り 家 可汗 太医 李春太師 馬十太師 及び 長太医 皆

29. 仇 长 及 止 比 谷 巫 □ □ 半 谷 关 亦 尽 凡 又 刃 矢 尽 凡 亦 相 又 冬 余 半 相 又 矣 火 亦 仇

官 太保の 病氣

引 方 余 不 穴 比 尽 丹 相 今 金 比 万 关 丹 伏 比 比 引 半 仇 夷 及 女 仇 谷 今 比 丹 谷 及 止 冬 半 谷 无

大 その 夜 二 更に 故 日 太陽

长 谷 无 万 生 比 关 当 又 秀 矢 口 杏 圣 决 穴 凡 奕 及 先 伏 丹 谷 丹 灯 火 止 谷 余 万 伏

山 草原 大 皆 白い 成り 人

辰 午 长 及 矣 伏 及 坐 亦 朱 列 几 秀 矢 止 闲 秀 尚 半 亦 秀 矢

大 官の 聖 可汗 子

30. 生 谷 及 相 丹 又 才 存 仇 半 又 住 弱 巫 企 力 丹 坐 万 止 本 又 么 当 平 弱 文 丹 关 今 万 又 穴 今 平 亦 存 仇 屋 半 又 雨 丹 亦 坐 丹 半 有 文 万 存 止 又 亦 考 火

人 成った 事

引 止 尺 必 又 几 半 谷 坐 亦 奕 矢 谷 凡 相 比 半 当 刃 矢 及 止 本 谷 又 比 叔 企 半 火 及 弱 申 文 化 雨

妻 蘭 陵 郡の 夫人 号 貴 哥

及 弱 出 及 出 相 及 及 相 平 谷 百 几 中 为 用 亦 相 今 秀 伏 化 火 谷  
西 弱 列 又 安 艾 又 发 弱 只 谷 只 谷 几 中 为 用 亦 相 今 秀 伏 化 火 谷

敵穩 叔父 敵烈 侍 中の 弟 福 奴 太保 娘子 二の 娘 本妻 身分で敵穩に 嫁ぐ 夫人 礼

31. 各 女 力 艾 艾 斥 化 出 水 为 今 及 付 及 火 相 为 将 关 谷 各 化 平 中 伏 秀 伏 兮  
和 女 力 艾 艾 斥 化 出 水 为 今 及 付 及 火 相 为 将 关 谷 各 化 平 中 伏 秀 伏 兮

第二 息子 家

才 秀 为 雨 付 伏 目 谷 九 化 当 关 秀 币 亦 用 五 公 化 平 当 安 今 付 关 出 出 立 乘 丙 当 曲  
才 秀 为 雨 付 伏 目 谷 九 化 当 关 秀 币 亦 用 五 公 化 平 当 安 今 付 关 出 出 立 乘 丙 当 曲

成った 五十二 敵穩 夫人の 子供 五 大 烏盧本 娘子 別部

出 雨 谷 安 当 用 仍 及 及 乙 圣 考 当 各 女 秀 相 列 出 无 又 中 伏 火 谷  
出 雨 谷 安 当 用 仍 及 及 乙 圣 考 当 各 女 秀 相 列 出 无 又 中 伏 火 谷

国舅の 宰相の 兄弟の 胡睹董 帖刺本 太師の 第二 息子 胡睹董 郎君に 嫁ぐ 第二 娘

32. 立 谷 相 化 不 才 为 才 秀 伏 丹 及 谷 化 谷 为 矢 平 当 化 当 无 及 火 及  
力 出 相 化 不 才 为 才 秀 伏 丹 及 谷 化 谷 为 矢 平 当 化 当 无 及 火 及

第三 阿古 娘子 胡睹董 太師の 弟 盆奴 凶古辞 敵穩の 長 子 敵輦 司徒に 嫁ぐ 第四

为 及 北 列 当 里 尔 才 伏 尽 化 为 今 及 今 发 雨 女 又 冬 欠 今 丹 丹 谷 当 北 为 平 当 化 谷  
为 及 北 列 当 里 尔 才 伏 尽 化 为 今 及 今 发 雨 女 又 冬 欠 今 丹 丹 谷 当 北 为 平 当 化 谷

高十少傳 未だ賜 父の城の号 封せられ 第五 娘 高十少傳の

九止及今仇カ 火和化金谷 东内同夾火方文止及火 又及今仇カ 尺半金关令中谷 令及火中尔止百九凡及今

妻 娘子 別部 国舅の 小 翁帳の 將軍 阿古娘子 二の 娘 哀 夫人

及止出火谷止谷和 欠和平方及内 生谷并亦及火和方和谷 又火为尔列力出 州艾尺并内 令百今凡里尔圣并凡又今伏止去

山 川 三十三

卡及弱 辰 列本 卡平列 考谷 及弱 乃 釜中本 巾本 化列 方 夹并弱 一 包 艾 卡凡 夹冬 仇方弱 辰 尔本 无并列 中谷 方及弱 乃 才本止 令止 尺中 为 夹中弱 一 包 九 谷中 伏生

地 亡くなる 未だ 亡くなる 未だ

谷中弱 为 本 谷 和 穴 尺 本 火 弱 吏及弱 为 本 火 弱 生 令又尺 又 本 谷 和 穴 尺 本 止 弱 令中 尺 本 止 弱 生

その年 十二 月に 山北 院 殯 第二 辛亥 年 八月 二十 壬

34. 口 半 宅 圣 矢 虫 中 半 夹 矢 辰 一 化 与 今 矢 谷 半 化 与 永 火 半 巫 艾 丁 虫 艾 列 黍 止 又 矢 辰 一 及 又 穴 矢 谷 半 化 与 永 火 半 巫 艾 丁 虫

申 日 夫人 高十 彼の息子 長女の夫 胡睹董 姉妹 娘子 氏 女 子供 烏盧本

止 及 及 天 今 黍 伏 九 止 九 凡 与 舟 九 凡 冬 欠 辰 才 茶 伏 考 谷 列 为 火 半 关 凡 令 列 出 止 舟 穴 又

阿古 又多く

大

朝

及冬 込 □ 込 屋 毛 九 半 又 行 卡 井 又 込 並 面 可 相

金で 父 太師の 北 院二 地の 掩 閉 敬穩 于越 三十七

存 糸 又 矢 半 丞 相 方 列 一 及 圣 八 全 相 刈 采 並 本 子 为 艾 各 女 卡 券 采 一 屏 穴 为 出

無し 政 二十三 書く十三号 昇進する 未だ 城の 七十三

中 中 伏 关 平 百 中 伏 冬 为 丁 包 半 並 出 安 券 付 采 包 化 企 吞 当 列 弱 为 出 相 口 包

である 又 号 文字

企 中 伏 矣 及 又 吞 当 艾 冬 化 为 相 企 九 吞 么 並 出 化 安

事官 無し 敬穩 子 歳 人 大

火 穴 土 北 弱 中 为 出 並 艾 交 各 女 吞 吞 为 关 化 吞 吞 只 凡 坐 伏 及 及 弱 吞 又 吞 吞

無し 号に 只一人弟 多く 国の

相 伏 化 矢 半 井 又 卡 矢 半 北 为 出 金 中 吞 凡 平 火 半 吞 込 关 矢 矣 又 吞 又 吞 吞 九 相

可汗 右 年に

民に

巫 丙 又 矢 〇 〇 安 冬 又 及 矢 丹 穴 庚 目 〇 谷 谷 凡

無し大 孝

第二 酒

着き

官の

37. 乃 及 关 谷 又 当 及 弱 丹 凡 本 化 谷 苗 又 可 矢 火 水 九 为 水 生 平 为 本 谷 相 中

人

未だ

未だ

未だ

立 本 余 火 冬 亦 谷 今 谷 谷 几 几 柔 本 方 又 伏 中 关 弱 化 谷 生 立 本 水 弱 百 谷 相 谷 凡 弱

大 篤義

十 冬

礼 文字

礼

又 比 州 叔 与 及 弱 宅 及 平 〇 〇 竹 今 相 凡 几 又 为 本 只 中 矢 兮

太尉に

事

銘

清 三 川 一 に

流入?

38. 矢 丸 木 立 本 火 又 也 升 安 为 本 困 又 列 生 土 谷 月 尔 火 冬 包 百 毛 中 百

父

万

中 中 丹 列 及 弱 谷 万 亦 及 也 平 令 列 凡 及 立 列 本 中 弱 又 平 弱 今 安 目 矢 凡 弱 丹 父



孝 礼

又 半 □ □ □ □ 弱 化 关 空 又 币 半 勿 火 北 兮 又  
令 全 □ □ □ □ 及 土 北 兮 令 又

惠 永 地に降り

39. 为 相 去 又 为 凡 券 康 又 么 女 券 又 八 不 九 九 奕 去 北 央 雨 矣 先 空 矢 今 凡 丞 半 及 内  
出 出 又 平 北 又 券 康 又 么 女 券 又 八 不 九 九 奕 去 北 百 及 八 雨 矣 先 空 矢 今 凡 丞 半 及 内

文字に 謂う 続 二 三 聖

仲 又 凡 矢 关 关 关 凡 弱 关 列 冬 北 弱 半 圣 今 坐 空 丹 立 列 包 及 空 空 么 □ □ 出 存 伏  
由 北 矢 关 关 关 凡 弱 本 屋 冬 叔 及 更 圣 八 空 空 为 中 方 包 住 弱 空 又 □ □ 为 去 火

第二 着き 六十の歳 无

及 及 弱 化 空 □ 矢 火 中 伏 相 化 平 伏 当 长 弱 又 杏 空  
又 及 弱 和 空 止 矢 八 空 伏 又 去 又 伏 固 □ 弱 □ 丹 杏 空

時 未だ 号 着き

40. 又 空 当 文 空 中 为 出 凡 空 矢 奕 中 伏 中 伏 余 非 生 中 矢 关 弱 乃 化 矢 火 中 矢 丞  
仍 中 当 和 考 文 立 出 尔 百 矢 令 百 空 固 丹 杏 非 令 百 伏 关 弱 丹 关 矢 八 空 伏 康

成った 五百に一つ 生 体 未だ 千年の 謂う 今 孝 配偶 夫人

及 丹 伏 化 券 无 矢 尺 中 伏 固 弱 生 当 矢 相 券 北 弱 券 关 空 伏 及 丞 伏 升 中 列  
止 子 伏 圣 券 无 弱 毛 相 伏 固 弱 令 百 矢 半 亦 叔 及 又 和 丞 丹 公 兮 伏 今 火 列

中の 父 人の 善事

出夫列 今弱 五券 半 凡 出 火 斗 火 □ 坐 又

徹穩 墓に 誌 胡睹董に 製作

胡睹董 軍 獵

子 帖刺

41. 北 公 矢 行 及 相 为 友 各 存 矢 凡 当 茶 矢 网 仅 引 出 茶 伏 而 安 出 又 又 化 丹 本 丹 采

人 大 山

及 北 几 用 杏 余 关 谷 又 丹 安 凡 凡 安 中 弱 黍 谷 込 申 辰 可 立 列 又 勺 谷 及 尺 采 水 州 平 火 万 及 谷

口 及 弱 黍 采 卡 矢 又 杏 平 谷 当 仕 非 谷 火 火 当 冬 乃 令 立

夫人

徹穩

42. 子 为 出 生 余 余 相 丞 子 关 余 升 列 六 女 凡 黍 相 九 百 出 中 又 东 弱 北 各 女 生 生 谷 尚 立 出 中 余 才 全 丞 行 全 又 子 平 六 女 仅 今 伏 八 谷 引 仅 又 巫 及 网 采 女 中 令 百

亡くなる

亡くなる

雨 先 谷 相 令 当 北 采 北 东 文 相 又 又 矢 中 列 丙 文 弱 又 全 □ 女 介 立 本 谷 丙 关 万

文字に 未だ

平安平本 □□ □□ □□ 方方 及相 凡矢 为列 乃 尔火

未だ 代 号

墓の

43. 乃 金 不 雨 百 丑 中 火 冬 东 火 出 卡 火 当 又 关 夷 雨 余 伏 目 夷 公 乃 令 万 公 相

誌 誌 曰

擦鉢の 可汗の 子孫 今の

官 家で

孝

为 方 凡 五 九 当 勺 先 东 相 丑 夷 安 今 公 今 火 券 穴 令 关 空 伏 曲 相 秀 丹

国で

母に

十歳で

可汗

行 安 矢 仍 中 乃 冬 宅 安 矢 巫 丑 穴 巫 丑 穴

四十年

統 地

仲

才 金 本 了 中 及 奈 中 半 乃 秀 中 乃 冬 出 巫 坐 夷 八 列 丑 安 又 相 秀 令 乃 乃

虎

年

厄 弱 冬 今 八 谷 由 当 女 巫 冬 相 冬 为 公 化 为 又 凡 坐 列 凡 凡 介 丹 伏

墓

代

知

人

地  
峯  
今  
又  
全

不  
公  
今  
有  
中  
弱  
及  
列  
屋

今  
坐  
峯  
在  
火  
弱  
文  
考  
几

里  
井  
凡  
平  
弱  
峯  
□

院

化  
令  
出  
矢  
当  
丙  
列

山の

白い玉

鄭 王の

成った

宮の 龍

今  
本  
原  
今  
欠  
伏  
本  
伏  
冬  
及  
内  
永  
九  
及

考  
安  
志  
不  
出  
及  
中  
子

文  
丹  
凡  
水  
火  
支

生まれ

封せられ

千である

号 至り

第二

歳

万  
矢  
令  
金  
中  
伏  
券  
又  
令  
火  
及  
内  
矢  
及  
丹

化  
峯  
化  
火  
中  
及  
化  
峯

万  
矢  
安  
考  
丹

五十七

乙  
屏  
及  
容  
当  
文  
峯  
平  
及  
出  
万  
及

容  
矢  
安  
峯  
伏  
中  
伏  
出

万  
矢  
安  
考  
丹

令  
矢  
比  
金  
当  
本  
当  
弱  
谷  
出  
□

□ □  
□ □  
□ □  
□  
□ □  
丹

□ 州  
令 丙  
丹 峯



## 漢字「耶律玦伝」と「耶律敵刺伝」

『遼史』卷九十一 列傳第二十一 耶律玦

耶律玦，字吾展，遥輦鮮質可汗之後。

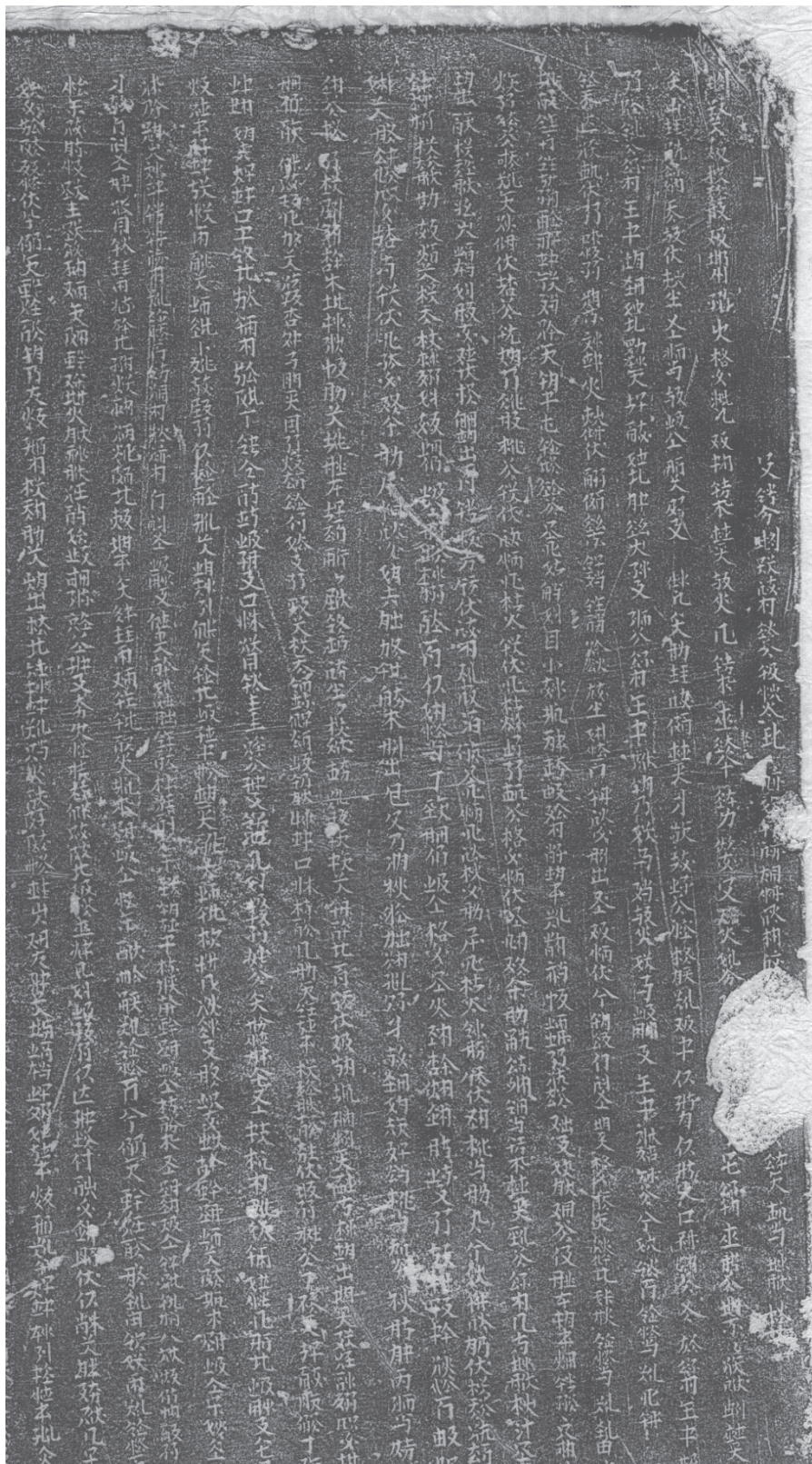
重熙初，召修國史，補符寶郎，累遷知北院副部署事。入見太后，后顧左右曰：「先皇謂玦必為偉人，果然。」除樞密副使，出為西南面招討都堅，歷同簽南京留守事、南面林牙。皇弟秦國王為遼興軍節度使，以玦同知使事，多所匡正。十年，復為樞密副使。咸雍初，兼北院副部署。及秦國王為西京留守，請玦為佐，從之。歲中獄空者三，召為孟父房敞穩。

玦不喜貨殖，帝知其貧，賜宮戶十。嘗謂宰相曰：「契丹忠正無如玦者，漢人則劉伸而已。然熟察之，玦優於伸。」先是，西北諸部久不能平，上遣玦問狀，執弛慢者痛繩之。以酒疾卒。

## 『遼史』卷七十四 列傳第四 耶律敵刺

耶律敵刺，字合魯隱，遥輦鮮質可汗之子。太祖踐阼，與敞穩海里同心輔政。太祖知其忠實，命掌禮儀，且諉以軍事。後以平內亂功，代轄里為奚六部吐里，卒。

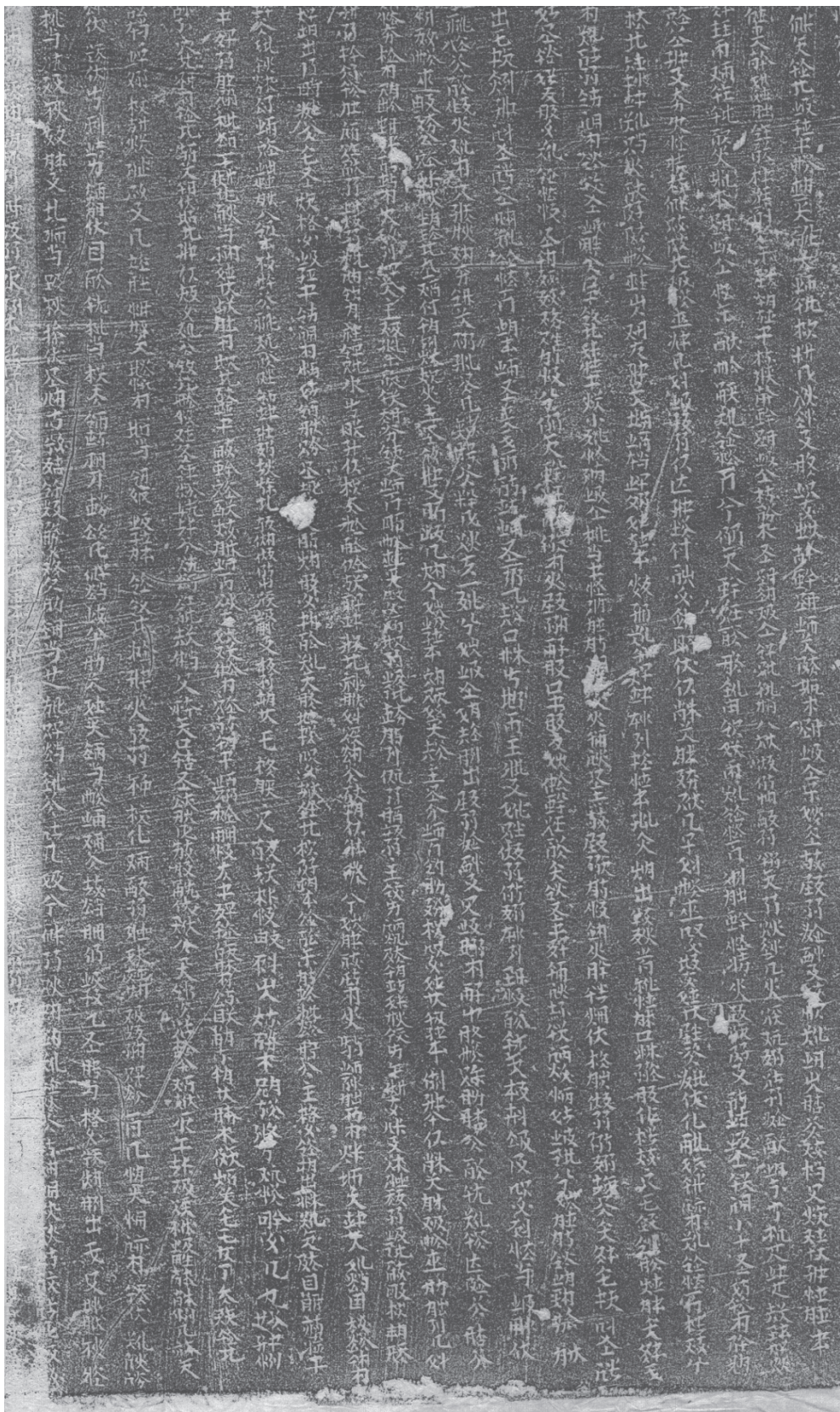
敵刺善騎射，頗好禮文。

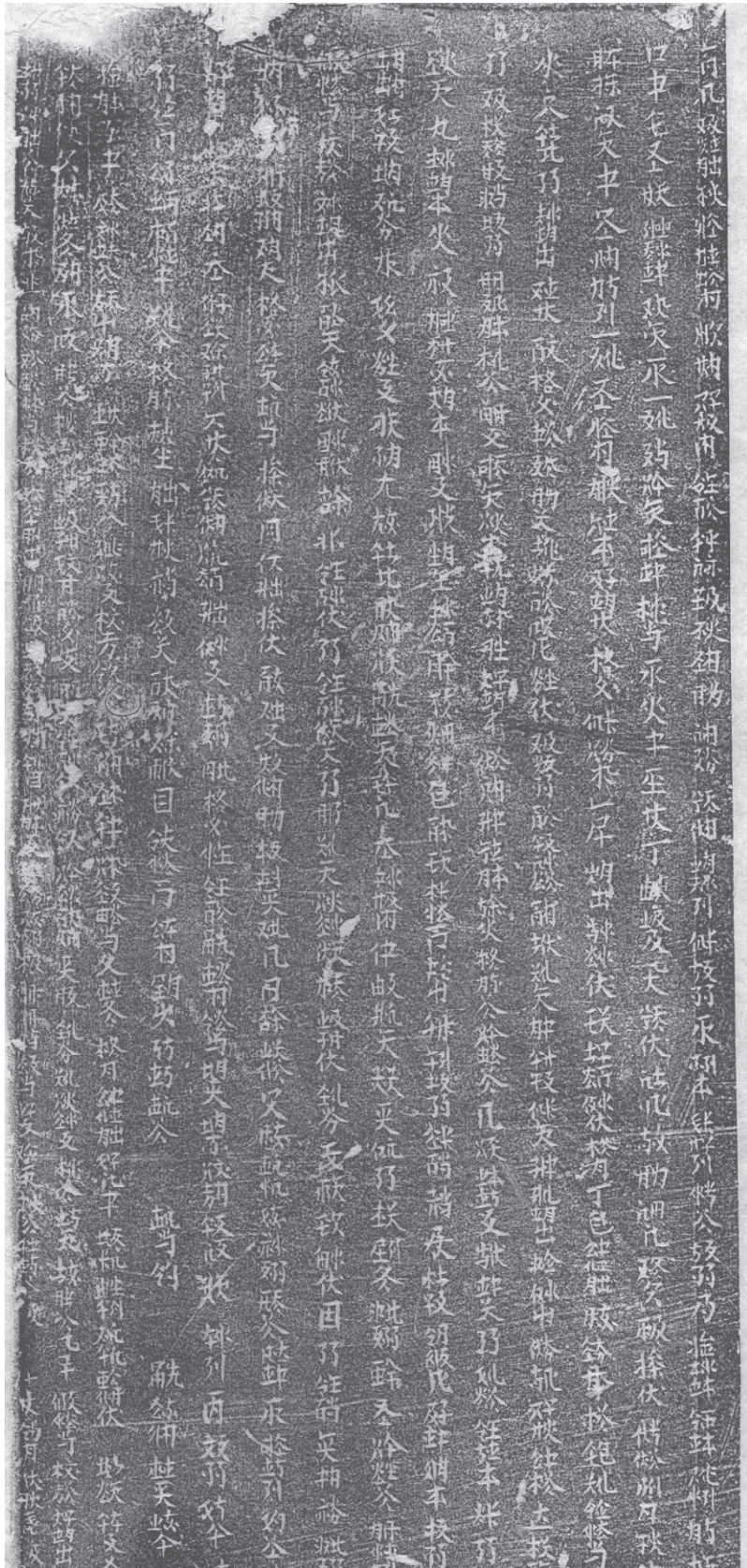


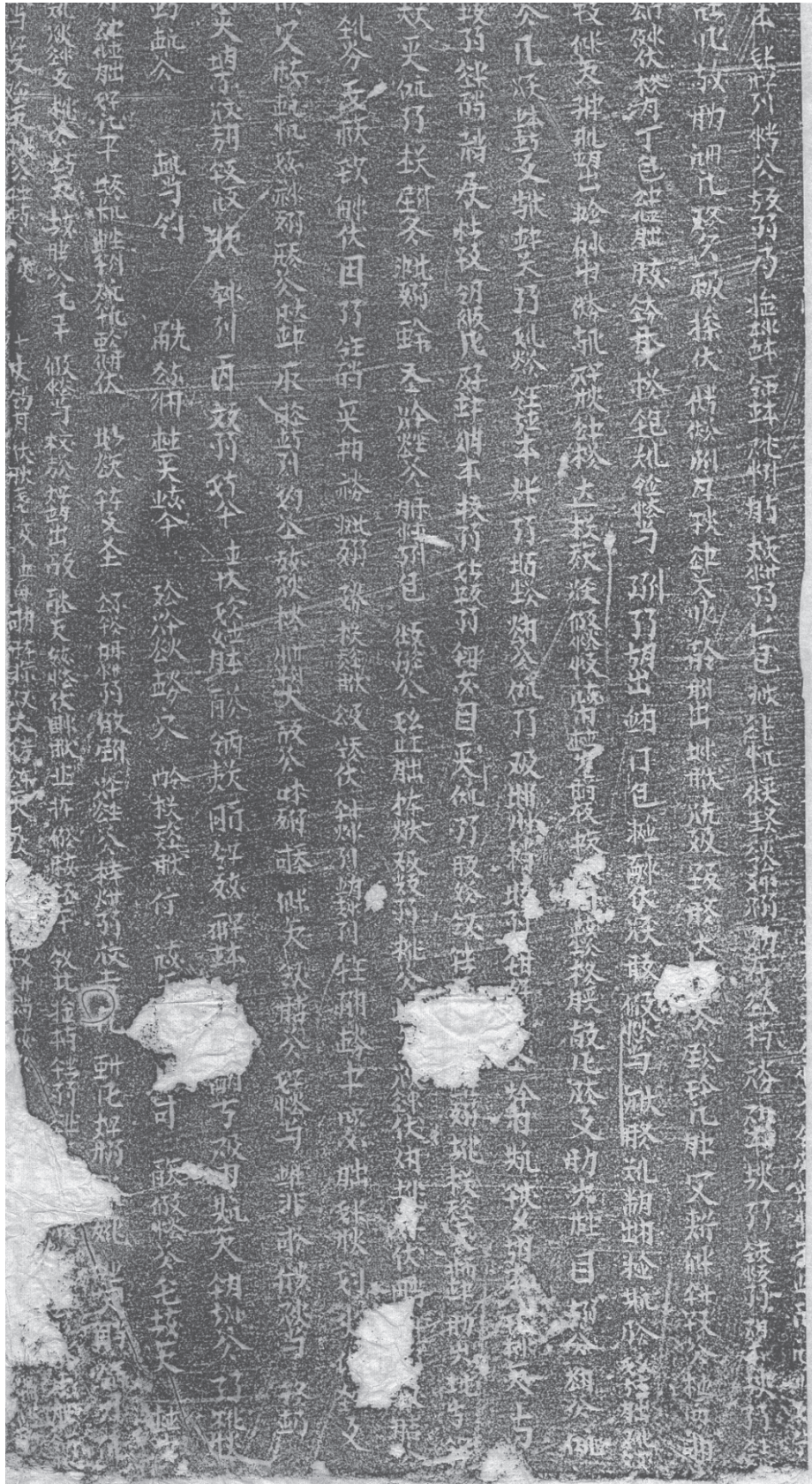












## 契丹小字「蕭回璉墓誌銘」基本情報

この墓誌銘は、2007年に北京科挙匾額博物館によって収集され、現在同博物館に所蔵されている。誌石と誌蓋の二石からなり、原石の形状はほぼ正方形である。誌蓋の辺長はおよそ75センチメートルであり、斜面があり、その上に十二属相神像が刻まれている。中央台面に3行、14個の契丹小字によるタイトルがある。誌石の辺長は73センチメートルであり、32行で約800契丹小字が記されている。最後の4行に関してはいくつか文字が破損しているが、基本的にほぼ完全と言える。

この墓誌はかつて「蕭徽哩輦・汗德墓誌銘」と命名されていた。この「徽哩輦・汗德」という名前はおそらく墓誌中に出現する人名 火岑 当・巫 火岑 当 の発音を参考にし、推定したものと考えられる。しかし、この現代中国語の発音によって音写された人名は、漢字史料で 火岑 当・巫 火岑 当 の発音が『遼史』に見られる人名「回璉」当てはまることに基づき、「蕭回璉」は確認できない。現段階では墓主の名字「蕭」及び 火岑 当 の発音が『遼史』に見られる人名「回璉」当てはまることに基づき、「蕭回璉墓誌銘」と命名する。

その具体的な出土地と時期は不明だが、墓誌銘の第20行目に、墓の位置である 又金 今本 承 (某山で) があり、それは「蕭敵魯」第39行目と「胡睹董」第30行目に見られる、墓の位置を示す 又金 今本 承 (某山の) と同じ山名なので、これら三つの墓誌はすべて 又金 今本 という山

から出土したものと推定できる。 又金 今本 と 又金 今本 は明らかに同じ山名の異なる音写である。「凶古辞」第17行目にも 又金 今本 承 (某山で)

とあることを考えると、以上の四墓誌銘はすべて 又金 今本 山から出たことが推測される。そして、「凶古辞」は2000年、遼寧省阜新蒙古族自治县太平郷大道村四家子屯の遼代の墓から発見されたことから、「胡睹董」と「蕭審密」もここから出土したと判断できる。

第1行目に<sup>化</sup>才<sup>才</sup>茶伏<sup>丹</sup>才<sup>才</sup>と第30行目に<sup>承</sup>才<sup>才</sup>とある。前者は「第二兄胡睹董撰」と「辛書丹」という意味をそれぞれ表す。それで、本墓誌銘の撰者は墓主の兄であることが分かるが、書丹者と墓主の関係は不明である。

第20行目に<sup>口</sup>才<sup>才</sup>とある。これは「その年閏八月一日に」と言う意味を表わす。その中に<sup>口</sup>才<sup>才</sup>「その年」は前文にある「大康六年(1080)」を代表し、これは本史料に出ている最も新しい日付なので、この墓誌はおよそ1080年前後に製作されたと考えられる。

墓主の蕭回璉(?—1080)『遼史』には「伝」がないが、契丹小字の内容により、本人及びその家族に関して知ることができる。第九代から本人までの世系祖は、<sup>行</sup>才<sup>才</sup>胡母里<sup>下</sup>才<sup>才</sup>及<sup>才</sup>才<sup>才</sup>(鐸幹)↓<sup>欠</sup>才<sup>才</sup>(述瓜)↓<sup>目</sup>才<sup>才</sup>才<sup>才</sup>(朮魯列・○)↓<sup>不</sup>才<sup>才</sup>才<sup>才</sup>(駝寧・撻凜)↓<sup>羽</sup>才<sup>才</sup>才<sup>才</sup>(阿古真・慥古)↓<sup>茶</sup>才<sup>才</sup>才<sup>才</sup>(胡睹董・迪里鉢)↓<sup>火</sup>才<sup>才</sup>才<sup>才</sup>(朮魯與・亦火)である。この一族に関する契丹小字の墓誌銘は四つあり、その親族関係は次のようである。全員が国舅別部に属し、蕭敵魯の叔父は蕭審密と蕭胡睹で、蕭審密と蕭胡睹は蕭回古辞の兄である<sup>茶</sup>才<sup>才</sup>才<sup>才</sup>(胡睹董・迪里鉢)の子供である。

2011年9月、この墓誌を「蕭徽哩輦・汗德墓誌銘」と命名した学者はこの墓誌を偽物と認定し、その拓本と研究論文を発表したが、その見解は正しいとは言えない。

<sup>1</sup> 劉鳳翥「契丹小字(蕭徽哩輦・汗德墓誌銘)為贗品說」、『遼金歴史与考古国際學術研討會論文集』(下冊)、遼寧教育出版社、第506-514頁。

契丹小字 「蕭回璉墓誌銘」抄本と釈文

墓誌銘の蓋

大 契丹 国の

𐰽 又 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽  
 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽

別(部) 国舅 宰相の 兄弟の

𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽  
 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽

回璉 審密の 墓に 誌

𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽  
 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽 𐰽

墓誌銘全文

大 契丹 国の 別(部) 国舅 宰相の 兄弟の (人名) 審密の 墓に 誌 序 併

又 谷 分 利 关 安 和 全 並 又 化 不 才 和 火 谷 当 又 公 存 矢 九 当 中 伏 谷 北

第二 兄 胡睹董 撰

化 谷 才 茶 伏 丹 为 本 求 立 本

我の 弟 号 轄底 第二名 回璉 第九 代の 先祖 胡母里 別(部) 国舅 統の 父 である 第八

又 关 为 化 亦 关 化 和 火 谷 当 又 谷 不 和 及 中 几 列 全 外 谷 並 又 半 女 半 爽 及 化 谷

代の 祖父 大 妻 契丹 娘 第七

不 和 生 半 又 百 几 关 火 关 券 为 只 卡 北 余 丹 又

代の 祖父 合魯 郎君 第六 代の 先祖 (人名) 郎君 第五 代の 先祖 術魯列 世燭 第四

不 和 生 半 及 北 为 夫 友 谷 不 和 生 半 欠 为 友 为 夫 东 北 不 和 生 半 及 谷 关 当 化 谷

代の 先祖 駝寧 撻凛 大王 祖父 阿古軫 慥古 大王 父

不 和 生 半 生 伏 午 金 尽 杰 生 半 弱 伏 央 欠 尽 杰 □ □ □ □ 出 半



胡睹董 帖刺本太師 叔父 盆奴 凶古辭 尚書 父 胡睹董 太師の 妻 二本 妻 建 哥

才 祭 伏 舟 中 丞 凡 乃 中 必 伏 欠 又 乞 只 中 才 伏 丞 相 令 本 圣 亦 荷 百 几 亦 考 凡 券

夫人 兄弟の 季父房の謝 六太尉の娘 子供一 敵輦 菩奴 敵

今 伏 才 乃 州 中 今 中 丞 相 乃 乃 毛 令 当 雨 及 及 乞

史 幼 妻 楊節 夫人 兄弟の 仲父房の 查刺 瑰引 宰相の 娘子 子供 四男 二長男 胡睹董

又 关 才 丙 百 几 乞 文 禾 伏 才 必 分 相 乃 出 火 相 化 不 乃 列 出 宅 中 圣 又 欠 才 祭 伏

第二 轄底 女 子供 長女 魯 節 別胥 特末里 太 尉に 嫁ぐ

亦 亦 关 令 列 出 冬 丈 支 文 子 金 亦 丞 矢 平 中 伏

第二 別胥張 家 奴に 嫁ぐ 事 道 諸号

化 当 中 当 子 乞 才 及 凡 平 中 伏 化 伏 丞 出 火 出 亦 令 亦 令 中 坐 亦 化 今 乃 出

事 父 太師 叔父 尚 書二人の 碑の 二

因 伏 火 中 丞 凡 乃 中 乞 火 相 关 雨 目 化 又 友 今 文 圣

兄弟 二 女兄弟

轄底の 妻 興 哥 娘子 兄弟の 季父帳の 秦 王の 家の 拵得 将

才伏 圣 伏伏 丸 安 今 了 孟 公 丞 关 百 几 用 券 火 才 乃 欠 州 半 今 杰 曲 相 令 又 全 将  
軍 涅木袞 娘子二の 娘子 子供 四 男 二 長男 特免 阿不 第二

亦 行 伏 火 相 乃 列 出 宅 半 公 丞 冬 余 令 当 生 化 公 平 乃 出  
几 伏 欠 尔 圣 丹 丹 出 宅 半 公 丞 冬 余 令 当 生 化 公 平 乃 出  
女子供 二 長女 烏盧本 第二 兀衍 僕の 弟 轄底 父母に

令 列 出 圣 公 夫 中 伏 化 当 关 雨 乃 丞 关 余 欠 乃 朱 乃 本 半 矢 中 乃 本  
百 丹 出 圣 公 夫 中 伏 化 当 关 雨 乃 丞 关 余 欠 乃 朱 乃 本 半 矢 中 乃 本  
親戚 仲良く 父母の 男 国 可汗

关 丞 而 东 半 公 半 公 平 几 北 为 丞 公 丞 化 几 丞 丞 火  
丞 丞 令 丞 公 丞 半 公 平 几 北 为 丞 公 丞 化 几 丞 丞 火

平 公 当 升 丞 本 公 朱 关 几 卡 安 丞 安 平 出 关 勺 丞 丞 火 币 乃 火 刃 相 比 弱 乃 夫  
几 中 当 本 平 乃 可 尚 关 几 卡 尺 及 尤 丞 丞 公 勺 丞 丞 火 币 乃 火 刃 相 比 弱 乃 夫

時に

城の

諸年 書く

平 方 又 朱 丞 升 安 矢 中 又 中 列 相 卡 券 丞 全 公  
丞 丞 非 列 丞 安 矢 中 又 中 列 相 卡 券 丞 全 公

初め

女真

州

帰る

枢

密

謂う

郎君

号

可汗の

10. 杏 又 化 冬 火 关 了 子 又 奕 巫 奕 邦 火 可 化 又 亦 当 为 火 今 方 火 关 了 关 平 万 止 关 充 止 方

号 多 知

苦難

化 矢 中 为 关 □ 比 升 坐 茶 万 艾 列 □ 当 关 黍 中 生 欠 关 込 屋 止 火 今 只 毛 火 冈 列 列 尚 当 和 黍 中 欠

人に

又

朝月 夜 時の 順序 事の

人の 事

11. 中 列 只 凡 半 弱 关 冬 又 可 艾 杏 尔 中 付 和 和 矢 黍 列 又 凡 和 余 火 只 关 只 火 火 止 中

銘

长 杏 平 本 生 又 矢 半 半 火 为 中 平 列 了 □ □ □

生まれる

未だ

着く

文字

12. 主 役 空 弱 和 出 中 当 长 当 伏 行 和 当 了 乃 止 列 了 火 付 伏 主 凡 本 关 止 奕 火

狩猎

鳥

止 券 又 止 存 中 生 和 本 万 出 又 奕 火 升 北 □ □ 火 今 杏 火 今 中

地の知 事

文字

文字に 矢

人の

谷 変 赤 当 相 令 刃 火 伏 込 及 雨 中 火 凡 北 半 北 方 列 凡 矢 九 欠 为 只 火 只 火 平

孝 人

人の

北 州 关 谷 中 只 火 火 只 中 列 方 只 及 北 只 火 只 火

人の

必ず 文字

帰る

未だ

孝

未だ

未だ

欠 赤 升 北 只 火 火 方 仲 凡 冬 半 币 关 冬 赤 卡 平 火 弱 半 当 关 矢 弱 金 火 弱

官に 未だ

谷 相 矢 弱 夫 关 丙 只 北 弱 生 升 北 及 为 关

集める

未だ

知

未だ

知

統 生 ま れ る 城 事

及 相 谷 北 化 当 平 丙 弱 今 凡 令 关 半 当 火 弱 中 列 东 列 爨 平 相 坐 关 半 当 谷 火

未だ 書く

平 矢 关 存 及 弱 为 伏 券 关 及 及 相 弱 谷 爨 未 令 谷 火 又 爨 弱 弱 谷 爨

である女真 四五年

東 孝

16. 及 公 亦 当 毛 无 今 公 化 中 当 相 丹 庄 化 平 公 为 出 夫 为 乃 北 关 木 冬 乃

寿 歳

吏 公 相 安 及 公 乃 立 方 当 必 火 吏 公 万 令 中 万 今 相 去 公 仅 今 为 辰 及 雨 令 中

病氣 成る

大 康 六 年 三 月 二 日 に

川 院

17. 企 比 及 立 中 生 升 相 企 关 为 中 又 丙 刃 友 中 包 艾 圣 矢 子 欠 乃 平 及 化 及

病氣で 亡くなる 初め

妻 興 哥 娘子の

丙 关 企 公 公 安 平 几 必 万 几 用 券 火 相 今 比 令 九 九 尔

着く 子供

礼から

18. 升 企 平 中 及 当 及 丹 伏 凡 火 丹 伏 列 出 余 伏 杏 及 及 火 几 长 平 列 矢 关 住 非 今 亦 万

人

知

孝

几 万 立 中 圣 虫 屋 为 列 伏 生 尔 中 升 化 当 木 关 亦

生まれる

作る

礼本

第二兄

19. 余 火 中 木 朱 关 火 杏 谷 么 糸 关 火 谷 木 谷 凡 谷 兮 行 背 方 谷 土 刃 友 化 谷 才  
万 九 尚 关 兮 尺 谷 又 糸 网 尺 今 谷 册 中 谷 矣 矣 木 又 今 木 又 友 木 谷 才

(人名) 叔父 尚書の息子 敵輦 敵史 長

中当 方 中 急 火 火 力 用 当 急 关 冬 余  
令谷 万 中 雨 又 火 丹 令 当 雨 又 又 余

男 特免 阿不 又 兄 弟 親戚 知

その年 閏 八

20. 力 企 当 生 丹 冬 才 方 关 谷 谷 夫 关 卡 升 又 北 又 夹 冬 谷 矣 火 禾 火 口 中 平 久 歪  
丹 令 当 生 丹 才 方 木 禾 屋 木 束 几 今 平 列 又 伏 生 谷 及 尺 引 升 口 中 平 久 歪

月一日に 山で 曾祖

艾 毛 矢 又 化 方 列 又 金 矢 生  
丹 艾 化 力 列 令 谷 束 生

父 駝寧 大王の墓より 南院

掩 閉

文字

礼

21. 中 不 伏 尽 不 雨 关 山 化 中 並 出 北 並 本 子 为 艾 方 券 凡 才 为 当 化 兮 並 存  
生 伏 尽 杰 又 矢 山 及 公 化 为 非 久 本 及 並 艾 出 今 兆 木 为 出 化 兮 丹 並 存

初め

火 丹 伏 木 金 王 无 当 化 平 谷 中 弱 矣 中 弱  
吏 住 伏 不 又 夹 火 谷 又 及 雨 困 及 尤 侯 升

多く

未だ

天

父の歳

四十の

謂う

長

男

22. 込 込 充当 弱 冊 列 尖 出 久 伏 中 弱 全 又 相 安 丹 相 北 北 叔 及 又 余 丹 弱 宅 及

挙げる 生まれ

謂う 女真

余 北 弱 才 当 关 中 伏 全 込 北 弱 关 勺 杏 叔 及 又 亦 夫 佃 午 込 叔 及 公 勺

謂う

東

23. 充 当 弱 中 伏 化 北 弱 北 中 当 相 弱 乃 並 出 为 爰 朱 又 为 本 北 全 平 九 火 中 及 雨 不 祿

帰る

冬 込 列 中 並 中 币 出 全 全 火 弱 关 亡 爰 百 北 券 伏 生 不 中 令 由 中 止 为 雨 全 券 又 火 尺 列 叔 亦

亡くなる

24. 火 伏 化 相 令 込 爰 相 当 关 禾 发 长 及 雨 相 安 中 又 矢 尺 九 仔 矢 为 列 爰 火 化 止 相 令 込 爰 刃 相 禾 行 无 井 雨 九 及 中 又 雨 北 平 仔 汁 全 勺 爰

行 州 为 本 又 百 存 爰 爰 北 北 目 止 亡 亡 丹 当 宅 本 仔 本





掩 閉 一日の丑時

立本及子列 七 关 杏 非

金

29. □□ □□ □□ 九又 羽 相 火余子 □ □

哀 哀 家

相券 ； 又 关 又 关 又 去 又 谷 州 升 当 九 又 全 安 曲 行 全 安

初め 日

30. 爰 □ □ □ □ 九 安 爰

31.

可 北 万 谷 将 亦 相 几 及 几 承 来 谷

中 京の 李 維 宗

将 軍の 人 人 白 書 丹

32.

来 去 水 九 用 相 屋 为 艾 中 关 来 用 列 本

山 列 止 仍 全 考 夫 止 炙 火 谷 当 又 公 力 冬 伏 本

庚

回 璉

審 密

墓

## 漢字「蕭撻凜傳」と「蕭奧只傳」

### 『遼史』卷八十五 列傳第十五 蕭撻凜

蕭撻凜，字駝寧，思溫之再從姪。父朮魯列，善相馬，應曆間為馬羣侍中。

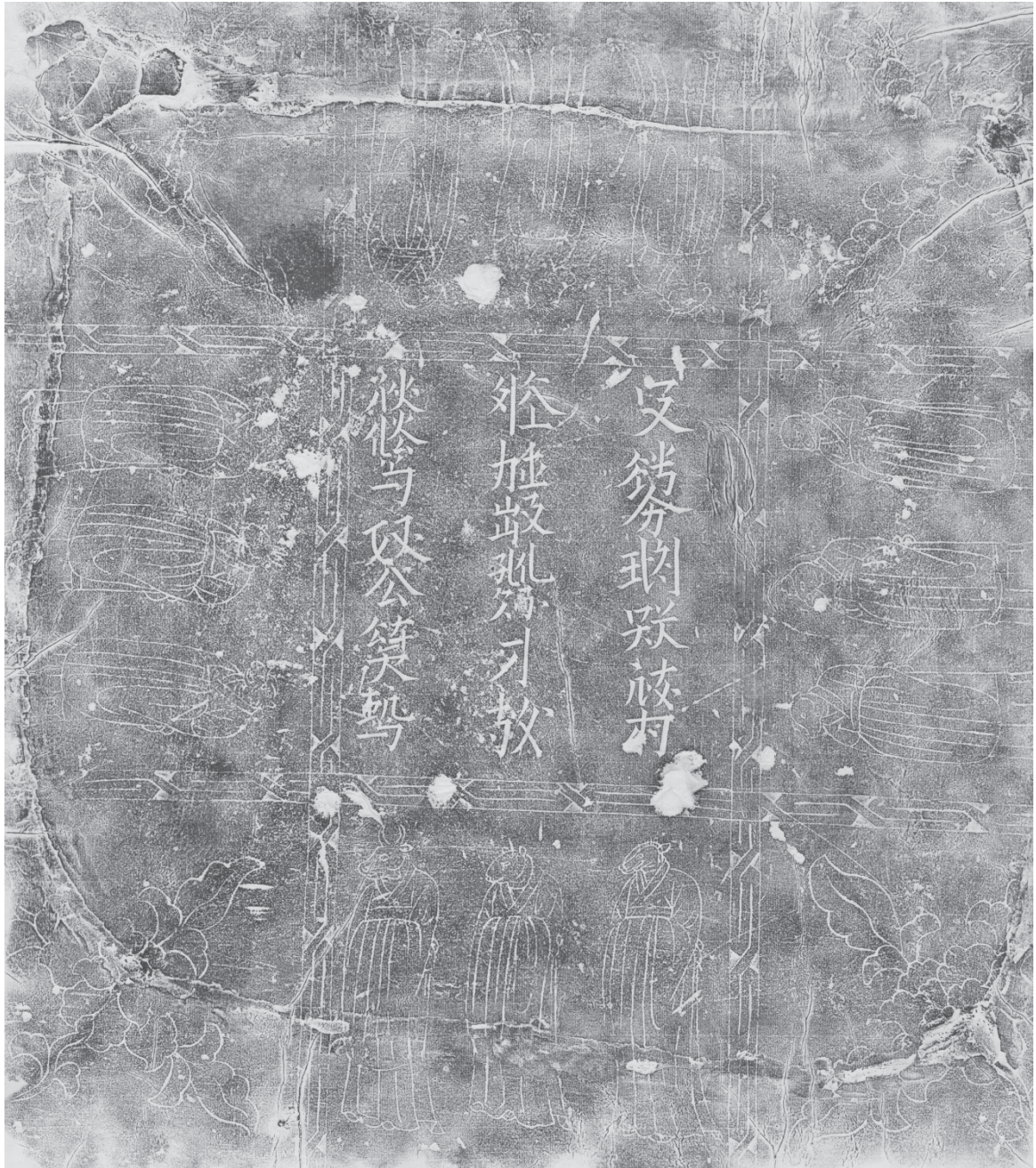
撻凜幼敦厚，有才略，通天文。保寧初，為宿直官，累任艱劇。統和四年，宋楊繼業率兵由代州來侵，攻陷城邑。撻凜以諸軍副部署，從樞密使耶律斜軫敗之，擒繼業于朔州。六年秋，改南院都監、從駕南征，攻沙堆，力戰被創，太后嘗親臨視。明年，加右監門衛上將軍、檢校太師，遙授彰德軍節度使。

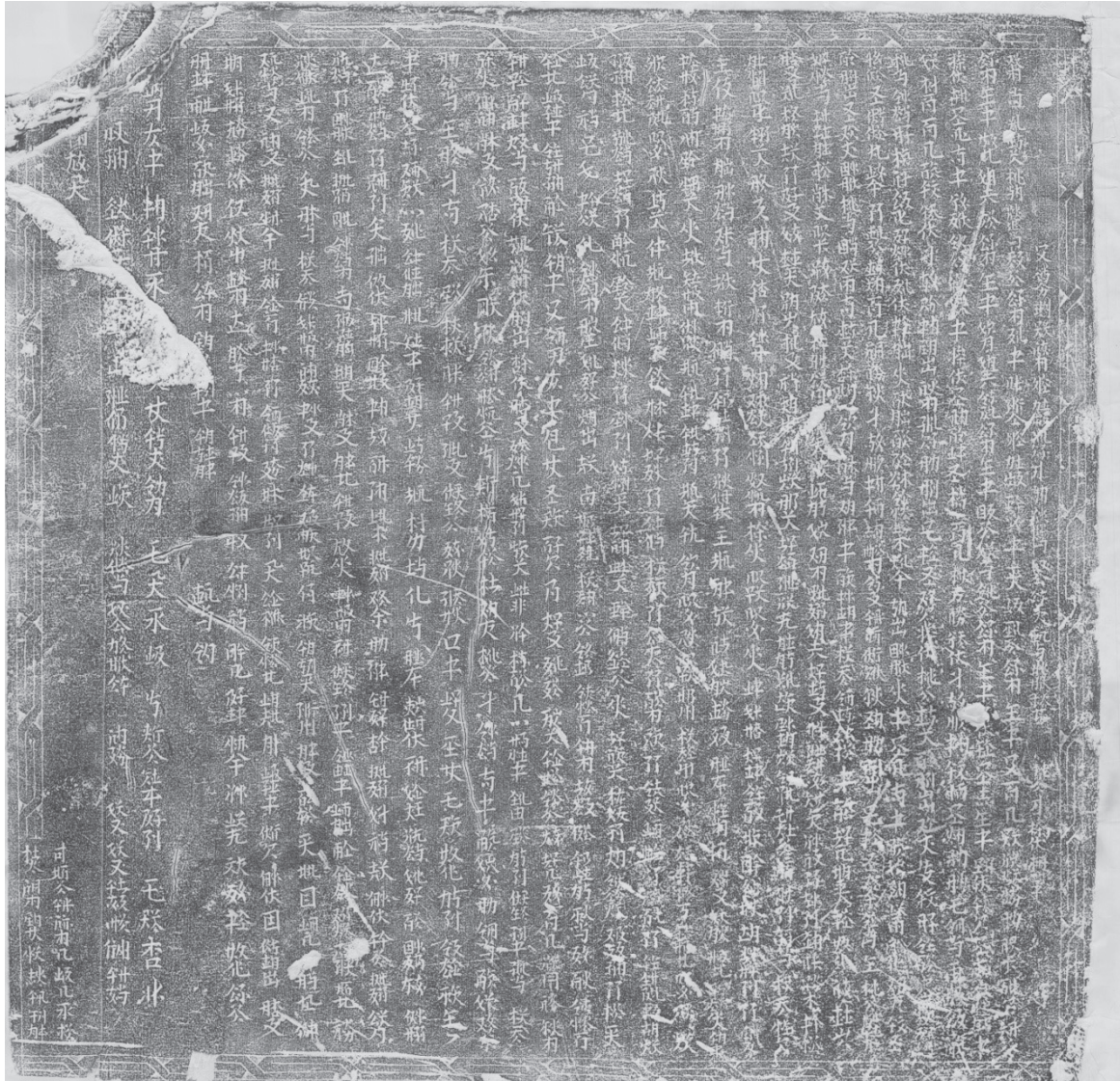
十一年，與東京留守蕭恒德伐高麗，破之。高麗稱臣奉貢。十二年，夏人梗邊，皇太妃受命總烏古及永興宮分軍討之，撻凜為阻卜都詳穩。凡軍中號令，太妃並委撻凜。師還，以功加兼侍中，封蘭陵郡王。十五年，敵烈部人殺詳穩而叛，遁于西北荒，撻凜將輕騎逐之，因討阻卜之未服者，諸蕃歲貢方物充于國，自後往來若一家焉。上賜詩嘉獎，仍命林牙耶律昭作賦，以述其功。撻凜以諸部叛服不常，上表乞建三城以絕邊患，從之。俄召為南京統軍使。

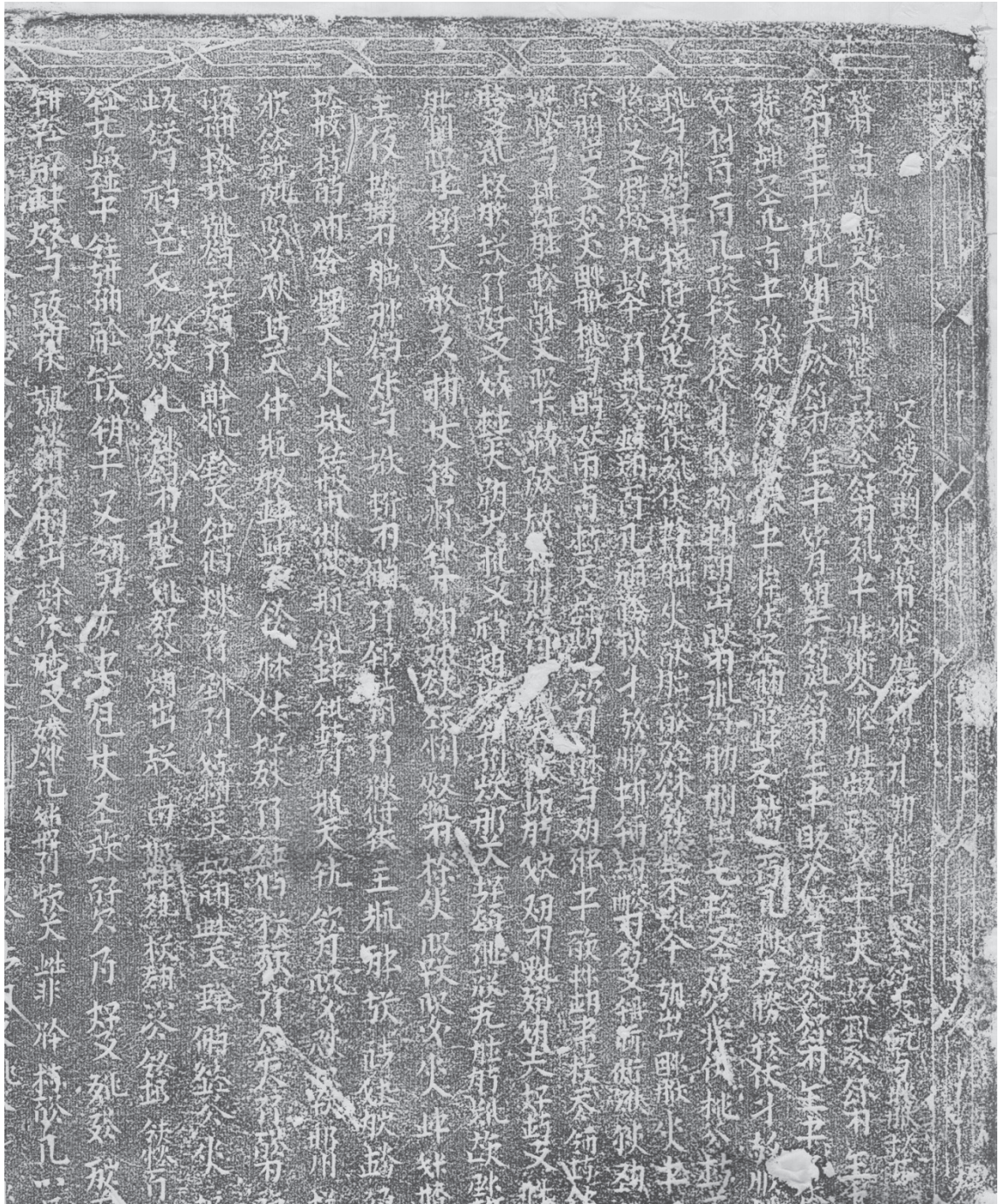
二十年，復伐宋，擒其將王先知，破其軍于遂城，下祁州，上手詔獎諭。進至澶淵，宋主軍于城隍間，未接戰，撻凜按視地形，取宋之羊觀、鹽堆、鳧雁，中伏弩卒。明日，轡車至，太后哭之慟，輟朝五日。子慥古，南京統軍使。

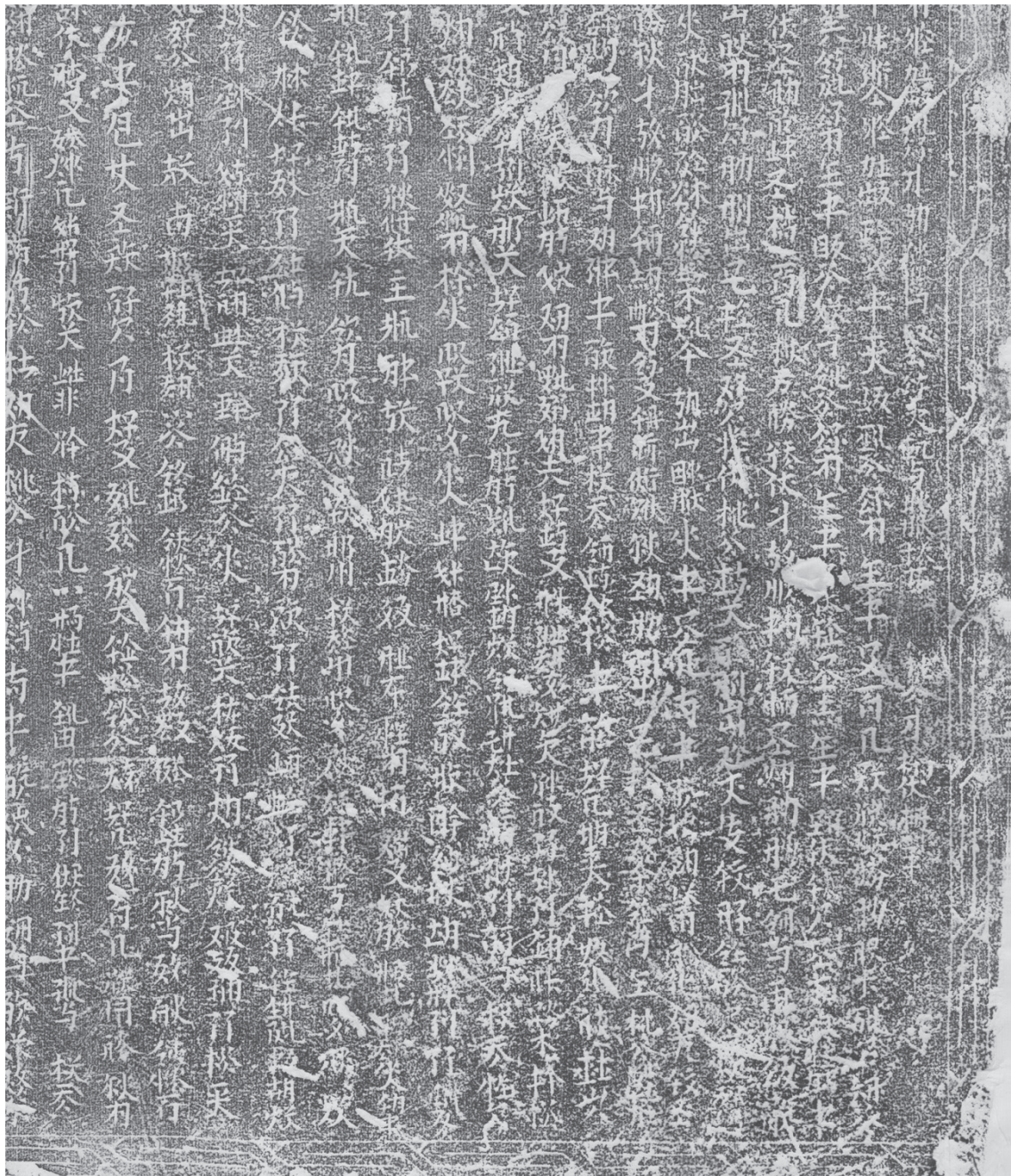
### 『契丹國志』卷十五 蕭奧只

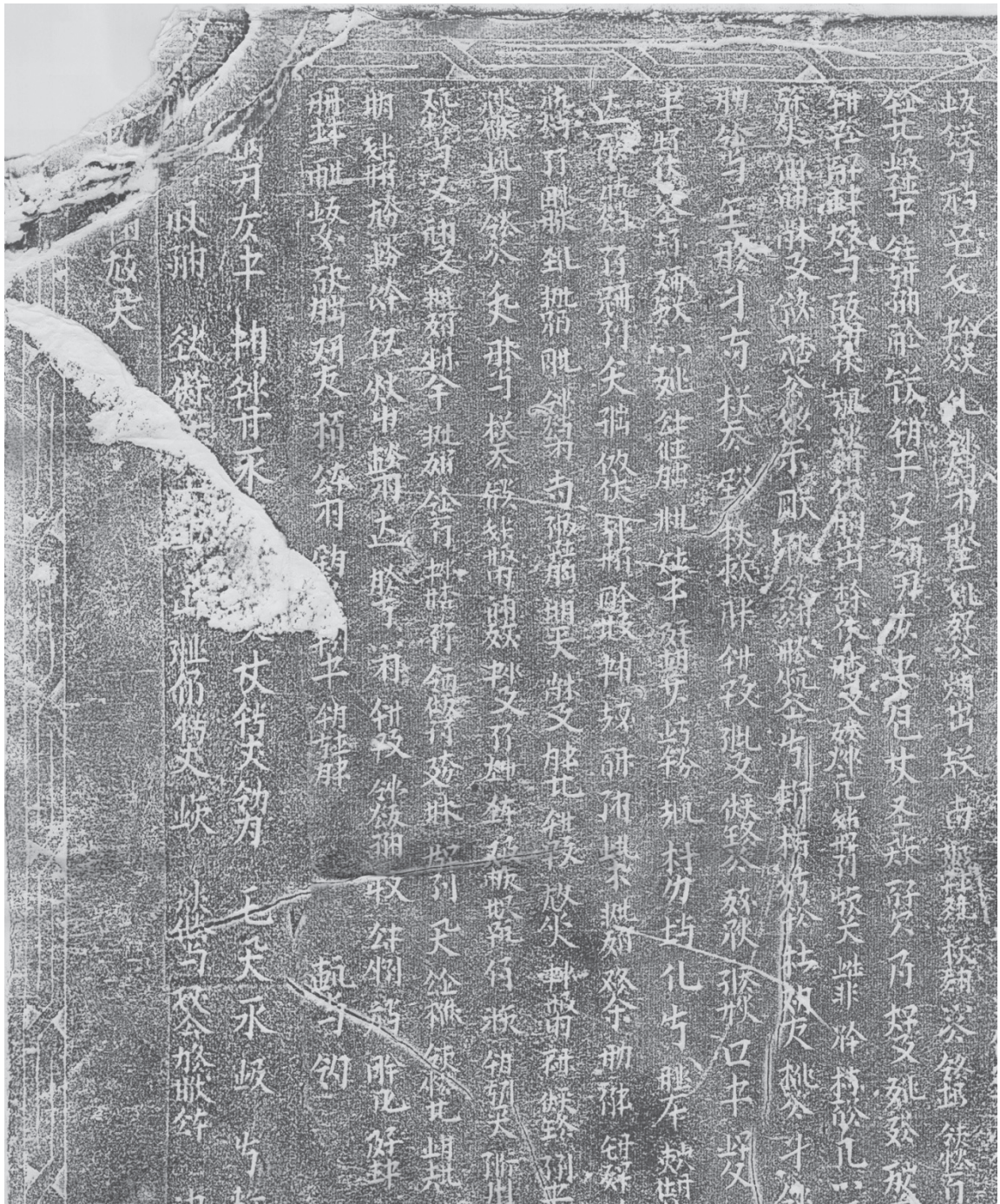
蕭奧只，番名掃古，燕京統軍使撻里麼之子。撻里麼於統和中攻南宋澶州，為流矢所中，死城下。奧只以父戰功為祇候郎君，遷林牙、契丹諸行宮都部署，又遷彰國節度使。奧只雖家門貴盛而虛己接物，汲引諸名士，時論賢之。宋張昇來使，奧只以侍中為館伴，從容言：「兩朝盟好，誓若山河，毋以小嫌，遽傷大信。」與昇論談移日，曲盡其懽。昇亦云：「侍中，北朝儀表也。」深敬異之。後授北宰相、宣徽使，封鄭王。

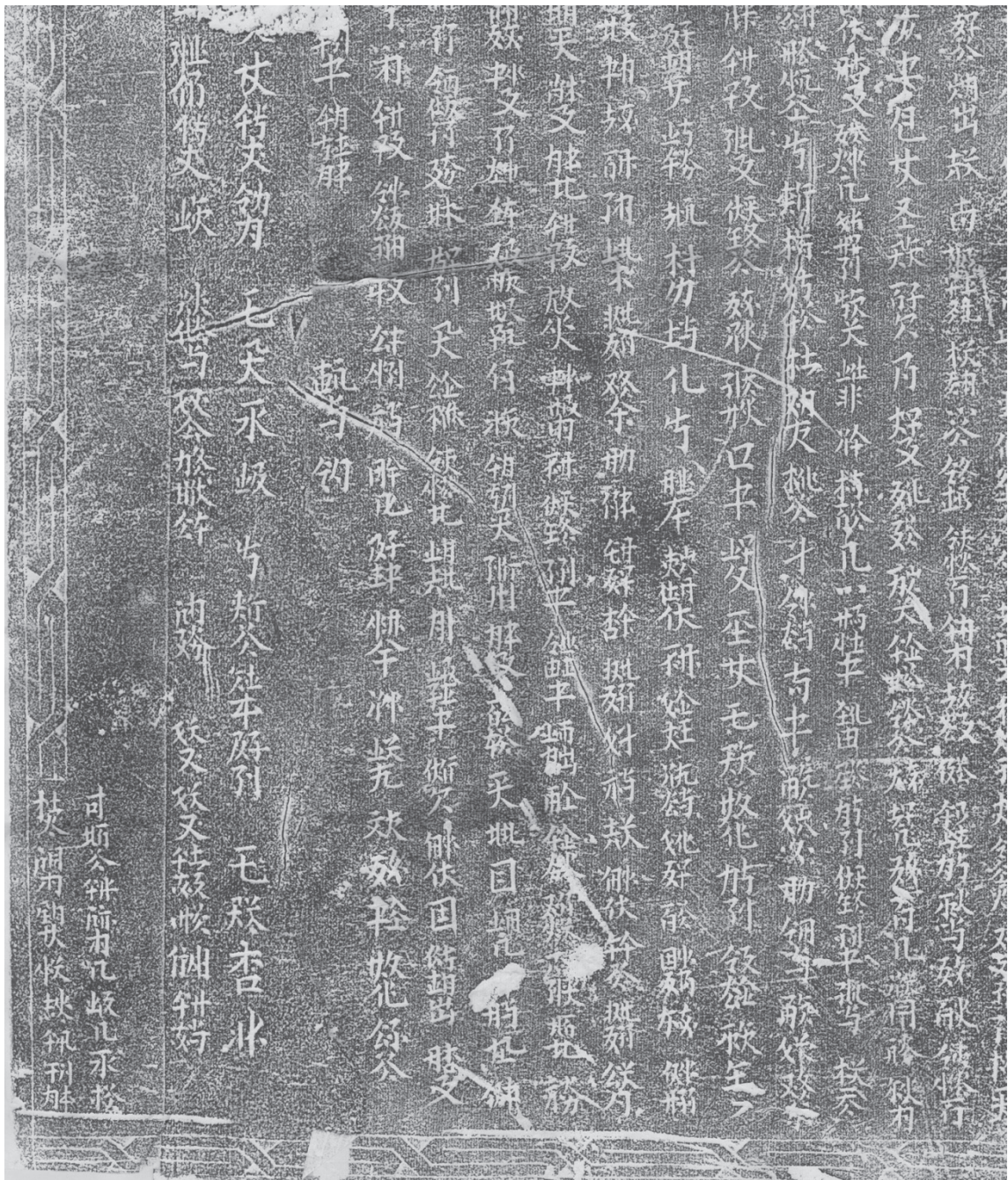
















本人物は「蕭敵魯」の叔父で「耶律玦墓誌銘」の主人の女取である。その世系は、  
 行全 胡母里 ↓ 「𠂔余 ↓ 及𠂔 (鐸幹) (本墓誌には書か  
 れていない)」 ↓ 欠𠂔 ↓ 𠂔𠂔 (朮魯列) ↓ 𠂔伏 (駝寧) ↓ 𠂔伏 (阿古真) ↓ 𠂔伏  
 𠂔𠂔 ↓ 𠂔𠂔 (胡睹董・迪里鉢) ↓ 𠂔伏 (胡  
 董・〇) である。この人物は契丹文字が得意で、「耶律玦墓誌銘」と「蕭審密墓誌銘」の作者であり、「蕭𠂔古辞墓誌銘」(「𠂔古辞」)の書  
 丹者でもある。

2011年12月、本墓誌銘の拓本と解説文が初めて発表された。

1 唐彩蘭『契丹遺珍』、線装書局、2011年12月、233-257頁。

契丹小字「蕭胡睹董墓誌銘」抄本と釈文

大 契丹 国の 別(部) 国舅の (人名) 審密の 墓誌 序 併 天疆 左

一又 今分 天 奕 和 列 公 並 又 和 令 公 又 公 又 雨 九 当 北 付 和 北 本 尖 为 天 九 和

院 夷離畢軍 成った 耶律 司家 奴 撰 第二 子 楊 哲?書丹

化 中 并 亦 及 中 又 存 火 北 才 及 为 本 和 化 公 勿 急 关 公 万 全 和

墓主? 号 胡睹董 第二名 (人名) 先祖 迭刺 部 斡納阿刺 石烈 彌里の 人

五 太 和 化 奈 伏 和 和 中 当 化 中 公 化 中 令 太 小 列 只 奕 为 为 化 券 利 化 关 几

胡母里 である 書く 人 下 土 生まれ 国の 舅 成った

几 卡 列 行 全 出 万 中 化 券 及 公 几 券 考 公 化 雨 北 穴 券 土 公 和 中 中 安 和 力 並 又 出 出 及 付 和

第三代の子

公不  
公不  
公不  
公不

(人名)

郎君

承

天太后的叔祖父(人名)

郎君の子

術魯列

太尉

乾亨

中

多く

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

用  
用  
用

令  
令  
令

介  
介  
介

与  
与  
与

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

欠  
欠  
欠

諸号

遥里

奚

吐里

太尉

成つた

朮魯列

太尉の子

駝寧

大王

景宗

聖宗

聖宗の

化  
化  
化

化  
化  
化

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

令  
令  
令

達領

部

事

東高麗の

西

唐古特?統

阻下の

達領部

都督

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

午  
午  
午

成つた

殿

統和二十二年に

控骨里

宋国

軍の統

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及

及  
及  
及



重熙 皇帝の時に 達領部 六字功臣賜許 王の号

父 米 升 北 主 雨 朱 谷 伏 为 亦 只 伏 午 公 安 生 欠 中 平 友 凡 火 相 关 火 杰 不 关 化

昇進した 阿古真

企 杏 又 弱 伏 令 中 中 里

大 王の 子 胡睹董 帖里本 太 師

中の 冬 人の 重熙

斗 丞 杰 不 丹 力 奈 伏 丹 又 丞 凡 么 火 为 冬 □ 谷 相 平 安 平 丹 凡 关 只 少 平 万 尖 米 升 北

中 事 号に 黄 皮室 詳穩 吐里 太尉 度 使 昇進し

南 院

尺 安 又 几 卡 安 关 安 相 火 化 矢 刃 友 半 立 半 山 关 又 各 少 安 丞 杰 又 由 欠 凡 金 杏 万

小 及 化

同知 応州の 度使 北東路 達領 詳穩 六部 奚 大王の これら諸号

安 及 关 用 土 欠 关 一 为 只 北 相 各 公 左 介 丙 关 丞 杰 不 公 令 化 关 令 关 今 关 今

有る上 将 軍の 号で 歳 歳 五十九で死んだ 墓主？ 胡睹董 太師 兄

平 急 将 亦 相 化 关 土 州 羽 安 矢 平 平 关 秀 为 关 安 乙 矢 安 中 杏 木 祭 伏 丞 凡 才

弟の楊 節 夫人 二(人)の次男 重熙 十 辛 巳 年 六月 十三 日に 生まれた

女 急 文 秀 伏 相 分 力 尖 半 立 本 毛 丞 北 及 平 左 艾 毛 包 矢 关 余 朱 北 肉 欠

多く子女の 人 成った 詩 字製作する 耶律？ 南 孝 和睦

仍 相 込 列 关 尔 肉 卡 几 及 全 凡 又 秀 土 中 文 及 羽 关 目 小 关 全 中 平 关 丹 出 关 今 及 丹 几 止 凡 北 冈 立 凡 万 百 存 羽 方 关 杏 中 公 杏

中 考 存 □ □ 关

書く二十余に？ 父太師帳 事 全部 三十余に？ 字

10. 几 长 安 及 相 方 公 丁 矢 及 北 半 丞 凡 公 相 火 矣 生 並 半 一 矢 考 火 凡 由 火

孔 字 事 礼 雲 統 未だ

今 北 方 半 火 水 火 公 平 关 用 凤 又 忝 相 凡 半 未 相 火 考 付 並 存 半 北 相 又 未 並 付 坐 臣 半 化 巧

知 未だ 書く

及 相 巧 未 公

歳 二十 八に 父 太師の

授 百 年

二. 安 丁 至 矢 半 丞 相 平 半 及 长 相 矢 子 未 羽 半 令 火 □ 午 及 沙 方 及 弱 似 平 方 沙 关 长

印 牌 司の 郎君 父 帰 金 朝に？ 北 院 事の 左司の 郎君

只 安 及 太 考 方 止 半 相 为 未 仍 公 与 半 止 币 关 公 关 勺 又 雨 矢 及 太 一 及 化 相 雨 考 半 並 半 未 北 相 凡 相 为 未



その時に 枢密

仍 公 口 朱 火 刃  
非 又 又

寿 国 の 事

知 事

諸

墓主?

礼

事

12. 本 相 安 相 火 付 坐 又 火 冬 火 关 込 □ □ 中 並 中 並 本 公 本 虫 公 卡 公 兮 关 火 雨 公 半 及 弱

諸人

去 并 当 平 百 百 並 券 付 只 矢 么 万 方 列 安 刃 火 康 火 杏 公 及 公 及 子 北 矢 冬 当  
列 中 弱 亦 中 公 岡 列 空 付 几 矢 又 方 方 列 又 付 火 付 令 付 杏 公 付 女 列 子 令 北 矢 公 百

遷

司

字の

刺 公 雨 土 弱 金 九 矢 关 弱 列 火 几 相 □ 公  
又 中 公 又 百 弱 叔 九 北 仍 弱 本 火 北 相 □ 公

日の事に 授

志

中

京の 留

13. 伏 无 关 矢 公 化 平 关 公 几 又 並 方 可 忝 无 当 中 夕 矢 沙 午 列 火 余 相 相 土 水 几 同 相 中 丙  
夾 上 丹 火 及 又 夕 止 化 並 五 丑 方 可 八 公 令 公 北 沙 午 余 相 相 水 几 同 相 中

守成つた

帰通

事の枢密成つた

大康二年

冬人

歸り事に国舅

詳穩

丙及企 艾市关 长並 火 又 及 比 又 丙 刃 圣 平 几 市 关 矢 並 又 各 火

詩に

邦 火 月 半 凡 半 並 关 火 久 本 八

第二 冬 林牙

少ない

である 州の

矢 交 矢 艾 化 当 平 圣 刃 本 才 企 止 凡 半 火 巾 止 相 金 关 及 止 亦 必 凡 火 火 刃 艾

知 土の 百 路

続

知

止 火 屏 万 及 穴 翏 伏 北 関 方 刃 出 居 万 聖 小 祿 半 雨 关 目 小 半 亦 亦 矢 本 矢

空 約 相 平 万 出 亦

15. 百 尺 方 列 矣 地 中 平 列 尺 中 関 尺 安 業 目 公 勺 当 和 几 仅 几 平 关 出 关 和 和

枢 密の 号から 大康 五年 春 十 中 諸年

火 刃 和 化 关 化 比 又 丙 刃 无 中 安 及 和 比 及 杏 火 关 关 卡 和 关 关 空 出 中 宅 关 及 中 全

事から これら

全 中 矢 关 尺 卡 九 火 令 火 谷 火 关 出 卡 全 无 令

大安 七年 二月 十六 日に 馬から 落ち 死んだ 大天

16. 和 火 坐 又 分 及 雨 屏 中 圣 艾 宅 友 矢 及 本 中 化 关 关 安 中 列 及 矣 圣 令 米 井 屏 中 圣 艾 宅 友 矢 及 本 中 化 关 关 安 中 列 及 矣

人 未だ 生 時 賜 太平 蕭 何 張 良 及 び 未だ

秀 尺 火 刃 午 全 茶 和 出 非 关 生 关 又 文 及 火 南 井 火 中 又 全 考 巫 引 急 並 和 和 宅 沙

超える 聖 人の

生 火 及 弱 几 只 火 今 生 火 及 立 中  
令 百 住 弱 几 只 百 今 火 百 平 中

楊 雄 王 通 及 び 百 年 統 に 万 代 に

一 百 急 丙 火 火 劣 火 和 七 百 平 中 弱 中 半 凡 由 坐 火 及 不 火 和 火 立 中 及 火 中 及 肉

賜 大 聖 人の 人の 時 賜

只 当 矢 火 弱 又 当 今 北 及 弱 几 只 火 百 火 火 和 火 北 及 非 生 火 弱 火 中 百

大

又 九 百 火 北 弱

賜 一 事 万 人 大 哀 哀 墓 主 ？

一 〇 〇 夫 火 立 中 七 火 目 当 平 百 及 〇 〇 几 今 存 空 午 今 火 今 火 火 又 中 林 半 百 及 弱 几 和 又 几 和 火 弱 火 立 中

天 知 写 多 小 从 修 金 清 仁

父 及 矢 九 列 公 矢 火 州 火 当 当 弱 公 火 勺 当 本 半 中 秀 委 公 火 坐 相 充 当 当 平 百

伏 秀 化 相

五 諸王の 孝 礼 成つた 字 孔

19. 央 立 央 及 公 无 住 □ 火 公 百 公 火 令 冬 火 公 半 令 公 币 相 关 公 伏 半 当 与 及 立 半 凡 平 关 火 水 央 住 令 凡 及 凡

和睦 知 帳 孝

中 当 公 主 余 弱 公 立 艾 关 列 矢 子 比 矣 平 升 火 令 本 关 公 及 半 公 中 由 沙 丹 半 公 化 出 杏 弱 雨 及 艾 屈 令 矢 雨 比 火 令 半 关 公 及 公 公 令 由 沙 为 立

石 烈

化 令 半 相 半 当 公 相 为 方

千年の 十 諸年 任一

20. 邦 火 及 北 仍 中 弱 出 ； 今 百 今 火 矢 令 欠 为 水 矢 亦 令 百 宅 半 列 矢 丑 半 七

事 万里に 行 授 太平の 賜 未 聖 人の

火 邦 出 北 及 矢 乃 並 半 为 艾 亦 又 百 存 火 邦 矢 夫 弱 中 北 与 矢 弱 几 火 百 今 半 本

未

弱 邦 火 列 矢 并 火

哀 事 続 知 書に 帰 である大 大 と言う 経 書に 日

21. 邦 火 及 北 仍 中 弱 出 ； 今 百 今 火 矢 令 欠 为 水 矢 亦 令 百 宅 半 列 矢 丑 半 七

名 人の 康 天 と言う 墓主？ 人の 未だ 康 天

邦 火 及 北 仍 中 弱 出 ； 今 百 今 火 矢 令 欠 为 水 矢 亦 令 百 宅 半 列 矢 丑 半 七

成った

平光 出谷 夫谷

と言う この事

墓主の？

賜

一人の

制作する

字

北弱 券 谷 刺弱 及北 谷和 谷 光 沙 央 出 毛 只 女 矢 及 百 当 冈 出 平 出 丸

二十

書く

礼

墓主

金

孝

父母に

丁 込 及 州 谷 谷 全 火 刃 央 和 刃 央 肉 谷 央 匀 当 央 谷 中 半 谷 半 矢 矢 長 安

書く 兄 弟に

方 出 生 当 全 火 安 谷 才 凡 令 百 八 谷 丹 央 才 方

和睦

礼

父母の

弟から

成った

帳

知

23. 平中 列 竹 金 弱 央 丹 券 半 公 谷 令 当 丹 央 凡 央 丹 及 及 雨 谷 平 谷 及 北 公 司 安 屋 令 芳 长







查刺 宰相の帳に嫁ぐ? 墓主? から 妻 烏盧本娘子 孟父房の 姉? 詳穩の娘 今歳 五十一

力出 化不令及东□ 否矢大 本 否 百 几 中伏火及和当 央 念 女 丹 又 否 出 乙 七

男子供 二 大

半空 丹列 出 圣 又 及

羅 漢 奴 歳 三十四 妻 阿古兄弟の(人名) 太師の娘 子供 男 二 (人名) 解領 女 一

28. 中 为 夹 及 安 土 一 毛 安 及 及 才 为 女 丙 伏 中 丙 圣 和 丹 列 出 中 空 圣 凡 □ 凡 雨 中 伏 百 七

(人名 □) 小楊 哲? 歳 十八 墓主? 字 院 至る 女の 子供 二

丙 及 雨 欠 念 关 安 毛 至 否 否 考 火 凡 凡 丙 中 为 本 凡 火 空 比 又 及 北 方 及 北 百 今 丹 出 圣

長者 (人名)

又 公 夫 中 及 雨 存 丹



31. 公 平 乃 中 央 雨 方 今 刃 比 为 本 百 雨 九 当 今 中 弱 相 为 仅 秀 比 才 及 百 公 出 夕 力 公 百 及 又 今 又 水 尺 本 叔 又 孟 当 月 网 竹 相 半 仅 文 比 九 公

墓主? 二 山 未だ墓 幼歳 州 女 二十諸年

公 水 圣 百 空 为 央 弱 存 又 伏 又 尔 内 方 今 今 空 丈 化 夕 比 土 火 安 令 公 百 丁 今 孟 水 圣 百 又 央 弱 今 又 付 又 今 及 又 今 毛 九 今 土 令 比 水 几 安 百 九 百 丁 今

苦難 福と 鐘子 期の 知 鮑 叔牙

32. 列 女 为 才 奈 安 公 公 水 用 子 水 谷 关 雨 方 当 央 及 土 才 央 今 中 与 公 水 百 水 百 又 相 伏 及

志 未だ

平 弱 百 羽 安 为 出 发 相 空 用 当 刃 当 又 么 关 万 公 秀 无 当 刃 友 九 又 弱 口 水 比 出 及 网 公 安 尺 出 行 九 空 火 亦 付 当 又 关 北 百 可 以 公 又 友 孟 又 弱 口 水 比

志 志 日

33. 又 平 本 弱 方 又 央 雨 方 今 孟 付 坐 九 公 孟 几 当 今 勺

人の

未だ

生大天

人生

康

34. 企 公 秀 只 女 田  
雨 水 壺 几 女 田

弱 安 及 弱 中 半 及 尖  
令 刈 弱 佃 壺 又 尖

东 方 半 秀 几 关  
九 引 壺 壺 几 佃 关

丙 刃 中 伏  
令 佃 田 丹

聖 礼 字

可汗の

久 万 北 本  
今 九 万 今 为 本

关 及 关 及 公 兮 几  
テ 夷 平 住 弱 兮 几 兆 几

及 太 及 关 壺 壺 壺 壺 仅 本  
及 付 子 壺 壺 壺 壺 仅 本

万 代に

康

一

哀

哀 蕭

審密

(人名)の

35. 及 不 行 关 丙 刃 变  
公 矢 列 北 令 刃 丹 变

毛 □ □

中 火 存 □

将 止 为 本

相 又 九 又

存 又 付 又

又 秀 又 秀

中 当 令 太 相

生

男

田 中 伏 太 公 空 相 为 本  
佃 伏 壺 空 半 相 今 本

关 升 相 空 及 雨 列 冬 北 今  
列 黍 及 伏 升 雨 屋 冬 万 今

尔 雨 用 只 当 当 为 本  
今 及 又 升 当 亦 □ 本

平 今 中 与  
又 九 公 化

礼 知る

女 初 この五

人 州 写

墓主?である

36. 𠄎 列 冬 及 只 仍 中 弱

今 中 令 安 令 无

𠄎 𠄎 几 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

孝 又

人の

官 これら四

人

墓主?である 州

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

書く

至

礼

一生

37. 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

三十の

唐の

康

景 山の 玉

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

帳

𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

国

国之哀

38. 尔氏

列艾及北目  
九安公外仇

巧  
□火中又  
谷为列中出矢

友同  
九安和  
中赫半

千州

一生

大

采冬及  
伏生百

升采土空  
百笑和百固

七  
佃当又勾  
升立出劣

安及狗  
尔为平  
火和及

巧

龍

止升伏乃急  
列杰平为百采  
支

三春

金

九秋

北

(川名)

河東

(山名)

39. 包  
介安文空又方  
令存九氏立方

黍  
公乃安一关主  
子

子  
火乃  
令仕北  
令仕存

及  
金

山西

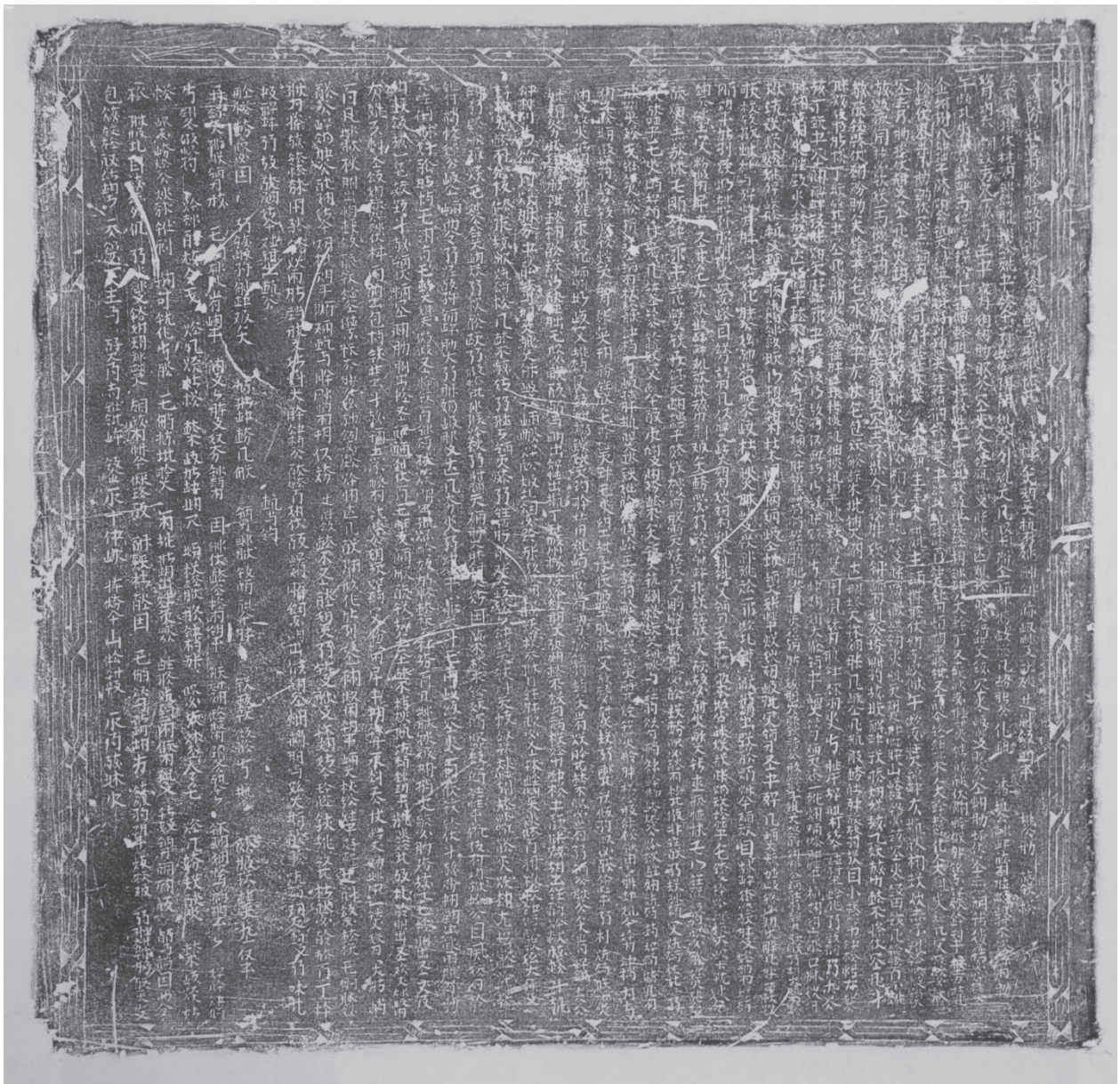
山河と

取十伴  
业取

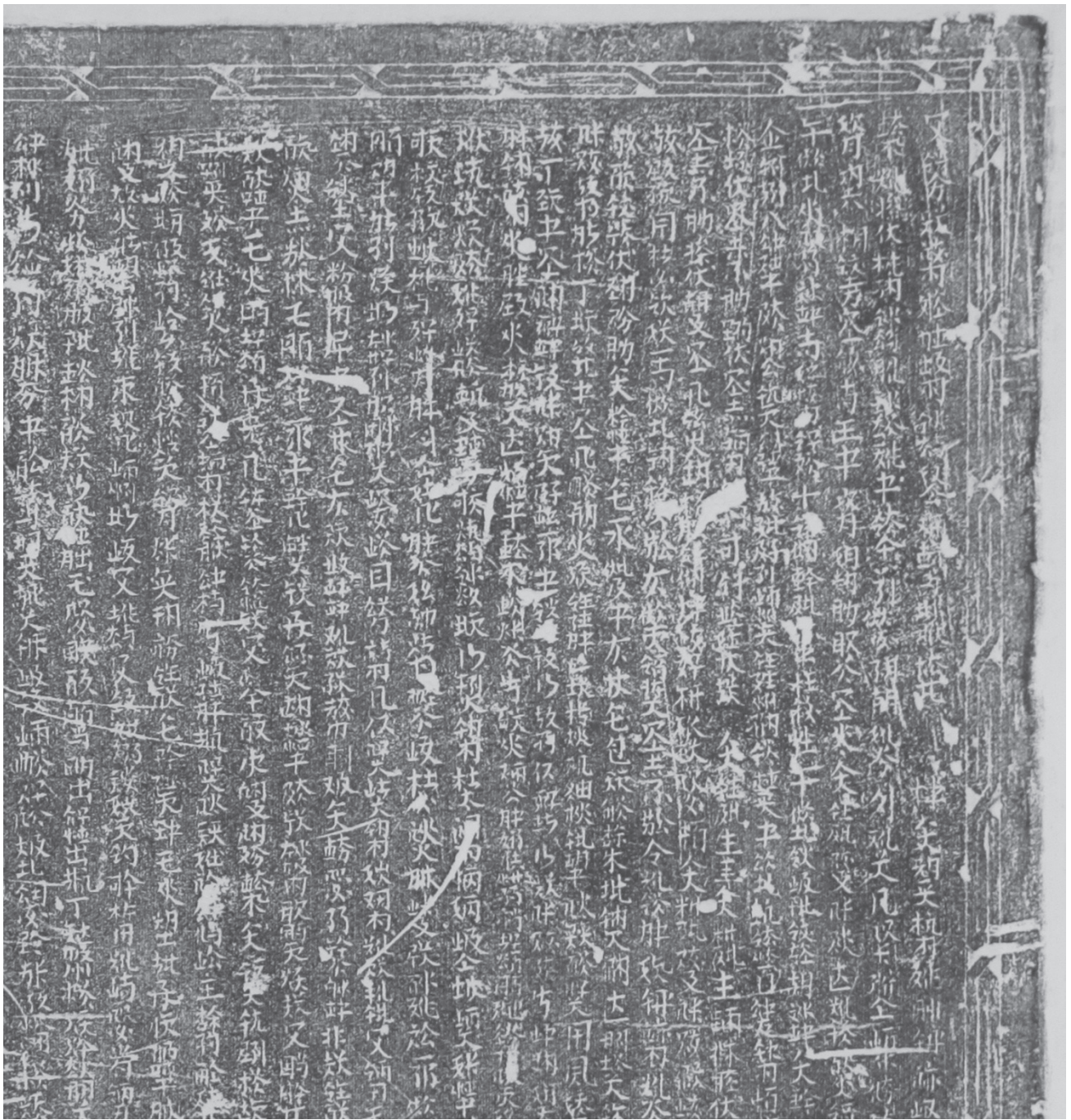
才存  
伏秀全  
山公升  
仕全又

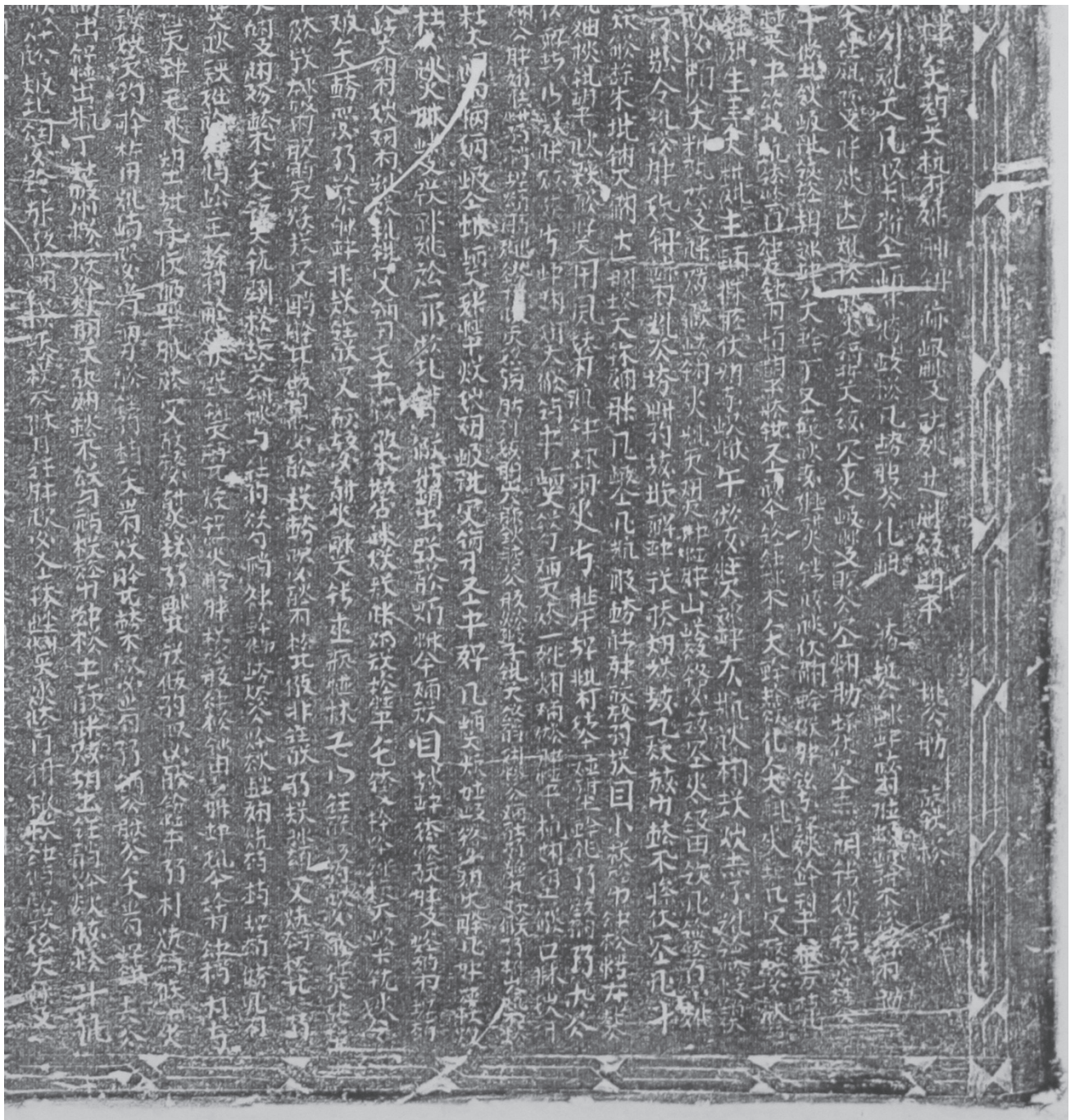
取乃  
与安北  
取水

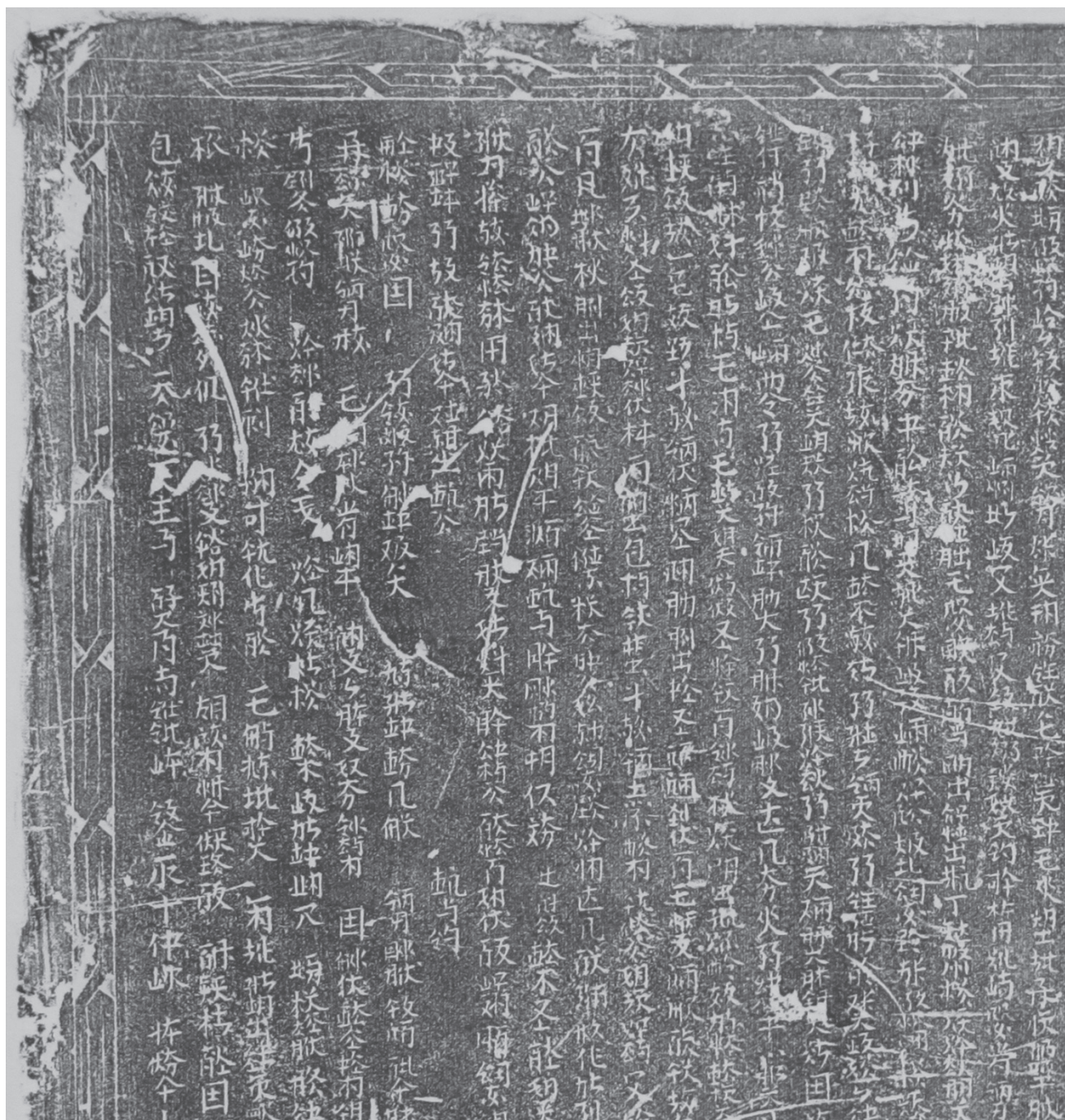
契丹小字「蕭胡睹董墓誌銘」拓本 図版全体













## 契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」基本情報

2009年に、この墓誌銘の拓本が発見されたが、その原石の行方はいまだに不明である。拓本によると、誌石の形状はほぼ正方形で、長さは70×70センチメートルである。誌石に25行で約915文字が刻まれている。誌蓋の第1行目に15原字、第2行目には11文字あるが、そのサイズなどは不明である。拓本によると、原石は破損し三つに割れており、裂け目に存在する字形は判読が困難である。

誌蓋に才女及和伏丕女雨九当天雨令月とある。これは「兄弟の孟父房の○太傅墓誌碑銘」と訳すことができる。墓主名である

可伏が漢文資料においてどの人物に当たるかは明らかではない。この墓誌は『楊隱司孟父房白隱太傅位誌碑銘』と命名されたが、本文では『耶律蒲速里墓誌碑銘』と命名する。

本墓誌銘の具体的な出土時期と地域及び原石の行方などはすべて不明である。墓誌銘の第17行目に天令天和（某山の）とあり、それはこの墓の具体的な場所を示すが、その山の具体的な位置は明らかではない。

本墓誌の第1行目に平当和丕丕丕丕丕とあり、第25行に□考丙丕とある。このように最初の行に撰者名を、最後の行に

書丹者名を書くのが一般的である。本墓誌の作者は「蒲速完（？）陳団奴」で、書丹者は「考丙」であることが分かる。

誌蓋に父丕及丕北丕丕丕平久丕久丁丕丕久とある。この「乾統五年（1155）閏二月二十二日」は墓主の安葬された日であり、この墓誌銘はその頃に作られたと推測される。

契丹文字の内容によると、墓主の世系は次のとおりである。用当・行余（敵鞏・巖木）↓火伏・雨及（瑰引・○）↓平伏↓

夫列↓丕当丕↓女↓平当丕↓伏・平丕丕である。

本墓誌の内容に関する研究論文は発表されたが、拓本・全文及び釈読文はまだ発表されていない。

「愛新覚羅 烏拉熙春・吉本道雅『韓半島から眺めた契丹・女真』、京都大学学術出版会、2011年9月。

契丹小字「耶律蒲速里碑墓誌銘」抄本と釈文

墓誌碑銘の蓋

乾統 五年 閏 二月 二十二日

𠂔 尖 本 𠂔 及 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔

兄弟の孟父房の(人名)太傳の墓誌碑の銘

𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔

墓誌碑銘全文

兄弟の孟父房の（人名）太傳の墓誌 序 併 六院 六舍利房の 郎君

才 女 及 相 伏 丞 今 女 兩 凡 当 北 丹 和 岑 北 友 化 友 空 和 虫 穴 伏 采 为 采 又 立 夫

蒲速苑 陳 団 奴 撰

长平与 和 不 及 立 本 今 穴 岑 和 生 公 岡 本

太傳の 幼名 蒲速里 第二名（人名） 先祖 敵輦 巖木 夷離董 天皇帝の 伯父 体

今 必 为 关 化 长 岑 化 和 伏 化 中 岑 化 中 用 当 行 余 凡 和 矣 主 兩 为 才 中 因

八 尺 迭刺 部 夷離董 号に 三回 受ける 重熙

丞 才 为 令 岑 小 列 伏 介 安 化 凡 和 关 矢 列 列 及 又 矣 分 平 为 本 中

楚 国 王の 号 封ぜられた 今の兄弟の 孟 父房の である署 国 王 敵輦 妻 二人の

□ □ 无 井 和 凡 杰 不 关 化 金 岑 岑 公 才 友 女 及 和 和 伏 立 列 止 又 凡 火 杰 令 用 券 百 九 圣 和

第四 息子 国隠 末掇 夷離董 迭刺 部 夷離董 成った 国隠 夷離董

化 令 丹 九 火 伏 又 及 九 相 令 今 小 列 伏 今 九 相 及 中 又 九 火 伏 九 相 又 夫 才 余

妻 二一の 息子 蒲領 統 以前? 諸年 部 夷離董 成り 開 府儀 同

又 化 九 百 圣 相 丹 今 伏 又 火 用 女 臣 今 七 九 中 今 令 火 平 相 伏 今 九 相 及 今 叔 余 火 劣

三 司 檢 校 太 師 兼 政 事 令の 号 封ぜられた 蒲領 令穩 涅魯衰 夫人 二の 子供 三 長

今 乃 北 九 文 圣 九 考 丞 化 九 文 圣 友 用 化 中 相 令 今 中 中 今 伏 中 火 本 伏 余 今 伏 圣 相 丹 出 包 及

蒲魯 郎君 第二 息子 郎君 第三 息子 烏古鄰 頗得統 軍 郎君 乙室已 娘子二人の 長 男

分 平 立 夫 化 火 丹 令 列 又 立 夫 列 化 火 丹 今 伏 止 劣 九 令 列 又 立 夫 余 火 相 及 丹

北衍 蒲奴 詳穩 保寧 諸年 中 左 院 皮室 詳穩 成った 北衍 詳穩 拔里

□ □ 当 止 火 及 今 各 火 大 今 出 中 今 安 又 几 尺 火 九 相 及 止 余 今 各 火 及 中 又 止 当 今 各 火 存 又 □ □

夫人二の 息子 聖 郎君 歳 三十 九で 死亡した 聖 郎君 尚 父の 娘子 二の 子供 二

百 相 丹 又 止 夫 几 尺 及 止 一 余 今 中 又 止 夫 又 余 今 又 止 尔 圣 丹 出 圣



長男 撒不椀 鐸魯幹 相公 大康 二年に南西 招討居り 歳 五十七で 死亡 幼男

及力生内平及北 将火又 丙刃 圣 中 矢 小 十 羽 毛 今 中 中 乙 屏 劣 中 州 欠 力

蒲速苑

长当  
今尺

郎君 未だ 賜 寿昌 五 年に 歳 七十 病気で 死亡した 妻 夫人 别(部) 国舅 季 父房の 王

又 立 夫 几 卡 沙 尺 谷 又 今 戎 中 矢 安 口 不 矢 今 北 今 谷 谷 百 几 今 相 今 矢 伏 今 谷 立 谷 欠 相 杰

馬の 妻 興 哥 公 主の 弟 太 尉の 生まれる 子供の 諸号 封ぜられ

封ぜられ 夫人 成った 太傳 蒲速苑 郎君 阿不固 夫人 二の 息子 清寧 四年 十一月 十日に

金谷 百 秀 伏 及 丹 伏 丞 今 尺 又 立 夫 生 今 秀 伏 相 秀 力 尖 冬 毛 中 毛 毛 艾 毛 矢

生まれた 太傳 人 成り 生まれる 大康 二年に 歳

谷 丞 今 杏 尺 今 内 余 仍 几 止 全 固 相 当 才 又 又 万 又 艾 谷 中 又 今 丙 刃 圣 中 矢 安

十九で

女古 郎君 成った 四年に 護衛

大安 二

○ 七 矢 長 公 矢 公 矢 止 仍 矢 宅 矢 田 中 九 及 伏 □ □ 矢 □ □ 州 為 公 又 分 及 内 圣

年 護衛 大 成った 三年に 夜 日の 官 成った 四年に

矢 田 中 九 □ □ 相 及 及 及 及 中 又 包 矢 杏 矢 穴 及 中 又 宅 矢 止 矢 公 為 本 令 □ 方 又

八年 冬 稍瓦部 副使 成った 寿 元年に 太尉 成った 二年に 漢兒

10. 至 中 平 夾 艾 相 矢 及 中 又 又 相 安 矢 金 公 丞 坐 及 中 又 圣 矢 号 安 為 本 大 夾

三年に 興 宮の 副 官使 成った 高麗 王の

□ 又 包 矢 用 用 丙 女 令 丙 水 化 及 北 平 安 杰 不 及 安 出 乃 相 □ □ 及 百 北

南院 護衛 太保の 事 知 その 冬 高麗 王の 帰る 第二 四年 夏

二 小 及 化 田 中 九 丞 相 火 坊 屋 口 及 平 安 杰 不 及 安 出 乃 相 □ □ 及 百 北 和 化 与 宅 中 乃

護衛 太保 成り 五年 秋 宮 行き 父の 病氣 任

田 中 九 丞 相 □ □ 止 及 全 无 中 乃 安 米 升 止 冬 中 余 公 仕 关 出 相 金 北 不 本

父の 病氣 亡くなる 帰る 崇徳宮の 宮 使 成った 六年に

12. 企 艾 本 矢 安 及 弱 平 火 和 仁 企 公 伏 市 关 关 急 百 丙 火 丙 火 凡 及 丹 又 左 半 矢

帰 州の 観 察の 号 封ぜられた 乾統 元年 夏 家 可汗の 位

火 止 火 曲 公 天 化 企 公 又 尖 升 北 安 半 必 公 止 天 雨 矢 九 和 火 曲 公 雨 关 令 中 半 尖 本 及 九 半 弓 曲 巫 天 又 矢

左 院 金 吾 衛 将 軍の 号 封ぜられた 三年 冬 静

13. 及 公 存 企 九 和 化 又 及 寒 半 亦 和 化 企 公 包 半 平 安 公 北 又 由 关 用

江 軍 節 度 留 後の 号 封ぜられた 第二 四年 六月 二 日に

才 急 亦 文 及 丙 止 必 化 企 公 百 化 当 毛 半 左 艾 圣 丹 矢 九 急 九 半 仁 中 列 止 关 令 中 和 化 当 毛 半 左 艾 圣 丹 矢

病氣で 亡くなった 病氣 太医 多く 妻 二 大 妻

14. 全 券 和 关 金 公 安 中 金 火 生 矢 企 公 伏 半 公 込 朱 和 令 本 圣 又 百 几

撻不衍 夫人 韃 鞬 可汗の 帳の 娘 子供 五男 三女 二男 三 大 息子

生 当 黍 伏 丙 本 比 伏 止 天 公 和 寒 黍 和 勿 列 出 无 半 公 包 丙 令 圣 半 包 及 勿 令 百 今 止 口 伏 巫 天 曲 和 寒 至 九 丹 丹 出 无 半 公 包 丙 令 圣 半 包 及 勿

歳 三 第二 息子 歳 十八 第三 息子 歳 四 全て 女二長

15. 谷 均 志 奕 □ 包 化 谷 丹 丸 化 志 奕 宅 巫 谷 丹 □ 志 奕 □ □ 宅 八 茨 止 安 谷 百 令 圣 又 公 丈

特免 可汗の帳の阿撒里 嫁ぐ 歳 二十四で死亡した幼 烏盧本 初魯得護 衛 鐸盈 將軍に

企 当 北 伏 巫 奕 曲 谷 本 禾 木 平 中 伏 志 奕 丁 宅 令 谷 当 志 奕 中 伏 仔 分 因 中 几 伏 将 亦 矢  
令 当 口 伏 巫 奕 曲 谷 本 禾 木 平 中 伏 志 奕 丁 宅 令 谷 当 志 奕 中 伏 仔 分 因 中 几 伏 将 亦 矢

嫁ぐ 歳 二十 四に死亡した幼 妻 夫人 院 宰相達 家達の 烏古鄰 夷離畢の 娘 女

16. 平 中 伏 志 奕 丁 宅 令 谷 当 志 奕 百 几 □ □ 令 禾 伏 □ 化 及 谷 化 元 巾 木 木 平 伏 用 木 丹 百

息子の統 歳 今 多く 月 息子の 乾統 五年の 順序 乙 酉

丹 大 毛 和 臣 及 志 奕 炙 炙 炙 炙 文 丹 大 炙 北 尖 井 北 无 木 中 丹 志 奕 令 为 为

閏 二月 巳 日 月の 夫人 子供 兄弟

17. 出 平 夕 圣 艾 住 北 及 □ □ □ □ □ 丹 引 叔 艾 圣 今 禾 伏 丹 出 □ □ □ □ 及 化 才 为 目 木 禾 木

山 北 院 大 妻 榧不衍 夫人の墓 開き 掩

□ □ 艾 化 为 列 令 生 与 又 分 原 木 冬 □ □ □ □ □ 一 及 化 止 及 又 百 几 今 生 当 禾 木 雨 中 火 止 木



伏  
公

人 以前 年 月

人

日 墓

21. 公  
□ □  
□ □  
又 刃  
友  
尚 子  
並 本  
几 小  
半 艾  
為 本  
公 升  
安  
為 奕  
為 本  
几 只  
女 丹  
丑 伏  
為 出  
又 全  
半 考  
出 友  
艾 刃  
又 雨

墓 今

墓

誌 制作する

存 公  
又 中  
米 公  
公 為  
本 券  
金  
雨 几  
又 並  
当 中  
岡 半  
並 奕  
為 因  
公 康  
□ □  
又 充  
□ □  
才 出  
友 □  
不 不  
出 又  
公 刃  
公 相  
谷 公  
奕 出  
為 為  
本 火

平  
相  
也 几

書く

事

掩

閉

今

着く

22. 才 伏  
雨 丹 不 禾  
令 吏  
中 及  
約 中 公  
半 約  
相 並  
又 艾  
來 公  
中 生  
仔 並  
本 关  
火 用  
可 列  
久 並  
本 子  
及 為  
並 出  
□ 並  
方 沙  
又 关  
火 火  
化 又  
目

誌 銘

吏 谷  
令 中  
百 伏  
冬 生  
列 方  
子 出  
子 出  
土 全  
公 並  
□ 並  
□ 並  
□ 並  
几 当  
半 月



契丹小字「耶律蒲速里墓誌碑銘」拓本 図版全体









图版扩大 左上





---

## 契丹小字新発見資料釈読問題

2012年12月25日 印刷

2012年12月28日 発行

著 者 呉 英喆

校 閲 松川 節 武内 康則 荒川 慎太郎

発 行 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
日本国東京都府中市朝日町3-11-1

印 刷 株式会社ワードオン

---

© WU Yingzhe, MATSUKAWA Takashi, TAKEUCHI Yasunori and ARAKAWA Shintaro 2012

ISBN: 978-4-86337-123-1

ISBN: 978-4-86337-123-1



言  
大  
石  
空  
)